

取扱説明書

Gathers

Honda Multi Car-AV System

10 インチプレミアムインターナビ

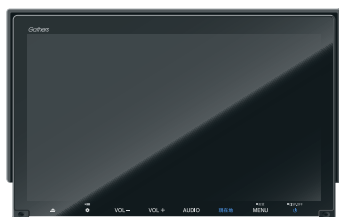
VXU-217SWi / VXU-217DYi

9 インチプレミアムインターナビ

VXM-217VFNi

8 インチプレミアムインターナビ

VXM-217VFEi / VXU-217NBi



Honda Access

このたびは、Honda純正の商品を
お買い上げいただき、ありがとうございます。

この取扱説明書は、
ご使用のまえによくお読みいただき
大切に保管してください。

- 当商品はHonda車専用です。適用車種以外の車に取り付けた場合は一切の責任を負えませんのでご承知おきください。(商品の適用車種はHonda販売店にご確認ください。)
- Honda車への取り付け・配線には専門技術と経験が必要です。安全のためお買い上げのHonda販売店にご依頼ください。
- 商品を譲られる場合には、この取扱説明書とセキュリティカードも一緒にお渡しください。

本機(ナビゲーション)を第三者に譲渡・転売、または破棄される場合には以下の内容をご留意のうえ、お客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、お願い申し上げます。

■ お客様のプライバシー保護のために…

- ・ メモリーに保存された個人情報を含む全てのデータ(登録リスト、メンテナンス情報など)を、本書に記載した内容に従って初期化(データの消去)するようにしてください。

■ 著作権保護のために…

- ・ 本機に著作権があるデータを著作権者の同意なく、残存させたまま、譲渡(有償、及び無償)・転売いたしますと著作権法上、著作権者の権利を侵害します。
- ※ 弊社は、残存データの漏洩によるお客様の損害等に関しては一切責任を負いかねますので、上記の通りお客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、重ねてお願い申し上げます。

■ 個人情報のお取り扱いについて

- ・ 個人情報保護に関する弊社基本方針、及びナビゲーション地図に登録されております個人データのお取り扱いについては弊社ホームページをご覧ください。

<https://www.honda.co.jp/ACCESS/news/0401/>

保証書やアフターサービスの詳細、その他ご不明の点は
お買い上げのHonda販売店へご相談ください。

事故防止のため、運転中は絶対に操作しないでください。

※ 取扱説明書で使用されている画面と実際の画面は、地図データ
ベースの作成時期・種類等によって異なることがあります。

— インターナビ・プレミアムクラブまたはHonda Total Careのサービスについて —

2020年6月時点の情報を基に作成しております。サービス内容並びに仕様について予告なく変更・終了することがありますので、あらかじめご了承ください。



Index

Intro.		VICS 機能	122
ご使用前に	5	VICSについて	122
お客さまへ安全上のご注意	10	交通情報を調べる	128
本書のみかた	13	VICSによる自動処理	130
		VICS局を選ぶ	132
基本操作	14		
本機について	14	AV	
操作のしかた	28	オーディオ機能について	136
ステアリングリモコンについて	30	基本操作	136
各メニュー画面について	31	再生できるディスクの種類について	139
Apple CarPlayを利用する	39	音楽ファイルについて	142
		動画ファイルについて	149
NAVI		ラジオ / 交通情報	152
基本操作	44	ラジオを聴く	152
ナビゲーション機能について	44	交通情報を聴く	155
ナビ画面について	48	DISC	156
音声認識	53	音楽CDを聴く	156
文字入力のしかた	57	ディスクの音楽ファイルを聴く	161
地図画面を設定する	61	DVDビデオを見る	165
案内表示について	65	SD/Music Rack	177
地図を操作する	69	SDカードの曲を聴く	177
地点メニューからの操作	71	SDカードの動画を見る	183
高速道路情報について	74	Music Rackに録音する	187
		Music Rackを聴く	189
目的地的設定	78	iPod/USBメモリ	206
自宅を目的的に設定する	78	接続する	206
探した場所を目的的に設定する	79	iPodを再生する	208
場所を探す	80	USBデバイスの曲を聴く	212
探索条件設定画面について	96	USBデバイスの動画を見る	218
ルートの確認・変更	98	TV	220
ルートの確認	98	テレビ機能について	220
ルートの変更	102	テレビを見る	221
		放送局を探す	227
登録地点の設定	115	好みの放送局を登録する	230
自宅を登録する	115	情報を確認する	233
登録地点を設定する	116	その他の操作	235
登録地点を変更する	118		

外部入力機器	238
Bluetooth Audioを使う	238
AUXを使う	243
HDMIの映像を見る	244

INFO

各種情報を確認する	249
情報の確認や設定をする	249
ETC情報を確認する	250
ETC2.0サービス	252
記念距離メモリーを確認する	254
緊急サポートを表示する	256
本機の情報を確認する	257

その他の機能を使う	258
電話を使う	258
フロントカメラを使う	267
リアカメラを使う	270
マルチビューカメラを使う	272
リアカメラdeあんしんプラスを使う	273
パーキングセンサーを使う	277
カメラについて	279
後席会話サポート機能を使う	280
ドライブレコーダーを使う (DRH-189N)	281
ドライブレコーダーを使う (DRH-204VD)	288
リア席モニターを使う (デジタル接続モデル)	295

インターナビ機能	297
インターナビとは	297
インターナビをご利用になる前に	299
Hondaからのお知らせを確認する	304
インターナビ交通情報を確認する	305
internaviウェザーを確認する	307
インターナビ情報を確認する	309
駐車場セレクトを使う	312
緊急時の連絡先を表示する	313
地図データ更新サービスについて	314

本機の設定	315
設定を変更する	315
NAVI設定	316
AV設定	325
情報設定	334
Bluetooth/internavi設定	338
システム設定	347
ドライブレコーダーの設定	361
TVの設定	364
その他の設定	368

Other

困ったときは	370
用語解説	381
TV放送のチャンネル一覧表	385
別売品 (システムアップ) について	388
ソフトウェアについて	389
地図記号について	392
地図データについて	394
VICS情報有料放送サービス契約約款	395
仕様	397
保証とアフターサービス	399
用語索引	400

Intro.

あらかじめ知っておいていただきたいことについて説明します。

ご使用前に	5	ディスクの取り扱いについて.....	25
免責事項について.....	5	取り扱い上のご注意.....	25
ご使用上の注意.....	6	お手入れについて.....	25
共通.....	6	保管上のご注意.....	25
テレビ機能.....	6	ディスク再生の環境について.....	25
電波に関するご注意.....	7	著作権について.....	25
周波数の表示の見方.....	7	ディスクを挿入する / 取り出す.....	26
iPod/iPhone 再生機能.....	7	ディスクを挿入する.....	26
走行中の操作制限について.....	7	ディスクを取り出す.....	26
お手入れのしかた.....	7	操作のしかた	28
商標について.....	7	タップ.....	28
Gracenote について.....	8	ロングタップ.....	28
お客さまへ安全上のご注意	10	ダブルタップ.....	28
本書のみかた	13	マルチタップ.....	28
イラスト / 画像 / モデルの記載について.....	13	フリック.....	28
		スライド.....	29
		ピンチイン.....	29
		ピンチアウト.....	29
		リストから項目を探すとき.....	29
		タブボタンがあるとき.....	29
		ステアリングリモコンについて	30
		各メニュー画面について	31
		目的地メニュー.....	31
		AUDIO メニュー.....	33
		目的地 / AUDIO メニューをカスタマイズする.....	35
		オプションボタンを設定する.....	36
		QUICK メニュー.....	36
		QUICK メニューから機能呼び出す.....	36
		QUICK メニューをカスタマイズする.....	37
		QUICK メニューを初期化する.....	37
		登録できる機能について.....	38
		Apple CarPlay を利用する	39
		接続する.....	39
		Apple CarPlay 画面を表示する.....	39
		Siri を使う.....	40
		Siri を起動する.....	40
		Siri を終了する.....	40
		Apple CarPlay のマップを表示する.....	40
		Apple CarPlay を終了する.....	40
基本操作	14		
本機について	14		
モニターパネルについて.....	14		
パネルが閉じているとき.....	14		
パネルが開いているとき.....	17		
本機を起動する.....	18		
iPhone の機能選択画面.....	18		
セキュリティコード入力画面.....	19		
エンジンスイッチ ON メッセージ画面.....	19		
オープニング画面を変更する.....	20		
本機の機能制限について.....	21		
音量を調節する.....	22		
音量の種類について.....	23		
SD カードについて.....	23		
Music Rack の録音について.....	24		
市販の SD カードを使う場合のご注意.....	24		
取り扱い上のご注意.....	24		
保管上のご注意.....	24		
SD カードを挿入する.....	24		
SD カードを取り出す.....	25		

ご使用前に

免責事項について

- ・火災、地震、津波、洪水などによる自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客さまの故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- ・お客さま、または第三者が本機の使用を誤ったとき、静電気・電氣的なノイズの影響を受けたとき、または故障・修理のときなどに本機に登録されていた情報（登録地点など）や録音した音楽データが変化・消失した場合、その内容の補償はできません。大切な情報は万が一に備えてメモなどを取っておくことをおすすめいたします。
- ・本製品に入力した個人情報（登録地点の住所や電話番号など）は本機を取り外してもメモリーに残っている場合があります。他人に譲り渡す、または処分などされる際は、プライバシー保護のため個人情報の取り扱い、管理（消去など）は、必ずお客さまの責任において行ってください。弊社は一切の責任を負いません。
本製品を譲渡または廃棄される場合には、「メモリ初期化」(P353)の[本機の初期化]をすることをおすすめします。
- ・本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、記録内容の変化・消失など）に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- ・表示される地図はデータ作成時点の関連で現状と異なる場合があります。また、地図データ不備による損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- ・高速道路料金や施設利用料などを収録しておりますが、税率変更や各種割引などにより実際の料金と異なる場合がございます。表示金額の不一致による損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。

- ・本製品には交通規制データが収録されていますが交通規制の変更などにより実際の交通規制と異なる場合があります。必ず実際の交通規制に従って走行してください。なお、交通規制データ不備による交通事故や交通違反の損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- ・地図データの不備などで返品・返金・交換・改造などはできかねます。
- ・地図データがお客さまの特定の目的に適合しない場合があります。
- ・地図データの内容は予告なく変更される場合があります。
- ・地図データは誤字・脱字・位置ずれなどがある場合があります。
- ・ルート案内や右左折などの音声案内時、実際の標識や交通規制と異なる案内をする場合があります。必ず実際の標識や交通規制に従って走行してください。
- ・仕様および外観は改良のため予告なく変更されることがあります。そのため取扱説明書の内容と異なる場合がありますが返品・返金・交換・改造などはできかねますのであらかじめご了承ください。
- ・本取扱説明書では数種類の機種内容を共用で説明しています。機種によっては記載されていても使用できない機能や別売の機器が必要な場合がございます。あらかじめご了承ください。
- ・取扱説明書で使用している画像やイラストは開発中のもの、もしくは説明用に作成したものです。実際のものとは異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。
- ・本製品に添付の保証書は当該製品をバス、タクシー、トラックなどの車両へ使用した場合、適用対象にはなりません。
- ・本製品に記憶されたお客さまの登録情報など、またすべての情報の変化、消失した場合の損害や不利益について、アフターサービスも含め、弊社は一切の責任を負いません。
- ・本製品は国内専用です。海外では使用できません。

■ 共通

- 操作するために、エンジンをかけたまま車庫など周囲が囲まれた換気の悪い場所に停車しないでください。排気ガスにより、ガス中毒になるおそれがあります。
- 安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。また、運転者が画面を見るときは必要最小限の時間にとどめてください。画面に気を取られて思わぬ事故につながるおそれがあります。
なお、道路交通法により運転者が走行中に画面を注視することは禁止されています。
- 運転中は車外の音が聞こえる程度の音量でお使いください。車外の音が聞こえない状態で運転すると思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 分解や改造をしないでください。故障や発煙、発火の原因になります。
- 緊急を要する施設（病院・消防署・警察署など）の検索や施設までの案内については、本製品への依存を避け該当施設へ直接問い合わせてください。
- 操作するときは、安全な場所に停車してください。
- エンジンをかけずに本製品を使用し続けた場合、車両のバッテリーが消耗しエンジン始動ができないおそれがあります。必ずエンジンをかけた状態で使用してください。
- 以下のようなときは、液晶画面特有の現象ですので故障ではありません。
 - ≫ 画面に小さな黒点、輝点（赤、青、緑）がある。
 - ≫ 寒冷時など、画面の動きが遅い。
 - ≫ 高温時など、画面が暗いときがある。
 - ≫ 画面を見る角度によって、色あいや明るさに違いがある。
- 液晶画面の性質上、見る角度によって画質が異なります。はじめてお使いのときは画質の調整を行ってください。
- 偏光サングラスを使用すると、視認性が低下する場合があります。
- 市販の液晶保護フィルムなどを画面に貼るとタッチパネル操作に支障がでるおそれがあります。

- 鋭利なもの（ペン先・つめの先など）でタッチパネル操作を行うと画面に傷が付く場合があります。
- カバーレンズに樹脂を採用していますが、強い衝撃を与えると樹脂が割れて、けがをするおそれがあります。
- 手袋などを着けたままタッチパネル操作を行うと正しく反応しない場合があります。
- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、Rovi Corporationおよびその他の著作権利権者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、Rovi Corporationの許可が必要で、また、Rovi Corporationの特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の鑑賞用以外には使用できません。分解や改造することも禁じられています。
- パワーウィンドウ、ワイパー、電動ミラー、エアコンファンなどの車両電装品を作動させたときには、ラジオやテレビの受信状態が悪くなるなど異常が発生するおそれがあります。
- 本機の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器や無線機器などを車内で使用したり、本機や地上デジタルテレビチューナーのアンテナやアンテナコードに近づけたりすると、受信状態が悪くなります。その場合は、本機の利用を中止するか、本機やアンテナから離してご使用ください。

■ テレビ機能

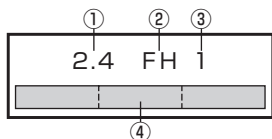
- 本製品は、BS デジタル放送、110度CS デジタル放送には対応していません。
- 本製品はデータ放送には対応していません。
- 移動中に電波の受信状態が悪くなったときには、次のような現象が起きる場合があります。
 - ≫ 映像や音声にノイズが発生する。
 - ≫ 映像や音声途切れる。
- 家庭用のデジタルチューナーに比べて受信エリアは狭くなります。
- ワンセグやフルセグ、放送局により受信状態やエリアが変化します。

■ 電波に関するご注意


この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで前記記載の無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から前記記載の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに場所を移動する、電源を切るなどの回避処置をしてください。
3. その他、この機器から前記記載無線局に対し有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、Honda 販売店 (P399) へご相談ください。

■ 周波数の表示の見方



本機上面の製品ラベル内に図のような表示があります。

- ① 2.4 : 2400MHz 帯を利用する無線設備を表します。
- ② FH : 変調方式が FH-SS 方式であることを示します。
- ③ 1 : 想定される与干渉距離が 10m 以下であることを示します。
- ④  : 2400MHz ~ 2483.5MHz の全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

■ iPod/iPhone 再生機能

- 本機は、iPod/iPhone の音楽の再生に対応しておりますが、いかなるバージョンであっても動作を保証するものではありません。
- iPod/iPhone の機種、バージョンによって動作が異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 適合情報は、<https://www.honda.co.jp/navi/support/> をご覧ください。

走行中の操作制限について

安全のため、走行中は一部操作や表示が制限されます。安全な場所に車を停めて操作してください。

お手入れのしかた

- 本機が汚れたときはやわらかい布でから拭きしてください。
- 画面が汚れたときは、メガネ拭きなどのやわらかく乾いた布で軽く拭き取ってください。ベンジン、シンナー、帯電防止剤、化学ぞうきんなどは使用しないでください。画面を傷つけるおそれがあります。

商標について

- 「ナビ」、「NAVI」は商標です。
- **NaviCon** NaviCon は株式会社デンソーの登録商標です。
- WMA (Windows Media Audio) は米国マイクロソフト社の登録商標です。
- AVI (Audio Video Interleave) は米国マイクロソフト社の登録商標です。
- 製品名などの固有名詞は各社の商標または登録商標です。
- なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。



ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されております。Dolby, Dolby Audio、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。



HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI ライセンシング LLC の米国その他の国における商標または登録商標です。



SDXC ロゴは SD-3C, LLC の登録商標です。



「VICS」および「VICS WIDE」ロゴは、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。



Bluetooth® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり「三菱電機株式会社」はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。



「マップコード」および「MAP CODE」は、(株)デンソーの登録商標です。



ETC ロゴは、一般財団法人 ITS サービス高度化機構の登録商標です。



ETC2.0 ロゴは、一般財団法人 ITS サービス高度化機構の登録商標です。

■ Gracenote について

音楽認識技術と関連情報は Gracenote® 社によって提供されています。

Gracenote は、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。

詳細は、Gracenote の Web サイト www.gracenote.com をご覧ください。



Gracenote® は、グレースノート社の登録商標です。Gracenote® ロゴおよびロゴ標記、「Powered by Gracenote」ロゴはグレースノート社の商標です。

※ 本機内蔵の Gracenote® データベースは、データの内容を 100% 保証するものではありません。

Made for
 iPhone | iPod

「Made for iPod」および「Made for iPhone」とは、iPodまたはiPhone 専用に接続するよう設計され、Appleが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。

Apple、iPhone、iPod、iPod touch、Siri は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

Apple CarPlay は、Apple Inc. の商標です。

Appleは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。

iPod touch



iPod touch
6th generation



iPod touch
5th generation

iPhone



iPhone X



iPhone 8 Plus
iPhone 7 Plus



iPhone 8
iPhone 7



iPhone SE



iPhone 6 Plus
iPhone 6s Plus



iPhone 6
iPhone 6s



iPhone 5
iPhone 5c iPhone 5s

※ ビデオ再生および Genius 機能には対応しておりません。

※ iPadには対応しておりません。

※ iPodおよびiTunesは、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

※ 適合情報は、<https://www.honda.co.jp/navi/support/> をご覧ください。

お客さまへ安全上のご注意

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示とともに、取り扱い上の注意点を記載しています。絵表示は次のような意味を示しています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。



このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。



このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。



この絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。



警告



禁止

- **運転者は運転中に、画像を注視しない。**前方不注意となり事故の原因となります。道路交通法により、運転者が走行中に画像を注視することは禁止されています。
- **運転者は走行中に複雑な操作をしない。**
運転中に複雑な操作をすると、前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- **カメラは周囲確認の補助装置です。カメラの画像だけを見て運転しない。**
カメラ画像で表示できる範囲には限りがあるため、人や障害物に接触するおそれがあり、事故の原因となります。
- **画面が映らない、音がでないなどの故障状態で使用しない。**
事故、火災、感電の原因となります。
- **本機はDC12V マイナス \ominus アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車での使用はしない。**火災や故障の原因となります。
- **機器内部に水や異物を入れない。**発煙、発火、感電、故障の原因となります。
- **ディスクスロットやSDカードスロットに異物を入れない。**
火災や感電、故障の原因となります。

警告



必ず行う

- ナビゲーションによるルート案内時も、実際の交通規制に従って走行する。
本機では交通規制の変更などにより実際の交通規制と異なる場合があります。
必ず実際の交通規制に従って走行してください。
- 運転者がテレビやビデオを見るときは必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキをかけて使用する。テレビやビデオは安全のため走行中は表示されません。
- カメラ使用時も目視による安全確認を必ず行う。
カメラの死角になっている人や障害物に接触するおそれがあり、事故の原因となります。
- バックする際はゆっくりした速度で運転する。
カメラの画像は目視と距離感が異なるため、人や障害物に接触するおそれがあり、事故の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙がでる、変な臭いがするなど異常が起これば、ただちに使用を中止し、お買い上げの販売店に相談する。
そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- ヒューズを交換するときは、規定容量（アンペア数）のヒューズを使用する。
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。



分解禁止

- 本機を分解したり、改造したりしない。故障、火災、感電の原因となります。



接触禁止

- 雷が鳴りだしたら、アンテナ線やフロントパネルに触れない。
落雷により感電のおそれがあります。

注意



禁止

- 本機の通風孔や放熱板をふさがないでください。
通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、発火や故障の原因となることがあります。
- カメラ本体に無理に力を加えたり、高圧洗車を行ったりしないでください。
カメラが外れたり、角度がずれたりして故障や事故の原因となることがあります。
- 開いたディスプレイの上に物を置かないでください。
ディスプレイ部の破損や飲み物がこぼれることにより、発煙、発火、感電、故障の原因となります。
- ディスプレイを開けたまま走行しないでください。
急ブレーキ時に開いたディスプレイが体に当たり、思わぬけがをすることもあります。

注意



注意

- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用してください。
車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- カメラ画像は車種や取り付け角度で見え方が異なります。注意してご使用ください。
事故の原因となることがあります。



必ず行う

- モニターパネルの開閉時に、シフトレバー操作などの妨げになる場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- 取り付け（取り外し）や配線は、専門技術者に依頼する。
誤った取り付けや配線をした場合、車に支障をきたすことがありますので、お買い上げの販売店にご依頼ください。

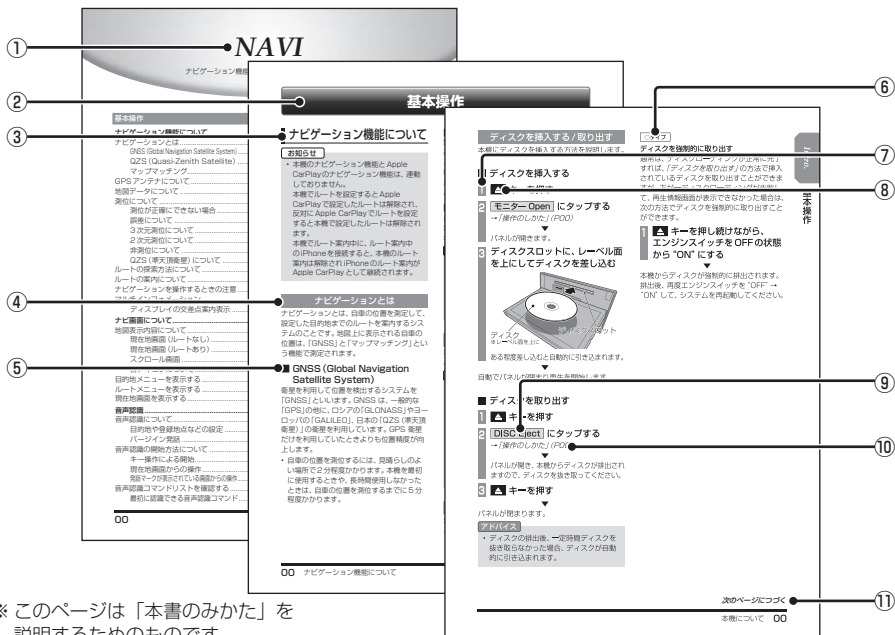


指に注意

- ディスクスロットやSDカードスロットに手や指を入れないでください。
けがの原因となることがあります。
- モニターパネルの開閉時に、手や指を挟まれないようにご注意ください。
けがの原因となることがあります。

本書のみかた

本書で使用している表記と意味は以下のようになっています。



※ このページは「本書のみかた」を説明するためのものです。実際のページ、説明内容とは異なります。

- ① **編見出し**
主な機能に分けて分類しています。
- ② **章見出し**
編分類の中でさらに機能を分類し、各章の先頭に記載しています。
また、右端のインデックスでも確認できます。
- ③ **大見出し**
章分類の中で主な操作や機能を分類しています。
- ④ **中見出し**
大見出しの中で分けられた操作や機能をこまかく分類しています。
- ⑤ **小見出し**
中見出しの中で分けられた操作や機能をさらにこまかく分類しています。
- ⑥ **○タイプ**
機種により機能が異なる場合に記載しています。
- ⑦ **操作手順**
操作手順を示す番号です。この番号の順序に従い操作してください。

- ⑧ **○○○○** キーまたは [○○○○] キー
パネルでの操作キーを示します。
- ⑨ **□○○○** または [○○○○]
画面上に表示されるボタンを示します。
- ⑩ **(P000)**
参照するページを示します。関連する説明などが記載されています。
- ⑪ **次のページにつづく**
操作の説明に続きがある場合に記載しています。

■ **イラスト / 画像 / モデルの記載について**
本書では代表として「VXM-217VFNi」のイラスト / 画像を記載しています。機種により機能が異なる箇所には、モデル名を記載しています。

VXU-217SWi :	Aタイプ
VXU-217DYi :	Bタイプ
VXM-217VFNi :	Cタイプ
VXM-217VFEi :	Dタイプ
VXU-217NBi :	Eタイプ

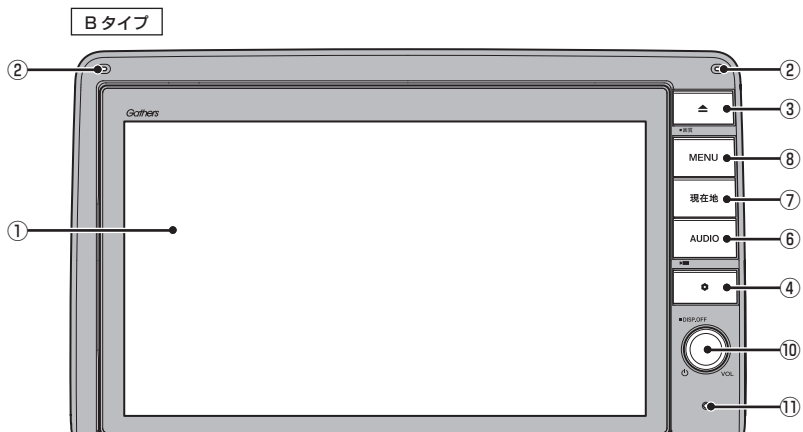
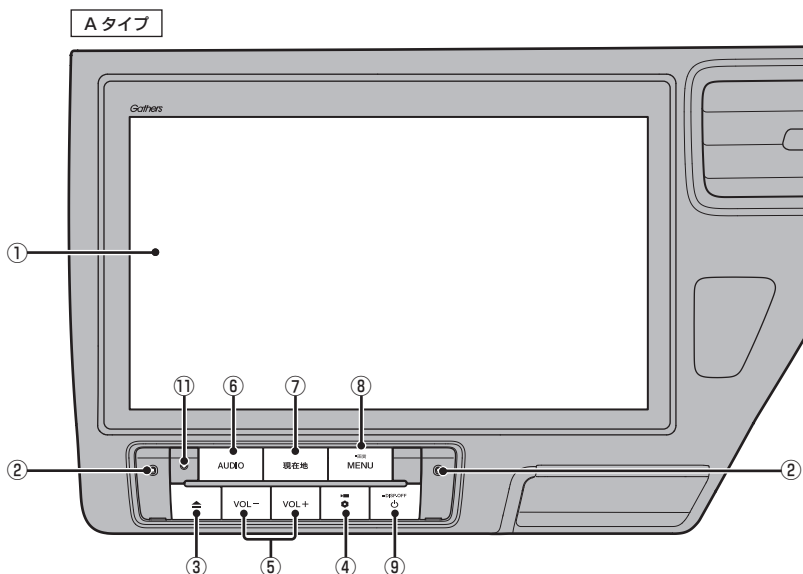
基本操作

本機について

モニターパネルについて

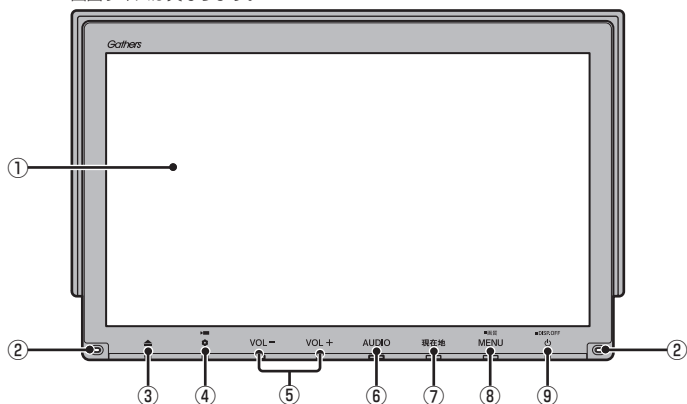
モニターパネルの各部の名称と働きについて説明します。

■ パネルが閉じているとき

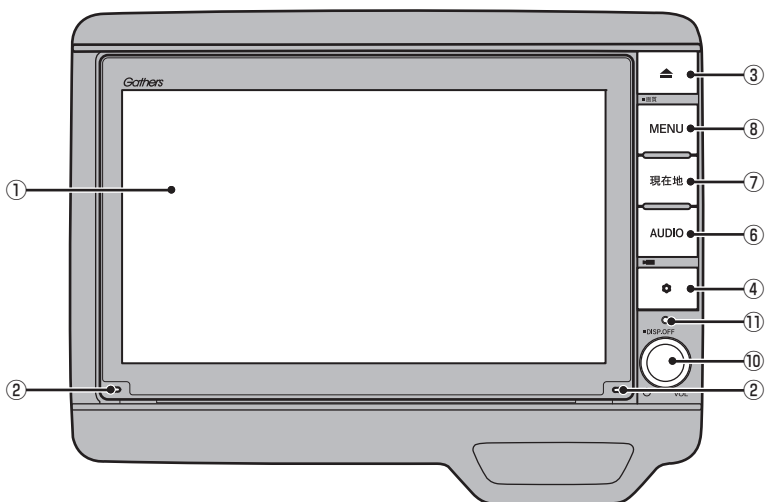


Cタイプ Dタイプ

画面サイズは異なります。



Eタイプ



① ディスプレイ

ディスプレイに表示されるボタンにタップ (P28) することで、ほとんどの操作が行えます。

② マイク

本機にマイクを内蔵しています。音声認識やハンズフリー通話のときに使用します。

③ ▲ キー

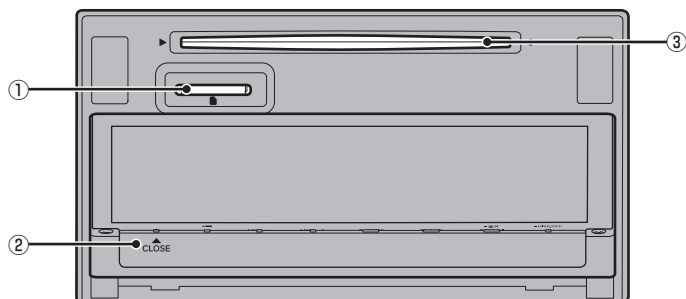
モニターパネルを開閉するときや、SDカード (P24)、ディスク (P26) の出し入れをするときに使用します。

次のページにつづく

- ④ **🔌** キー
オプションボタン動作の設定画面で設定した機能呼び出します。(→P36)
[Cタイプ]、[Dタイプ]のみ本機の電源をOFFにしたときに、**🔌**を点滅させることができます。(→P350)
- ⑤ **VOL-** キー / **VOL+** キー (→P22)
オーディオや電話の着信 / 受話音量、音声案内の音量を調節できます。
各音声出力中に押すと調節できます。
- ⑥ **AUDIO** キー
AUDIOメニューまたはオーディオ画面を表示します。(→P33)
長押しすると、音声認識に切り換えます。(→P53)
- ⑦ **現在地** キー (→P48)
ナビゲーション画面の現在地画面を表示します。
ルートを設定している場合、音声によるルート案内をきくことができます。
- ⑧ **MENU** キー
目的地メニューを表示します。(→P31)
長押しすると、画質調整画面を表示します。(→P368)
- ⑨ **🔌** キー
押すと、オーディオのON/OFFを切り換えます。(→P137)
長押しすると、画面の表示を消します。(→P369)
- ⑩ **🔌/VOL** キー
押すと、オーディオのON/OFFを切り換えます。(→P137)
長押しすると、画面の表示を消します。(→P369)
回転させると、オーディオや電話の着信 / 受話音量、音声案内の音量を調節できます。各音声出力中に調節できます。(→P22)
- ⑪ **セキュリティインジケータ**
本機の電源をOFFにしたときに、点滅させることができます。(→P350)
[Aタイプ]、[Bタイプ]、[Eタイプ]のみ

■ パネルが開いているとき

※イラストは **Cタイプ** です。



① SDカードスロット

SDカードを挿入します。SDカード内の音楽ファイルの再生 (P177) や動画ファイルの再生 (P183)、Music Rackへの録音 (P187) が行えます。

② ▲ キー (▲ CLOSE) ※1

モニターを閉じるときに使用します。

③ ディスクスロット

本機で再生可能なディスクを挿入すると、再生を開始します。

→「ディスクを挿入する」(P26)

※1 **Aタイプ**、**Bタイプ**、**Eタイプ** にはありません。

本機を起動する

本システムを起動します。

1 エンジンスイッチを“アクセサリー”または“ON”にする



オープニング画面が表示され、しばらくするとオーディオ画面やナビゲーション画面など、前回最後に使用した機能の画面（ラスト画面）に切り換わります。

アドバイス

- エンジンスイッチを“アクセサリー”のままにしていると画面上部のステータスバーに「チェックシステム」のメッセージが表示されます。

■ iPhoneの機能選択画面

本機に Apple CarPlay 対応の iPhone を USB 接続している場合、初めて本機を起動したときに表示されます。



[Apple CarPlay] または [iPod AUDIO] にタップしてください。

Apple CarPlay	Apple CarPlay 対応の iPhone を標準装備または別売の USB 接続ジャックに接続したときに、Apple CarPlay を利用できる状態にします。
iPod AUDIO	Apple CarPlay 対応の iPhone を標準装備または別売の USB 接続ジャックに接続したときに、iPod 再生機能を利用できる状態にします。

アドバイス

- 設定は「Apple CarPlay 連携機能設定」(P315) から変更できます。

■ セキュリティコード入力画面

車両点検などバッテリーを外した後に起動すると表示されます。



セキュリティコードを入力し、[決定]にタップしてください。



セキュリティコード(数字5桁)はセキュリティカードに記載されています。セキュリティカードは、なくさないように保管してください。

お知らせ

- 規定回数間違えると、一定時間操作ができなくなります。
- セキュリティコードを忘れた、セキュリティカードをなくされた場合は、お買い上げの販売店までお問い合わせください。
- セキュリティコードは変更できません。
- 次回からセキュリティコードを入力せずに起動(セキュリティ設定解除)することができます。
→「セキュリティの設定」(P350)
- 車両やグレードによっては、フレームNo.を読み取り、自動的にセキュリティを解除します。(セキュリティコード入力画面は表示されません。)

■ エンジンスイッチONメッセージ画面

セキュリティコードを入力せずに自動的に本機のセキュリティを解除する車両の場合、エンジンスイッチOFF時に下記の画面が表示される場合があります。

下記の画面が表示されたときは、エンジンスイッチをONにしてください。セキュリティが解除され、本機が起動します。



エンジンスイッチOFFの状態では本機のセキュリティを解除したいときは、[コード入力]をタップし、セキュリティコードを入力してください。

オープニング画面を変更する

本機の起動時に表示される起動画面を変更します。



1 画像を弊社Webサイトから入手し、SDカードに取り込む

入手先やSDカードへの取り込み方法は、弊社Webサイトのナビゲーションページをご覧ください。

<https://www.honda.co.jp/navi/support/>

2 画像を取り込んだSDカードを本機に挿入する

3 **MENU** キーを押す

目的地メニューを表示します。

4 **設定/情報** → **システム設定** → **起動画面設定** にタップする

5 リストから画像を選択し、**決定** にタップする

6 **はい** にタップする



起動画面の変更が完了します。

お知らせ

- [工場出荷時の画像に戻す]にタップすると、工場出荷時の起動画面に戻ります。車種によっては納車時のオープニング画面と異なる場合があります。
- SDカードに取り込んだ起動画像は、ほかの用途には使用できません。
- 起動画面には弊社Webサイトで提供する専用画面のみ対応しています。

本機の機能制限について

本機は、車両の装備やグレードにより、下記機能が使えない場合があります。詳しくはお近くのHonda販売店までお問い合わせください。

分類	機能	詳細
時計	車両メーター内時計の連動機能	本機から車両のメーターに時刻情報を送信し、メーター内時計の時刻を合わせて連動させる機能。
ルート探索・案内	交差点案内表示	メーター内マルチインフォメーションディスプレイに、ルート案内の際、交差点案内を表示する機能。 ^{※1}
インターナビ	eco 情報	車両に蓄積されたデータをもとに燃費・ガソリン消費量・CO ₂ 排出量などのeco情報をパーソナル・ホームページで確認できる機能。
	ウェザーインフォメーション	メーター内マルチインフォメーションディスプレイに、気象情報を表示する機能。
リアカメラ	ダイナミックガイドライン	ハンドル角度に合わせてリアカメラのガイドラインを変化させる機能。 →「リアカメラの設定」(P355)
パーキングセンサー	パーキングセンサー表示	パーキングセンサーと連動し、検知した障害物と車両の距離を表示する機能。
マルチビューカメラシステム/ Hondaスマートパーキングアシストシステム	マルチビューカメラシステム/ Hondaスマートパーキングアシストシステムの表示	車両の取扱説明書の別冊「マルチビューカメラシステム/Hondaスマートパーキングアシストシステム」をご覧ください。
その他	記念距離メモリー	総走行距離が指定の距離に到達したときの日時・位置情報などを記録する機能。 →「記念距離メモリーを確認する」(P254)
	イルミ減光キャンセル機能 ^{※2}	車両のイルミ減光キャンセル機能に連動し、本機の画面を昼画面輝度に自動で切り換える機能。

※1 表示される道路形状や案内矢印方向の情報などは、実際と異なる場合があります。

※2 車両インストルメントパネル照明が減光しているとき(車両イルミスイッチON状態)、インストルメントパネル照明調整ノブを最大方向に戻すと減光状態が解除される機能。調整ノブの配置など当機能の詳細は車両の取扱説明書をご覧ください。

音量を調節する

オーディオや電話の着信、受話音量、各種音声案内の音量を調節します。

ここでは音声案内中に音量を変更した場合で説明します。

お知らせ

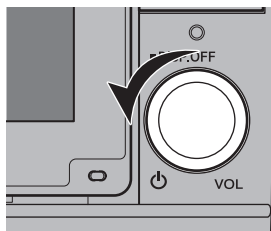
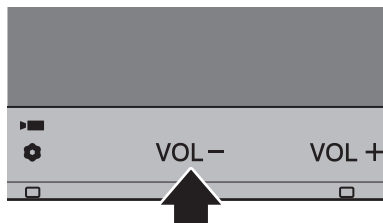
- アイドリングストップ中は消費電流を抑えるためオーディオの音量レベルの上限が変わります。
音量レベルの上限はPremiDIA WIDEの設定内容によって変わります。→「音質の設定を変更する (Sound Settings)」(P326)

PremiDIA WIDEの設定値	音量レベルの上限
OFF	17
1	15
2	13

走行を開始し、しばらくすると元の音量レベルに戻ります。

アイドリングストップにより音量レベルが変わるときは、テロップが表示されます。

- 1 音声案内が出力されているときに **VOL -** キーを押す、または **⏻/VOL** キーを左に回す



音声案内の音量が小さくなります。

- 2 **VOL +** キーを押す、または **⏻/VOL** キーを右に回す

音声案内の音量が大きくなります。

■ 音量の種類について

以下の音出力されているときに、音量を調節できます。

種類	表示	音量レベル
電話(着信)	 Vol. 3 [桃色]	1～7
電話(受話)	 Vol. 3 [紫色]	1～7
音声案内	 Vol. 3 [緑色]	0～7
インターナビ案内	 Vol. 3 [白色]	0～11
オーディオ	 Vol. 7 [青色]	0～40
Hondaスマートパーキングアシストシステム ^{※1}	表示はありません。	0～40

※1 **Aタイプ** および **Bタイプ**、**Cタイプ** のみ

アドバイス

- 音声案内が終了するまでオーディオの音量は調整できません。
- 音声案内中に音量を最小(音量レベル0)にした場合、音量が「消」になり **VOL+** キーまたは **🔊/VOL** キーで音量を上げることができなくなります。

SDカードについて

本機はオーディオ機能で使用するSDカードに対応しております。SDカードには、Music Rackの音楽CD録音用の専用SDカード(車載用8GB、Class10)と市販されているSDカードがあります。専用SDカードはお買い上げ時、本機に挿入されています。

警告



必ず行う

- 事故防止のため、SDカードは乳幼児の手の届かないところに保管する。
万一、お様が飲み込んだ場合は、ただちに医師の治療を受けてください。

注意

- SDカードの抜き差しは、安全な場所に停車してから行ってください。
- SDカードでデータを読み書きしているときに、SDカードを取り出したり、電源を切ったりしないでください。記録されたデータの消失または破損のおそれがあります。
 - Sound Settingsの操作中
 - Music Rackの曲を編集集中
 - NoTitleリストの編集集中
 - CD録音中
 - SDカードの初期化中
 - CD-DAの曲タイトル取得中
- データ破損のおそれがあるためファイルのバックアップをおすすめします。
- SDカードスロットに異物を入れないでください。ケガや発煙、発火の原因になります。

お知らせ

- SDカードのデータ消失による損害について、弊社は一切の責任を負いません。
- 本機で表示できない文字列は記号(細長い四角形)で表示されますが故障ではありません。(特殊文字など)
- SDカードには寿命があり、書き込みを繰り返すと書き込みや消去などができなくなる場合があります。

■ Music Rack の録音について

- Music Rack に音楽 CD を録音するときには、専用 SD カードを使用してください。
→「[Music Rack への録音について](#)」
(P187)

■ 市販の SD カードを使う場合のご注意

- SD カードの容量は設計上最大 2TB までサポートしております。SD カードのスピードクラスは Class10 以上、容量は 128GB までを推奨いたします。なお、すべての SD カードに対して動作を保証するものではありません。
- SD カードの種類によっては、ご利用にならない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。
- パソコンの標準機能を使用してフォーマットした SD カードは正しく動作しない場合がありますので、本機でご使用になる SD カードは本機でフォーマットしてからご使用ください。フォーマットすると、SD カード内にあるすべてのデータは消去されます。SD カード内のデータはバックアップしておくことをおすすめします。
- 本機でのフォーマットは、「[メモリ初期化](#)」(P353) で「[SD カードの初期化](#)」を選ぶことで行えます。

■ 取り扱い上のご注意

- SD カードの端子に指紋などの汚れが付着すると、読み取りにくくなる場合があります。SD カードを持つときは、端子を触らずに持つようにしてください。
- SD カードに紙やシールを貼り付けたり、傷を付けたりしないでください。
- すでに SD カードが挿入された状態で他の SD カードを無理に挿入しないでください。故障の原因となります。
- SD カード以外のものを挿入しないでください。SD カード以外のものを挿入すると、破損もしくは取り出せなくなります。

■ 保管上のご注意

本機から取り出したときは、直射日光の当たらない場所に保管してください。

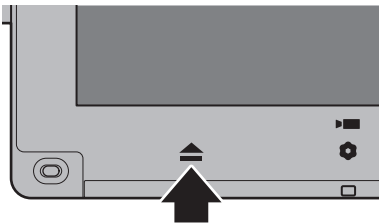
SD カードを挿入する

オーディオ機能のために使用する SD カードを本機に挿入します。

お知らせ

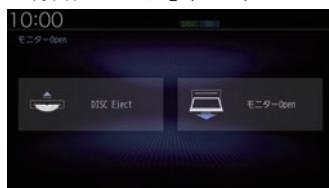
- お買い上げ時、本機に専用の SD カードが挿入されています。

1 ▲ キーを押す



2 ■ モニター Open にタップする

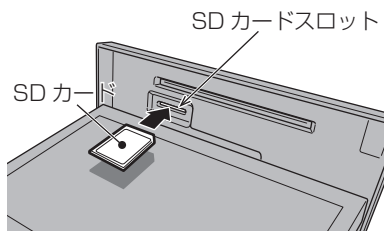
→「[操作のしかた](#)」(P28)



▼
パネルが開きます。

3 SD カードスロットに SD カードを差し込む

「カチッ」と音がするまで差し込みます。



4 ▲ キーを押し、パネルを閉じる

▼
SD カードを利用したオーディオ機能が使用可能となります。

SDカードを取り出す

オーディオ機能のために使用するSDカードを本機から取り出します。

1 ▲ キーを押す

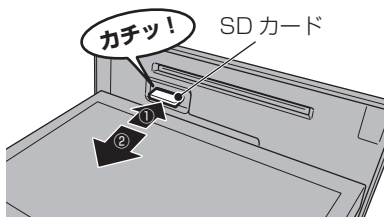
2 モニター Open にタップする

→「操作のしかた」(P28)



▼
パネルが開きます。

3 SDカードを「カチッ」と音がするまで押す



SDカードが飛び出し、抜き取れる状態になります。ゆっくりと抜いてください。

4 ▲ キーを押し、パネルを閉じる

アドバイス

- 本機にSDカードが挿入されている場合、画面上部のアイコンが点灯します。



ディスクの取り扱いについて

ディスクの取り扱いについてお守りいただきたいこと、注意していただきたいことを説明します。

■ 取り扱い上のご注意

- ディスクの信号面に指紋などの汚れが付着すると、読み取りにくくなる場合があります。ディスクを持つときは、信号面を触らないように、両側を挟むように持つか中央の穴と端を挟んで持つようにしてください。
- ディスクに紙やシールを貼り付けたり、傷を付けたりしないでください。
- すでにディスクが挿入された状態で他のディスクを無理に挿入しないでください。ディスクの傷や故障の原因となります。

■ お手入れについて

- ディスクの信号面は定期的にクリーニングしてください。クリーニングする場合はやわらかい布で回転せずに内側から外側へ軽く拭いてください。
- 新しいディスクにはディスクの外周と中心の穴にバリが残っている場合がありますので確認してください。バリが残っている状態で使用すると誤動作の原因となりますのでバリを取り除いてください。

■ 保管上のご注意

- 使用しないときは必ずケースに入れ、直射日光の当たらない場所に保管してください。
- 長時間使用しない場合は、必ず本機から取り出してください。

■ ディスク再生の環境について

真冬の車内など極度の低温状態でヒーターを入れてすぐ使用になると、ディスクや内部の光学部分に露(水滴)が付き正常に動作しない場合があります。

このような場合は、ディスクを取り出してしばらくお待ちになってからご使用ください。

■ 著作権について

私的使用以外の目的でディスクを無断で複製や放送、公開演奏やレンタルする行為は法律により禁じられています。

ディスクを挿入する / 取り出す

本機にディスクを挿入する方法を説明します。

注意

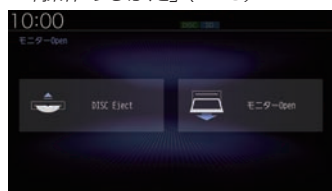
- ディスク交換は、安全な場所に停車してから行ってください。
- ディスクスロットに手や指、異物を入れないでください。ケガや発煙、発火の原因になります。
- パネル上にももの（ジュースなど）を置かないでください。
- ディスクを挿入すると自動でパネルが閉まります。ただし、プログラムの読み込み中や地図更新中は自動でパネルは閉まりません。
- パネル開閉時に手や指をはさみ込まないように注意してください。

ディスクを挿入する

1 ▲ キーを押す

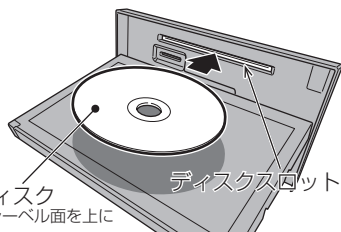
2 [モニター Open] にタップする

→「操作のしかた」(P28)



パネルが開きます。

3 ディスクスロットに、レーベル面を上にしてディスクを差し込む



ある程度差し込むと自動的に引き込まれます。

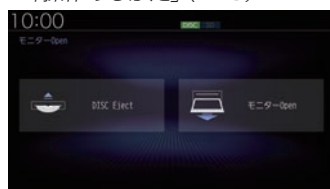
自動でパネルが閉まり再生を開始します。

ディスクを取り出す

1 ▲ キーを押す

2 [DISC Eject] にタップする

→「操作のしかた」(P28)



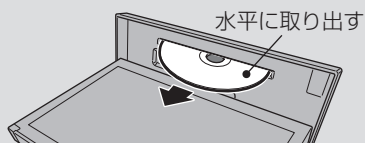
パネルが開き、本機からディスクが排出されますので、ディスクを抜き取ってください。

3 ▲ キーを押す

パネルが閉まります。

注意

- ディスクを取り出すときは、ディスクスロットに対して水平に取り出してください。ディスクの記録面（下側）を強く押しつけたり、ディスクを変形させながら取り出したりすると、ディスクに傷が付くおそれがあります。



アドバイス

- ディスクの排出後、一定時間ディスクを抜き取らなかった場合、ディスクが自動的に引き込まれます。
- 本機にディスクが挿入されている場合、画面上部のアイコンが点灯します。



Aタイプ **Bタイプ** **Eタイプ****ディスクを強制的に取り出す**

通常は、ディスクローディングが正常に完了すれば、「ディスクを取り出す」(P26)の方法で挿入されているディスクを取り出すことができますが、万が一ディスクローディングに失敗して、再生情報画面が表示できなかった場合は、次の方法でディスクを強制的に取り出すことができます。

お知らせ

- **Cタイプ** および **Dタイプ** は対応していません。

1 **▲ キーを押し続けながら、エンジンスイッチを“OFF”の状態から“ON”にする**

▼
本機からディスクが強制的に排出されます。排出後、再度エンジンスイッチを“OFF” → “ON” して、システムを再起動してください。

操作のしかた

本システムでは、ディスプレイに直接触れることで操作するマルチタッチパネルを採用しています。

注意

- ディスプレイの表面は傷が付きやすいので、手で強く押さえたり、かたい布などでこすったりしないでください。
- 画面が汚れたときは、メガネ拭きなどのやわらかく乾いた布で軽く拭き取ってください。

■ タップ

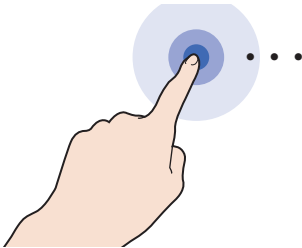
“決定”する操作を行うときなどに使用します。



画面に軽く触れてすぐに離します。

■ ロングタップ

早送りや早戻しするときなど、様々な場面で使用します。



画面に触れたままの状態にします。

■ ダブルタップ

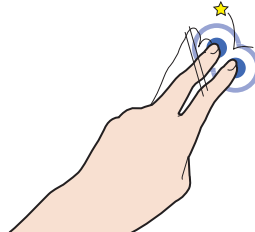
地図の範囲を1段階ずつ詳細にするときに使用します。



1本の指ですばやく2回タップします。

■ マルチタップ

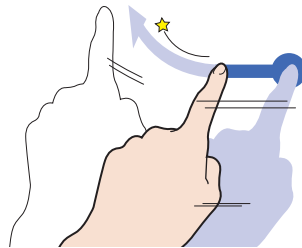
地図の範囲を1段階ずつ広域にするときに使用します。



2本の指で1回タップします。

■ フリック

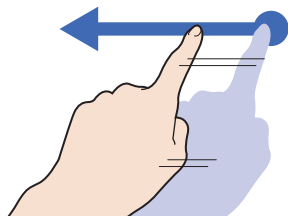
リストや地図を素早くスクロールするときに使用します。



画面に触れたまま素早く指をはらうように動かし、画面から指を離します。

■ スライド

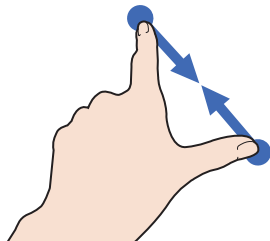
指の動きに合わせて画面をスクロールするとき 사용합니다。



画面に触れたまま指を動かします。

■ ピンチイン

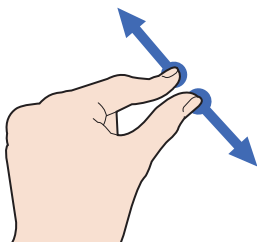
地図の範囲を広域にするとき 사용합니다。



2本の指で画面に触れたまま、指の間隔を縮めるように動かします。

■ ピンチアウト

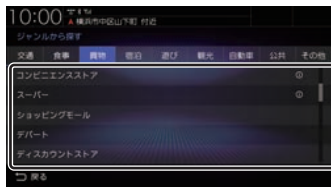
地図の範囲を詳細にするとき 사용합니다。



2本の指で画面に触れたまま、指の間隔を広げるように動かします。

リストから項目を探るとき

リストの上でフリックまたはスライドします。上の方向に指を動かすとリストは下へスクロールします。



探している項目が表示されたら直接その項目にタップします。

タブボタンがあるとき

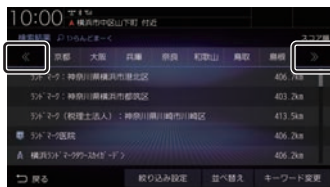
分類がタブボタンで分かれている場合があります。

分類のタブボタンに直接タップすることで、分類の先頭までリストが移動します。



分類の数が多いときは、**<<**、**>>** が表示されます。

<<、**>>** にタップすることで分類のタブボタンを1ページずつ送ることができます。



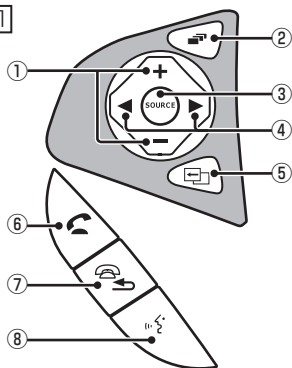
ステアリングリモコンについて

ステアリングリモコンは、本機で設定すると各ボタンの機能を変更できます。

→「ステアリングリモコン動作の設定」(P351)

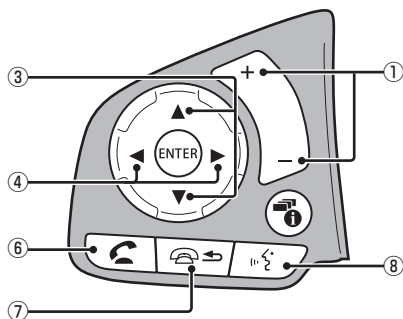
下記の説明は工場出荷時の設定で動作する内容です。

タイプ1



- ① **+** キー / **-** キー
音量を調節できます。
- ② **MAP** キー
地図画面 / Apple CarPlay 画面 / オーディオ画面を切り換えます。Apple CarPlay を利用していないときは Apple CarPlay 画面はスキップします。
- ③ **SOURCE** キー / **▲**、**▼** キー
オーディオのソースを切り換えることができます。オーディオが OFF のときは動作しません。
- ④ **◀**、**▶** キー
CD などのトラックやラジオの放送局を選ぶことができます。また、DVD のチャプターを切り換えることができます。
- ⑤ **CALL** キー
オプションボタン動作の設定画面で設定した機能呼び出します。

タイプ2



- ⑥ **CALL** キー
ハンズフリー電話の場合
- 着信時に電話を受けます。
- 登録電話番号画面を表示します。
- 長押しするとダイヤルをします。
Apple CarPlay 電話の場合
- 着信時に電話を受けます。
- ⑦ **MAP** キー
ハンズフリーまたは Apple CarPlay で通話中の電話を切ります。音声認識起動中は、1 つ前の音声操作を取り消します。上記以外で [戻る] の操作が可能な画面では、1 つ前の画面に戻ります。
- ⑧ **CALL** キー
音声認識を起動します。また、長押しすることで音声認識を終了できます。Apple CarPlay 利用時に長押しすると Siri を起動します。
バーズイン発話機能を利用する場合、音声認識が可能な状態か確認してください。
→「キー操作による開始」(P53)

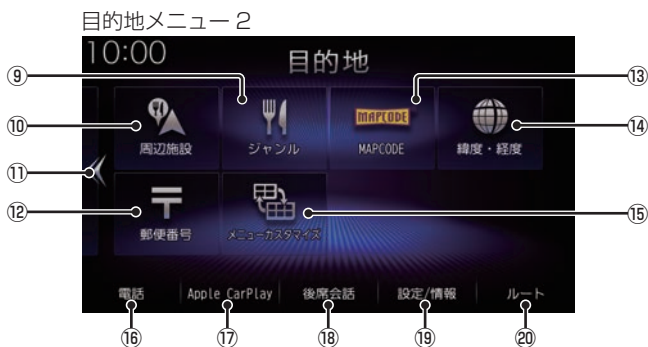
各メニュー画面について

各キーを押すことで、さまざまな機能を使うことができます。

目的地メニュー

[MENU]キーを押して表示する目的地メニューについて説明します。

目的地メニューはカスタマイズできます。(→P35)



次のページにつづく

- ① **時計**
24時間制で現在時刻を表示します。
- ② **住所** (→P88)
住所から場所を探することができます。
- ③ **名称** (→P80)
施設の名称を入力し場所を探することができます。
- ④ **電話番号** (→P88)
電話番号を入力して施設や場所を探することができます。
- ⑤ **履歴** (→P91)
検索機能を使用して周辺の地図を表示させたことがある地点などは、検索履歴として残り、再度周辺の地図を表示できます。
- ⑥ **自宅**
自宅を登録できます。(→P115) また、登録した自宅を目的地に設定できます。(→P78)
- ⑦ **>>**
右ページを表示します。
画面をフリック(P28)/スライド(P29)しても切り換えることができます。
- ⑧ **登録地点** (→P92)
登録地点を呼び出すことができます。
- ⑨ **ジャンル**
コンビニやガソリンスタンドなどの施設を分類および都道府県ごとに場所を探することができます。
→「施設ジャンルから探す」(P82)
- ⑩ **周辺施設**
現在地や目的地、ルート周辺の施設を探することができます。
→「周辺の施設を探す」(P86)
- ⑪ **<<**
左ページを表示します。
画面をフリック(P28)/スライド(P29)しても切り換えることができます。
- ⑫ **郵便番号** (→P89)
郵便番号を入力して施設や場所を探することができます。
- ⑬ **MAPCODE** (→P90)
MAPCODEを入力して施設や場所を探することができます。
- ⑭ **緯度・経度** (→P90)
緯度、経度を入力して目的地を設定できます。

- ⑮ **メニューカスタマイズ**
目的地メニューをカスタマイズできます。
カスタマイズできるのは[MENU]キーを押して最初に表示されるメニュー画面のみです。
- ⑯ **電話** ※1 (→P258)
携帯電話がBluetoothで本機に接続されている場合にハンズフリー機能をご利用になれます。
- ⑰ **Apple CarPlay** ※2 (→P39)
Apple CarPlayを利用中であれば、Apple CarPlay 機能をご利用になれます。
- ⑱ **後席会話** (→P280)
後席会話サポート機能の開始/停止や設定が行えます。
- ⑲ **設定/情報** (→P315,249)
本機の各種設定や情報を確認することができます。
- ⑳ **ルート** (→P98)
ルートの探索や編集、確認をすることができます。
目的地を設定すると表示できます。

※1 Bluetooth接続ができる携帯電話が必要です。

※2 Apple CarPlay対応のiPhoneが必要です。

AUDIO メニュー

[AUDIO]キーを押して表示するAUDIOメニューについて説明します。
AUDIOメニューはカスタマイズできます。(→P35)



① **時計**

24 時間制で現在時刻を表示します。

② **RADIO** (→P152)

ラジオ機能をご利用になれます。

③ **DVD/CD** (→P156)

ディスクスロットに挿入された各メディアの再生を行います。

④ **SD/Music Rack** (→P177)

SDカード内の音楽ファイルを再生できます。また、SDカードに音楽CDの曲を録音し、再生できます。

⑤ **USB/iPod** ^{*1} (→P206)

iPodが本機に接続されていれば、タップすると iPod 画面を表示します。USB デバイスが本機に接続されていれば、タップすると USB 画面を表示します。Apple CarPlay を利用中であれば、**Apple CarPlay** ^{*2} に変わり、タップすると Apple CarPlay 画面を表示します。(→P39)

⑥ **TV** (→P220)

地上デジタルTV放送をご覧になることができます。

⑦ **>>**

右ページを表示します。画面をフリック (P28) / スライド (P29) しても切り換えることができます。

⑧ **BTA** (→P238)

Bluetooth 対応オーディオ機器が本機に無線接続されていれば、Bluetooth Audio 機能をご利用になれます。

⑨ **HDMI** ^{*3} (→P244)

HDMI 出力機器が接続されていれば、ご利用になれます。

⑩ **AUX** ^{*4} (→P243)

外部入力に接続された機器の音声出力を行います。

⑪ **<<**

左ページを表示します。画面をフリック (P28) / スライド (P29) しても切り換えることができます。

⑫ **メニューカスタマイズ**

AUDIO メニューをカスタマイズできます。カスタマイズできるのは [AUDIO] キーを押して最初に表示されるメニュー画面のみです。

- ※ 1 iPod/iPhone を接続するには、USB ケーブル (Apple 純正) が必要です。
- ※ 2 Apple CarPlay 対応の iPhone が必要です。
- ※ 3 別売の HDMI 接続コードが必要です。車両によっては、標準装備または別売の HDMI 接続ジャックに接続します。
- ※ 4 別売の VTR コードが必要です。

目的地/AUDIOメニューをカスタマイズする

カスタマイズできるのは[MENU]キーまたは[AUDIO]キーを押して最初に表示されるメニュー画面のみです。

1 目的地メニューまたはAUDIOメニューの「メニューカスタマイズ」にタップする

→「目的地メニュー」(P31)、

→「AUDIOメニュー」(P33)

メニューカスタマイズの操作方法が表示されます。

2 OK にタップする

3 「-」または「+」にタップして、画面に表示されるボタンの数を変更する



3～8個に変更できます。

4 各ボタンをタップして、ボタンを変更する



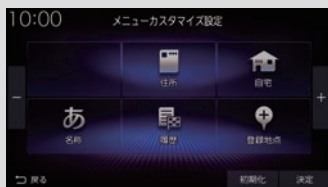
メニューのリストが表示されますので変更したいメニューにタップしてください。

5 「決定」にタップする

▼
メニューのカスタマイズが完了します。

アドバイス

- ボタンの数の変更は画面のフリック (P28) / スライド (P29) でも変更できます。
- [初期化]にタップすると工場出荷時の配置に戻ります。ただし、ボタンの数は戻りません。
- すでに配置されているボタンに変更(移動)した場合、もとの位置のボタンは何も配置されていない状態になります。



オプションボタンを設定する

❖ (オプションボタン) キーによく使う機能を1つ選んで設定できます。

お知らせ

- フロントカメラを接続している場合は、[フロントカメラ切換]機能が設定されています。
- マルチビューカメラを接続している場合は、[マルチビューカメラ切換]機能が設定されています。

1 MENU キーを押す

目的地メニューを表示します。

2 設定/情報 → システム設定 にタップする

3 ハードキー動作の設定 → オプションボタン動作の設定 にタップする

4 設定したい“機能”にタップする

自宅	現在地画面の場合、自宅を目的地に設定します。
現在地点登録	現在地を地点登録します。
昼夜切換	画面の明るさを昼用/夜用に切り換えます。
後席会話開始/停止	後席会話サポート機能の開始/停止をします。
フロントカメラ切換	フロントカメラを接続している場合、カメラ映像に切り替えます。
マルチビューカメラ切換	マルチビューカメラを接続している場合、マルチビューカメラの映像に切り替えます。
ドライブレコーダー静止画撮影	ドライブレコーダーが本機に接続されている場合、静止画撮影を行います。

5 決定 にタップする

オプションボタンの設定が完了します。

QUICKメニュー

よく使う機能を自由にまとめておけるメニューです。現在地画面(P48)から呼び出すことができます。

走行中は、選択できない項目があります。

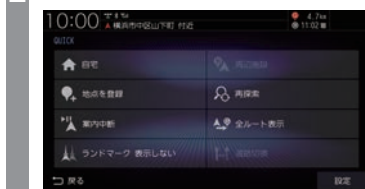
■ QUICKメニューから機能呼び出す

1 現在地画面から

QUICK にタップする



2 呼び出したい“機能”にタップする



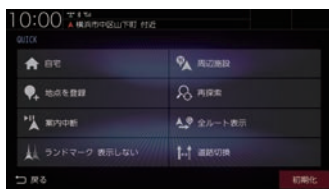
タップした機能呼び出します。

■ QUICKメニューをカスタマイズする
 あらかじめ用意された一覧をカスタマイズします。QUICKメニューに登録できる機能については、「登録できる機能について」(P38)をご覧ください。

1 現在地画面から
QUICK にタップする
 QUICKメニューが開きます。

2 **設定** にタップする

3 設定したい場所の
 “リスト” にタップする



メニュー一覧が表示されます。

4 一覧から設定したい“メニュー”
 にタップする



タップしたリストの位置に選択したメニュー
 が設定されます。

■ QUICKメニューを初期化する

1 現在地画面から
QUICK にタップする

2 **設定** にタップする

3 **初期化** → **初期化する** に
 タップする



QUICKメニューの内容を初期化します。

■ 登録できる機能について

QUICKメニューには以下の機能から8件まで登録できます。

機能	タップ時の動作
自宅*	登録されている自宅への案内を開始します。(→P78) 自宅が登録されていない場合は、自宅の登録画面を表示します。(→P115)
登録地点	登録地点のリストを表示します。(→P92)
周辺施設*	現在地周辺の施設を検索します。(→P86)
地点を登録*	現在地を地点登録します。(→P116)
初期化	本機に登録/設定した情報を初期化します。(→P353)
再探索*	ルート案内中、探索条件を選んで再探索できます。(→P102)
案内再開/中断*	ルート案内を再開/中断します。(→P114)
経由地/通過道路編集	ルートの編集画面を表示します。
全ルート表示*	ルート全体を表示した地図画面を表示します。(→P98)
案内音・操作音の設定	音声案内の音量設定画面を表示します。(→P348)
緊急注意情報	緊急注意情報を表示します。
FM多重情報	FM多重放送で受信したVICS文字/図形情報を表示します。(→P128)
ビーコン情報	ETC2.0で受信したVICS情報を表示します。(→P252)
ETC情報	本機に接続しているETC/ETC2.0車載器の情報を表示します(利用履歴など)。(→P251)
走行軌跡	走行軌跡の設定画面を表示します。(→P317)
ランドマーク 表示する/表示しない*	地図画面のランドマークの表示/非表示を切り換えます。(→P63)
ランドマーク	ランドマークの種類ごとに表示/非表示を設定できます。(→P63)
道路切換*	走行中の道路から付近の別の道路へ自車位置を変更します。
リダイヤル	ハンズフリー電話で前回発信した番号に発信します。
Bluetooth®機器の設定/登録	携帯電話登録一覧画面を表示します。
画面OFF	画面の表示を消します。(→P369)
昼夜切換	画面の明るさを昼用/夜用に切り換えます。
オプションボタン動作の設定	オプションボタンの設定画面を表示します。(→P36)
友達マップ ON/OFF	友達マップのON/OFFをします。(→P94)
友達マップ全体表示	友達マップの全体表示をします。(→P94)
ドライブレコーダー動画録画 開始/停止	ドライブレコーダーの手動録画を開始/停止します。(→P282) (ナビ連動タイプ: DRH-189Nの場合)
ドライブレコーダー動画録画 開始/延長	ドライブレコーダーの手動録画を開始/延長します。(→P289) (ナビ連動タイプ: DRH-204VDの場合)
ドライブレコーダー静止画撮影	ドライブレコーダーの静止画撮影をします。(→P283)

「※」は、工場出荷時に設定されているメニューです。

Apple CarPlay を利用する

本機に Apple CarPlay 対応の iPhone を USB ケーブルで接続すると Apple CarPlay を利用できます。

接続する

本機と iPhone を USB ケーブルで接続します。接続のしかたについては「[接続する](#)」(P206)をご覧ください。

お知らせ

- iPhone の適合ソフトウェアは、<https://www.honda.co.jp/navi/support/> をご覧ください。
- あらかじめ、「Apple CarPlay 連携機能設定」を [有効] に設定しておく必要があります。(→P315)
(初めて本機を起動したときに「[iPhone の機能選択画面](#)」(P18)で [Apple CarPlay] を選択した場合は、すでに [有効] に設定されています。)
- 本機の設定で「Apple CarPlay 連携機能設定」を [有効] に設定していても、iPhone 側で使用しない設定にしている場合は、Apple CarPlay を利用できません。iPhone 側でも Apple CarPlay を使用する設定にしてください。
- Apple CarPlay を利用中は、下記の機能が利用できません。
 - ハンズフリー電話機能 (Apple CarPlay の電話機能は使用可能)
 - NaviCon
 - SDMovie、USBMovie、USBMusic、iPod 再生 (iPhone の音楽再生は Apple CarPlay で行ってください。)
- Apple CarPlay を利用中でも [現在地] キーを押すとナビゲーションの現在地画面を表示します。
- [AUDIO] キーを押すと Apple CarPlay の状態によっては Apple CarPlay 画面を表示します。

お知らせ

- 走行中は Apple CarPlay の動作が制限される場合があります。
- iPhone の電波状態が悪いなど iPhone の状態によっては Apple CarPlay の動作が制限される場合があります。
- Apple CarPlay は Apple 社が提供するアプリケーションであり、各機能は予告なく変更・終了することがありますので、あらかじめご了承ください。

Apple CarPlay 画面を表示する

- AUDIO** キーを押し、
Apple CarPlay にタップする



Apple CarPlay の HOME 画面を表示します。

Siriを使う

Apple CarPlay画面以外からでも起動できます。


■ Siriを起動する

1 AUDIO キーを長押しする

Siriが起動します。

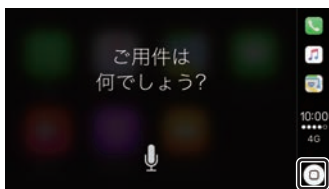
2 用件を話す

アドバイス

- ステアリングリモコンの  キーを長押しすることでもSiriを起動させることができます。

■ Siriを終了する

1 にタップする



Siriを終了し、Apple CarPlayのHOME画面を表示します。

Apple CarPlayのマップを表示する

1 現在地 キーを長押しする

Apple CarPlayのマップを表示します。

Apple CarPlayを終了する

本機からiPhoneを取り外すとApple CarPlay接続が解除され終了できます。Apple CarPlayを利用中は、本機の機能が一部制限されますのでApple CarPlayを利用しないときは、Apple CarPlayを終了してください。

NAVI

ナビゲーション機能に関する操作方法を説明します。

基本操作	44	音声認識で操作する.....	55
ナビゲーション機能について	44	あいまい検索.....	55
ナビゲーションとは.....	44	近くのコンビニエンスストアを 検索して目的地に設定する.....	56
GNSS (Global Navigation Satellite System).....	44	検索結果のリストからの操作.....	56
QZS (Quasi-Zenith Satellite).....	44	文字入力のかた	57
マップマッチング.....	44	文字入力用キーボード.....	57
GPS アンテナについて.....	44	変換候補のリストについて.....	58
地図データについて.....	44	入力できる文字の種類.....	58
測位について.....	45	数字入力用キーボード.....	59
測位が正確にできない場合.....	45	施設名称入力用キーボード.....	60
誤差について.....	45	地図画面を設定する	61
3次元測位について.....	45	地図画面を選択する.....	61
2次元測位について.....	45	画面分割について.....	61
非測位について.....	45	スタンダード.....	61
ルートの探索方法について.....	46	スタンダード2画面.....	61
ルートの案内について.....	46	高速略図.....	62
ナビゲーションを操作するときの注意.....	47	PsideP.....	62
マルチインフォメーション		地図向きについて.....	62
ディスプレイの交差点案内表示.....	47	自車基準.....	62
ナビ画面について	48	北基準.....	62
地図表示内容について.....	48	地図の種類について.....	63
現在地画面 (ルートなし).....	48	2D マップ.....	63
現在地画面 (ルートあり).....	49	3D ビューマップ.....	63
スクロール画面.....	50	ランドマークの表示を個別に設定する.....	63
各アイコンについて.....	51	地図色を設定する.....	64
目的地メニューを表示する.....	51	地図色について.....	64
ルートメニューを表示する.....	52	地図の文字サイズを設定する.....	64
現在地画面を表示する.....	52	案内表示について	65
音声認識	53	交差点案内図.....	65
音声認識について.....	53	一般道方面看板表示.....	65
目的地や登録地点などの設定.....	53	リアル交差点案内図.....	65
バーサイン発話.....	53	立体交差点案内図.....	66
音声認識の開始方法について.....	53	都市高速入口イラストマップ.....	66
キー操作による開始.....	53	料金所案内図.....	66
現在地画面からの操作.....	54	レーン案内.....	67
発話マークが表示されている画面からの操作.....	54	3D リアルジャンクション.....	67
音声認識コマンドリストを確認する.....	54	県境案内.....	67
最初に認識できる音声認識コマンド.....	54	カーブ案内.....	67

通過道路の設定・変更	108	VICS情報のレベル	122
ルートから通過道路を設定する	108	レベル1(文字)	122
ルートから通過道路を変更する	109	レベル2(簡易図形)	122
探索条件設定画面から通過道路を設定する	109	レベル3(地図)	122
探索条件設定画面から通過道路を追加する	109	音声情報	123
探索条件設定画面から通過道路を変更する	109	表示内容について	124
通過道路を消去する	110	VICSメニューについて	125
通過道路を並べ替える	110	VICS記号について	126
入口/出口のICを変更する	110	VICSメニューを表示する	127
IC指定を解除する	111	VICSセンターへのお問い合わせ	127
5つのルートから選ぶ	111	VICSセンター お客様相談窓口	127
迂回ルートを探査する	112	交通情報を調べる	128
別ルートを探査する	112	文字・図形情報を見る	128
internavi ルートを探査する	112	渋滞情報を切り換える	128
VICS規制を回避する	113	安全運転支援情報を見る	129
スマートICを回避する	113	VICSによる自動処理	130
ルート案内を中断/再開する	114	緊急情報の割り込み表示	130
ルートを消去する	114	再表示するには	130
		ルート自動更新	130
		図形/文字情報の割り込み表示	131
		VICS局を選ぶ	132
		自動選局	132
		県指定	132
		周波数指定	132
登録地点の設定	115		
自宅を登録する	115		
登録地点を設定する	116		
現在地を登録する	116		
探した場所を登録する	116		
登録地点を変更する	118		
登録地点情報を変更する	118		
登録地点情報画面について	118		
名称	118		
読み仮名	119		
電話	119		
場所	119		
地点マーク	119		
登録地点の種別	120		
リストの順序を変更する	120		
順序の種類について	120		
登録地点を消去する	121		
VICS機能	122		
VICSについて	122		
VICSのメディアと特徴	122		
FM多重放送	122		
ETC2.0	122		
インターナビ交通情報	122		

基本操作

ナビゲーション機能について

お知らせ

- 本機のナビゲーション機能と Apple CarPlay のナビゲーション機能は、連動しておりません。
本機でルートを設定すると Apple CarPlay で設定したルートは解除され、反対に Apple CarPlay でルートを設定すると本機で設定したルートは解除されます。
本機でルート案内中に、ルート案内中の iPhone を接続すると、本機のルート案内は解除され iPhone のルート案内が Apple CarPlay として継続されます。

ナビゲーションとは

ナビゲーションとは、自車の位置を測定して、設定した目的地までのルート案内するシステムのことです。地図上に表示される自車の位置は、「GNSS」と「マップマッチング」という機能で測定されます。

GNSS (Global Navigation Satellite System)

衛星を利用して位置を検出するシステムを「GNSS」といいます。GNSS は、一般的な「GPS」の他に、ロシアの「GLONASS」やヨーロッパの「GALILEO」、日本の「QZS (準天頂衛星)」の衛星を利用しています。GPS 衛星だけを利用した場合よりも位置精度が向上します。

- 自車の位置を測位するには、見晴らしのよい場所で2分程度かかります。本機を最初に使用するときや、長時間使用しなかったときは、自車の位置を測位するまでに5分程度かかります。

QZS (Quasi-Zenith Satellite)

別名「準天頂衛星」とも呼ばれます。

ある一定の場所に、長時間滞在する軌道をとる人工衛星のことです。日本の天頂付近に長時間滞在するため、GPS 衛星だけでは測位が困難だった場所でも、準天頂衛星の補完によって測位が向上します。

本機では準天頂衛星を活用したさまざまなサービスには対応しておりません。

マップマッチング

自車の走行軌跡データと地図データ上の道路形状を比較して、走行中の道を推測して地図に表示する機能を「マップマッチング」といいます。

注意

- ナビゲーションで表示される地図や交通規制は地図データ作成時の各種情報に基づいて作成されていますので、実際の道路や交通規制と異なる場合があります。実際の道路や交通規制に従って走行してください。

GPS アンテナについて

本機の GPS アンテナでは、GNSS の衛星および準天頂衛星からの電波を受信します。

アドバイス

- 人工衛星からの電波がさえぎられると、自車の位置が正しく表示されないことがありますので以下のことをお守りください。
- ウィンドウガラスに鏡面タイプやカーボン含有のフィルムを貼らないでください。
- GPS アンテナの上や周辺にものを置いたり、ETC アンテナを取り付けたりしないでください。
- 携帯電話や PHS、パソコンなどを GPS アンテナの近くで使用しないでください。

地図データについて

地図データは誤字・脱字・位置ずれなどがある場合があります。

■ 測位が正確にできない場合

トンネルの中やビル内の駐車場、高層ビルで囲まれているような場所、山や樹木で囲まれているような場所、高速道路や電車の高架下などは人工衛星から電波を受信できないことがあります。この場合、測位はジャイロセンサーと車速センサーによる自律航法になりますので、正確な自車位置の測位ができなくなることがあります。

■ 誤差について

人工衛星から電波を受信できないとき、誤差が生じやすくなり、自車位置が正しく表示されることがあります。

しばらく走行して人工衛星から電波を受信できるようになると、現在地のずれは自動的に修正されます。

自車位置が正しく表示されない原因

- ・ 高速道路と一般道路が近くにあるとき
- ・ 碁盤目状の道路を走行しているとき
- ・ 勾配の急な山岳路を走行しているとき
- ・ 直線路を長い間走行した後、右左折したとき
- ・ エンジンスイッチ ON 直後
- ・ 渋滞中や駐車場などの低速走行しているとき（車種によっては低速走行時に車速信号を出力していないため）
- ・ タイヤチェーンを装着して走行しているとき
- ・ ターンテーブルなどで旋回したとき
- ・ 角度が小さい Y 字路を走行しているとき
- ・ フェリーなどで車両運搬移動した後
- ・ 立体駐車場やらせん状の道路を走行しているとき
- ・ 広い道路で蛇行運転しているとき
- ・ 応急用タイヤなどに交換したとき
- ・ 雪道や砂利道などの滑りやすい道路を走行しているとき

■ 3次元測位について

4 個以上の人工衛星から位置精度が期待できる有効な電波を受信できる場合、緯度、経度、標高の 3 次元の位置を計算します。

■ 2次元測位について

3 個以上の人工衛星から位置精度が期待できる有効な電波を受信できる状態で 3 次元測位に至らない場合、標高が前回と変わらないと想定して緯度、経度の 2 次元の位置を計算します。この場合 3 次元測位よりも位置精度は低下します。

■ 非測位について

人工衛星から位置精度が期待できる有効な電波を受信できない場合非測位となります。

ルートの探索方法について

- ルート案内で表示されるルートは目的地までの参考ルートであって必ずしも最短ルート、渋滞していないルートではありません。
- すべての道路がルート案内の対象道路ではありません。
- 探索条件で有料優先を選択した場合でも、一般道路を通ったほうがよいと判断される場合は、有料道路を通らないルートを表示することがあります。また、自転車位置が有料道路上にある場合や目的地が有料道路上にある場合は、一般優先で探索を選択していても、有料道路を通るルートを表示することがあります。
- フェリーを使うルートは通常の道路より推奨しにくく設定してあります。このためフェリーを使ったほうが早く目的地に到着する場合でも、フェリーを使わないルートを表示することがあります。
- 有料道路のインターチェンジ、パーキングエリア、サービスエリアを目的地や経由地にする場合は施設検索および高速路図から選択し、地図をスクロールさせずに設定してください。
- 同じ場所を目的地や経由地に設定した場合でも前回作成したルートと同じにならない場合があります。
- 通行できない歩道や階段などを含むルートを表示する場合があります。
- 目的地まで道がない場合や細い道しかない場合は目的地から離れた場所までのルートを表示する場合があります。
- 道路形状によっては施設に横付けする探索を行うため遠回りのルートを表示する場合があります。
- 長期通行規制などがあった場合、規制情報を考慮したルートを探索する場合があります。
- 冬季通行止めなどは一部対応していないものや期間が実際と異なる場合があります。
- スマートICを通るルートを探索した場合、スマートICに設けられている対象車種制限は考慮していません。

ルートの案内について

- ルート探索をして自車がルート上のときは目的地または次に通過する経由地までの距離を表示します。
- ルート探索をして自車がルート外の場合は目的地や経由地までの距離と到着予想時刻がグレーで表示され、ルートから外れた場所から目的地または経由地までのルートの距離を表示します。
- 目的地への到着予想時刻表示は、地図データに格納されている所要時間データを元に走行情報を学習して算出しています。
- 交差点で曲がるのに交差点名称の案内や音声案内されない場合があります。
- 右左折案内が実際の道路形状と異なる案内をする場合があります。
- 案内ルートを外れて手前の交差点などで曲がったときなどに、外れる前のルートに対する音声案内をする場合があります。
- 案内距離および案内地点までの所要時間は目安ですので多少ずれることがあります。

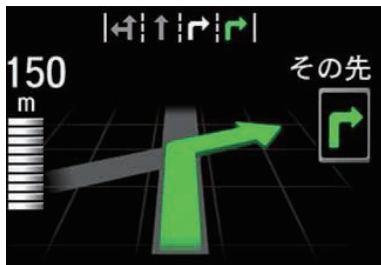
ナビゲーションを操作するときの注意

- ルート案内中は、必ず実際の交通規制に従ってください。交通事故の原因になるおそれがあります。
- ルートは地図データを使って探索します。実際の工事規制や一方通行などの通行規制と異なることがあります。必ず、実際の交通規制に従ってください。
- 時間規制などの交通情報はルート探索した時刻のものが反映されます。運転の際は必ず実際の交通規制に従ってください。(規制時間は開始 30 分前から考慮されます。)
- 自車が移動した距離は、スピードセンサー(タイヤの回転数に比例)で測定しています。新品または規格外のタイヤを装着しているときやタイヤの空気圧が適正でないときは、誤差が生じやすくなり、自車の位置が正しく表示されないことがあります。
- 走行中は道路の表示量が制限され、表示されない道路があります。(細街路など)
- 目的地までの距離が極端に近い、または遠いときはルートが探索できないことがあります。
- ルートを外れて走行しても、自動的にルートを再探索します。
- 到着予想時刻は、道路状況や運転のしかたによって変化します。
- 走行中は一部操作に制限がかかります。走行中の操作はなるべく控え、安全な場所に車を停めて操作してください。

マルチインフォメーションディスプレイの交差点案内表示

ルート案内中、交差点の曲がる方向や交差点までの距離などをメーター内マルチインフォメーションディスプレイに表示します。

※ 車両の装備やグレードが交差点案内表示に対応している必要があります。



お知らせ

- 表示される道路形状や案内矢印方向の情報などは、実際と異なる場合があります。
- 仕様およびデザインは、車両のグレードによって異なります。また、改良のため予告なく変更することがあります。

ナビ画面について

ナビの地図画面や各メニュー画面の表示内容について説明します。

お知らせ

- ・各メニューの項目はナビの設定や走行状態により変化し、表示されない項目もあります。
- ・本書のナビ画像は説明用に一部ランドマークを非表示にしています。

地図表示内容について

■ 現在地画面（ルートなし）

[現在地]キーを押したときに表示される現在地画面の表示内容について説明します。



- ① **各アイコン** (→P51)
Bluetoothの接続状態などを表示します。
- ② **時計**
24時間制で現在時刻を表示します。
- ③ **TELアイコン** (→P51)
電話を使用しているときに表示します。
- ④ **(→P61)**
タップすると、ビュー切替画面を表示します。
また、ランドマークや地図の文字サイズ、
地図色などの設定ができます。
- ⑤ **VICS提供時刻** (→P124)
VICSの提供時刻を表示します。
- ⑥ **internavi** (→P302)
タップすると、internavi画面に切り替わります。
- ⑦ **気象予報** (→P307)
internavi ウェザーの気象予報を表示します。
- ⑧ **縮尺アイコン** (→P69)
表示されている地図の縮尺を示します。
☺ または ☺ にタップすると、縮尺を変更
できます。
- ⑨ **QUICK** (→P36)
QUICKメニューを表示します。
- ⑩ **ステータスバー**
各アイコンや現在地情報などを表示します。
タップすると、AUDIO再生情報 (P138)
を表示します。
- ⑪ **現在地名**
現在地名を表示します。
- ⑫ **自車位置マーク**
矢印が車の位置を示し、矢印の向きが進行
方向を示します。
- ⑬ **会話** (→P280)
タップするたびに、後席会話機能の開始/
停止を切り換えます。
- ⑭ **ボタン消**
タップすると、③～⑨の表示を消します。
タップするたびに、表示/非表示が切り換
わります。
- ⑮ **発話** (→P54)
音声認識を開始します。

■ 現在地画面（ルートあり）



① (赤色の丸マーク)

次に曲がる交差点を示しています。

② ルート

目的地までの道のりを色分けした線で表示します。

一般道		(緑色)
細街路		(うすい緑色)
高速/有料道 フェリー航路		(水色)

③ (黄色の三角マーク)^{※1}

レーン案内、または一般道方面看板を表示している交差点を示しています。

④ 目的地目安線 (→P318)

目的地の方向を示す直線を表示します。[表示の設定]の「目的地目安線」で[目的地]、[次の経由地]または[表示しない]を選ぶことができます。

⑤ 目的地/経由地情報

目的地または経由地の到着予想時刻、距離を示します。自車が経路から外れるとグレーで表示されます。

経由地を設定している場合、タップするたびに、目的地/次の経由地の情報が切り換わります。

⑥ リアカメラ de あんしんプラス (→P273)

タップするたびに、サポート機能のON/OFFが切り換わります。

⑦ 交差点案内アイコン (→P98)

次に曲がる交差点 (赤色の丸マーク) および2番目に曲がる交差点までの距離と曲がる方向を示します。タップすると、交差点案内図を表示します。

⑧ 交差点名^{※1}

▼ (黄色の三角マーク) が示している交差点名を表示します。交差点名がない場合、ルート案内中は「案内交差点」、非案内中は「交差点」と表示します。

⑨ レーン案内^{※1} (→P67)

▼ (黄色の三角マーク) が示している交差点にレーン情報が存在すると表示します。

⑩ 一般道方面看板^{※1} (→P65)

前方の交差点に一般道方面看板の情報が存在すると表示します。

※1 ルートを設定していなくてもレーン情報、一般道方面看板情報があれば、表示します。

■ スクロール画面

地図スクロール (P70) を行ったときや検索後に表示するスクロール画面の表示内容について説明します。



① ④ マーク

設定された経由地 (P104) を ④ マークで示します。

経由地は5つまで設定でき、通過する順に ①, ②, ③, ④, ⑤ と表示します。

② + マーク

スクロールした場所の中心地点に表示されます。地点の設定 (目的地、経由地、登録地の設定) ができるときはオレンジ色、地点の設定ができないときは白色で表示します。

③ ⑤ マーク

設定された通過道路 (P108) を ⑤ マークで示します。

通過道路は5つまで設定でき、通過する順に ①, ②, ③, ④, ⑤ と表示します。

④ ⑥ マーク

設定された目的地 (P78) を ⑥ マークで示します。

⑤ 戻る

1つ前に戻ります。

⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺

+ マークから自転車位置までの距離を表示します。

⑦ ランドマーク

商標や観光地などをマークで示します。

⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺

+ マーク位置を微調整できます。
→「スクロールの微調整」(P70)

⑨ 地点メニュー

目的地や経由地、登録地点の設定が行えます。

詳細情報	+ 地点が ② に変わるとその地点の建物情報やVICIS規制アイコンの詳細情報を表示できます。 →「建物情報やVICIS情報を見る」(P73)
周辺施設	+ 地点周辺の施設を探ることができます。 →「周辺の施設を探す」(P72)
登録する	+ 地点を登録できます。 →「登録地点に設定する」(P72)
ここへ寄る	+ 地点を経由地に設定できます。 →「経由地に設定する」(P71)
ここへ行く	+ 地点を目的地に設定できます。 →「目的地に設定する」(P71)

アドバイス

- 道幅の狭い一部の道路 (細街路) は走行すると表示されなくなりますが故障ではありません。
- ⑦ ランドマークは ② →「ランドマーク」にタップして、「表示しない」に設定すると地図画面から表示を消すことができます。
- ⑦ ランドマークは種類ごとに表示する / しないを選ぶことができます。
→「ランドマークの表示を個別に設定する」(P63)

■ 各アイコンについて

現在地画面 (P48) に表示されるアイコンについて説明します。

	本機に接続した電話を使用しているときに表示します。 タップすると、通話画面 (P265) を再表示します。
	準天頂衛星 (P44) を受信時に表示します。
	Bluetooth接続されていると表示します。 →「Bluetoothの設定」(P338)
	携帯電話の電波強度を表示します。
	Music Rackへ音楽CDを録音中に表示します。
	ETCを接続している場合に表示します。 →「ETC情報を確認する」(P250)
	ドライブレコーダーを接続している場合に表示します。 →「ドライブレコーダーを使う (DRH-189N)」(P281) →「ドライブレコーダーを使う (DRH-204VD)」(P288)
	フロントカメラが接続されている場合に表示します。 →「フロントカメラを使う」(P267)
	友達マップ機能がONの場合に表示します。

目的地メニューを表示する

目的地の設定や地点登録がこのメニュー画面から行えます。



目的地メニューを表示します。

お知らせ

- 各ボタンの説明は「目的地メニュー」(P31) を参照してください。

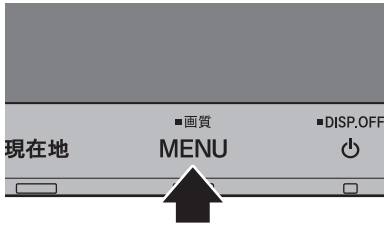
ルートメニューを表示する

ルート編集はこのメニュー画面から行えます。

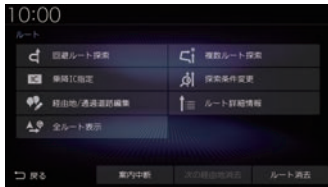
お知らせ

- 目的地を設定すると、ルートメニューを表示できます。

1 MENU キーを押す



2 ルート にタップする



ルートメニューを表示します。

回避ルート探索	VICS規制(P113)、スマートIC(P113)を回避するルートや別ルート(P112)、迂回するルート(P112)を探索するときに使用します。
複数ルート探索	5つの探索条件のルートを一度に探索し選ぶことができます。(→P111)
乗降IC指定	利用したいインターチェンジを選ぶことができます。(→P110)
探索条件変更	ルートの探索条件を変更できます。(→P102)
経由地/通過道路編集	経由地(P104)や通過道路(P108)の設定や編集、消去などができます。
ルート詳細情報	ルートの詳細情報を確認できます。(→P99)
全ルート表示	現在地から目的地までのルートを確認できます。(→P98)
案内中断/ 案内再開	ルート案内を中断または再開できます。(→P114)
次の経由地消去	次に通過する予定の経由地を消去できます。(→P106)

ルート消去

設定した目的地や経由地を削除し、ルートを消去します。(→P114)

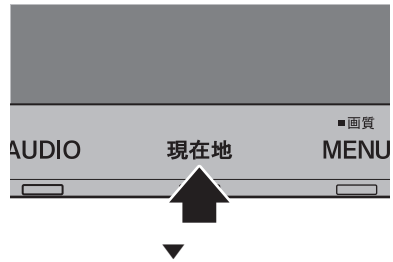
現在地画面を表示する

スクロール画面(P50)や目的地メニュー(P31)などから現在地画面(P48)を表示できます。

アドバイス

- AV画面などその他の機能からも現在地画面を表示できます。

1 現在地 キーを押す



ナビゲーション画面の現在地画面を表示します。

音声認識

本機では、NAVI機能の一部を音声認識によって操作することができます。

お知らせ

- 以下のような場合、音声認識の性能が低下することがあります。
 - ガイダンス音声の音量が大きすぎる場合
 - 音楽を外部アンプ接続で再生している
 - 外部からの雑音が多い
- また、助手席や後部座席の同乗者の会話を誤認識してしまう可能性があります。
- 認識性能が悪い状態がしばらく続く場合、「音声認識の設定」(P348)から「学習データリセット」を実施することで改善されることがあります。

音声認識について

■ 目的地や登録地点などの設定

音声認識による操作のみで周辺の施設などを検索でき、目的地や経由地、登録地点の設定が行えます。

詳しくは、「音声認識で操作する」(P55)をご覧ください。

■ バージイン発話

本機は、音声認識後の音声ガイダンス中でも次の発話を行うと、音声認識コマンドを認識します。

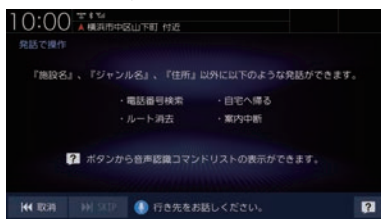
バージイン発話とは、音声ガイダンス中でも次の発話を受け付けて、次の操作状態に移行する機能を言います。

アドバイス

- 本機能を有効にするには、「音声認識の設定」(P348)で「バージイン発話」を[使用する]に設定しておく必要があります。
- 外部アンプを使用した場合、音声ガイダンス中のバージイン発話の認識性能が低下する場合があります。
- ガイダンス音声の音量が大きすぎる場合、音声ガイダンス中のバージイン発話の認識性能が低下する場合があります。

音声認識の開始方法について

音声認識は、以下のいずれかの方法で開始することができます。



音声認識が可能な状態です。




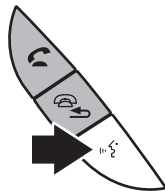
音声を認識できません。上記の発話マークが表示されてから発話してください。

アドバイス

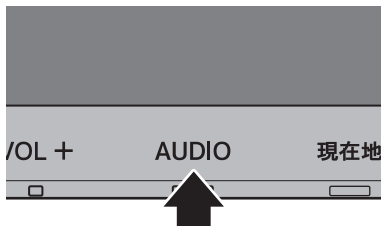
- [取消]にタップすると、音声認識を1つ前の状態に戻します。
- [SKIP]にタップすると、音声ガイダンスを中断し、次の発話を受け付けることが可能な状態になります。

■ キー操作による開始

現在地画面または発話マークが表示されている画面など、音声認識が可能な状態であれば、ステアリングリモコンの  キーを押す、または[AUDIO]キーを長押しすると開始できます。



※車種によって、ボタンの形状は異なります。



現在地画面からの操作



現在地画面の[発話]にタップすると開始します。

発話マークが表示されている画面からの操作



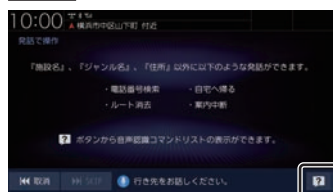
発話マークにタップすると開始します。

音声認識コマンドリストを確認する

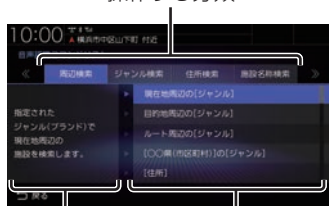
操作する上で発話する言葉がわからない場合に確認できます。

1 現在地画面で **発話** にタップする
発話で操作の画面が表示されます。

2 **?** にタップする



操作する分類



操作の説明

コマンド

音声認識で操作できるコマンドのリスト画面を表示します。

■ 最初に認識できる音声認識コマンド
下記の発話例を参考に音声認識を始めてください。

種類	発話例
検索コマンド	“電話番号検索”
登録地点名称	“会社”、“実家”
周辺検索	“現在地周辺のコンビニ”、“コンビニ”
住所+ジャンル	“横浜市のコンビニ”
住所	“神奈川県横浜市”
住所+施設名	“横浜市の〇〇ホテル”
施設名	“〇〇ホテル”

アドバイス

- “神奈川県横浜市”と発話することで横浜市の地図が表示されます。
この住所指定では、自車がある都道府県内の場合には都道府県名を省略することができます。
- 音声認識のコマンドの種類は変更できません。

音声認識で操作する

音声認識では、住所やジャンル、登録地点（“会社”など設定した名称）を発話することで場所を探すことができます。また、“電話番号検索”と発話することで電話番号から場所を探すことができます。ここでは、音声認識での操作の一例を説明します。

■ あいまい検索

施設名などのキーワードを発話して、検索することができます。

1 現在地画面で **発話** にタップする
発話で操作の画面が表示されます。

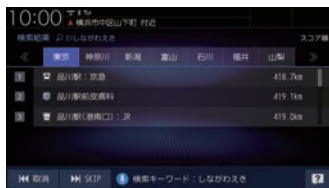
2 探している施設の
キーワードを発話する

“とうきょう〇〇”や“〇〇公園”などと発話します。

キーワードを発話すると、あいまい検索リストを表示します。

3 リストを絞り込む

“東京都”や“駅”など都道府県名やジャンルなどを発話することでリストを絞り込むことができます。



発話対象	内容
都道府県名	都道府県のタブを切り換えます。
市区町村名	都道府県より下の住所を発話します。発話した住所でリストを絞り込みます。
ジャンル	ブランド名または、“ファミレス”や“コンビニ”などを発話します。発話したジャンルでリストを絞り込みます。

4 リストを並べ替える

“スコア順”または“距離順”と発話することでリストを並べ替えることができます。

発話対象	内容
スコア順	検索キーワードとの一致度（スコア）が高い順に並べ替えます。
距離順	自転車位置から施設までの直線距離が短い順に並べ替えます。並べ替えは都道府県ごとになります。

5 “次ページ”または“前ページ”と発話し、施設を探す

6 “1番目”と発話する

探している施設周辺の地図を表示します。引き続き、“ここへ行く”と発話すると目的地設定、“ここを登録”と発話すると登録地点設定などの操作が行えます。

アドバイス

- 手順6の操作で“1番目へ行く”または“1番目を登録”と発話すると施設周辺の地図を表示することなく目的地設定、登録地点設定を行うことができます。
- “東京都の～”や“横浜市の～”といった地域を限定した検索も可能です。

■ 近くのコンビニエンスストアを検索して目的地に設定する

1 現在地画面で **発話** にタップする
発話で操作の画面が表示されます。

2 “近くのコンビニ” と発話する

現在地周辺のコンビニエンスストアのリストが表示されます。

3 “次ページ” または “前ページ” と発話し、行きたい地点を探す



4 “3番目の地点に行く” と発話する

▼
ルート設定が完了します。

アドバイス

- “コンビニ” などと発話しても現在地周辺の施設が検索可能です。

■ 検索結果のリストからの操作

1 検索結果のリストで“発話マーク”にタップする



2 “次ページ” または “前ページ” と発話し、登録したい地点を探す



3 “2番目の地点を登録” と発話する

▼
場所の登録が完了します。

文字入力のしかた

文字入力キーボードの各メニューについて説明します。

文字入力用キーボード



※画面は入力した情報を編集するときの説明用に作成したものです。

① 入力文字表示部

入力した文字を表示します。

“背景が白色”のときは確定前の文字で[変換]で漢字に変換できます。

“背景が黒色”のときは、確定済みで変換はできません。

② カーソル

「|」で表示され、「|」の左側に文字が入力されます。

③ 変換

確定前の文字を変換するための変換候補リストを表示します。

→「変換候補のリストについて」(P58)

④ 入力キーボード

タップで表示されている文字を入力できます。

⑤ 半角 / 全角

入力キーボードに表示される文字が半角→全角→半角と切り換わります。

⑥ 戻る

1つ前の画面に戻ります。

⑦ 小文字 / 大文字

タップで入力キーボードに表示される文字が小文字→大文字→小文字と切り換わります。

⑧ <X>

入力中の文字を一文字削除します。

⑨ ◀, ▶

「|」の位置を移動します。

⑩ 無変換

確定前の文字を変換せずに確定します。

⑪ かな

入力キーボードに表示される文字が「ひらがな」に切り換わります。

⑫ カナ

入力キーボードに表示される文字が「カタカナ」に切り換わります。

⑬ 英数

入力キーボードに表示される文字が「アルファベット」、「数字」および簡単な「記号」に切り換わります。

⑭ 記号

入力キーボードに表示される文字が「数字」と「記号」に切り換わります。

⑮ 特殊

入力キーボードに表示される文字が「特殊文字」に切り換わります。

⑯ 入力完了

入力された文字をすべて確定し、文字入力モードを終了します。

⑰ 全消去

入力中の文字をすべて削除します。

アドバイス

- 機能や文字の種類によって、表示されないボタンや別のボタンになることがあります。

数字入力用キーボード

電話番号や郵便番号など数字のみを入力できるように用意されています。



施設名称入力用キーボード



① 入力文字表示部

入力した文字を表示します。
“背景が白色”のときは確定前の文字です。
“背景が黒色”のときは、確定済みの文字です。

② 入力候補リスト

入力した文字に続く文字や言葉を予測し候補を表示します。
タップで入力文字表示部へ入力します。
[←] または [→] にタップして候補リストを左右に送ったり戻したりできます。

③ 入力キーボード

タップで表示されている文字を入力できます。

④ 戻る

1つ前の画面に戻ります。

⑤ [X]

未確定の文字を1文字削除します。未確定の文字列がない場合は、1つ前に確定した文字列を未確定の状態に戻します。
ロングタップ (P28) するとまとめて削除できます。

⑥ [&条件]

①入力文字表示部に「&」が入力され別のキーワードを追加できます。
キーワードは最大3語まで指定できます。

⑦ 確定

未確定の文字を確定します。

⑧ 小文字 / 大文字

タップで入力キーボードに表示される文字が小文字→大文字→小文字と切り換わります。

⑨ 検索する

入力した文字の検索結果を表示します。

地図画面を設定する

地図の表示状態を切り換えたり、ランドマークの表示や地図色を変更したりすることができます。

地図画面を選択する

1 [] にタップする



2 切り換えたい設定にタップする



3 [戻る] にタップする

地図の画面分割方法または向き、種類が切り換わります。

アドバイス

- 地図の画面分割方法と向き、種類は別々に選択できます。
- スタンダード2画面の右画面を変更する場合は、右画面側の [] にタップします。



ただし、右画面に3Dビューマップは表示できません。

画面分割について

地図の画面分割方法について説明します。

■ スタンダード

標準的な地図を1画面に表示します。



■ スタンダード2画面

縮尺、方位が違う2つの地図を同時に表示できます。



アドバイス

- 左画面には2Dマップ、3Dビューマップを表示できます。
- 右画面には、2Dマップのみ表示できます。

■ 高速略図

現在地を起点とした高速出入り口やサービスエリアの一覧を表示します。



アドバイス

- 高速略図では、さまざまな情報を確認できます。
→「高速道路情報について」(P74)
- 高速略図を選択するには高速道路を走行している必要があります。
- 1画面(全面)には、表示されません。
- 各施設までの距離および情報を調べることができます。

■ PsideP

地図とオーディオ画面を同時に表示します。



アドバイス

- 音楽を再生しているときは、再生や一時停止、早送り、早戻しの操作が行えます。また、リピートおよびランダム切り換えもできます。
- ラジオや交通情報を選択しているときは、プリセットボタンを表示します。
- AVソースによって、操作が行えるボタンの表示状態が異なります。

地図向きについて

切り換えることのできる地図の向きについて説明します。

■ 自転車基準

自転車の進行方向を上とした地図を表示します。



■ 北基準

北を上とした地図を表示します。



地図の種類について

切り換えることのできる地図の種類について説明します。

■ 2Dマップ

「自車基準」または「北基準」の地図向きが選べる一般的な地図を表示します。





■ 3Dビューマップ

上空から見下ろした地図を表示します。



アドバイス

- 3Dビューマップ表示中、[ビュー切換]→[3D視点切換]にタップすると、角度を切り換えることができます。
- 地図をスクロール (P70) すると、  ボタンが表示され、タップすると方位を切り換えることができます。

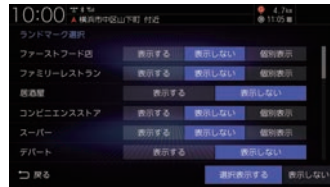
ランドマークの表示を個別に設定する

ランドマークの種類ごとに表示する/しないを設定できます。

1 にタップする

2 **ランドマーク** にタップする

3 種類ごとに **表示する** または **表示しない** をタップしていく




表示するランドマークの選択が完了します。

アドバイス

- [個別表示]がある場合は、タップすることで表示するランドマークをさらに細かく設定できます。
- 一時的にすべてのランドマークを地図画面に表示させたくない場合は、ランドマーク選択画面の下部にある[表示しない]にタップします。再度、表示設定したランドマークを表示する場合は、[選択表示する]にタップします。
- 縮尺が10m～200mのときに表示します。

地図色を設定する

地図の表示色を設定できます。

- 1  にタップする
- 2 **地図色・地図文字サイズ** にタップする
- 3 設定したい“色”にタップする








地図色の設定が完了します。

■ 地図色について






ライト	地図を明るめの色合いにし、交差点名、IC名を強調表示します。また、施設名は色調を地図色に近づけ目立たないようにします。
ダーク	地図を落ち着いた色合いにし、道路線を強調表示します。
ユニバーサルデザイン	地図を明るめの色合いにし、必要な情報を見やすく整理します。

※ 水域、都道府県界、JR・私鉄は対象外






ライト

高速道路 / 都市高速 / 有料道路	 [青色]
一般国道	 [赤色]
主要地方道	 [緑色]
主要一般都道府県道	 [橙色]
その他の道路	 [灰色]


ダーク

高速道路 / 都市高速 / 有料道路	 [紫色]
一般国道	 [赤色]
主要地方道	 [緑色]
主要一般都道府県道	 [橙色]
その他の道路	 [白色]

ユニバーサルデザイン

高速道路 / 都市高速 / 有料道路	 [青色]
一般国道	 [灰色]
主要地方道	 [灰色]
主要一般都道府県道	 [灰色]
その他の道路	 [白色]

地図の文字サイズを設定する

- 1  にタップする
- 2 **地図色・地図文字サイズ** にタップする
- 3 **標準** または **大** にタップする

文字サイズの設定が完了します。

案内表示について

本機では状況に応じて、さまざまな案内を表示します。

交差点案内図

ルート走行中、案内ポイントに近づいたときに音声と共に表示します。

交差点までの距離や交差点名、方面名称を表示します。

交差点までの距離は、残距離バー（10段階）でも表示します。



アドバイス

- AUDIOソース画面をお楽しみの際は、割り込みの表示はありません。音声のみで案内されます。
- 交差点案内図は[×]にタップすると表示を消すことができます。



[現在地]キーを押しても、表示を消すことができます。

- 手動で表示する場合は、“交差点案内アイコン”にタップしてください。

交差点案内アイコン



一般道方面看板表示

走行中、一般道方面看板の情報があると表示します。[表示の設定]の「一般道方面看板」で表示する/しないを選ぶことができます。

→「NAVI設定」(P316)



黄色の三角マークは一般道方面看板を表示している交差点を示しています。

リアル交差点案内図

ルート走行中、案内ポイントに近づいたときに音声と共に表示します。（データがある交差点のみ）曲がる方向や目印となる施設、交差点までの距離を表示します。

交差点までの距離は、残距離バー（10段階）でも表示します。



注意

- 自車位置マークは表示されません。

■ 立体交差点案内図

ルート走行中、高架道路から側道へ分岐する際に音声と共に表示します。(データがある交差点のみ)

交差点までの距離は、残距離バー(10段階)でも表示します。



注意

- 自車位置マークは表示されません。
- 高低差がない側道については、通常の交差点案内図を表示します。

都市高速入口イラストマップ

ルート走行中、都市高速道路に進入する際に表示します。

都市高速入口までの距離は、残距離バー(10段階)でも表示します。



注意

- 自車位置マークは表示されません。
- 同じ入り口でも進入方向によっては表示されない場合があります。

料金所案内図

走行中に料金所に近づく则表示し、支払料金を音声で案内します。

レーン情報がある場合は、ETCレーンを表示します。

料金所までの距離は、残距離バー(10段階)でも表示します。



注意

- 実際のレーン状況と異なる場合があります。
- 自車位置マークは表示されません。
- すべての料金所を案内するわけではありません。
- 各種割引料金金は計算されません。
- 料金改定、税率変更などにより、実際の料金と異なる場合がございます。

レーン案内

走行中に前方の交差点にレーン情報が存在すると表示します。



黄色の三角マークはレーン情報を表示している交差点を示しています。

アドバイス

- 高速略図表示中は表示されません。
- ルート走行中の場合はおすすめレーンが青色の背景に黄緑色の矢印で表示され、ルートに沿って走行できるレーンは青色の背景に白色の矢印で表示します。
- 音声による案内を行うレーンもあります。
- すべてのレーンを案内するわけではありません。
- 実際のレーン状況と異なる場合があります。

3Dリアルジャンクション

高速道路の分岐点が近づくとき、3Dの静止画面で実際の分岐のしかたや行き先、ジャンクション名などをリアルに表示します。分岐点までの距離は、残距離バー（10段階）でも表示します。



注意

- 自転車位置マークは表示されません。
- 実際のジャンクションの形状と異なる場合があります。

県境案内

走行中、本機のシステムが県境を越えると判断したとき音声で案内します。

[音声の設定]の「県境案内」で案内する/しないを選ぶことができます。

→「NAVI設定」(P316)

カーブ案内

速い速度でカーブを走行しようとするとき音声で案内します。

[音声の設定]の「カーブ案内」を[案内する]にしておく必要があります。

→「NAVI設定」(P316)

合流案内

ルート走行中、前方に合流地点が存在する場合、音声で案内します。

[音声の設定]の「ルート上の合流案内」を[案内する]にしておく必要があります。

→「NAVI設定」(P316)

踏切案内

前方に踏切が存在する場合、音声で案内します。

[音声の設定]の「踏切案内」を[案内する]にしておく必要があります。

→「NAVI設定」(P316)

事故多発区間案内

高速道路走行中、前方に事故が発生しやすい区間が存在する場合、音声で案内します。

[音声の設定]の「事故多発区間案内」を[案内する]にしておく必要があります。

→「NAVI設定」(P316)

パーキングブレーキアラーム

パーキングブレーキが引かれた状態で一定速度での走行を行った場合、メッセージと音声で案内します。

[音声の設定]の「パーキングブレーキアラーム」を[使用する]にしておく必要があります。

→「NAVI設定」(P316)



速度超過アラーム

走行速度が約95km/hを超えたとき音声で案内します。

[音声の設定]の「速度超過アラーム」を[使用する]にしておく必要があります。

→「NAVI設定」(P316)

高速道路逆走防止案内

高速道路で逆走している可能性がある場合、メッセージと音声で案内します。

[音声の設定]の「高速道路逆走防止案内」を[案内する]にしておく必要があります。

→「NAVI設定」(P316)

注意

- 状況によっては案内されない場合や案内の内容が実際と異なる場合があります。進路を確認して安全に走行してください。

お知らせ

- 下記の場合、案内をしなかったり、間違った案内をしたりすることがあります。
 - 車両の実際の位置がナビゲーションの表示位置と異なる場合
 - GPSなど各種センサーが故障している場合
 - 対象道路以外を走行している場合
 - 地図画面に表示されていない道路を走行している場合
 - 通知対象以外の逆走を行った場合
 - 警察や道路管理会社などの誘導により、Uターンを行う場合
 - 順走に復帰するためにUターンを行う場合

地図を操作する

縮尺の切り換えや、地図スクロールなどの操作のしかたについて説明します。

縮尺の切り換え

広い範囲や詳しい範囲を見ることができます。



1 ピンチインまたはピンチアウトして、縮尺を変更する

→「操作のしかた」(P29)



指の動きに合わせて縮尺が切り換わります。

アドバイス

- 走行中に、ピンチイン/ピンチアウトを行うと、縮尺が1段階ずつ切り換わります。
- 1段階ずつ広域にするにはマルチタップ(P28)、詳細にするにはダブルタップ(P28)をすると便利です。
-  または  をタップすることでも縮尺を切り換えることができます。また、ロングタップ(P28)すると連続的に縮尺の切り換えができます。

市街地地図について

縮尺を10/25/50mにするとビルや家の形まではっきりと見える市街地地図を表示できます。



アドバイス

- 地域によっては市街地地図が表示されない場合があります。

地図をスクロールする

現在地画面から別の場所に移動し、地図を確認したいときに使用します。

アドバイス

- スクロール中、地図の一部が表示されなくなる場合がありますが故障ではありません。
- スタンダード以外の地図をスクロールすると画面はスタンダードになります。

フリックまたはスライドして見たい場所まで画面をスクロールする

→「操作のしかた」(P28)



+ マークを探している場所に合わせます。

アドバイス

- [戻る]にタップすると現在地画面(P48)に戻ることができます。
- ロングタップ(P28)することで連続的にスクロールすることができます。
- 地図にタップすると、タップした地点まで画面をスクロールします。

スクロールの微調整

スクロール位置の微調整を行います。

1 スクロール後、**微調整**にタップする

2 方向にタップする



数回タップし、微調整を行います。

3 **微調整OFF**にタップする

微調整を終了します。

スクロール方面名称表示について
スクロールすると4方向に隣接する行政区域名を表示します。



表示される名称は縮尺によって異なります。

縮尺 1km以下	市区町村名
縮尺 2 ~ 10km	都道府県名

アドバイス

- [表示の設定]の「スクロール方面名称」で表示する/しないを選ぶことができます。
→「NAVI設定」(P316)

地点メニューからの操作

地点メニューを表示すると目的地や経由地、登録地点などの設定が行えます。

お知らせ

- 探索条件設定画面 (P96) は、「探索の設定」の「ルート探索条件」を [internavi ルート] に設定した場合、表示されません。
→ 「探索の設定」 (P320)

目的地に設定する

スクロール画面 (P50) の **+** 地点を目的地に設定します。

アドバイス

- すでにルートが設定されている場合は、そのルートが消去して **+** 地点を新しい目的地として設定します。

1 地点メニュー (P50) の 「ここへ行く」にタップする



探索条件設定画面 (P96) を表示します。

2 「案内開始」にタップする



目的地までのルート探索が完了し、ルート案内を開始します。

アドバイス

- 「案内開始」にタップする前に走行すると、自動的にルート案内を開始します。

経由地に設定する

スクロール画面 (P50) の **+** 地点を経由地に設定します。

アドバイス

- 目的地を設定している必要があります。

1 地点メニュー (P50) の 「ここへ寄る」にタップする



探索条件設定画面 (P96) を表示します。

2 「案内開始」にタップする



目的地、経由地までのルート探索が完了し、ルート案内を開始します。

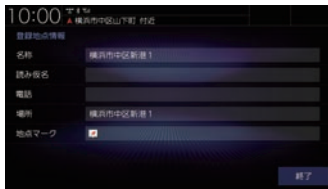
アドバイス

- 「案内開始」にタップする前に走行すると、自動的にルート案内を開始します。

登録地点に設定する

スクロール画面 (P50) の **+** 地点を登録地点に設定します。

1 地点メニュー (P50) の **登録する** にタップする



探した場所に **+** マークが表示され、登録地点情報画面 (P118) を表示します。

2 **終了** にタップする

地点の登録が完了します。

アドバイス

- ここで表示される登録地点情報を変更できます。
→「登録地点情報を変更する」(P118)

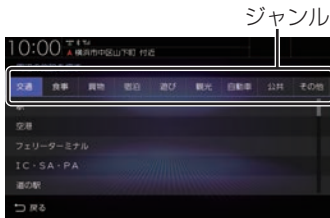
周辺の施設を探す

スクロール画面 (P50) の **+** 地点周辺の施設を探します。

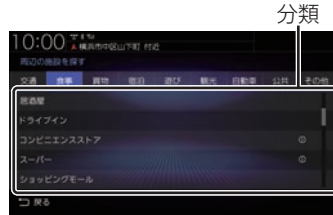
ここでは、例として **+** 地点周辺のコンビニを探します。

1 地点メニュー (P50) の **周辺施設** にタップする

2 “ジャンル” の **買物** にタップする

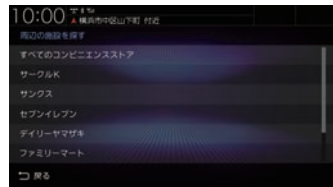


3 “分類” の **コンビニエンスストア** にタップする



リストに ❶ と表示されていない分類を選んだ場合は、手順5に進みます。

4 いずれかの“詳細な分類”にタップする



5 探している“施設”にタップする



6 **地点表示** にタップする



選んだ施設を中心とした地図と情報を表示します。

建物情報や VICS 情報を見る

スクロール画面 (P50) の **+** 地点が **👉** に変わると建物情報や VICS 駐車場情報、VICS 規制アイコンの詳細情報を表示できます。

お知らせ

- 建物情報を確認する場合は、地図縮尺を「50m以下(市街地地図)」にする必要があります。
→「市街地地図について」(P69)
- VICS 駐車場情報を確認する場合は、地図縮尺を「100m以下」にする必要があります。ただし、地図縮尺が「100m以上」の場合は該当する駐車場マークを1件のみ表示します。
- VICS 規制アイコンを確認する場合は、地図縮尺を「1km以下」にする必要があります。

1 地点メニュー (P50) の

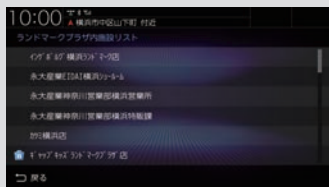
「詳細情報」にタップする



建物情報または VICS 情報を表示します。

アドバイス

- 建物内に複数の会社、店などがある場合は、建物内にある店舗リストを表示します。店舗にタップしてください。



高速道路情報について

高速道路を走行すると高速略図を表示します。サービスエリアやパーキングエリアの施設情報、ジャンクションの情報を確認できます。

アドバイス

- 高速略図は、都市間高速道路、都市高速道路および一部の有料道路や自動車専用道路について表示されます。

本書で使用している高速道路の略語は以下のとおりです。

- SA：サービスエリア
- PA：パーキングエリア
- IC：インターチェンジ
- JCT：ジャンクション

表示内容について



① 所要時間

施設に到着するまでの所要時間を表示します。所要時間は、最大999分まで表示します。

② VICS 記号表示

IC、JCTなどの施設を拠点とした規制は右側に表示します。各区間中にある規制は左側に表示します。→「VICS記号について」(P126)

③ 渋滞情報

混雑(橙)、渋滞(赤)、通行止め(灰)、その他(白)の状況を色で表示します。

④ SA/PA

SA/PAの施設だけを前に進めたり戻したりできます。ルートを設定していないときは、JCTの施設も選択できますので、路線を選んでください。(→P76)

⑤ 出口情報

目的地を設定しているときに表示します。出口ICの名称と自車位置からの距離、所要時間を表示します。

⑥ 施設名と残距離表示

SA、PA、IC、JCTの名称と自車位置からの距離を表示します。降りることができないインターチェンジは表示されません。1km未満は「---」と表示し、最大999kmまで表示します。

⑦ ▲, ▼

施設名のリストを前に進めたり戻したりできます。

⑧ ETC専用アイコン

スマートICがある施設に表示します。

⑨ 施設情報

この場所にある施設のマークを表示します。

⑩ 自車位置マーク

リストを現在地の位置まで戻します。

施設の情報について

施設の情報が表示されます。
(最大 10 件表示できます)



アイコン	マークの説明
	ガソリンスタンドなどの商標マークを表示します。 (例: JX日鉱日石エネルギー)
	レストラン
	スナックコーナー
	ショッピングコーナー
	ハイウェイ情報ターミナル
	インフォメーション
	休憩所
	仮眠休憩所
	障害者用トイレ
	風呂
	コインシャワー
	コインランドリー
	ファックスコーナー
	郵便局
	キャッシュコーナー
	トイレ

表示するには

工場出荷時の設定では高速道路を走行すると自動で高速略図を表示するのでこの操作は必要ありません。

アドバイス

- [表示の設定]の「高速略図自動表示」を[表示しない]にしていた場合にこの操作を行います。
→「NAVI設定」(P316)
- 高速道路上に自車がないなど、一定の条件が満たされていない場合、高速略図は表示できません。

1 にタップする



2 **高速略図** にタップする

3 **戻る** にタップする



高速略図を表示します。

各エリアの情報を確認する

SA、PA、IC、JCTの各エリアの情報および周辺の地図を確認できます。

1 ▲ または ▼ にタップする

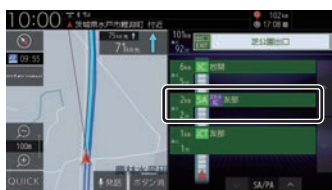


高速略図を前に進めたり戻したりできます。また、施設情報を表示します。

アドバイス

- 自車より後方には戻せません。
- 走行中は、高速略図の移動ができません。

2 “確認したい施設” にタップする



選んだ施設を中心とした地図を表示します。

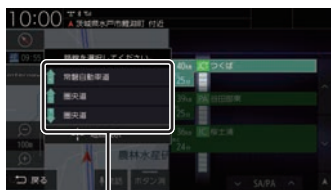
■ JCTを選択した場合

ルートを設定していない場合、分岐している路線を選ぶことができます。

1 ▲ または ▼ にタップし、“JCT”を選ぶ



2 “確認したい路線” にタップする





路線

選んだ路線の高速略図を表示します。

アドバイス

- ICでも分岐がある場合は、路線を選ぶことができます。
- ルートを設定していた場合は、選んだ施設を中心とした地図を表示します。
- [地点表示]にタップすると選んだ施設を中心とした地図を表示します。

■ SA/PA を選択した場合

- 1 「SA/PA」の  または  にタップし、「SA」または「PA」を選ぶ



- 2 “確認したいSA/PA”にタップする



選んだ施設の地図をイラストで確認できます。

アドバイス

- イラストの情報がない場合は、地図を表示します。

目的地の設定

自宅を目的地に設定する

あらかじめ登録しておいた自宅 (P115) を目的地に設定します。

お知らせ

- 探索条件設定画面 (P96) は、「探索の設定」の「ルート探索条件」を [internaviルート] に設定した場合、表示されません。
→「探索の設定」(P320)

1 MENU キーを押す

目的地メニューを表示します。

2 自宅 にタップする



探索条件設定画面 (P96) を表示します。

アドバイス

- 自宅を登録していない場合は登録をうながす画面が表示され設定画面を表示します。
→「自宅を登録する」(P115)

3 案内開始 にタップする



自宅を目的地としたルート探索が完了し、ルート案内を開始します。

探した場所を目的地に設定する

「場所を探す」(P80)から探した場所を目的地に設定する一連の操作を説明します。

お知らせ

- 探索条件設定画面 (P96) は、「探索の設定」の「ルート探索条件」を [internavi ルート] に設定した場合、表示されません。
→ 「探索の設定」 (P320)

1 MENU キーを押す

目的地メニューを表示します。

2 いずれかの“検索方法”にタップし、場所を探す



→ 「場所を探す」 (P80 ~ P94)

3 探した場所が表示されたら地点メニュー (P50) の「ここへ行く」にタップする



アドバイス

- 検索方法の種類によって、登録地点情報に施設名や電話番号が表示されない場合があります。
- 目的地 / 登録地点を設定する際、+ 地点から約半径 100m 以内に有料道路や高速道路、トンネルがある場合、どの位置に設定するか選択します。([高速道路上],[有料道路上],[一般道路上]または[トンネル内])を選択する画面を表示します。)



ただし、以下の場合には表示しません。

- ジャンル検索または高速略図から高速道路の施設を選択したとき。
- 自宅を選択したとき。
- 音声認識で設定したとき。

4 案内開始 にタップする



探した場所を目的地としたルートの探索が完了し、ルート案内を開始します。

場所を探す

本機では、さまざまな方法で場所を探すことができます。

ここで探した場所は、目的地 (P78) や経由地 (P104)、登録地点 (P115) を設定するときに使用します。

ここでは、目的地メニュー (P51) からの検索方法を説明します。

施設名称を入力して探す

施設の名称を入力し場所を探します。

1 **MENU** キーを押し、**名称** にタップする

2 探している“施設名称”を入力する



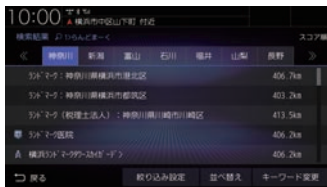
→「施設名称入力用キーボード」(P60)
施設名称をすべて入力しなくても検索は行えます。

3 **検索する** にタップする

アドバイス

- [絞り込み設定] (P80) にタップすると、検索結果の絞り込みが行えます。
- [並べ替え] (P81) にタップすると、「スコア順」または「距離順」に検索結果を並べ替えることができます。
- [キーワード変更] (P81) にタップすると、検索キーワードの変更が行えます。

4 探している“施設”にタップする



選んだ施設を中心とした地図と情報を表示します。

アドバイス

- 周辺の地図が表示されているとき、地点メニュー (P50) のいずれかにタップすると、目的地や経由地、登録地点の設定ができます。
→「地点メニューからの操作」(P71)
- 選んだ施設の入り口または駐車場が候補として最初に表示されます。この候補の位置を別の入り口や駐車場、施設の位置に切り換えることができます。
「施設の候補位置について」(P85) の手順2以降と同様の操作で切り換えることができます。
- 選んだ施設に提携している駐車場があれば、検索することができます。
「提携駐車場を検索する」(P85) の手順2以降と同様の操作で検索ができます。

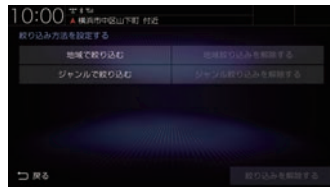
■ 検索結果を絞り込む

検索結果をさらに条件を設定して絞り込むことができます。

1 「施設名称を入力して探す」(P80) の手順3まで操作する

2 **絞り込み設定** にタップする

3 いずれかにタップする



地域で絞り込む	5つの地域まで選択して絞り込むことができます。
ジャンルで絞り込む	5つのジャンルまで選択して絞り込むことができます。

4 絞り込みたい“項目”にタップしていく



5 「決定」にタップする

検索結果を表示します。

お知らせ

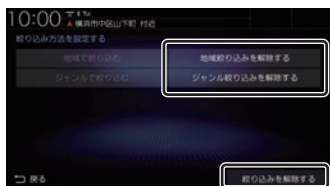
- [地域で絞り込む]を選択していた場合、検索結果で都道府県を変更すると自動的に[地域で絞り込む]を解除します。

■ 絞り込みを解除する

1 「施設名称を入力して探す」(P80)の手順3まで操作する

2 「絞り込み設定」にタップする

3 いずれかにタップする



○絞り込みを解除する	選んだ絞り込み条件の設定を解除します。
絞り込みを解除する	すべての絞り込み条件の設定を解除します。

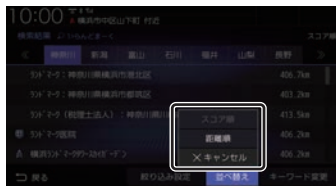
絞り込みの解除が完了します。

■ 検索結果を並べ替える

検索結果を並べ替えることができます。

1 「施設名称を入力して探す」(P80)の手順3まで操作する

2 「並べ替え」にタップし、いずれかにタップする



スコア順	検索キーワードとの一致度(スコア)が高い順に並べ替えます。
距離順	自転車位置から施設までの直線距離が短い順に並べ替えます。並べ替えは都道府県ごとになります。

■ 検索キーワードを変更する

検索した後、別の検索キーワードに変更して検索しなおすことができます。

1 「施設名称を入力して探す」(P80)の手順3まで操作する

2 「キーワード変更」にタップする

3 検索しなおしたい“キーワード”を入力する



→「施設名称入力用キーボード」(P60)

4 「検索する」にタップする

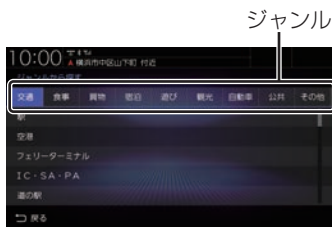
検索結果を表示します。

施設ジャンルから探す

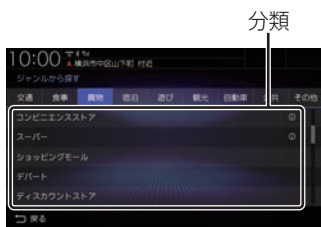
ジャンル別に施設を探します。
ここでは、例としてコンビニを探します。

1 **MENU** キーを押し、**ジャンル** にタップする

2 “ジャンル” の **買物** にタップする

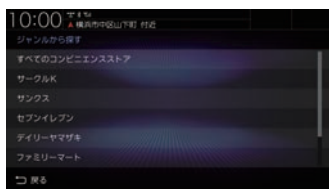


3 “分類” の **コンビニエンスストア** にタップする



リストに ① と表示されていない分類を選んだ場合は、手順5に進みます。

4 いずれかの“詳細な分類” にタップする



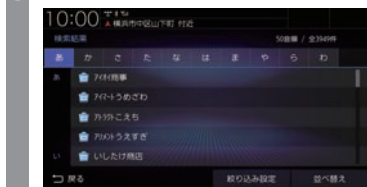
5 いずれかの“都道府県” にタップする



アドバイス

- 都道府県の地図に直接タップしても選ぶことができます。

6 探している“施設” にタップする



選んだ施設を中心とした地図と情報を表示します。

アドバイス

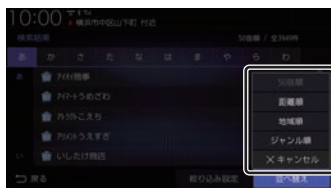
- 周辺の地図が表示されているとき、地点メニュー (P50) のいずれかにタップすると、目的地や経由地、登録地点の設定ができます。
→「地点メニューからの操作」(P71)
- 選んだ施設の入り口または駐車場が候補として最初に表示されます。この候補の位置を別の入り口や駐車場、施設の位置に切り換えることができます。
→「施設の候補位置について」(P85)
- 選んだ施設に提携している駐車場があれば、検索することができます。
→「提携駐車場を検索する」(P85)

■ 検索結果を並べ替える

検索結果を並べ替えることができます。

1 「施設ジャンルから探す」(P82)の手順5まで操作する

2 「並べ替え」にタップし、いずれかにタップする



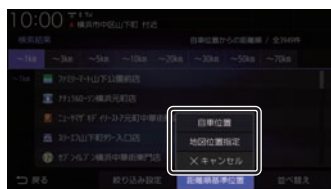
50音順	施設を50音順に並べ替えます。
距離順	任意の地点から施設までの距離を直線にしたとき、任意の地点から直線距離が短い順に並べ替えます。任意の地点は、「距離順並べ替え時の基準位置を変える」(P83)で地点を選択できます。
地域順	施設を住所コード順に並べ替えます。
ジャンル順	① マークのあるジャンルで[すべての○○]を選んだとき、施設をジャンル順に並べ替えることができます。但し、施設名称で検索している場合や② マークのないジャンルでは使用できません。また、③ マークのジャンルでも個別のジャンルを選んだ場合も使用できません。
キャンセル	並べ替えを選択するメニューを閉じます。

距離順並べ替え時の基準位置を変える

検索結果を[距離順]に並べ替えたときの基準を変更できます。

1 「検索結果を並べ替える」(P83)の手順2で「距離順」→「距離順基準位置」にタップする

2 いずれかにタップする



自車位置	自車位置を基準に並べ替えます。
地図位置指定	現在地周辺の地図が表示されますので、地図をスクロールし[決定]にタップします。その決めた地点を基準に並べ替えます。
キャンセル	基準位置を選択するメニューを閉じます。

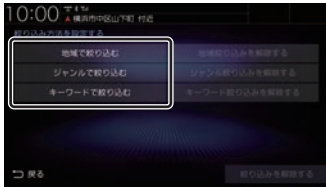
■ 検索結果を絞り込む

検索結果をさらに条件を設定して絞り込むことができます。

1 「施設ジャンルから探す」(P82)の手順5まで操作する

2 「絞り込み設定」にタップする

3 いずれかにタップする



地域で絞り込む	5つの地域まで選択して絞り込むことができます。
ジャンルで絞り込む	5つのジャンルまで選択して絞り込むことができます。
キーワードで絞り込む	キーワード3語まで指定して絞り込むことができます。

4 絞り込みたい“項目”にタップしていく



5 「決定」にタップする

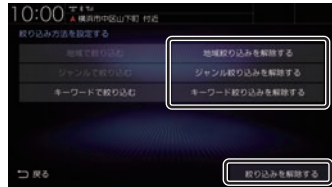
検索結果を表示します。

■ 絞り込みを解除する

1 「施設ジャンルから探す」(P82)の手順5まで操作する

2 「絞り込み設定」にタップする

3 いずれかにタップする



○絞り込みを解除する	選んだ絞り込み条件の設定を解除します。
絞り込みを解除する	すべての絞り込み条件の設定を解除します。

絞り込みの解除が完了します。

■ 施設の候補位置について



施設を検索する際、選んだ施設の入り口または駐車場が候補として最初に表示されます。この候補の位置を別の入り口や駐車場、施設の位置に切り換えることができます。

1 「施設ジャンルから探す」(P82)の手順6まで操作する

2 「次の地点」または「前の地点」にタップする



選んだ位置を中心とした地図と情報を表示します。

 ※1	施設を中心とした地図を表示します。
 ※1	入口または駐車場を中心とした地図を表示します。

※1 選択した施設の入り口または駐車場が1件もない場合は表示しません。

アドバイス

- 周辺の地図が表示されているとき、地点メニュー (P50) のいずれかにタップすると、目的地や経由地、登録地点の設定ができます。
→「地点メニューからの操作」(P71)

■ 提携駐車場を検索する

施設を検索する際、選んだ施設と提携している駐車場があれば、検索することができます。

1 「施設ジャンルから探す」(P82)の手順6まで操作する

2 「提携P」にタップする

3 探している「駐車場」にタップして選択する



4 「地点表示」にタップする

選んだ施設を中心とした地図と情報を表示します。

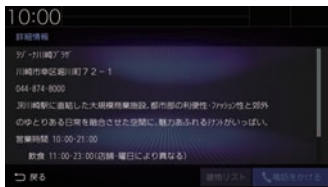
アドバイス

- 周辺の地図が表示されているとき、地点メニュー (P50) のいずれかにタップすると、目的地や経由地、登録地点の設定ができます。
→「地点メニューからの操作」(P71)

■ **文字情報のある施設について**
施設に関する文字情報を確認できます。

1 **「施設ジャンルから探す」(P82)**
の**手順6**まで操作する

2 **「詳細情報」**に**タップ**する



選んだ施設に関する文字情報を表示します。

アドバイス

- 建物内に複数の会社、店などがある場合は、[建物リスト]にタップすると店舗リストを表示します。
さらに店舗にタップすると、情報を表示します。
- 携帯電話を本機と接続している場合 (P338) は [電話をかける] にタップして電話をかけることができます。

周辺の施設を探す

現在地や目的地、ルート周辺の施設を探すことができます。

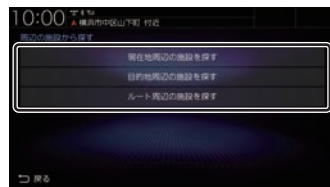
ここでは、例としてコンビニを探します。

アドバイス

- 目的地を設定している場合は現在地周辺・目的地周辺・ルート周辺の施設 (ガソリンスタンドやコンビニなど) を探します。
- 目的地を設定していない場合は現在地周辺の施設を探します。

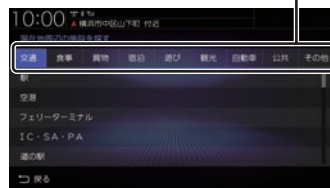
1 **MENU** キーを押し、**周辺施設**に**タップ**する

2 検索したい**“エリア”**に**タップ**する



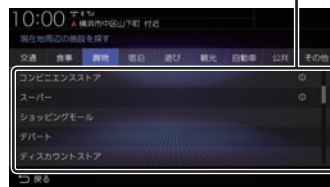
3 **“ジャンル”**の**買物**に**タップ**する

ジャンル



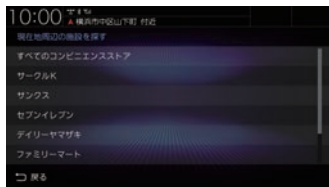
4 **“分類”**の**コンビニエンスストア**に**タップ**する

分類



リストに ❶ と表示されていない分類を選んだ場合は、手順6に進みます。

5 いずれかの“詳細な分類” にタップする



6 探している“施設”にタップして 選択する



7 「地点表示」にタップする

選んだ施設を中心とした地図と情報を表示します。

アドバイス

- 地図スクロールからの地点メニュー (P50) でも周辺検索を行うことができます。
- [絞り込み]にタップすると、ジャンルとキーワードで絞り込むことができます。
「検索結果を絞り込む」(P84)の手順3以降と同様の操作で絞り込むことができます。
- 周辺の地図が表示されているとき、地点メニュー (P50) のいずれかにタップすると、目的地や経由地、登録地点の設定ができます。
→「地点メニューからの操作」(P71)
- 選んだ施設の入り口または駐車場が候補として最初に表示されます。この候補の位置を別の入り口や駐車場、施設の位置に切り換えることができます。
「施設の候補位置について」(P85)の手順2以降と同様の操作で切り換えることができます。

アドバイス

- 選んだ施設に提携している駐車場があれば、検索することができます。
「提携駐車場を検索する」(P85)の手順2以降と同様の操作で検索ができます。
- [詳細情報]にタップすると文字情報を確認できます。

■ QUICKメニューからの操作

現在地周辺の施設を探ることができます。

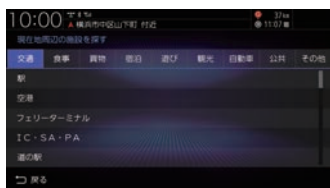
1 現在地画面で **QUICK** にタップする

2 「周辺施設」にタップする

3 検索したい“分類”にタップする



4 探している“施設”にタップして 選択する



以降の操作は、「周辺の施設を探す」(P86)の手順7以降と同じです。

アドバイス

- [絞り込み]にタップすると、ジャンルとキーワードで絞り込むことができます。
「検索結果を絞り込む」(P84)の手順3以降と同様の操作で絞り込むことができます。

住所から探す

住所から場所を探します。

1 **MENU** キーを押し、**住所** に
タップする

2 いずれかの“都道府県”にタップする



アドバイス

- 都道府県の地図に直接タップしても選ぶことができます。

3 探している“住所”にタップしていく



選んだ住所を中心とした地図と情報を表示します。

アドバイス

- [〇〇主要部]で主要部を表示することもできます。
- [〇丁目]がない場合は、[番地指定]にタップして番地を選ぶことができます。
- 周辺の地図が表示されているとき、地点メニュー (P50) のいずれかにタップすると、目的地や経由地、登録地点の設定ができます。
→「地点メニューからの操作」(P71)

電話番号から探す

探している場所の電話番号が分かっている場合に使用します。

1 **MENU** キーを押し、**電話番号**
にタップする

2 “電話番号”を入力する
→「文字入力のしかた」(P57)



電話番号をすべて入力すると該当する周辺地図を表示します。
電話番号が個人宅データと一致した場合は、手順3へ進みます。

3 個人宅の“読み仮名”を入力する



4 **入力完了** にタップする

読み仮名が合致すると該当する周辺地図を表示します。

アドバイス

- 電話番号は市外局番から入力する必要があります。
- タウンページに掲載の電話番号に一致した場合は、その施設を中心とした地図を表示します。
- 市外局番だけ入力した場合や、登録電話番号と途中までしか一致しなかった場合は、代表地点の縮尺 1km の地図を表示します。
- 周辺の地図が表示されているとき、地点メニュー (P50) のいずれかにタップすると、目的地や経由地、登録地点の設定ができます。
→「地点メニューからの操作」(P71)
- 選んだ施設の入り口または駐車場が候補として最初に表示されます。この候補の位置を別の入り口や駐車場、施設の位置に切り換えることができます。
「施設の候補位置について」(P85) の手順 2 以降と同様の操作で切り換えることができます。
- 選んだ施設に提携している駐車場があれば、検索することができます。
「提携駐車場を検索する」(P85) の手順 2 以降と同様の操作で検索ができます。

郵便番号から探す

探している場所の郵便番号が分かっている場合に使用します。

1 MENU キーを押し、郵便番号にタップする

2 “郵便番号” を入力する



郵便番号をすべて入力すると該当する周辺地図を表示します。

アドバイス

- 郵便番号は 7 桁すべて入力してください。
- 該当する地点が複数ある場合は、地点のリストを表示します。探している地点にタップしてください。



- 周辺の地図が表示されているとき、地点メニュー (P50) のいずれかにタップすると、目的地や経由地、登録地点の設定ができます。
→「地点メニューからの操作」(P71)

MAPCODE を利用する

ガイドブックなどで記載されている1～12桁の番号(マップコード)を利用できます。

1 **MENU** キーを押し、
MAPCODE にタップする

2 “マップコード”を入力する



3 **決定** にタップする

該当する周辺地図を表示します。

アドバイス

- “～ * ○○”までのマップコードを入力すると[決定]にタップする操作は必要ありません。
- 周辺の地図が表示されているとき、地点メニュー (P50) のいずれかにタップすると、目的地や経由地、登録地点の設定ができます。
→「地点メニューからの操作」(P71)

マップコードとは

特定の場所の位置データをコード化し、1～12桁の番号と「*」(アスタリスク)でその場所を特定することができるものです。従来、住所などを使って、特定の場所を表現していましたが、住所では特定できないところも特定できるようになります。マップコードに関することは、下記へお問い合わせください。

株式会社デンソーコミュニケーションズ
お問い合わせホームページ
<http://www.denso-communications.jp/mapcode/>

緯度・経度で探す

探している場所の緯度・経度が分かっている場合に使用します。

1 **MENU** キーを押し、
緯度・経度 にタップする

2 “北緯”と“東経”を入力する



3 **決定** にタップする

該当する周辺地図を表示します。

アドバイス

- 周辺の地図が表示されているとき、地点メニュー (P50) のいずれかにタップすると、目的地や経由地、登録地点の設定ができます。
→「地点メニューからの操作」(P71)

検索履歴を利用する

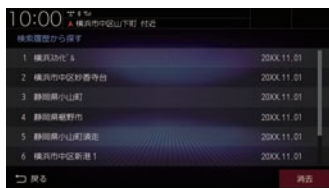
検索機能を使用して表示させた地点地図や地図スクロール操作で表示させた地点地図から設定した目的地、登録した地点であれば、検索履歴として残り、再度周辺の地図を表示させることができます。

アドバイス

- 過去に検索機能を使用して周辺の地図を表示させたことがない場合はリスト表示されません。
- 検索履歴は新しいものから最大50件記録されます。

1 **MENU** キーを押し、**履歴** にタップする

2 探している“場所”にタップする



▼
選んだ場所を中心とした地図と情報を表示します。

■ 検索履歴を消去する

登録されている検索履歴を消去できます。

1 **MENU** キーを押し、**履歴** にタップする

2 **消去** にタップする

3 消去したい場所の“チェックボックス”にタップし、選択する



4 **消去** にタップする

5 **消去する** にタップする

▼
検索履歴の消去が完了します。

アドバイス

- チェックボックス以外の部分をタップすると、一件だけ消去できます。
- [全選択]にタップすると、すべての履歴を選択できます。
- [全解除]にタップすると、選択状態をすべて解除できます。

登録地点を呼び出す

登録地点を呼び出します。

1 MENU キーを押し、登録地点にタップする

登録地点のリストを表示します。

2 呼び出したい“地点”にタップする



呼び出した地点を中心とした地図と情報を表示します。

アドバイス

- 現在地画面で[発話]にタップし、登録地点名称を発話しても地点を表示させることができます。
- 周辺の地図が表示されているとき、地点メニュー (P50) のいずれかにタップすると、目的地や経由地、登録地点の設定ができます。
→「地点メニューからの操作」(P71)

NaviConを使う

スマートフォン (NaviCon アプリが使用できる端末) から目的地を探し、本機に転送することができます。

転送後、本機からルートの探索を行います。



注意

- 運転中にスマートフォンを手に持って操作する行為はたいへん危険ですので絶対に行わないでください。
- 車内高温時の故障や盗難を避けるため、スマートフォンを車内に放置しないでください。

お知らせ

- 本機能を iPod/iPhone でご使用になるときは、iPod/iPhone を iPod/iPhone の USB ケーブル (Apple 純正) で本機に接続しないでください。ケーブルとの同時接続を行うと本機能はご使用になれません。
- スマートフォンに「NaviCon」アプリを事前にダウンロードしておく必要があります。詳しくは、NaviCon サポートサイトをご覧ください。

<https://navicon.com/user/support/>



お知らせ

- NaviCon アプリが表示する地図の縮尺はスマートフォンによって異なります。また、NaviCon 側の地図と本機側との地図の縮尺に差異を感じる場合があります。
- NaviCon アプリを操作中、スマートフォンの操作音が本機を經由して車両のスピーカーから鳴る場合があります。この現象は、スマートフォン側の操作音を OFF すると改善します。
- 本機で表示できない文字列は記号（細長い四角形）で表示されますが故障ではありません。（絵文字や特殊文字など）

■ 対応機能について

NaviCon アプリとの連携機能は以下のとおりです。

NaviCon との連携	対応
地図スクロールの遠隔操作	○
地図縮尺変更の遠隔操作	○
目的地送信	○
友達マップとの連携	○

■ 目的地を送信する

- 1 スマートフォンを本機に接続する
あらかじめ本機とスマートフォンを Bluetooth 接続 (P338) しておく必要があります。
- 2 スマートフォンで目的地を探し、本機に転送する

▼
本機にスマートフォンから転送した地点周辺の地図が表示されます。

アドバイス

- 周辺の地図が表示されているとき、地点メニュー (P50) のいずれかにタップすると、目的地や経由地、登録地点の設定ができます。
→「地点メニューからの操作」(P71)
- NaviCon アプリでピンをドロップすると、マップコードが表示されます。このマップコードを利用すれば、スマートフォンを本機に接続することなく本機に地点を設定できます。
→「MAPCODE を利用する」(P90)

■ 友達マップを表示する

友達マップとの連携を行います。

1 スマートフォンを本機に接続する

あらかじめ本機とスマートフォンをBluetooth接続 (P338) しておく必要があります。

2 スマートフォンで友達マップの機能を開始する

3 MENU キーを押す

目的地メニューを表示します。

4 [設定/情報] → [情報] にタップする

情報メニュー画面を表示します。

5 [NaviCon 友達マップ] にタップする

6 「友達マップ」の [ON] にタップする



地図画面に友達アイコンを表示します。

友達マップの全体表示

現在表示できる友達アイコンがすべて表示できる地図画面に切り換えます。

1 「友達マップを表示する」(P94)の手順5まで操作する

2 「友達マップ全体表示」の [表示する] にタップする



友達マップを全体表示します。

アドバイス

- 友達マップを利用する場合は、NaviConを最新バージョンに更新してください。ただし、NaviConのサポートが終了しているiOS、Androidのバージョンでは最新バージョンに更新しても本機能をご利用になれない可能性があります。
- [リスト]にタップすると、メンバーのリストを表示します。リスト表示中は、友達マップの情報を更新しません。



- 友達マップに表示可能なメンバーは最大20件です。
- 全体表示の友達マップとリスト表示中の友達マップの最大縮尺は100kmです。
- 「友達マップを表示する」(P94)で「友達マップ」を[ON]に設定すると、現在地画面に自動的にメンバーのアイコンを表示させることができます。
- 以下の場合、友達マップの情報を表示できません。
 - 自分のアイコン (NaviCon で表示されている青い友達アイコン)
 - 本機に表示できない (海外など) 友達アイコン
 - スマートフォン側で友達マップの機能を停止した
 - 認証キーで認証エラーとなった
 - ご自身のスマートフォン側で確認メッセージが表示されている

探索条件設定画面について

目的地にする場所が決まったときに表示される画面です。
この画面でできる操作について説明します。

お知らせ

- 探索条件設定画面は、「探索の設定」の「ルート探索条件」を [internavi ルート] に設定した場合、表示されません。→「探索の設定」(P320)



① ルートの情報^{※1}

現在探索されているルートの総距離、料金、所要時間を表示します。

② 利用するインターチェンジ

最初に利用する高速道路の入口と出口のインターチェンジを表示します。

③ ルート表示

現在探索されているルートの概略を表示します。

④ 経由地/通過道路 (→P104, 108)

経由地や通過道路の追加や変更が行えます。

⑤ 探索条件

目的地までのルートの探索条件を変更できます。
→「探索条件を変更する」(P102)

⑥ ルート詳細 (→P99)

現在探索されているルートの詳細情報を表示します。

⑦ 探索条件表示

現在探索されているルートの探索条件を表示します。

⑧ 省エネ度

推奨で探索したルートと比べてどのくらい燃費節約ができてきているかの度合いを確認できます。

度合い	葉っぱの状態
とても節約できる	
節約できる	
少々節約できる	
節約できない	

⑨ 乗降IC指定 (→P110)

ルート上に入口または出口のインターチェンジがある場合、利用したいインターチェンジを選ぶことができます。

⑩ 5ルート (→P111)

異なる条件で探索する5つのルートから好みのルートを選ぶことができます。

⑪ 案内開始

現在探索されているルートの案内を開始します。

⑫ **渋滞予測経路** ※2 / **通常経路**

[渋滞予測経路]にタップすると、過去の統計データに基づいて予測した渋滞情報（渋滞や混雑しやすいポイント、時間帯など）を考慮したルートを探索します。
[通常経路]にタップすると、通常のルートを探索します。

お知らせ

- 省エネ度は、[5ルート]→[省エネ]を選んだときに表示します。
- 省エネ度は、標準的なガソリン車を想定しています。
- 省エネ度は、ルートによっては、推奨とほぼ同じ消費燃費となる場合があります。
- 実際の消費燃費は交通状況などさまざまな条件で変動することがあります。そのため、省エネ度と異なる結果となる場合があります。

※1 表示される料金は料金改定、税率変更などにより、実際の料金と異なる場合がございます。

※2 渋滞予測経路の元となる道路交通情報データは、公益財団法人日本道路交通情報センター（JARTIC）から提供されています。また、道路交通情報データ作成には、一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（VICSセンター）の技術が用いられています。

ルートの確認・変更

ルートの確認

ルートを設定している場合に、設定したルートについて確認します。

音声による案内

[現在地] キーを押すと、再度音声による案内をきくことができます。

次に曲がる交差点を確認する

走行中のルートで前方に右左折する必要がある交差点がある場合は、前もって音声案内と交差点案内図を表示させることができます。

アドバイス

- ルートを走行している必要があります。
- 地図の状態によっては音声のみの案内となります。
- 直進を示すアイコンの場合は、タップしても案内図を表示しません。

1 現在地画面で“交差点案内アイコン”にタップする



次に曲がる交差点の拡大図を表示します。

全ルートを確認する

現在地から目的地までのルートを画面上で確認できる縮尺の地図を表示します。

- 1 **MENU** キーを押す
目的地メニューを表示します。
- 2 **ルート** → **全ルート表示** に
タップする



ルート全体を表示した地図画面を表示します。

■ 地図上のアイコン種類

	出発地を表します。
	目的地を表します。
	設定された経由地を表します。
	高速道路の入口を表します。
	高速道路の出口を表します。
	設定された通過道路を表します。

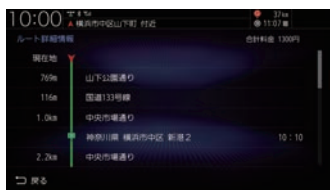
■ 詳細情報を確認する

全ルート表示中に、現在地から目的地/経由地/通過道路/乗り降りするICまでの区間距離や到着予想時刻、料金、使用する道路の情報を確認できます。

お知らせ

- 一部の有料道路では、料金が計算に加わらない場合があります。また、新設された有料道路などの料金は対応しておりません。
- 装着車両に応じて車両区分を設定してください。普通車と軽自動車の料金データを収録しています。「NAVI設定」(P316)で[探索の設定]の「車種」で変更できます。
- 高速料金の表示は状況(乗り継ぎ経路が異なる場合など)により正しく表示されない場合があります。

1 全ルート表示中、**ルート詳細** にタップする



詳細情報を表示します。

アドバイス

- [戻る]にタップすると、全ルート表示に戻ります。
- ルートメニュー (P52) から[ルート詳細情報]にタップしても表示できます。

■ ルートを確認する

確認するルート上をなぞるようにスクロールさせ周辺地図を確認できます。

1 全ルート表示中、**ルートスクロール** にタップする













2 ルートの“確認方法”にタップする



選んだ確認方法によって地図が切り換わります。

確認方法の種類

 現在地	現在地を中心とした地図を表示します。
	目的地→現在地に向けて高速でスクロールします。
	目的地→現在地に向けて通常のでスクロールします。
	後退または前進時のスクロールを停止します。
	現在地→目的地に向けて通常のでスクロールします。
	現在地→目的地に向けて高速でスクロールします。
 目的地	目的地を中心とした地図を表示します。
 ① 経由地	経由地を中心とした地図を表示します。設定した経由地の数だけ選択できます。経由地がない場合は表示されません。
 IN 入口IC	入口ICを中心とした地図を表示します。乗降IC指定 (P110) で指定していない場合は表示されません。
 OUT 出口IC	出口ICを中心とした地図を表示します。乗降IC指定 (P110) で指定していない場合は表示されません。
戻る	スクロールが終了します。

■ 目的地・経由地の位置を確認する

全ルート表示中に、目的地や経由地の周辺の地図を確認できます。

1 全ルート表示中、**目的地付近表示** または **経由地○付近表示** にタップする



選んだ地点を中心とした地図を表示します。

アドバイス

- 経由地を設定している場合は、[目的地付近表示]にタップした後、[経由地○付近表示]を表示します。経由地がない場合は表示されません。
- 経由地を複数設定している場合、[経由地1付近表示]→[経由地2付近表示]と押すたびに切り換わります。
- [戻る]にタップすると、全ルート表示に戻ります。

デモ走行を見る

作成したルートを仮想的に走行させ確認できます。

アドバイス

- 実際の走行時において1つ目の経由地を過ぎていた場合はデモ走行を行うことはできません。

1 MENU キーを押す

目的地メニューを表示します。

2 ルート → 全ルート表示 に タップする

全ルートを表示します。

3 デモ開始 にタップする



「デモ中」と表示され、デモ走行を開始します。

■ 終了するには

1 デモ走行中、MENU キーを押す

2 ルート → 全ルート表示 に タップする

3 デモ終了 にタップする

デモ走行を終了します。

アドバイス

この操作以外にも次のいずれかの条件が満たされるとデモ走行は終了します。

- 実際に走行を開始した。
- 目的地や経由地、通過道路の位置を変更した。または、消去した。
- エンジンスイッチを“OFF”にした。
- 探索条件を変更した。

ルートの変更

設定したルートは迂回ルートや別ルートを設定できます。また、ルートの探索方法を変更できます。

探索条件を変更する

ルートの探索条件を変更できます。探索条件がinternaviルートの場合は「探索条件がinternaviルートの場合」(P103)を参照してください。

アドバイス

- ルートメニュー (P52) から「探索条件変更」にタップしても探索条件を変更できます。

■ 経由地がない場合

現在地から目的地までのルートで探索条件を変更できます。

1 探索条件設定画面 (P96) で

探索条件 にタップする

2 設定したい「探索条件」にタップする



設定した条件の探索が完了し、探索条件設定画面 (P96) を表示します。

■ 経由地がある場合

現在地から目的地までのルート全区間や現在地から経由地、経由地から経由地、経由地から目的地などの区間ごとに探索条件を設定できます。

1 探索条件設定画面 (P96) で

探索条件 にタップする

2 **全区間** または **区間毎** にタップする

[全区間] を選んだ場合は、手順4に進みます。

3 変更したい「区間」にタップする



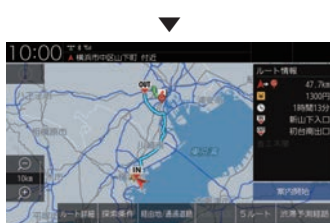
4 設定したい「探索条件」にタップする



手順2で[区間毎]を選んだ場合は、手順3～4を繰り返し、すべての区間の条件を設定します。

[全区間]を選んだ場合は、探索条件をタップしたあと手順5は不要です。

5 **決定** にタップする



設定した条件の探索が完了し、探索条件設定画面 (P96) を表示します。

■ 探索条件がinternaviルートの場合

現在地から目的地までのルートで探索条件を変更できます。

アドバイス

- 未通過の通過道路がある状況で探索条件をinternaviルート以外からinternaviルートに変更した場合、通過道路の削除を確認するテロップが表示されます。

1 ルートメニュー (P52) から

探索条件変更 にタップする

2 設定したい“探索条件”にタップする



設定した条件の探索が完了し、探索条件設定画面 (P96) を表示します。

■ 探索条件の種類について

探索条件は以下の中から選ぶことができます。

推奨	目的地（経由地）まで一般的と思われるルートを探します。
省エネ	目的地（経由地）までなるべく燃費節約となるルートを探します。
有料優先	目的地（経由地）の近くまでなるべく有料道路を使用するルートを探します。
一般優先	目的地（経由地）までなるべく有料道路を使用しないルートを探します。
距離優先	目的地（経由地）までできるだけ距離が短くなるルートを探します。
internaviルート	インターナビから配信される探索条件から選んでルートを探します。 変更したい区間を [区間名] にした場合は、[internaviルート] を選択できません。

お知らせ

- 省エネルート選択時に遠回りに見える探索ルートが設定される場合があります。省エネルートはルートの距離以外にも渋滞予測情報や道の勾配、信号の数などさまざまな項目を総合的に判断し、燃料消費量が最小となるルートを探しているためです。
- internaviルートを利用するには、インターナビ・プレミアムクラブまたはHonda Total Careに会員登録する必要があります。
→「インターナビをご利用になる前に」(P299)

経由地の設定・変更

アドバイス

- 目的地が設定されている状態で操作してください。
- 経由地は通過道路と合わせて最大5ヶ所まで設定できます。
- ルートメニュー (P52) から[経由地/通過道路編集]にタップしても経由地の追加や変更ができます。



経由地が設定され、探索条件設定画面 (P96) を表示します。

■ 経由地を設定する

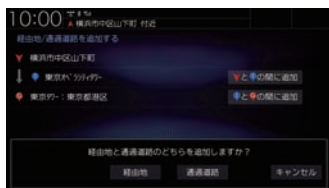
経由地が1件も設定されていない状態での設定方法を説明します。

アドバイス

- 地点メニュー (P50) からでも経由地を設定できます。

1 探索条件設定画面 (P96) で [経由地/通過道路] にタップする

2 [経由地] にタップする



3 いずれかの“検索方法”にタップし、場所を探す

検索方法選択画面



→「検索方法選択画面について」(P106)

4 探した場所が表示されたら [決定] にタップする



■ 経路地を追加する

すでに1つ以上の経路地が設定されている状態で、経路地の追加方法を説明します。

1 探索条件設定画面 (P96) で

経路地/通過道路 にタップする

2 **追加** にタップする

3 追加したい“区間”にタップする



4 **経路地** にタップする



5 いずれかの“検索方法”にタップし、場所を探す

検索方法選択画面



→「検索方法選択画面について」(P106)

6 探した場所が表示されたら **決定** にタップする



経路地が追加され、探索条件設定画面 (P96) を表示します。

■ 経路地を変更する

設定済みの経路地の場所を変更します。

1 探索条件設定画面 (P96) で

経路地/通過道路 にタップする

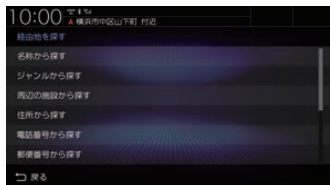
2 **変更** にタップする

3 変更したい“経路地”にタップする



4 いずれかの“検索方法”にタップし、場所を探す

検索方法選択画面



→「検索方法選択画面について」(P106)

5 探した場所が表示されたら **決定** にタップする



経路地が変更され、探索条件設定画面 (P96) を表示します。

■ 検索方法選択画面について



名称から探す	施設の名称を入力し場所を探します。「施設名称を入力して探す」(P80)の手順2以降と同じ操作となります。
ジャンルから探す	ジャンル別に施設を探す場合は、「施設ジャンルから探す」(P82)の手順2以降と同じ操作となります。
周辺の施設から探す	現在地や目的地、ルート周辺の施設を探す場合は、「周辺の施設を探す」(P86)の手順2以降と同じ操作となります。
住所から探す	住所から場所を探します。「住所から探す」(P88)の手順2以降と同じ操作となります。
電話番号から探す	電話番号が分かっている場合は、「電話番号から探す」(P88)の手順2以降と同じ操作となります。
郵便番号から探す	郵便番号が分かっている場合は、「郵便番号から探す」(P89)の手順2以降と同じ操作となります。
MAPCODEから探す	マップコードが分かっている場合は、「MAPCODEを利用する」(P90)の手順2以降と同じ操作となります。
経度・緯度から探す	緯度・経度が分かっている場合は、「緯度・経度で探す」(P90)の手順2以降と同じ操作となります。
検索履歴から探す	検索履歴を利用します。「検索履歴を利用する」(P91)の手順3以降と同じ操作となります。
登録地点から探す ^{*1}	登録地点を呼び出す場合は、「登録地点を呼び出す」(P92)の手順2以降と同じ操作となります。自宅を呼び出す場合は、[自宅]にタップします。
地図から探す	地図スクロール (P70) した地点を設定できます。

*1 登録地点の設定 (P116) や自宅 (P115) の設定を行うとメニューに表示されます。

■ 経由地を消去する

設定済みの経由地を消去します。

アドバイス

- すでに通過した経由地は消去できません。

1 探索条件設定画面 (P96) で
経由地/通過道路 にタップする

2 消去 にタップする

3 消去したい“経由地”にタップする



4 消去する にタップする

経由地が消去され、探索条件設定画面 (P96) を表示します。

次の経由地を消去する

次に通過する予定の経由地を消去できます。

1 ルートメニューを表示する
(→ P52)

2 次の経由地消去 にタップする



次に通過する予定の経由地を消去し、ルート探索を開始します。

アドバイス

- すべての経由地を通過すると[次の経由地消去]はグレー表示となり選択できません。

■ 経路地を並べ替える

経路地や通過道路の通過順を変更できます。

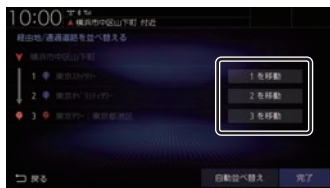
アドバイス

- すでに通過した経路地は並べ替えできません。

1 探索条件設定画面 (P96) で
「経路地/通過道路」にタップする

2 「並べ替え」にタップする

3 移動したい“地点”にタップする



4 移動する“地点”にタップする



5 「完了」にタップする



経路地の並べ替えが完了し、探索条件設定画面 (P96) を表示します。

経路地を自動で並べ替える

経路地間の直線距離合計が短くなる順に自動で並べ替えます。

アドバイス

- 目的地やすでに通過した経路地は並べ替えできません。
- 通過道路が設定されている場合は、自動並べ替えができません。

1 「経路地を並べ替える」(P107) の手順2まで操作する

2 「自動並べ替え」にタップする

3 「完了」にタップする



経路地の並べ替えが完了し、探索条件設定画面 (P96) を表示します。

通過道路の設定・変更

アドバイス

- 目的地が設定されている状態で操作してください。
- 通過道路は経由地と合わせて最大5ヶ所まで設定できます。
- 3Dビューマップ (P63) では通過道路の設定ができません。
- ルートメニュー (P52) から[経由地/通過道路編集]にタップしても通過道路の追加や変更ができます。
- internaviルートの場合、高速道路や国道、都道府県道などの主要な道路のみが対象です。

■ ルートから通過道路を設定する

地図から通過道路を設定します。
現在地画面からスクロールをしてください。

1 通過したい道路がある場所まで画面をスクロールする

→「地図をスクロールする」(P70)



2 ルート付近をロングタップする

縮尺が100m～50kmの地図画面でロングタップをしてください。
通過道路編集アイコンが表示されます。



3 通過道路編集アイコンをスライドしながら通過したい道路に移動する

通過道路編集アイコンを画面の端に移動すると地図がスクロールします。

アドバイス

- 画面から指を放した場合は、再度、通過道路編集アイコンをロングタップすることで移動ができます。
- タップしたまま指を時計回りに一回転させると、地図の範囲が1段階広域になります。
反時計回りに一回転させると、地図の範囲が1段階詳細になります



4 [決定] にタップする

候補道路は地図の縮尺が100mまたは200mのときに表示します。

アドバイス

- 乗り降りのICが指定されている場合は、指定を解除する、しないのテロップが表示されます。



5 [前の道路] または [次の道路] にタップして設定したい通過道路を選択する



6 [探索する] にタップする



選択した通過道路が追加され、探索条件設定画面 (P96) を表示します。
同様の手順で、通過道路の追加ができます。

■ ルートから通過道路を変更する

地図から通過道路を変更します。

1 通過道路アイコンをロングタップする



以降の操作は、→「ルートから通過道路を設定する」(P108) の手順3以降と同じです。

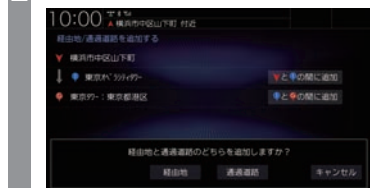
■ 探索条件設定画面から通過道路を設定する

通過道路が1件も設定されていない状態での設定方法を説明します。

1 探索条件設定画面 (P96) で

経由地/通過道路 にタップする

2 **通過道路** にタップする



以降の操作は、→「ルートから通過道路を設定する」(P108) の手順1以降と同じです。

■ 探索条件設定画面から通過道路を追加する

すでに1つ以上の通過道路が設定されている状態で、通過道路の追加方法を説明します。

1 探索条件設定画面 (P96) で

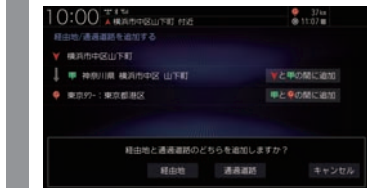
経由地/通過道路 にタップする

2 **追加** にタップする

3 追加したい“区間”にタップする



4 **通過道路** にタップする



以降の操作は、→「ルートから通過道路を設定する」(P108) の手順1以降と同じです。

■ 探索条件設定画面から通過道路を変更する

設定済みの通過道路を変更します。

1 探索条件設定画面 (P96) で

経由地/通過道路 にタップする

2 **変更** にタップする

3 変更したい“通過道路”にタップする



4 選択した番号の通過道路アイコンをロングタップする

以降の操作は、→「ルートから通過道路を設定する」(P108) の手順3以降と同じです。

■ 通過道路を消去する

設定済みの通過道路を消去します。

アドバイス

- すでに通過した通過道路は消去できません。

1 探索条件設定画面 (P96) で
[経由地/通過道路] にタップする

2 [消去] にタップする

3 消去したい“通過道路”にタップする
[通過道路全消去]にタップすると設定した通過道路を全消去できます。



4 [消去する] にタップする

▼
通過道路が消去され、探索条件設定画面 (P96) を表示します。

■ 通過道路を並べ替える

経由地や通過道路の通過順を変更できます。

アドバイス

- すでに通過した通過道路は並べ替えできません。

1 探索条件設定画面 (P96) で
[経由地/通過道路] にタップする

2 [並べ替え] にタップする

3 移動したい“通過道路”にタップする

4 移動する“位置”にタップする

5 [完了] にタップする

▼
経由地、通過道路の並べ替えが完了し、探索条件設定画面 (P96) を表示します。

入口/出口のICを変更する

ルート上に入口または出口のIC (インターチェンジ) がある場合、利用したいICを選ぶことができます。ただし、経由地を設定すると本機能は使用できません。

アドバイス

- ルートメニュー (P52) から [乗降IC指定] にタップしても変更できます。

1 探索条件設定画面 (P96) で
[乗降IC指定] にタップする

2 [入口を変更] または [出口を変更] にタップする

3 [前のIC] または [次のIC] にタップして、変更したいICを表示する



赤色の枠は、選択中のICを示します。

4 [決定] にタップする

すでに指定済みのICは [決定] にタップできません。

5 [はい] にタップする

▼
ICの変更が完了し、探索条件設定画面 (P96) を表示します。

アドバイス

- 入口ICの指定は、出発地から最も近い入口ICから選択できます。出口IC指定は、目的地から最も近い出口ICから選択できます。変更対象のICは、最大で11件まで表示します。
- [探索の設定]の「スマートIC」を[使用する]にしておく、スマートICも選択することができます。
- IC指定を行った後、探索条件や目的地/経路地/通過道路の変更などを行った場合は、指定したICは解除します。
- IC指定を行うと、5ルート探索ができなくなります。
- 出発地が高速道路上の場合は、入口のIC指定はできません。
- internaviルート(P112)で探索すると、指定したICは解除されます。

■ IC指定を解除する

IC指定を行った場合、IC指定の解除ができます。

- 1 ルートメニューを表示する
(→P52)
- 2 乗降IC指定 にタップする
- 3 IC指定解除 にタップする
- 4 はい にタップする



入口および出口のIC指定を解除します。

5つのルートから選ぶ

5つの探索条件のルートを一度に探索し、選ぶことができます。

アドバイス

- 道路の状況により5つのルートすべてを探索できない場合があります。
- ルートメニュー (P52) から[複数ルート探索]にタップしても、5つのルートを選ぶことができます。

- 1 探索条件設定画面 (P96) で
5ルート にタップする

- 2 設定したい“探索条件”にタップする



→「探索条件の種類について」(P103)

アドバイス

- [5ルート比較]にタップすると、5ルートの距離や料金、所要時間が一覧表示され、比較ができます。“探索条件”にタップすると選択ができます。

種類	距離	料金	所要時間
推奨	36.2km	1300円	43分
善エネ	36.2km	1300円	43分
料率低減	36.2km	1300円	43分
一般優先	29.8km	0円	48分55秒
距離優先	29.8km	0円	48分55秒

- 3 案内開始 にタップする



探索条件が変更されたルートの案内を開始します。

迂回ルートを探索する

距離を指定して前方を迂回するルートを探索できます。

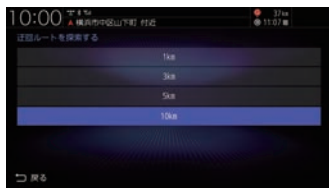
アドバイス

- 現在地から目的地もしくは経由地までの距離が1km未満の場合は操作できません。
- 迂回するルートが見つからない場合は元のルートを案内します。

1 ルートメニューを表示する (→P52)

2 回避ルート探索 → 迂回ルート探索 にタップする

3 迂回したい“距離”にタップする



設定した距離を迂回するルートの探索が完了し、ルート案内を開始します。

別ルートを探索する

現在のルートとは別のルートを探索します。

1 ルートメニューを表示する (→P52)

2 回避ルート探索 → 別ルート探索 にタップする

別ルートの探索が完了し、ルート案内を開始します。

internaviルートを探索する

インターナビより配信される探索条件から選んでルートを探索します。

お知らせ

- internaviルートを利用するには、インターナビ・プレミアムクラブまたはHonda Total Careに会員登録する必要があります。
→「インターナビをご利用になる前に」(P299)
- internaviルート案内中は以下の機能はご利用できません。
 - 複数ルート探索 (P111)
 - 回避ルート探索 (P112)
 - 乗降IC指定 (P110)

1 ルートメニューを表示する (→P52)

2 探索条件変更 → internaviルート にタップする

3 設定したい“探索条件”にタップする

4 決定 にタップする

設定した条件の探索が完了します。

VICS 規制を回避する

前方のVICS規制(オンランプ規制やオフランプ規制、通行止め)や渋滞を回避するルートを探索できます。

1 ルート走行中、前方にVICS規制があると・・・



「○○先、ルート上に○○があります。…」のメッセージを表示します。

2 ルートメニューを表示する (→P52)

3 回避ルート探索 → VICS考慮 にタップする



VICS規制を考慮したルートを探索が完了し、ルート案内を開始します。

アドバイス

- [探索の設定]の「ルート自動更新」を[使用する](P320)に設定しておく、自動で回避するルートを探索します。

スマートICを回避する

スマートICを回避するルートを探索できます。

お知らせ

- スマートICを通過するには、ETC車載器またはETC2.0車載器が必要です。

アドバイス

- この機能をご使用いただくにはあらかじめ、[探索の設定]の「スマートIC」を[使用する]にしておく必要があります。永続的にスマートICを回避したい場合は、[使用しない]にしてください。
→「NAVI設定」(P316)

1 スマートICを通るルートを走行すると・・・



「ルート上にスマートICがあります。…」のメッセージを表示します。

2 ルートメニューを表示する (→P52)

3 回避ルート探索 にタップする

4 スマートIC回避 にタップする



スマートICを回避したルートを探索が完了し、ルート案内を開始します。

ルート案内を中断 / 再開する

ルート案内を中断 / 再開することができます。
中断しても、目的地、経由地は消去されません。

1 **ルートメニューを表示する**
(→P52)

2 **案内中断** にタップする



ルート案内を中断します。
再開する場合は、同様に操作し[案内再開]に
タップします。

ルートを消去する

作成した目的地や経由地を消去し、ルートを
消します。

1 **ルートメニューを表示する**
(→P52)

2 **ルート消去** にタップする

3 **消去する** にタップする



ルートの消去が完了し、現在地画面 (P48) を
表示します。

登録地点の設定

自宅を登録する

自宅を登録しておく、出かけた場所から自宅に帰るルートを簡単に設定できます。

アドバイス

- 自宅に帰るルートを設定するときは、「自宅を目的地に設定する」(P78)をご覧ください。
- 自宅を変更するときは、「登録地点を変更する」(P118)をご覧ください。
- 自宅を消去するときは、「登録地点を消去する」(P121)をご覧ください。
- 自宅は1件のみ登録できます。

1 MENU キーを押す

目的地メニューを表示します。

2 自宅 にタップする

3 いずれかの“検索方法”にタップし、場所を探す

検索方法選択画面

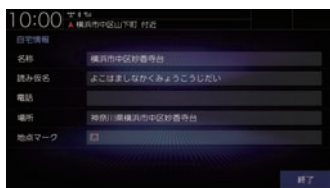


→「検索方法選択画面について」(P106)

アドバイス

- 現在地が自宅の場合、[地図から探す]にタップすると簡単に自宅を登録できます。

4 探した場所が表示されたら **決定** にタップする



探した場所に  マークが表示され、自宅の登録地点情報 (P118) を表示します。

アドバイス

- ここで表示される登録地点情報を変更できます。
「登録地点情報を変更する」(P118)の手順6以降の操作を行ってください。

5 **終了** にタップする

自宅の登録が完了します。

登録地点を設定する

出かけた場所や行ってみたい場所などを登録地点に設定しておくこと、ルート設定が簡単に行えます。

アドバイス

- 登録地点は最大300件まで登録できます。

現在地を登録する

現在地画面から、今いる場所(自車位置)を登録します。

1 MENU キーを押す

目的地メニューを表示します。

2 登録地点 → 新規登録 にタップする



3 地図から探す → 決定 にタップする



現在地の登録が完了します。

探した場所を登録する

目的地メニュー (P31) から探した場所を登録地点に設定する一連の操作を説明します。

アドバイス

- [MENU] キー → [登録地点] → [新規登録] にタップしても、登録地点を設定できます。

1 MENU キーを押す

目的地メニューを表示します。

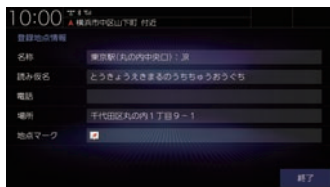
2 いずれかの「検索方法」にタップし、場所を探す




→「目的地メニュー」(P31)

3 探した場所が表示されたら

登録する にタップする



探した場所に  マークが表示され、登録地点情報画面 (P118) を表示します。

アドバイス

- ここで表示される登録地点情報を変更できます。
「登録地点情報を変更する」(P118)の手順6以降の操作を行ってください。
- 検索方法の種類によって、登録地点情報に施設名や電話番号が表示されない場合があります。

4 **終了** にタップする

探した場所の登録が完了します。

登録地点を変更する

自宅や登録地点の変更および消去が行えます。

アドバイス

- あらかじめ場所を登録しておく必要があります。
- [MENU] キー→[設定/情報]→[NAVI設定]→[登録地点の編集]にタップしても、登録地点情報の変更ができます。

登録地点情報を変更する

自宅や登録地点の各情報を変更できます。

1 MENU キーを押す

目的地メニューを表示します。

2 登録地点 にタップする

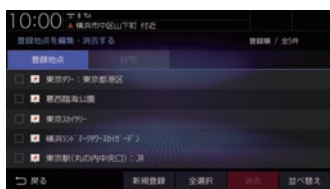


自宅を変更したい場合でも、[登録地点]にタップします。

3 登録地点 または 自宅 にタップする

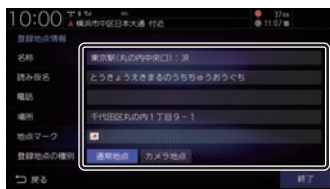
4 編集・消去 にタップする

5 上下にスライドして、変更したい「登録地点」にタップする



6 変更したい「情報」にタップし、変更する

登録地点情報画面



7 終了 にタップする

登録地点情報の変更が完了します。

登録地点情報画面について

変更できる登録地点情報について説明します。

■ 名称

地図画面で表示される地点マーク (P119) の名称を変更できます。

アドバイス

- 地図上に登録地点の名称を表示するには [表示の設定]の「登録地点名称」を [表示する] にしておく必要があります。
→ [NAVI設定] (P316)

1 登録地点情報画面で、「名称」にタップする

2 変更したい「名称」を入力し、入力完了 にタップする



→ [文字入力のしかた] (P57)

名称の変更が完了します。

■ 読み仮名

登録地点名称の読み仮名を変更できます。

1 登録地点情報画面で、“読み仮名”にタップする

2 変更したい“読み仮名”を入力し、**入力完了** にタップする



→「文字入力のしかた」(P57)

読み仮名の変更が完了します。

■ 電話

登録地点に電話番号を登録しておくことができます。

1 登録地点情報画面で、“電話”にタップする

2 “番号”にタップして電話番号を入力し、**決定** にタップする



電話番号の変更が完了します。

お知らせ

- 電話番号は24桁まで入力できます。
- “-” (ハイフン) は入力できません。

■ 場所

自宅や登録地点の場所を変更できます。

1 登録地点情報画面で、“場所”にタップする

2 地図をスクロール (P70) し、変更したい“場所”に **+** マークを合わせる



3 **決定** にタップする

場所の変更が完了します。

■ 地点マーク

地図画面に表示される登録地点のマークを変更できます。

アドバイス

- 自宅の地点マークは変更できません。
- 「カメラ地点」に設定した地点マークは変更できません。また、地図画面から地点マークを消すこともできません。

→「登録地点の種類」(P120)

1 登録地点情報画面で、“マーク”にタップする

2 変更したい“マーク”にタップする



地点マークの変更が完了します。



アドバイス

- 地点マークは49種類から選べます。
- [マークなし]にタップすると、地図画面にマークが表示されなくなります。

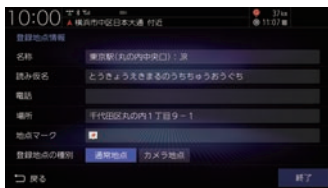
■ 登録地点の種類別

登録地点を「通常地点」または「カメラ地点」に設定できます。「カメラ地点」に設定した場合、登録地点に近づくと自動的にカメラ映像を表示します。フロントカメラが接続されている場合に設定できます。

アドバイス

- 自動的にカメラ映像を表示するには[フロントカメラの設定]の「登録地点検知」を[する]にしておく必要があります。→「システム設定」(P347)
- 登録地点を「カメラ地点」に設定すると地点マークが  マークに切り替わります。 マークを別の地点マークに変更することはできません。

1 登録地点情報画面で、“登録地点の種類”の **カメラ地点** にタップする



カメラ地点の設定が完了します。

リストの順序を変更する

登録地点のリストの並びを変更できます。

1 「登録地点情報を変更する」(P118)の手順2まで操作する

自宅と登録地点のリストを表示します。

2 **並べ替え** にタップする

3 変更したい“順序”にタップする



選んだ順序にリストが切り替わります。

■ 順序の種類について

登録順	新規登録した順に並べ替えます。
マーク順	マーク一覧の左上からの順に並べ替えます。
使用順	登録地点を使っての検索やルート探索で最近使われたマークの順に並べ替えます。
50音順	登録した読み仮名を使って50音順に並べ替えます。
キャンセル	並べ替えを選択するメニューを閉じます。

登録地点を消去する

設定した登録地点を消去します。

1 「登録地点情報を変更する」
(P118)の手順4まで操作する

2 消去したい登録地点の“チェック
ボックス”にタップし、選択する



アドバイス

- [全選択]にタップすると、すべての登録地点を選択できます。
- [全解除]にタップすると、選択状態をすべて解除できます。

3 **消去** にタップする

4 **消去する** にタップする

▼
選んだ登録地点の消去が完了します。

VICS 機能

VICS について

VICS センターに集められた交通情報を利用できます。

VICS のメディアと特徴

VICS のメディアには、FM 多重放送、ETC2.0、インターナビがあります。

お知らせ

- 本章では、各メディアで対応できる機能について、以下のマークで表記します。

マーク	メディア
FM	FM 多重放送
ETC2.0	ETC2.0
internavi	インターナビ

FM 多重放送

FM 放送波を利用して、広いエリアに道路交通情報を提供するもので、各地の FM 放送局から放送されています。

本機は、VICS WIDE にも対応しています。

ETC2.0

専用狭域(きょういき)通信を用い、画像・文字情報に加え音声情報などを提供しています。サービスエリアは限定されますが高速大容量通信が可能のためタイムリーで広範囲の情報を送信しています。ETC2.0 については、「ETC2.0 サービス」(P252)をご覧ください。

※ 別売の ETC2.0 車載器が必要です。

インターナビ交通情報

全国の VICS 情報とフローティングカー情報を統合して作られた Honda 独自の交通情報です。インターナビ交通情報を利用するには、インターナビ・プレミアムクラブまたは Honda Total Care に会員登録する必要があります。

詳しくは「インターナビ機能」(P297)をご覧ください。

FM

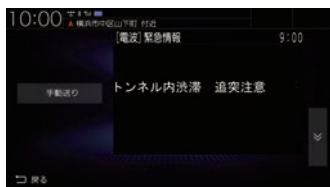
VICS 情報のレベル

VICS 情報にはレベル 1～レベル 3 までの 3 種類の表示レベルがあります。

ETC2.0 では、表示に加えて音声情報が提供されています。

■ レベル 1 (文字)

文字による交通情報を表示します。



■ レベル 2 (簡易図形)

簡略化された図形・地図などで交通情報を表示します。



■ レベル 3 (地図)

地図上に渋滞情報や規制情報などの交通情報を直接表示します。

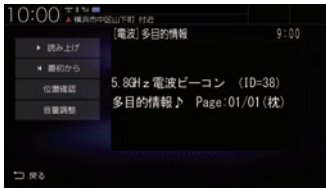


アドバイス

- 縮尺が 10m～1km のときに表示します。

音声情報

音声情報を受信した場合、[読み上げ]にタップすると音声データを読み上げます。



表示内容について

地図上に表示される VICS 情報について説明します。



① 駐車場情報

VICS 情報で表示される駐車場情報では、空車または満車などの状況を VICS 記号で確認できます。
地図の縮尺が 100m 以下で表示します。

② (VICS アイコン)

VICS 情報の提供時刻を表示します。
(受信した時刻ではありません。)

③ 規制情報

通行止めや車線規制などの交通規制を VICS 記号で確認できます。

④ 渋滞情報

渋滞・混雑の状況を線で表示し確認できます。

■ VICSメニューについて



① FM多重情報

文字または図形によるVICS情報を確認できます。

→「文字・図形情報を見る」(P128)

② ビーコン情報

ETC2.0の安全運転支援情報(P253)から取得した文字または図形によるVICS情報を確認できます。

→「安全運転支援情報を見る」(P129)

③ 緊急注意情報

割り込んだ緊急情報を再度表示して確認できます。

→「緊急情報の割り込み表示」(P130)

④ 渋滞情報表示

地図上に表示する渋滞情報を切り換えます。VICS渋滞情報、予測渋滞情報があります。

→「渋滞情報を切り換える」(P128)

■ VICS 記号について

地図上に以下のマークで各交通情報を案内します。

駐車場情報

駐車場情報を受信した場合に表示します。

- 空車 (青色)
- 満車 (赤色)
- 混雑 (オレンジ色)
- 不明 (黒色)
- 閉鎖

渋滞情報

赤色(実線)	渋滞(現在情報/予測情報)
赤色(点線)	渋滞(internaviフローティング情報)
橙色(実線)	混雑(現在情報/予測情報)
橙色(点線)	混雑(internaviフローティング情報)
青色(実線)	順調(現在情報/予測情報)
青色(点線)	順調(internaviフローティング情報)

アドバイス

- ・ 通行止めは高速略図 (P74) で表示します。
- ・ 渋滞情報は表示する/しないを設定できます。→「VICS の設定」(P322)
- ・ VICS WIDE の地図表示(レベル3)では、「現在情報」と「統計情報」が同一の渋滞表示となります。

規制情報

- 事故
- 路上障害
- 作業
- 進入禁止
- 徐行
- 片側交互通行
- チェーン規制
- 入口制限
- 故障車
- 工事
- 凍結
- 通行止め
- 速度規制 (例 60km)
- 車線規制
- 対面通行
- 入口閉鎖
- 冬期通行止め
- その他の規制情報
- 気象警戒速報
- 災害速報
- 大型通行止め
- 緊急情報

VICSメニューを表示する

1 **MENU** キーを押し、**設定/情報** にタップする

2 **情報** → **VICS 情報** にタップする



VICSメニューを表示します。

VICSセンターへのお問い合わせ

VICSの状況や機能によって問い合わせ先が異なります。問い合わせが必要になったときは、以下の内容を参考にし、お買い求めの販売店までご連絡ください。

- VICS車載器の調子や使用方法
- VICS車載器の受信可否に関して
- 地図表示(レベル3)の内容に関して
- VICS情報の受信エリアについて
- VICS情報の内容の概略に関して

以下の内容は、「VICSセンター お客様相談窓口」までご連絡ください。

- 文字表示(レベル1)の内容に関して
- 簡易図形表示(レベル2)の内容に関して
- VICSの概念
- サービス提供エリアに関して

■ VICSセンター お客様相談窓口

電話番号	0570-00-8831 (PHS、IP電話などからはご利用できません)
受付時間	平日 9:30 ~ 17:45 (土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く)
FAX番号	03-3562-1719(24時間受付)
URL	https://www.vics.or.jp/

なお、お問い合わせ先の判断に迷うような場合には、まずお買い求めの販売店にご連絡いただくことをおすすめします。

交通情報を調べる

VICSを利用することで、交通情報を確認できます。

FM

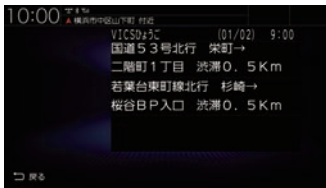
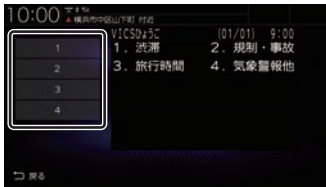
文字・図形情報を見る

文字または図形によるVICS情報を確認できます。

- 1 VICSメニューを表示する
(→P127)
- 2 FM多重情報 にタップする
- 3 知りたい情報の“番号”に
タップする



- 4 知りたい情報の“番号”にタップする



選んだ情報を表示します。

FM

渋滞情報を切り換える

渋滞情報を現在の情報または予測情報に切り換えることができます。

- 1 VICSメニューを表示する
(→P127)
- 2 渋滞情報表示 にタップする
- 3 VICS渋滞情報 または
予測渋滞情報 にタップする
- 4 現在地 キーを押す



渋滞情報が切り換わります。

安全運転支援情報を見る

前方の障害物情報や音声情報を確認できます。

1 VICSメニューを表示する (→P127)

2 ビーコン情報 にタップする



表示情報は「安全運転支援情報」(P253)をご覧ください。
各ボタンをタップしたときの動作は以下のとおりです。

読み上げ / 中断	音声データの読み上げまたは中断(一時停止)を切り換えます。一時停止中にタップすると、一時停止した部分から読み上げます。
最初から	音声データを先頭から読み上げます。
自動送り / 手動送り	1ページ以上の情報がある場合、自動送りまたは手動送りを切り換えます。
位置確認	位置情報がある場合、対象の場所を中心とした地図を表示します。
詳細情報	緊急注意情報の場合、詳細情報を表示します。
音量調整	音声データがある場合、案内音量の設定ができます。

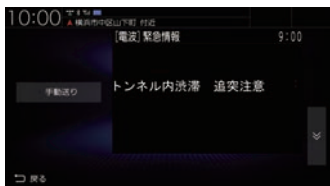
VICSによる自動処理

VICSには、安全で快適な運転をしていただくため、自動で処理される機能があります。

FM ETC2.0


緊急情報の割り込み表示

走行中、緊急情報を受信すると、受信音とともに自動的に表示します。



[戻る]にタップすると元の画面に戻ります。

アドバイス

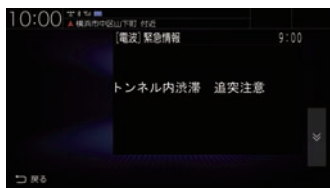
- 1ページ以上ある場合、[自動送り]/[手動送り]にタップすると自動送り、または手動送りに切り換えることができます。また、にタップしてページを送ることができます。

■ 再表示するには

割り込んできた緊急情報を再度表示して、確認できます。

1 VICSメニューを表示する (→P127)

2 緊急注意情報 にタップする



緊急情報を表示します。

FM ETC2.0

ルート自動更新

ルート走行中、ルート前方に通行止めやその他の規制が発生した場合、回避するためのルートが自動的に再探索され、新しいルート案内を開始します。



アドバイス

- [探索の設定]の「ルート自動更新」を[使用する]に設定しておく必要があります。→「NAVI設定」(P316)
- 探索条件がinternaviルートの場合は、internaviルートを優先してルート案内します。

図形/文字情報の割り込み表示

ビーコン情報またはinternavi交通情報を受信すると、図形情報または文字情報が自動的に表示されます。



[戻る]にタップすると元の画面に戻ります。

アドバイス

- 操作をしなければ約 10 秒間で元の画面に戻ります。
- internavi 交通情報は図形情報のみです。
- [ETC2.0の設定]の「ETC2.0受信音」でビーコン情報の受信音を鳴らす/鳴らさないを設定できます。
→「情報設定」(P334)
- internavi 交通情報は受信音が鳴りません。

FM

VICS局を選ぶ

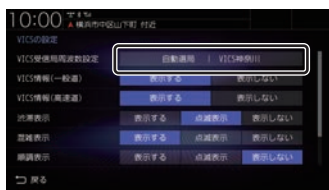
工場出荷時は、自車位置の都道府県の放送局を優先的に選局する[自動選局]に設定されていますが、都道府県を指定する方法、周波数を入力して指定する方法を選択することもできます。

1 **MENU** キーを押す

2 **設定/情報** → **NAVI設定**
にタップする

3 **VICSの設定** にタップする

4 **「VICS受信局周波数設定」**の
項目にタップする



VICS受信局周波数設定画面を表示します。

自動選局

自車位置の都道府県のVICS局を優先的に選局します。

1 **VICS受信局周波数設定画面**で
自動選局 にタップする

VICS局を自動選局に変更します。

県指定

選択した都道府県をVICS局に指定できます。

1 **VICS受信局周波数設定画面**で
県指定 にタップする

2 変更したい“都道府県”に
タップする



選んだ都道府県にVICS局を変更します。

周波数指定

入力した周波数をVICS局に指定できます。

1 **VICS受信局周波数設定画面**で
周波数指定 にタップする

2 変更したい“周波数”を入力する



3 **決定** にタップする

入力した周波数にVICS局を変更します。

AV

オーディオ機能に関する操作方法を説明します。

オーディオ機能について	136	ラジオ / 交通情報	152
基本操作	136	ラジオを聴く	152
AUDIOメニューを表示する.....	136	好みの放送局を登録する.....	152
オーディオをON/OFFする.....	137	表示内容について.....	153
オーディオ機能がONのとき.....	137	再生情報画面について.....	153
オーディオ機能がOFFのとき.....	137	受信状態の良い放送局を探す.....	154
AUDIO再生情報について.....	138	シークを開始する.....	154
音声案内時のオーディオ音量について.....	138	エリア選局から探す.....	154
再生できるディスクの種類について	139	StationListから探す.....	154
再生できないディスク.....	140	交通情報を聴く	155
CD規格外ディスクについて.....	140	表示内容について.....	155
DualDiscについて.....	140	DISC	156
DVDビデオに関して.....	141	音楽CDを聴く	156
DVDビデオに		リストを表示する.....	156
表示されているマークの意味.....	141	表示内容について.....	157
音楽ファイルについて	142	再生情報画面について.....	157
再生できる音楽ファイル形式.....	142	リストについて.....	158
フォルダーの構成について.....	143	再生モードを変更する.....	159
MP3とは.....	144	再生モードについて.....	159
再生できる		タイトル情報を取得する.....	159
MP3ファイルの規格について.....	144	取得できる情報について.....	159
WMAとは.....	145	手動で取得する.....	160
再生できる		ディスクの音楽ファイルを聴く	161
WMAファイルの規格について.....	145	リストを表示する.....	161
AACとは.....	146	表示内容について.....	162
再生できる		再生情報画面について.....	162
AACファイルの規格について.....	146	リストについて.....	163
WAVとは.....	147	再生モードを変更する.....	164
再生できる		再生モードについて.....	164
WAVファイルの規格について.....	147	DVDビデオを見る	165
FLACとは.....	148	DVDビデオの操作画面を表示する.....	166
再生できる		表示内容について.....	167
FLACファイルの規格について.....	148	再生中の操作画面.....	167
動画ファイルについて	149	停止中の操作画面.....	169
再生できる動画ファイル形式.....	149	走行中の操作制限について.....	170
フォルダーの構成について.....	150	タイトル番号やチャプター番号を選ぶ.....	170
再生可能な動画ファイルの仕様.....	151	停止画面からの操作.....	171
		音声 / 字幕を切り換える.....	171

画面表示を切り換える.....	172
アングルを切り換える.....	172
メニューを操作する.....	173
タイトルメニューの場合.....	173
メインメニューの場合.....	173
数字入力でメニューを選ぶ.....	174
静止画を送る.....	174
音声多重を切り換える.....	175
タイトルリストを表示する.....	175
視聴制限のあるDVDビデオを再生したとき.....	176

SD/Music Rack 177

SDカードの曲を聴く.....	177
リストを表示する.....	177
表示内容について.....	178
再生情報画面について.....	178
リストについて.....	179
再生モードを変更する.....	180
再生モードについて.....	180
カテゴリから探す.....	181
再生情報の画面を表示する.....	182
SDカードの動画を見る.....	183
リストを表示する.....	183
表示内容について.....	184
ソースプレートについて.....	185
再生モードを変更する.....	186
再生モードについて.....	186
Music Rackに録音する.....	187
Music Rackへの録音について.....	187
録音を開始/停止する.....	188
Music Rackを聴く.....	189
SD-Audioについて.....	189
表示内容について.....	190
再生情報画面について.....	190
プレイリスト選択画面.....	191
トラックリストについて.....	192
プレイリスト選択画面を表示する.....	193
プレイリストを編集する.....	193
プレイリストの	
タイトルを変更する.....	193
プレイリストを消去する.....	194
プレイリストの	
再生順序を変更する.....	195

トラックリストを表示する.....	195
全曲再生の	
トラックリストを表示する.....	195
プレイリスト内の	
トラックリストを表示する.....	196
トラックを編集する.....	196
トラックの情報を編集する.....	196
トラックを消去する.....	197
トラックの再生順序を変更する.....	197
再生モードを変更する.....	198
再生モードについて.....	198
カテゴリから探す.....	199
再生情報の画面を表示する.....	200
タイトル情報を取得する.....	200
本機から取得する.....	200
通信で取得する.....	201
タイトル候補の選択画面について.....	201
NoTitleリストを管理する.....	201
本機からタイトル情報を取得する.....	202
通信でタイトル情報を取得する.....	202
パソコンから	
タイトル情報を取得する.....	203
NoTitleリストから消去する.....	204
Music Rack内の曲をすべて消す.....	205

iPod/USBメモリ 206

接続する.....	206
iPodについて.....	207
USBデバイスについて.....	207
iPodを再生する.....	208
表示内容について.....	209
再生情報画面について.....	209
再生モードを変更する.....	210
再生モードについて.....	210
リストで探す.....	211
再生情報の画面を表示する.....	211
USBデバイスの曲を聴く.....	212
リストを表示する.....	212
表示内容について.....	213
再生情報画面について.....	213
リストについて.....	214
再生モードを変更する.....	215
再生モードについて.....	215

カテゴリーから探す	216
再生情報の画面を表示する	217
USB デバイスの動画を見る	218
リストを表示する	218
表示内容について	219

TV **220**

テレビ機能について	220
受信について	220
テレビを見る	221
はじめてテレビを見るとき	221
放送局を選ぶ	222
表示内容について	223
操作パネルについて	223
ロングバーナーについて	224
走行中の操作制限について	225
CHモードを切り換える	225
番組の内容を見る	226
記号について	226
緊急警報放送について	226
放送局を探す	227
番組表で探す	227
現在放送中の番組から探す	227
番組表を取得するには	227
番組表の内容を確認する	228
チャンネルリストから探す	228
系列局を探す	229
受信状態の良い放送局を探す	229
好みの放送局を登録する	230
ホームCHスキャンを行う	230
初期ホームCHスキャン	230
再ホームCHスキャン	230
ドライブCHスキャンを行う	231
初期ドライブCHスキャン	231
再ドライブCHスキャン	232
情報を確認する	233
メールを確認する	233
デバイスIDを確認する	233
ソフトウェアバージョンを確認する	234
その他の操作	235
リモコン番号を変更する	235
フルセグとワンセグを切り換える	235
自動ワンセグ切り換えについて	236

映像や音声を切り換える	237
-------------------	-----

外部入力機器 **238**

Bluetooth Audio を使う	238
対応プロファイルと	
対応機能について	238
Bluetooth 対応	
オーディオ機器を接続する	239
Bluetooth 対応	
オーディオ機器の曲を聴く	239
表示内容について	240
再生情報画面について	240
再生モードを変更する	241
再生モードについて	241
リストで探す	242
AUX を使う	243
音声を再生するには	243
HDMI の映像を見る	244
表示するには	244

オーディオ機能について

基本操作

注意

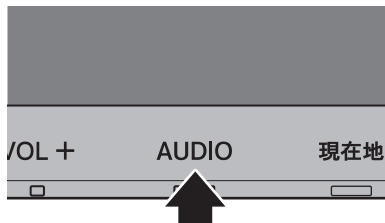
- エンジンが停止している状態でオーディオ機能を使用していると、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動ができなくなることがあります。

お知らせ

- 本書のオーディオ機能およびそれに関連する機能で使用している画像について、タイトル情報のアルバム名やタイトル名などは説明用に作成したものです。実際に存在するタイトル情報とは一切関係ありません。
- オーディオをONにした場合、最後に再生していたAUDIOソースの音量はフェードインします。
- 消音を解除した場合、AUDIOソースの音量はフェードインします。

AUDIOメニューを表示する

1 AUDIO キーを押す



AUDIOメニューまたはAUDIO再生画面を表示します。

AUDIO再生画面が表示された場合は、手順2へ進みます。

2 再度、AUDIO キーを押す



AUDIOメニューを表示します。

アドバイス

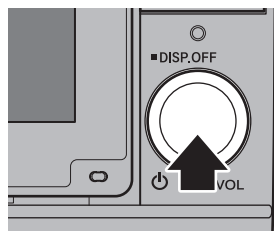
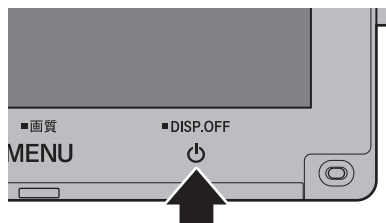
- AUDIO再生画面が表示されているときに、[SOURCE]にタップすると、AUDIOメニューを表示します。

オーディオをON/OFFする

オーディオ機能のON/OFFが行えます。

■ オーディオ機能がONのとき

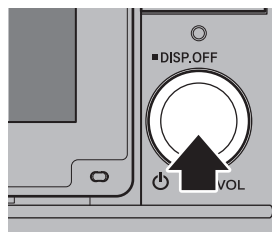
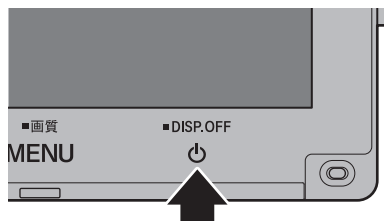
1  キー、または  キーを押す



オーディオ機能がOFFになります。

■ オーディオ機能がOFFのとき

1  キー、または  キーを押す



オーディオ機能がONになります。

AUDIO 再生情報について

オーディオ再生中、ナビ画面のステータスバーにタップするとAUDIO 再生情報を表示します。

以下のように現在再生中のオーディオソースと再生情報を表示します。



以下は一例です。

ラジオ



プリセット番号、放送局名、周波数を表示します。

ディスク (音楽CD)



トラック番号、トラック名、アルバム名(フォルダー名)を表示します。

Music Rack



トラック番号、トラック名、プレイリスト名を表示します。

音声案内時のオーディオ音量について

ナビ機能などの音声案内が行われるときは、オーディオ音量が小さくなります。

(すべてのスピーカーが対象となります。)

この機能によって、音声案内が聞き取りやすくなります。

注意

- 運転中は車外の音が聞こえる程度の音量でお使いください。車外の音が聞こえない状態で運転すると思わぬ事故につながるおそれがあります。

再生できるディスクの種類について

以下のマークはディスクのレーベル面やパッケージ、ジャケットなどに記載されています。

種類	サイズ	最大再生時間	備考
DVDビデオ 	12cm/片面 12cm/両面	133分(1層) / 242分(2層) 266分(1層) / 484分(2層) (MPEG2方式)	<ul style="list-style-type: none"> リージョン番号に「2」を含むもの。または、「ALL」。 NTSC方式で記録されたもの
DVD+R/RW DVD-R/RW	12cm/片面 12cm/両面	—	<ul style="list-style-type: none"> GPRM/2層ディスクを含む DVD VIDEO/DVD-VRフォーマット規格で記録されたディスク MP3/WMA/AAC/WAVファイルが記録されたディスク
CD-DA 	12cm/片面	74分	—
CD-TEXT 	12cm/片面	74分	<ul style="list-style-type: none"> 日本語と英語以外の言語には対応していません。ウムラウト記号「Ä å」など記号のついた文字には対応していません。
CD-EXTRA	12cm/片面	—	—
Mixed-Mode CD	12cm/片面	—	<ul style="list-style-type: none"> 先頭データを飛ばして、オーディオトラックから再生します。
CD-R/RW 	12cm/片面	—	<ul style="list-style-type: none"> MP3/WMA/AAC/WAVファイルが記録されたディスク

■ 再生できないディスク


- 「再生できるディスクの種類」に記載のないディスクの再生は保証いたしかねます。
- 8cmディスクやアダプターを取り付けたディスクは使用できません。
- 異形のディスク（ハート形など）は故障の原因となるため、使用しないでください。また、一部が透明なディスクは再生できません。
- ファイナライズしていないディスクは再生できません。
- レコーダーやPC（パソコン）によって正しいフォーマットで記録したディスクでも、アプリケーションソフトの設定や環境もしくはディスクの特性や傷、汚れ、または本機内部のレンズの汚れ、露などにより、本機で再生できない場合があります。
- ディスクによっては、一部機能が使用できない場合や再生できない場合があります。
- ヒビの入ったディスクや反ったディスクは使用しないでください。
- ディスクにシールを貼っている場合、はがれかかっているもの、のりあとが付着しているものは使用できません。
- ディスクに飾り用のラベルやシールを貼ったものは使用できません。

注意

- DTS-CD (5.1ch Music Disc) は、録音/再生できません。本機に挿入してもノイズのみが再生されますので挿入しないでください。

■ CD 規格外ディスクについて

本機では音楽CDをお楽しみいただけますが、CDの規格について以下の点にご注意ください。

- ディスクレーベル面に  の入ったものなど、JIS規格に合致したディスクをご使用ください。
- CD規格外ディスクを使用された場合には再生の保証をいたしかねます。また再生できた場合であっても音質の保証はいたしかねます。
- CD規格外ディスクを再生した場合、次の症状が発生することがあります。
 - 再生時に雑音が混入する。
 - 音飛びする。
 - ディスクを認識しない。
 - 1曲目を再生しない。
 - 頭出しの時間が通常より長い。
 - 曲の途中から再生する。
 - 部分的に再生できない箇所がある。
 - 再生の途中でフリーズする。
 - 誤表示する。

■ DualDisc について






本機はDualDiscの再生に対応しておりません。DualDiscは、片面にDVD規格準拠の映像やオーディオ、もう片面にCD再生機での再生を目的としたオーディオが収録されています。

■ DVDビデオに関して

DVDビデオによっては、一部の機能がご使用になれない場合や再生できない場合があります。

■ DVDビデオに表示されている マークの意味

DVDビデオディスクのレーベル面やパッケージには、以下のようなマークが表示されています。それぞれのマークは、そのディスクに記録されている映像または言語のタイプ、使える機能を表しています。

マーク	意味
	音声言語の数
	字幕言語の数
	アングルの数
	画面サイズ (アスペクト比: 横と縦の比率) の種別
	再生可能な地域を限定する番号。 本機で再生可能なリージョン番号 (地域番号) は、「2」を含んだもの、または「ALL」です。
NTSC	日本に対応している映像方式です。この方式以外は再生できません。

音楽ファイルについて

再生できる音楽ファイル形式

本機ではディスク*¹ やUSBデバイス、SDカードに記録された以下の音楽ファイルを再生できます。

- MP3
- WMA
- AAC
- WAV*²
- FLAC*³

*¹ 「再生できるディスクの種類について」(P139) をご覧ください。

*² ディスクに書き込んだWAV形式の音楽ファイルはサンプリング周波数、ビット数によっては再生時に音飛びが発生することがあります。

*³ ディスクに書き込んだFLAC形式の音楽ファイルは再生できません。

使用できるファイルやメディアについては制限がありますので上記形式の音楽ファイルをメディアに書き込む(コピーする)前に以下の内容をよくお読みください。

また、お手持ちのディスクドライブやライティングソフトの取扱説明書もよくお読みになり、正しくご使用ください。

音楽ファイル内にタイトル情報などのデータが記録されている場合は、ディスプレイに表示できます。

注意

- 音楽CDから書き込んだ(コピーした)ディスクやファイルを無償・有償にかかわらず他人に配るなどの行為、インターネットなどのサーバーへアップロードする行為は違法ですので決して行わないでください。
- 拡張子(「.mp3」など)を異なったファイル形式のファイルに付けしないでください。そのようなファイルが書き込まれたメディアを再生すると誤認識して再生する可能性があるため、大きな雑音がでてスピーカ-の破損や思わぬ事故につながるおそれがあります。

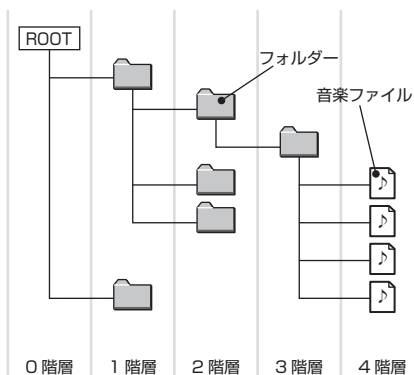
アドバイス

- 音楽ファイルによっては正常に再生できない場合があります。
- ディスク書き込みに使用したレコーダーやレコーディングソフトの状態によっては正しく再生できない場合があります。その場合はご使用になった機器・ソフトの取扱説明書をご覧ください。
- パソコンのOSの種類やバージョン、ソフト、設定によって拡張子が付かない場合があります。その場合はファイルの最後に拡張子(「.mp3」など)を付けてからメディアに書き込んで(コピーして)ください。
- 2GBを超えるサイズのファイルは再生できません。
- 複数の形式の音楽ファイルが混在したメディアも再生できます。

フォルダーの構成について

フォルダーは8階層まで認識できます。

ジャンル→アーティスト→アルバム→トラック (再生可能な形式の音楽ファイル) といった階層を作成して曲を管理できます。



名称	規格	説明	
フォーマット仕様	ISO9660	レベル 1	最大 8 文字のファイル名と 3 文字の拡張子を持つ。 (半角英大文字と半角数字、“_” が使用可能)
	ISO9660 拡張	Joliet	最大 64 文字までをファイル名として使用可能。
		Romeo	最大 128 文字までをファイル名として使用可能。
	UDF 1.02 (Access Type = ReadOnly) ^{*1}		
マルチセッション	非対応 (先頭のセッションのみ対象)		
最大フォルダー階層数	8 階層 (Root を 0 階層目とした場合)		
最大フォルダー数	500 フォルダー (Root を含む)		
最大ファイル数 ^{*2}	5000 ファイル (メディア内合計数。再生不可のファイルは含まず)		
ファイル名、 フォルダー名の制限	上限 255 バイトで、上限を超えるファイル名やフォルダー名の表示はできません。またそのファイルやフォルダーの再生もできません。		
USB、SD カードの 対応フォーマット	USB デバイスの推奨ファイルシステムは、exFAT です。 SD カードは本機でフォーマット (P353) したものをご使用ください。 1 パーティションのみ対応しております。 SD カードの容量は設計上最大 2TB までサポートしております。SD カードのスピードクラスは Class10 以上、容量は 128GB までを推奨いたします。なお、すべての SD カードに対して動作を保証するものではありません。		

※ 1 パケットライトは非対応です。

※ 2 再生不可のファイルは含みません。ただし、同じフォルダーに多数の楽曲を格納している場合は最大曲数以下の場合でも認識しない場合があります。その場合は複数のフォルダーに分けて格納してください。

お知らせ

- 本機で表示されるフォルダーおよびファイルの順番は PC で表示される順番と異なる場合があります。

MP3とは

MP3とは「MPEG-1 Audio Layer3」の略称。MPEGとは「Moving Picture Experts Group」の略称でビデオCDなどに採用されている映像圧縮規格です。

MP3はMPEGの音声に関する規格に含まれる音声圧縮方式の1つで、人間の耳で聞こえない範囲の音や大きい音に埋もれて聞き取れない音を処理することにより、高音質で小さなデータ容量のファイルを作ることができます。

音楽CDの音質をほとんど損なうことなく約1/10のデータ容量に圧縮することができるため、約10枚分の音楽CDを1枚のCD-R/RWへ書き込むことが可能になります。

■ 再生できるMP3ファイルの規格について

再生できるMP3ファイルの仕様は以下のとおりです。

項目	内容	
規格	MPEG-1 AUDIO LAYER3	
	MPEG-2/2.5 AUDIO LAYER3	
サンプリング周波数 [kHz] ^{*1}	MPEG-1 : 32/44.1/48	
	MPEG-2 : 16/22.05/24	
	MPEG-2.5 : 8/11.025/12	
ビットレート[kbps]	MPEG-1 : 32/40/48/56/64/80/96/112/128/160/192/224/256/320	
	MPEG-2 : 8/16/24/32/40/48/56/64/80/96/112/128/144/160	
	MPEG-2.5 : 8/16/24/32/40/48/56/64	
VBR (可変ビットレート)	対応	
チャンネルモード	ステレオ/ジョイントステレオ/デュアルチャンネル/モノラル	
拡張子	mp3	
対応タグ情報	ID3タグ Ver.1.0、Ver.1.1、Ver.2.2、Ver.2.3、Ver.2.4 (ISO-8859-1 ^{*2} 、UTF-16 (Unicode)、UTF-8) タイトル、アーティスト名、アルバム名、ジャケット写真、ジャンル	
ステータスバー ^{*3} に 表示できる最大文字数	タイトル名/アルバム名 : 合計で全角28文字 タイトル名が長すぎると、アルバム名が表示されないことがあります。	
リストに表示できる 最大文字数	フォルダーリスト表示時	全角28文字 ^{*4} (1階層のとき (Rootを0階層とする)) ● 階層の表示により、表示文字数は変化します。1階層下がるごとに半角2文字 (全角1文字) 減少します。
	トラックリスト表示時	ファイル名: 全角28文字 ^{*4}

※1 64kHzは対応していません。

※2 ウムラウト記号「Ä ä」など記号のついた文字には対応していません。

※3 ナビ画面で表示するステータスバーです。

※4 文字によって幅が異なるため、必ずしも最大文字数まで表示できるとは限りません。

注意

- 上記規格以外で書き込まれたMP3ファイルは正常に再生できない場合やファイル名、フォルダー名などが正しく表示されない場合があります。

WMAとは

WMAとは、Windows Media Audioの略称で、Microsoft社の音声圧縮フォーマットです。MP3よりも高い圧縮率で音声データを圧縮する方式です。

※ Microsoft、Windows Media、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

注意

- WMAは著作権保護機能(DRM)をサポートしており、著作権で保護されたWMAファイルを本オーディオシステムでは再生できません。

■ 再生できるWMAファイルの規格について

再生できるWMAファイルの仕様は以下のとおりです。

項目	内容	
規格	Windows Media Audio Version7/8/9	
サンプリング周波数 [kHz] ^{*1}	8/11.025/16/22.05/32/44.1/48	
ビットレート[kbps]	5～384	
VBR (可変ビットレート)	対応	
チャンネルモード	ステレオ/モノラル/5.1chダウンミックス	
拡張子	wma	
対応タグ情報	WMAタグ タイトル、アーティスト名、アルバム名、ジャケット写真、ジャンル	
ステータスバー ^{*2} に 表示できる最大文字数	タイトル名/アルバム名：合計で全角28文字 タイトル名が長すぎると、アルバム名が表示されないことがあります。	
リストに表示できる 最大文字数	フォルダリスト表示時	全角28文字 ^{*3} (1階層のとき(Rootを0階層とする)) ● 階層の表示により、表示文字数は変化します。1階層下がるごとに半角2文字(全角1文字)減少します。
	トラックリスト表示時	ファイル名:全角28文字 ^{*3}

※1 64kHzは対応していません。

※2 ナビ画面で表示するステータスバーです。

※3 文字によって幅が異なるため、必ずしも最大文字数まで表示できるとは限りません。

注意

- 上記規格以外で書き込まれたWMAファイルは正常に再生できない場合やファイル名、フォルダ名などが正しく表示されない場合があります。
- 「Lossless」「Voice」には対応していません。

AACとは

AACとはAdvanced Audio Codingの略称で、映像の圧縮規格「MPEG-2」や「MPEG-4」で使われている音声圧縮方式です。MP3よりも約1.4倍圧縮効率が高く、音質はほぼ同じです。

注意

- AACは著作権保護機能(DRM)をサポートしており、著作権で保護されたAACファイルを本オーディオシステムでは再生できません。

■再生できるAACファイルの規格について

再生できるAACファイルの仕様は以下のとおりです。

項目	内容	
規格	MPEG4/AAC-LC MPEG2/AAC-LC MPEG4/HE-AAC v1.v2 MPEG2/HE-AAC v1.v2	
サンプリング 周波数[kHz] ^{※1}	AAC-LC	8/11.025/12/16/22.05/24/32/44.1/48/88.2/96
	HE-AAC	16/22.05/24/32/44.1/48
ビットレート [kbps]	AAC-LC	8～576
	HE-AAC	8～144
VBR(可変ビットレート)	対応	
チャンネルモード	ステレオ/モノラル	
拡張子	m4aおよびaac (ただし、AppleLossless形式は再生できません)	
対応タグ情報	AACタグまたはID3タグ タイトル、アーティスト名、アルバム名、ジャケット写真、ジャンル	
ステータスバー ^{※2} に 表示できる最大文字数	タイトル名/アルバム名：合計で全角28文字 タイトル名が長すぎると、アルバム名が表示されないことがあります。	
リストに表示できる 最大文字数	フォルダリスト表示時	全角28文字 ^{※3} (1階層のとき(Rootを0階層とする)) ●階層の表示により、表示文字数は変化します。1階層 下がるごとに半角2文字(全角1文字)減少します。
	トラックリスト表示時	ファイル名:全角28文字 ^{※3}

※1 64kHzは対応しておりません。

※2 ナビ画面で表示するステータスバーです。

※3 文字によって幅が異なるため、必ずしも最大文字数まで表示できるとは限りません。

注意

- 上記規格以外で書き込まれたAACファイルやADIF形式のAACファイルは正常に再生できない場合やファイル名、フォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

WAVとは

WAVとは「RIFF waveform Audio Format」の略称で主にWindowsで使用されています。通常は非圧縮の音楽ファイルで、Microsoft社とIBM社で開発された音声データフォーマットです。

■再生できるWAVファイルの規格について

再生できるWAVファイルの仕様は以下のとおりです。

項目	内容	
規格	RIFF waveform Audio Format リニアPCM	
サンプリング周波数 [kHz] ^{*1}	8/11.025/12/16/22.05/24/32/44.1/48/88.2/96/176.4/192	
ビット数[bit]	8/16/24	
チャンネルモード	ステレオ/モノラル	
拡張子	wav	
対応タグ情報	非対応	
ステータスバー ^{*2} に 表示できる最大文字数	タイトル名/アルバム名：合計で全角28文字 タイトル名が長すぎると、アルバム名が表示されないことがあります。	
リストに表示できる 最大文字数	フォルダリスト表示時	全角28文字 ^{*3} (1階層のとき(Rootを0階層とする)) ●階層の表示により、表示文字数は変化します。1階層下がるごとに半角2文字(全角1文字)減少します。
	トラックリスト表示時	ファイル名:全角28文字 ^{*3}

※1 64kHzは対応しておりません。

※2 ナビ画面で表示するステータスバーです。

※3 文字によって幅が異なるため、必ずしも最大文字数まで表示できるとは限りません。

注意

- 上記規格以外で書き込まれたWAVファイルは正常に再生できない場合やファイル名、フォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

FLACとは

FLACとはFree Lossless Audio Codecの略称でライセンスフリーの音声データフォーマットです。可逆圧縮による音源のため音質の劣化がないのが特徴です。

■ 再生できるFLACファイルの規格について

再生できるFLACファイルの仕様は以下のとおりです。

項目	内容	
規格	FLAC 1.3.0	
サンプリング周波数 [kHz] ^{*1}	8/11.025/12/16/22.05/24/32/44.1/48/88.2/96/128/176.4/192	
ビット数 [bit]	4 ~ 24	
チャンネルモード	ステレオ/モノラル/5.1chダウンミックス	
拡張子	flacおよびfla	
対応タグ情報	タイトル、アーティスト名、アルバム名、ジャケット写真、ジャンル	
ステータスバー ^{*2} に表示できる最大文字数	タイトル名/アルバム名: 合計で全角28文字 タイトル名が長すぎると、アルバム名が表示されることがあります。	
リストに表示できる最大文字数	フォルダリスト表示時	全角28文字 ^{*3} (1階層のとき (Rootを0階層とする)) ● 階層の表示により、表示文字数は変化します。1階層下がるごとに半角2文字 (全角1文字) 減少します。
	トラックリスト表示時	ファイル名: 全角28文字 ^{*3}

※1 64kHzは対応しておりません。

※2 ナビ画面で表示するステータスバーです。

※3 文字によって幅が異なるため、必ずしも最大文字数まで表示できるとは限りません。

注意

- 上記規格以外で書き込まれたFLACファイルは正常に再生できない場合やファイル名、フォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

動画ファイルについて

再生できる動画ファイル形式

本機ではUSBデバイスやSDカードに記録された以下の動画ファイルを再生できます。

- MP4

- AVI 1.0/2.0 (DivXは除く)

使用できるファイルやメディアについては制限がありますので上記形式の動画ファイルをメディアに書き込む(コピーする)前に以下の内容をよくお読みください。

注意

- 拡張子(「.mp4」など)を異なったファイル形式のファイルに付けないでください。そのようなファイルが書き込まれたメディアを再生すると誤認識して再生する可能性があるため、大きな雑音がでてスピーカーの破損や思わぬ事故につながるおそれがあります。

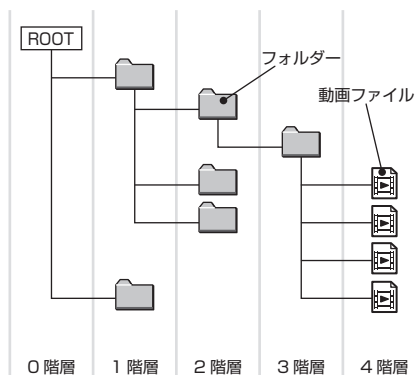
アドバイス

- 動画ファイルによっては正常に再生できない場合があります。
- パソコンのOSの種類やバージョン、ソフト、設定によって拡張子が付かない場合があります。その場合はファイルの最後に拡張子(「.mp4」など)を付けてからメディアに書き込んで(コピーして)ください。
- 2GBを超えるサイズのファイルは再生できません。
- 複数の形式の動画ファイルが混在したメディアも再生できます。

フォルダーの構成について

フォルダーは8階層まで認識できます。

ジャンル→製作年月→タイトル(再生可能な形式の動画ファイル)といった階層を作成して動画を管理できます。



名称	説明
最大フォルダー階層数	8階層 (Rootを0階層目とした場合)
最大フォルダー数	500フォルダー (Rootを含む)
最大ファイル数 ^{*1}	5000ファイル (メディア内合計数。再生不可のファイルは含まず)
ファイル名、フォルダー名の制限	上限255バイトで、上限を超えるファイル名やフォルダー名の表示はできません。またそのファイルやフォルダーの再生もできません。
USB、SDカードの対応フォーマット	USBデバイスの推奨ファイルシステムは、exFATです。 SDカードは本機でフォーマット(P353)したものをご使用ください。 1パーティションのみ対応しております。 SDカードの容量は設計上最大2TBまでサポートしております。SDカードのスピードクラスはClass10以上、容量は128GBまでを推奨いたします。なお、すべてのSDカードに対して動作を保証するものではありません。

※1 再生不可のファイルは含みません。ただし、同じフォルダーに多数の動画を格納している場合は最大動画数以下の場合でも認識しない場合があります。その場合は複数のフォルダーに分けて格納してください。

お知らせ

- 本機で表示されるフォルダーおよびファイルの順番はPCで表示される順番と異なる場合があります。

再生可能な動画ファイルの仕様

再生できる動画ファイルの仕様は以下のとおりです。

形式	拡張子	映像					音声
		コーデック	プロファイル/レベル	最大解像度	最大ビットレート	最大フレームレート	コーデック
MP4	mp4 m4v	H.264/ MPEG-4 AVC	Baseline Profile Level 3.1 Main Profile Level 3.1 HighProfile/3.1	1280 × 720	17.5Mbps	30fps	MP3 AAC
		MPEG-4 (ISO/IEC 14496 Part.2)	Advanced Simple Profile/5	1280 × 720	12Mbps	30fps	
AVI 1.0/2.0 (DivX除く)	avi	H.264/ MPEG-4 AVC	Baseline Profile Level 3.1 Main Profile Level 3.1 HighProfile/3.1	1280 × 720	17.5Mbps	30fps	MP3 AAC WMA
		MPEG-4 (ISO/IEC 14496 Part.2)	Advanced Simple Profile/5	1280 × 720	12Mbps	30fps	
		VC-1	SimpleProfile/ Medium MainProfile/ Medium Level AdvancedProfile/2	1280 × 720	20Mbps	30fps	

注意

- 上記規格以外で書き込まれた動画ファイルは正常に再生できない場合やファイル名、フォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

ラジオ / 交通情報

ラジオを聴く

FM放送やAM放送のラジオの聴きかたについて説明します。

お知らせ

- 本機はワイドFMに対応しており、99MHzまで受信が可能です。ただし、StationListから探す(P154)では、95MHzまでとなります。
- ラジオの画面を表示しているとき、ルート案内中は、ルート案内表示画面に自動で切り換わりません。音声のみ案内します。

1 AUDIOメニューを表示する (→P136)

2 RADIO にタップする

ラジオの再生情報画面を表示します。

3 FM または AM にタップする



4 ◀ または ▶ にタップして 選局する



選局した周波数の音声が流れます。

好みの放送局を登録する

お好みの放送局をFMに12局、AMに6局まで記憶できます。

1 ラジオ再生情報画面で ◀ または ▶ にタップし、登録したい“放送局”を探す

2 登録したい“プリセットボタン”に「ピッ!」と鳴るまでロングタップする →「操作のしかた」(P28)



プリセットボタン

ロングタップしたプリセットCH番号のボタンに選局した放送局を登録します。

アドバイス

- 放送局の選択にStationListを利用すると、受信可能な放送局がリストになっているため便利です。
→「StationListから探す」(P154)

■ 再生情報画面について



- ① **FM** , **AM**
FM放送、AM放送へ切り換えるときに使用します。
FMは12局、AMは6局までお好みの放送局を登録できます。
- ② ◀ , ▶
周波数を変更するときに使用します。
ロングタップ (P28) するとシークを開始します。
- ③ **エリア選局**
自車位置マークがある地域の放送局を自動でプリセットボタンにリストアップします。→「エリア選局から探す」(P154)
- ④ **プリセット**
エリア選局表示時、タップするとエリア選局を解除します。
- ⑤ **目盛り**
現在選ばれている周波数を目盛りで確認できます。
- ⑥ **放送局名**
現在選ばれている放送局名を表示します。
- ⑦ **プリセットボタン**
お好みの放送局を登録できます。
希望のプリセットCH番号のボタンに「ピッ!」と鳴るまでロングタップ (P28) すると、現在受信中の放送局を登録できます。
→「好みの放送局を登録する」(P152)
- ⑧ **AUDIO ソースボタン**
各ボタンにタップすると、AUDIO ソースが切り換わります。[SOURCE] にタップするとAUDIOメニューを表示します。
→「AUDIOメニュー」(P33)
- ⑨ **交通情報**
交通情報画面を表示します。
→「交通情報を聴く」(P155)
- ⑩ **StationList**
受信できる放送局を探し、受信した放送局を表示します。
- ⑪ **ステレオインジケータ**
ステレオ受信時に表示します。
- ⑫ **周波数**
現在選ばれている周波数を表示します。
- ⑬ ▼ , ▲
FM放送選択時に、プリセットボタンの表示を切り換えます。

受信状態の良い放送局を探す

旅行先など受信周波数の異なる地域に移動したときに受信できる放送局を探す場合に便利です。

ここでは、ラジオの再生情報画面からの操作方法を説明します。

■ シークを開始する

受信できる放送局を1つずつ探します。

1 ラジオの再生情報画面で ◀ または ▶ をロングタップする



受信できる放送局が見つかったら、音声は流れます。

■ エリア選局から探す

自車位置マークがある地域の放送局を自動でプリセットボタンにリストアップします。

1 ラジオの再生情報画面で

「エリア選局」にタップする

現在いる地域で、受信できる放送局を表示します。

2 聴きたい“放送局”にタップする



放送局が切り換わります。

アドバイス

- エリア選局で選局された放送局を好みのプリセットボタンに手動で登録しなおすことはできません。

■ StationListから探す

放送局をサーチして、受信できる放送局の一覧を表示します。

アドバイス

- リストは最大50件まで表示します。
- 電波の状況によりStationListに表示された放送局でも受信できない場合があります。

1 ラジオの再生情報画面で

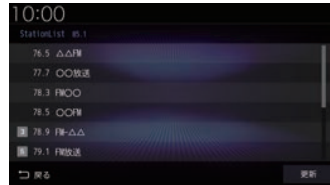
「StationList」にタップする

受信できる放送局を一覧表示します。

お知らせ

- ラジオモード中は自動で更新がされません。手動で更新してください。

2 聴きたい“放送局”にタップする



放送局が切り換わります。

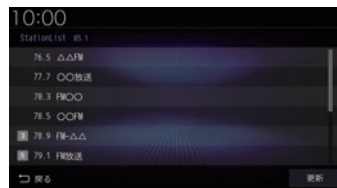
StationListを更新する

受信できる放送局を手動で更新します。

アドバイス

- StationListは自動更新されません。受信できない放送局がある場合は手動で更新をしてください。

1 StationList表示中に「更新」にタップする



受信できる放送局を一覧表示します。

交通情報を聴く

交通情報の聴きかたについて説明します。

- 1 **AUDIOメニュー**を表示する
(→P136)
- 2 **RADIO** にタップする
- 3 **交通情報** にタップする
交通情報の再生情報画面を表示します。
- 4 聴きたい“**周波数**”にタップする



選んだ周波数の交通情報が流れます。

表示内容について



- ① **FM** , **AM**
FM放送、AM放送へ切り換えるときに使用します。
- ② **周波数**
現在選ばれている周波数を表示します。
- ③ **1620** , **1629**
交通情報の周波数、1620kHzもしくは1629kHzを選ぶときにタップします。
- ④ **AUDIOソースボタン**
各ボタンにタップすると、AUDIOソースが切り換わります。[SOURCE]にタップするとAUDIOメニューを表示します。
→「AUDIOメニュー」(P33)

DISC

音楽CDを聴く

音楽CD (CD-DA/CD-TEXT) の聴きかたについて説明します。

本機にディスクを挿入すると、自動的に再生します。→「ディスクを挿入する」(P26)
また、工場出荷時の設定であれば本機に音楽CD挿入後、[録音する]にタップすることでMusic Rackへの録音を開始します。
→「Music Rackに録音する」(P187)
→「音楽CDの録音方法を変更する」(P329)

お知らせ

- 音楽CDを本機に挿入した状態で操作してください。

1 AUDIOメニューを表示する (→P136)

2 [DVD/CD] にタップする

音楽CDの再生情報画面を表示します。

3 [◀◀] または [▶▶] にタップして 曲を選ぶ

▼
選んだ曲を再生します。

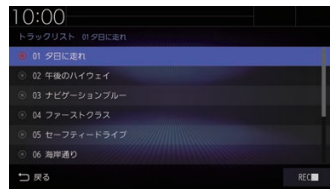
アドバイス

- [◀◀] または [▶▶] にロングタップ (P28) すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。

リストを表示する

トラックリストを表示します。
ここでは、音楽CDの再生情報画面からの操作方法を説明します。

1 音楽CDの再生情報画面で [リスト表示] にタップする

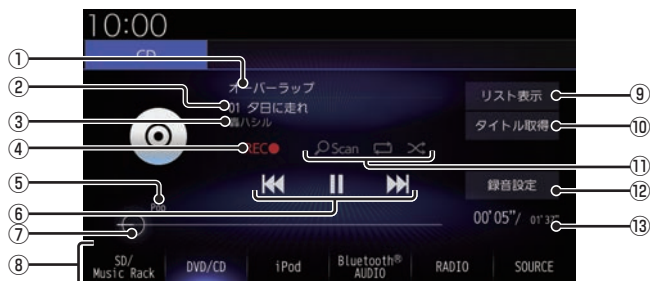


▼
トラックリストを表示します。

2 [戻る] にタップする

▼
音楽CDの再生情報画面に戻ります。

■ 再生情報画面について



① アルバム名

タイトル情報があればアルバム名を表示します。タイトル情報がなければ「No Title」と表示します。

② トラック番号/曲名

タイトル情報があれば曲名を表示します。タイトル情報がなければ「No Title」と表示します。

③ アーティスト名

タイトル情報があればアーティスト名を表示します。タイトル情報がなければ「No Name」と表示します。

④ REC ● / REC ■

録音の開始や停止が行えます。
→「録音を開始/停止する」(P188)

⑤ ジャンル

再生しているトラックのジャンル名を表示します。タイトル情報にジャンル情報があれば表示します。

⑥ ◀◀, ||, ▶▶, ▶▶▶

トラックの選択や一時停止、再生が行えます。
◀◀ または ▶▶▶ にロングタップ (P28) すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。

⑦ シークバー

シークバーをタップまたはスライドすることで、再生位置を指定できます。

⑧ AUDIO ソースボタン

各ボタンにタップすると、AUDIO ソースが切り換わります。[SOURCE] にタップすると AUDIO メニューを表示します。
→「AUDIO メニュー」(P33)

⑨ リスト表示

トラックリストを表示します。
→「リストを表示する」(P156)

⑩ タイトル取得

手でタイトル情報を取得します。
→「タイトル情報を取得する」(P159)

⑪ 再生モードボタン

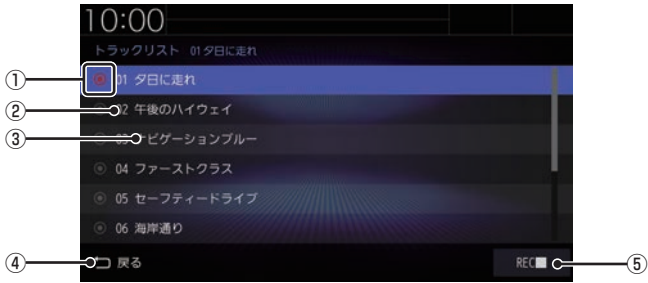
各ボタンにタップして再生モードを変更します。
→「再生モードを変更する」(P159)

⑫ 録音設定

録音方法の設定が行えます。
→「音楽 CD の録音方法を変更する」(P329)

⑬ 再生時間/曲の長さ

■ リストについて



① 録音状態アイコン

■ : 未録音 (グレー)

■ : 録音中 (赤)

※ 録音済みは表示されません。

② トラック番号

③ トラック名

トラック名を表示します。

タイトル情報がなければ、「No Title」と表示します。

④ 戻る

音楽 CD の再生情報画面に戻ります。

⑤ REC ● / REC ■

録音の開始や停止が行えます。

→ 「録音を開始/停止する」(P188)

再生モードを変更する

リピート再生、スキャン再生、ランダム再生が行えます。ここでは、音楽CDの再生情報画面からの操作方法を説明します。

1 音楽CDの再生情報画面で 変更したい“モード”にタップする









選んだモードの再生を開始します。

アドバイス

- 同一の再生モードボタン(P157)をタップするたびに、モードが切り換わります。解除するときは、モード解除を示すアイコン(P159)になるまでタップしてください。

再生モードについて

 (スキャン)	ディスク内のすべての曲が対象で、始めの部分を約10秒間ずつ順番に再生します。
 (スキャン解除)	スキャンを解除します。
 (リピート)	再生中の曲を繰り返して再生します。
 (リピート解除)	リピートを解除します。
 (ランダム)	ディスク内の曲を順不同に再生します。
 (ランダム解除)	ランダムを解除します。

タイトル情報を取得する

音楽CDを本機に挿入すると、自動的にタイトル情報を取得します。

お知らせ

- タイトル情報は、本機に記録されているGracenoteデータベースを利用してタイトル情報を取得します。
- CD-TEXTの場合はCD内からTEXT情報を取得して表示します。TEXT情報がない場合は、本機内のGracenoteデータベースからタイトル情報を取得して表示します。
- タイトル情報が取得できない場合は、「No Title」や「No Name」などと表示され、NoTitleリストに登録されます。
- 本機の発売時期以降に発売された音楽CDのタイトル情報は本機に記録されたGracenoteデータベースから取得できません。また、それ以前の音楽CDでも情報を取得できない場合があります。
- 複数の情報を表示する場合や異なった情報を表示する場合があります。
- CD-TEXTは日本語と英語以外の言語には対応しておりません。また、ウムラウト記号「Ää」など記号の付いた文字には対応しておりません。
- タイトル情報の取得が完了するまでに時間がかかる場合があります。

取得できる情報について

- アルバム名
- アルバムのアーティスト名
- トラック名
- トラックのアーティスト名
- ジャンル名

■ 手動で取得する

ここでは、音楽CDの再生情報画面からの操作方法を説明します。

1 音楽CDの再生情報画面で

タイトル取得 にタップする



タイトル情報の検索を開始します。タイトル情報が取得できた場合、タイトル候補の選択画面を表示します。

2 いずれかにタップする



アルバム名/ アーティスト名	タイトル情報が取得できた場合に 表示します。タップすることで そのタイトル情報を適用します。
該当なし	タイトル情報なしの状態となり ます。NoTitleリスト (P201) へ の登録も行いません。
NoTitleリスト に登録	Music RackのNoTitleリスト にこの音楽CDの情報を登録しま す。後でまとめてタイトル情報 を取得できます。 →「NoTitleリストを管理する」 (P201)
通信で取得	インターネット・データ通信USB を使ってタイトル情報を取得し ます。ただし、あらかじめイン ターナビ・プレミアムクラブまた はHonda Total Careに会員登録 および本機のセットアップが 必要です。 →「インターネットをご利用になる 前に」(P299)
トラック情報	トラック情報を確認できます。 複数のアルバム情報がある場合 は、[トラック情報]にタップ後、 確認したいアルバム情報にタッ プしてください。

ディスクの音楽ファイルを聴く

ディスク内の音楽ファイルの聴きかたについて説明します。

本機にディスクを挿入すると、自動的に再生します。→「ディスクを挿入する」(P26)

お知らせ

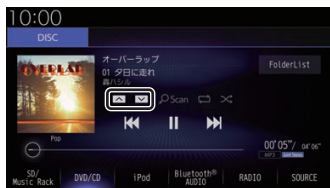
- 音楽ファイルのディスクを本機に挿入した状態で操作してください。
- 本機で表示できない文字列は記号(細長い四角形)で表示されますが故障ではありません。(特殊文字など)

1 AUDIOメニューを表示する (→P136)

2 [DVD/CD] にタップする

音楽ファイルの再生情報画面を表示します。

3 [↑] または [↓] にタップして フォルダーを選ぶ



4 [◀◀] または [▶▶] にタップして 曲を選ぶ

選んだ曲を再生します。

アドバイス

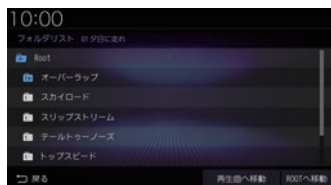
- [◀◀] または [▶▶] にロングタップ (P28) すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。

リストを表示する

リストを表示すると、フォルダーの階層を確認しながら曲を探すことができます。

ここでは、音楽ファイルの再生情報画面からの操作方法を説明します。

1 音楽ファイルの再生情報画面で [FolderList] にタップする



リストを表示します。

2 [戻る] にタップする

音楽ファイルの再生情報画面に戻ります。

アドバイス

- [ROOTへ移動] にタップすると、Rootフォルダーへ移動します。

■ 再生情報画面について



① アルバム名

タイトル情報にアルバム名があれば表示します。WAV形式の場合はフォルダー名を表示します。

② ジャケット

タイトル情報にジャケット写真があれば表示します。^{*1 *2}

③ ▲, ▼

フォルダーを選ぶときに使用します。タップすると、前後のフォルダーへと切り換わり、最初の曲を再生します。

④ ジャンル

再生しているトラックのジャンル名を表示します。タイトル情報にジャンル情報があれば表示します。^{*2}

⑤ シークバー

シークバーをタップまたはスライドすることで、再生位置を指定できます。

⑥ AUDIOソースボタン (→P33)

各ボタンにタップすると、AUDIOソースが切り換わります。[SOURCE]にタップするとAUDIOメニューを表示します。

⑦ FolderList (→P163)

フォルダーリストを表示します。

⑧ トラック番号/曲名

タイトル情報に曲名があれば表示します。WAV形式の場合はファイル名を表示します。

⑨ アーティスト名

タイトル情報にアーティスト名があれば表示します。^{*2}

⑩ 再生モードボタン

各ボタンにタップして再生モードを変更します。
→「再生モードを変更する」(P164)

⑪ ◀, ||, ▶, ▶▶

ファイルの選択や一時停止、再生が行えます。
◀▶ または ▶▶▶▶ にロングタップ (P28) すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。

⑫ 再生時間/曲の長さ

⑬ チャンネルモード

タイトル情報にチャンネルモードの情報があれば以下のアイコンを表示します。

- Stereo** : ステレオ
- Joint Stereo** : ジョイントステレオ
- Dual Channel** : デュアルチャンネル
- Monaural** : モノラル

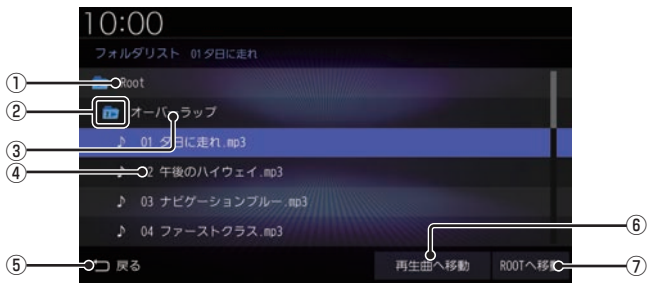
⑭ ファイル形式

再生中の音楽ファイルのファイル形式を表示します。

^{*1} ジャケット写真を表示する場合は、あらかじめ音楽データのタイトル情報にジャケット写真を設定しておく必要があります。
画像データのサイズが大きいと表示されない場合があります。

^{*2} WAV形式は対応しておりません。

■ リストについて

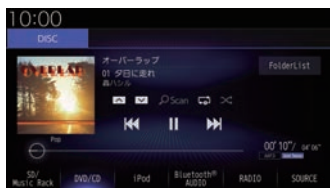
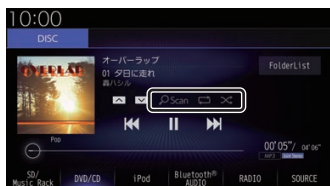


- ① **Root**
階層の最上位を示します。
- ② **階層番号**
フォルダーの階層位置を示します。
- ③ **フォルダー名**
タップすると、フォルダーを展開します。
- ④ **ファイル名**
タップすると、曲の再生を開始します。
- ⑤ **戻る**
音楽ファイルの再生情報画面に戻ります。
- ⑥ **再生曲へ移動**
再生中の曲を先頭にしたリストを表示します。
- ⑦ **ROOTへ移動**
Root フォルダーへ移動します。

再生モードを変更する

リピート再生、スキャン再生、ランダム再生などが行えます。

1 音楽ファイルの再生情報画面で 変更したい“モード”にタップする








選んだモードの再生を開始します。

アドバイス

- 同一の再生モードボタン(P162)をタップするたびに、モードが切り換わります。解除するときは、モード解除を示すアイコン(P164)になるまでタップしてください。

■ 再生モードについて

 (スキャン)	再生中の曲があるフォルダー内のすべての曲が対象で、始めの部分を約10秒間ずつ順番に再生します。
 (フォルダスキャン)	ディスク内の全フォルダーの1曲目を約10秒間ずつ順番に再生します。
 (スキャン解除)	スキャンを解除します。
 (リピート)	再生中の曲を繰り返して再生します。
 (フォルダリピート)	再生中の曲があるフォルダーを繰り返して再生します。
 (リピート解除)	リピートを解除します。
 (ランダム)	再生中の曲があるフォルダー内の曲を順不同に再生します。
 (オールランダム)	ディスク内の曲すべてを順不同に再生します。
 (ランダム解除)	ランダムを解除します。


DVDビデオを見る

DVDビデオの見かたについて説明します。

注意

- DVDビデオの映像は安全のため走行中は表示されません。(リア席モニターには表示されます)
- DVDビデオをご覧になるときは、安全な場所に停車してください。

お知らせ

- DVDビデオによってはメニューがない場合や場面によって表示できない場合があります。また、DVDビデオ側の規制から早送りやチャプタースキップなどの操作ができない場合があります。そのようなときは、マークを表示します。
- 本機は「DTS Digital Surround™」(P383)に対応しておりませんので、「DTS Digital Surround™」を選んでいた場合は音声が出力されません。必ず「DTS Digital Surround™」以外の音声を選んでください。
- MPEG2 オーディオなどの多チャンネル方式で記録した音声は、本機ではステレオ2chで出力します。
- DVDビデオはディスクによって録音レベルが異なるため、他のメディアからDVDビデオに切り換えると、音量に差が感じられることがあります。

本機にディスクを挿入すると、自動的に再生します。→「ディスクを挿入する」(P26)

お知らせ

- DVDビデオを本機に挿入した状態で操作してください。

1 AUDIOメニューを表示する (→P136)

2 **DVD/CD** にタップする

DVDビデオの再生画面を表示します。

3 **< CHAPTER >** にタップして チャプターを選ぶ

選んだチャプターの再生を開始します。

アドバイス

- **< CHAPTER >** にロングタップ (P28) すると早送り、早戻しができます。約5秒以上ロングタップすると、ボタンから指を離しても早送り、早戻しを継続します。解除するときは、再度 **< CHAPTER >** にタップします。

DVDビデオの操作画面を表示する

DVDビデオを操作するためのメニューを表示します。

1 画面のいずれかにタップする



操作画面を表示します。

お知らせ

- 本書ではDVDビデオの各モードを区別するために以下のように表記しています。

DVD VIDEO	ビデオモードで記録されたディスク
DVD-VR	VRモードで記録されたディスク

■ 再生中の操作画面

DVD VIDEO の場合

再生中、画面にタップしたときに表示する操作画面について説明します。



① ソースプレート

現在選ばれているメディア名およびタイトル番号、チャプター番号、状態アイコン、再生経過時間を表示します。

状態アイコン

- : 再生中
- : 一時停止中
- : 早送り中
- : 早戻し中
- : スロー再生中

② サーチ

タイトル番号やチャプター番号を入力して選ぶことができます。
→「タイトル番号やチャプター番号を選ぶ」(P170)

③ 切換 ※1

音声の言語 / 種別や字幕情報の選択 (P171) や画面表示の切り換え (P172)、アングルの切り換え (P172) が行えます。

④ 数字入力

DVD ビデオのメニューに番号が設定されていれば、数字入力でメニューを選ぶことができます。
→「数字入力でメニューを選ぶ」(P174)

⑤ メニュー

記録されているタイトルメニューを表示します。
→「メニューを操作する」(P173)

⑥ メニュー操作

メニュー操作パネルを表示します。

⑦ < TITLE >

前後のタイトルを選ぶときに使用します。

⑧ 再生

一時停止、スロー再生の状態を解除して通常の再生に戻ります。

⑨ 一時停止

映像が表示された状態で停止します。

⑩ 停止

再生を停止します。停止中は操作画面が変わります。
→「停止中の操作画面」(P169)

⑪ スロー

タップするたびに
[1/2] → [1/8] → [1/32] → [1/2] …
と再生速度が変わります。(スロー再生)

⑫ リターン

あらかじめ DVD ビデオ側で決められた特定の範囲を再生します。(リターン再生) ディスクに戻る位置の指定が収録されている場合にのみ有効です。

⑬ < CHAPTER >

前後のチャプターを選ぶときに使用します。ロングタップ (P28) すると早送り、早戻しができます。

※1 一時停止中は、[音声]、[字幕]、[アングル]の選択ができません。



① ソースプレート

現在選ばれているメディア名およびタイトル番号、タイトル、チャプター番号、音声多重アイコン、状態アイコン、再生経過時間を表示します。

状態アイコン

- : 再生中
- : 一時停止中
- : 早送り中
- : 早戻し中
- : スロー再生中

② サーチ

タイトル番号やチャプター番号を入力して選ぶことができます。

→「タイトル番号やチャプター番号を選ぶ」(P170)

③ 切替

音声の番号 / 種別や字幕 ON/OFF の選択 (P171) や画面表示の切り換え (P172) が行えます。

④ タイトルリスト

記録されているタイトルリストを表示します。
→「タイトルリストを表示する」(P175)

⑤ 音声多重切替

二ヶ国語放送のような複数の音声収録されていた場合、タップするたびに [主音声] → [副音声] → [主/副] → [主音声] … のように音声を切り換えることができます。
→「音声多重を切り換える」(P175)

⑥ < TITLE >

前後のタイトルを選ぶときに使用します。

⑦ 再生

一時停止、スロー再生の状態を解除して通常の再生に戻ります。

⑧ 一時停止

映像が表示された状態で停止します。

⑨ 停止

再生を停止します。停止中は操作画面が変わります。
→「停止中の操作画面」(P169)

⑩ スロー

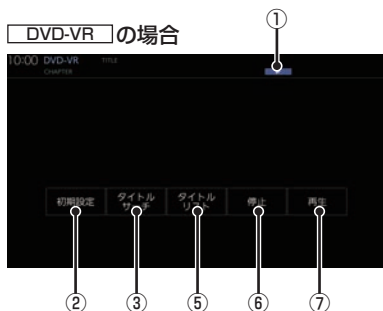
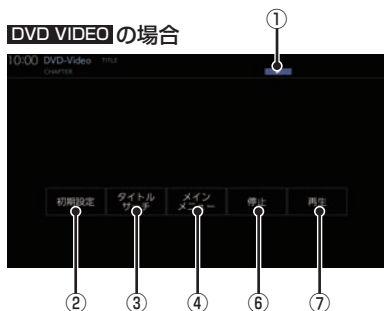
タップするたびに
[1/2] → [1/8] → [1/32] → [1/2] … と再生速度が変わります。(スロー再生)

⑪ < CHAPTER >



前後のチャプターを選ぶときに使用します。ロングタップ (P28) すると早送り、早戻しができます。

■ 停止中の操作画面

停止中、画面にタップしたときに表示する操作画面について説明します。



① 状態アイコン

-  (点滅)：停止中(続き再生可能)
- ：停止中(続き再生不可)

② 初期設定

音声言語や字幕言語などの初期設定を行うことができます。毎回音声や字幕の言語を切り換えなくてもよくなります。
→「DVDビデオの初期設定」(P330)

③ タイトルサーチ

タイトル番号を入力して選ぶことができます。
→「タイトル番号やチャプター番号を選ぶ」(P170)



④ メインメニュー

記録されているメインメニューを表示します。
→「メニューを操作する」(P173)



⑤ タイトルリスト

記録されているタイトルリストを表示します。
→「タイトルリストを表示する」(P175)

⑥ 停止

再生中から停止にしたとき(状態アイコン  が点滅状態)は続き再生ができます。再度[停止]にタップすると状態アイコンが  になり続き再生ができなくなります。

⑦ 再生

状態アイコン  が点滅状態であれば、続き再生ができます。状態アイコンが  であれば、続き再生は行われず最初からの再生となります。

■ 走行中の操作制限について

走行中は操作が制限され、映像は表示されません。

お知らせ

- 映像表示中に走行すると自動で地図画面に切り換わります。その後、何も操作せず停車した場合、自動で映像表示に切り換わります。



- 再生**
一時停止、スロー再生の状態を解除して通常再生に戻ります。
- 一時停止**
一時停止します。
- 停止**
再生を停止します。停止中は操作画面が変わります。(→P169)
- < TITLE >**
前後のタイトルを選ぶときに使用します。
- < CHAPTER >**
前後のチャプターを選ぶときに使用します。ロングタップ (P28) すると早送り、早戻しができます。

DVD VIDEO | DVD-VR

タイトル番号やチャプター番号を選ぶ

タイトル番号やチャプター番号を入力して選ぶことができます。

- 再生中、画面にタップする**
- サーチ** にタップする
- タイトル** または **チャプター** にタップする



- 再生したい“番号”を入力する**



→「文字入力のしかた」(P57)

- 決定** にタップする

指定した番号のタイトルまたはチャプターから再生します。

アドバイス

- タイトルの場合は最大で2桁、チャプターの場合は最大3桁まで入力できます。
- 手順4で最大桁数まで入力した場合は、手順5の[決定]は必要ありません。

■ 停止画面からの操作

停止中では、タイトル番号の変更のみ行えます。

- 1 停止中、画面にタップする
- 2 **タイトルサーチ** にタップする
- 3 再生したい“番号”を入力する
→「文字入力のしかた」(P57)
- 4 **決定** にタップする

指定した番号のタイトルから再生します。

アドバイス

- 手順3で最大桁数の2桁まで入力した場合は、手順4の[決定]は必要ありません。

DVD VIDEO | DVD-VR

音声 / 字幕を切り換える

DVD VIDEO では音声の言語 / 種別や字幕情報の選択が行え、**DVD-VR** では音声の番号 / 種別や字幕 ON/OFF の選択が行えます。

DVD VIDEO の場合、一時停止中は [音声]、[字幕] の選択ができません。

- 1 再生中、画面にタップする
- 2 **切換** にタップする
- 3 **音声** または **字幕** にタップする



音声または字幕の切換メニューを表示します。

- 4 **音声** または **字幕** にタップする



タップするたびに、音声または字幕が切り換わります。

アドバイス

- 変更中には音声情報または字幕情報がソースプレートに表示されます。

画面表示を切り換える

DVDビデオでは3種類のモードが用意されており、表示方法を切り換えることができます。

- 1 再生中、画面にタップする
- 2 **切換** にタップする
- 3 **ワイド** にタップする
モードの切換メニューを表示します。
- 4 いずれかの“モード”にタップする



モード



画面表示のモードが切り換わります。

お知らせ

- 通常画面は縦横比 4:3 です。
- ズームでは、画質が粗くなります。
- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り換え機能を利用すると(フル、ズームなどで画面の圧縮や引き伸ばしなどを行う)、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。

アングルを切り換える

複数のアングルが収録されたDVDビデオであればアングルを切り換えることができます。一時停止中は、[アングル]の選択ができません。

- 1 再生中、画面にタップする
- 2 **切換** にタップする
- 3 **アングル** にタップする
アングルの切換メニューを表示します。
- 4 **アングル** にタップする



タップするたびに、アングルが切り換わります。

アドバイス

- 変更中にはアングル番号がソースプレートに表示されます。

メニューを操作する

タイトルメニューやメインメニューを表示し、各メニューの選択および決定が行えます。

■ タイトルメニューの場合

1 再生中、画面にタップする

2 **メニュー** にタップする

タイトルメニューを表示します。
直接、画面のメニューボタンにタップして選択または決定を行います。
メニュー操作パネルで操作したい場合は、手順3へ進みます。

アドバイス

- PsideP (P62) を表示しているときは、メニューボタンを直接タップできません。

3 **ボタンON** にタップする

メニュー操作パネルを表示します。

4 カーソルボタンにタップしてメニューを選ぶ



5 **決定** にタップする

選択したメニューの再生を開始します。

アドバイス

- メニュー操作パネルは、DVDのコンテンツの構成によって直接タップするのが困難な場合に便利です。
- メニュー操作パネルで[戻る]にタップすると映像はタイトルメニューのまま操作画面を表示します。
- [左へ移動]または[右へ移動]にタップすると、メニュー操作パネルを移動させることができます。

■ メインメニューの場合

1 停止中、画面にタップする

2 **メインメニュー** にタップする

メインメニューを表示します。
直接、画面のメニューボタンにタップして選択または決定を行います。
メニュー操作パネルで操作したい場合は、手順3へ進みます。

アドバイス

- PsideP (P62) を表示しているときは、メニューボタンを直接タップできません。

3 **ボタンON** にタップする

メニュー操作パネルを表示します。

4 カーソルボタンにタップしてメニューを選ぶ



5 **決定** にタップする

選択したメニューの再生を開始します。

アドバイス

- メニュー操作パネルは、DVDのコンテンツの構成によって直接タップするのが困難な場合に便利です。
- メニュー操作パネルで[戻る]にタップすると映像はタイトルメニューのまま操作画面を表示します。
- [左へ移動]または[右へ移動]にタップすると、メニュー操作パネルを移動させることができます。

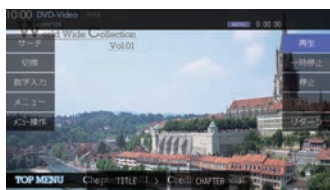
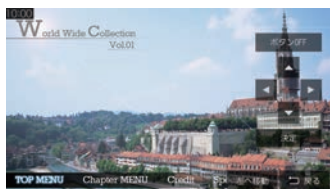
数字入力でメニューを選ぶ

DVDビデオのメニューに番号が設定されていれば、数字入力でメニューを選ぶことができます。

1 メニューを表示する

→「メニューを操作する」(P173)

2 戻る にタップする



操作画面を表示します。

3 数字入力 にタップする

4 再生したい「メニュー番号」を入力する



→「文字入力のしかた」(P57)

5 決定 にタップする

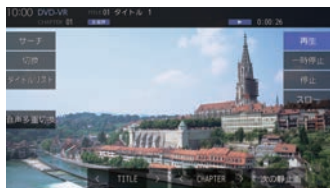
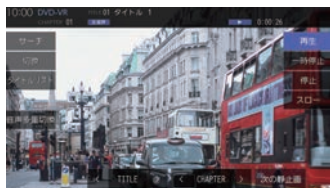
指定したメニュー番号の項目を再生します。

静止画を送る

静止画表示中に、次の静止画を表示できます。

1 静止画表示中、画面にタップする

2 次の静止画 にタップする



タップするたびに、次の静止画の表示に切り換わります。

音声多重を切り換える

二ヶ国語放送のような複数の音声収録されていた場合、音声を切り換えることができます。

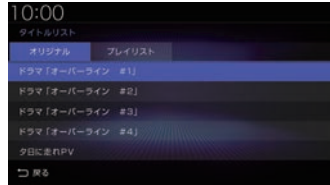
- 1 再生中、画面にタップする
- 2 **音声多重切換** にタップする



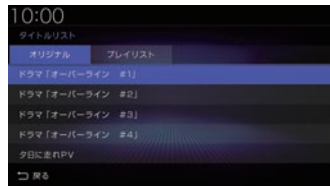
タップするたびに、[主音声]→[副音声]→
[主/副]→[主音声]・・・と切り換わります。

タイトルリストを表示する

- 1 再生中または停止中、画面に
タップする
- 2 **タイトルリスト** にタップする
タイトルリストを表示します。
- 3 **オリジナル** または
プレイリスト にタップする



- 4 再生したい“メニュー”に
タップする



選んだメニューの再生を開始します。

視聴制限のある DVDビデオを再生したとき

視聴制限 (P331) で再生できるシーンを限定していた場合に、視聴制限のある DVDビデオを再生すると、視聴制限のあるシーンを飛ばして再生します。また、DVDビデオによっては、視聴制限のあるシーンに差し掛かるとパスワードを入力する画面を表示する場合があります。ここでは、パスワードを入力する画面が表示された場合の説明をします。

パスワード入力する画面が表示されたら・・・

1 [戻る] にタップする



視聴制限のあるシーンを飛ばして再生します。

アドバイス

- パスワードを入力する画面「*視聴制限のレベルを設定する*」(P331) で設定したパスワードを入力すると視聴制限のあるシーンを再生することができます。
- ディスクによっては、[戻る] にタップしても継続して再生することができない場合があります。
- ディスクによっては、視聴制限のレベルを変更すると再生できないものがあります。視聴制限のレベルを確認してください。

SD/Music Rack

SDカードの曲を聴く

音楽ファイルが記録されたSDカードを本機で再生できます。

音楽ファイルが記録されたSDカードを本機のSDカードスロットに挿入した状態で操作してください。

1 AUDIOメニューを表示する (→P136)

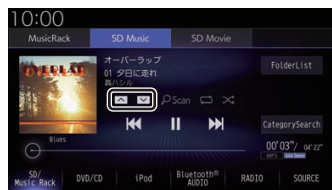
2 [SD/Music Rack] にタップする

前回の再生情報画面を表示します。
音楽ファイルのみ記録されたSDカードを挿入していた場合は、手順4へ進みます。

3 [SD Music] にタップする

音楽ファイルの再生情報画面を表示します。

4 [↑] または [↓] にタップして フォルダーを選ぶ



5 [◀] または [▶] にタップして 曲を選ぶ

選んだ曲を再生します。

アドバイス

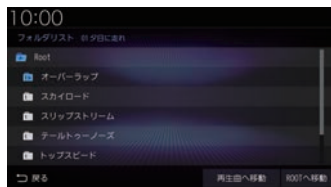
- [◀] または [▶] にロングタップ (P28) すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。

リストを表示する

CategorySearchモード (P180) がOFFのとき、フォルダーの階層を確認しながら曲を探ることができます。

ここでは、SDカードの再生情報画面からの操作方法を説明します。

1 SDカードの再生情報画面で [FolderList] にタップする



リストを表示します。

2 [戻る] にタップする

SDカードの再生情報画面に戻ります。

アドバイス

- [ROOTへ移動] にタップすると、Rootフォルダーへ移動します。
- CategorySearchモードがONのとき、[FolderList] ボタンは非表示になります。[CategorySearch] にタップしてCategorySearchモードをOFFにしてください。

このとき、再生モード (P180) を設定している場合は、再生モードは解除されます。

再生情報画面について



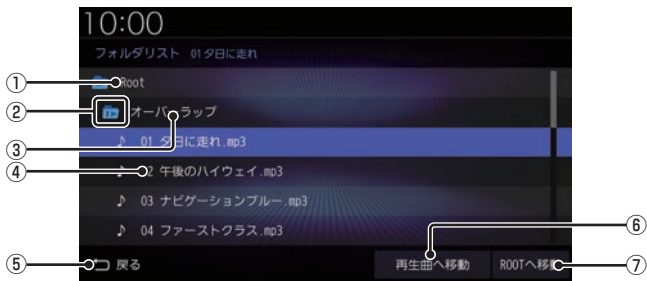
- ① **SD Movie** (→P183)
SDカードの動画再生画面に切り換え、再生を開始します。*1
- ② **Music Rack** (→P189)
再生情報画面をMusic Rackに切り換え、Music Rackの再生を開始します。
- ③ **アルバム名**
タイトル情報にアルバム名があれば表示します。WAV形式の場合はフォルダー名を表示します。
- ④ **ジャケット**
タイトル情報にジャケット写真があれば表示します。*2 *3
- ⑤ **▲, ▼**
フォルダーを選ぶときに使用します。タップすると、前後のフォルダーへと切り換わり、最初の曲を再生します。
- ⑥ **ジャンル**
再生しているトラックのジャンル名を表示します。タイトル情報にジャンル情報があれば表示します。*3
- ⑦ **シークバー**
シークバーをタップまたはスライドすることで、再生位置を指定できます。
- ⑧ **AUDIO ソースボタン** (→P33)
各ボタンにタップすると、AUDIO ソースが切り換わります。[SOURCE]にタップするとAUDIOメニューを表示します。
- ⑨ **トラック番号/曲名**
タイトル情報に曲名があれば表示します。WAV形式の場合はファイル名を表示します。
- ⑩ **アーティスト名**
タイトル情報にアーティスト名があれば表示します。*3
- ⑪ **FolderList** (→P179)
フォルダーリストを表示します。
- ⑫ **再生モードボタン** (→P180)
各ボタンにタップして再生モードを変更します。
- ⑬ **◀◀, ||, ▶▶, ▶▶▶**
ファイルの選択や一時停止、再生が行えます。◀◀ または ▶▶▶ にロングタップ (P28) すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。
- ⑭ **CategorySearch** (→P181)
CategorySearchモードをON/OFFに切り換えます。
- ⑮ **再生時間/曲の長さ**
- ⑯ **チャンネルモード**
タイトル情報にチャンネルモードの情報があれば以下のアイコンを表示します。
Stereo : ステレオ
Joint Stereo : ジョイントステレオ
DualChannel : デュアルチャンネル
Monaural : モノラル
- ⑰ **ファイル形式**
再生中の音楽ファイルのファイル形式を表示します。

*1 Apple CarPlayを利用中は、SDカードの動画を見ることができません。

*2 ジャケット写真を表示する場合は、あらかじめ音楽データのタイトル情報にジャケット写真を設定しておく必要があります。画像データのサイズが大きいと表示されない場合があります。

*3 WAV形式は対応しておりません。

■ リストについて

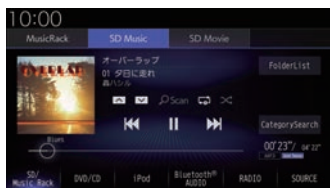
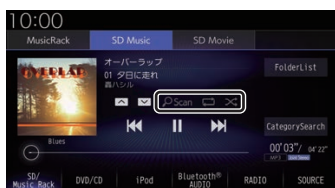


- ① **Root**
階層の最上位を示します。
- ② **階層番号**
フォルダーの階層位置を示します。
- ③ **フォルダー名**
タップすると、フォルダーを展開します。
- ④ **ファイル名**
タップすると、曲の再生を開始します。
- ⑤ **戻る**
SDカードの再生情報画面に戻ります。
- ⑥ **再生曲へ移動**
再生中の曲を先頭にしたリストを表示します。
- ⑦ **ROOTへ移動**
Root フォルダーへ移動します。

再生モードを変更する

リピート再生、スキャン再生、ランダム再生などが行えます。

1 SDカードの再生情報画面で 変更したい“モード”にタップする












選んだモードの再生を開始します。

アドバイス








- 同一の再生モードボタン(P178)をタップするたびに、モードが切り換わります。解除するときは、モード解除を示すアイコン(P180)になるまでタップしてください。

■ 再生モードについて

CategorySearch モードOFF のとき

 (スキャン)	再生中の曲があるフォルダー内のすべての曲が対象で、始めの部分を約10秒間ずつ順番に再生します。
 (フォルダスキャン)	SDカード内の全フォルダーの1曲目を約10秒間ずつ順番に再生します。
 (スキャン解除)	スキャンを解除します。
 (リピート)	再生中の曲を繰り返して再生します。
 (フォルダリピート)	再生中の曲があるフォルダーを繰り返して再生します。
 (リピート解除)	リピートを解除します。
 (ランダム)	再生中の曲があるフォルダー内の曲を順不同に再生します。
 (オールランダム)	SDカード内の曲すべてを順不同に再生します。
 (ランダム解除)	ランダムを解除します。

CategorySearch モードON のとき

 (アルバム内スキャン)	SDカード内の全アルバムの1曲目を約10秒間ずつ再生します。
 (スキャン解除)	スキャンを解除します。
 (リピート)	再生中の曲を繰り返して再生します。
 (リピート解除)	リピートを解除します。
 (ランダム)	再生中の曲があるカテゴリーで絞り込んだリスト内の曲を順不同に再生します。
 (アルバムランダム)	再生中の曲があるカテゴリーで絞り込んだリスト内のすべてのアルバムを順不同に再生します。アルバム内の曲順は変わりません。
 (ランダム解除)	ランダムを解除します。

アドバイス

- CategorySearchモードONのときは、リピート再生中にランダムやアルバムランダム再生を行ってもリピート再生は継続します。
- ランダム、アルバムランダム再生を行うと、リストも並び替わります。
- アルバムスキャンは、1つのアルバムに絞り込んで再生しているときに使用できます。

カテゴリーから探す

カテゴリー別にリストを表示して曲を探すことができます。

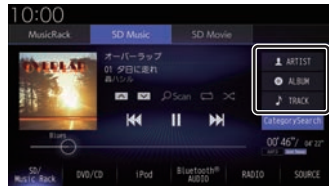
ここでは、SDカードの再生情報画面(CategorySearchモードOFF時)からの操作方法を説明します。

- 1 SDカードの再生情報画面で **CategorySearch** にタップする**
CategorySearchモードをONにします。

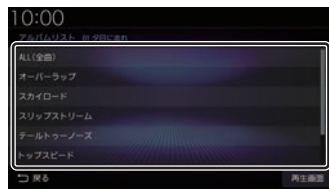
アドバイス

- CategorySearchモードをONにすると、カテゴリーをトラックリストにしたときの先頭曲から再生を開始します。
- 再生モード(P180)を設定している場合は、再生モードは解除されます。

- 2 いずれかの“カテゴリー”にタップする**



- 3 リストから再生したい“項目”にタップする**



選んだ項目内のリストを表示します。手順3の操作を繰り返し、曲(トラック)を探します。リストから再生したい曲(トラック)にタップすると、再生を開始します。

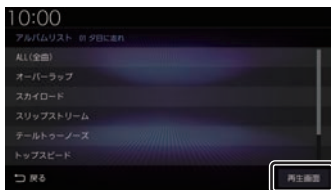
アドバイス

- 手順2で選んだカテゴリーによって、手順3で操作する項目の階層が変わります。
- 表示するリストには、ファイルに記録されているタイトル情報を表示します。

■ 再生情報の画面を表示する

リスト表示しているとき、現在再生している再生情報画面を表示できます。

1 リスト表示画面で **再生画面** に タップする



SDカードの動画を見る

動画ファイルが記録されたSDカードを本機で再生できます。

動画ファイルが記録されたSDカードを本機のSDカードスロットに挿入した状態で操作してください。

1 AUDIOメニューを表示する (→P136)

2 **SD/Music Rack** にタップする

前回の再生情報画面を表示します。
動画ファイルのみ記録されたSDカードを挿入していた場合は、手順4へ進みます。

3 **SD Movie** にタップする

動画ファイルの再生画面を表示します。

4 **< TRACK >** にタップして再生する動画を選ぶ

選んだ動画の再生を開始します。

アドバイス

- **< TRACK >** にロングタップ (P28) すると早送り、早戻しができます。約5秒以上ロングタップすると、ボタンから指を離しても早送り、早戻しを継続します。解除するときは、再度 **< TRACK >** にタップします。

お知らせ

- 走行中は操作が制限され、映像は表示されません。
- 映像表示中に走行すると自動で地図画面に切り換わります。その後、何も操作せず停車した場合、自動で映像表示に切り換わります。
- Music Rack への録音中はSDカードの動画を見ることはできません。
- Apple CarPlay を利用中は、SDカードの動画を見ることはできません。

リストを表示する

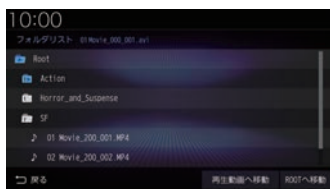
フォルダーの階層を確認しながら動画を探すことができます。

ここでは、動画ファイルの再生画面からの操作方法を説明します。

1 再生中、画面にタップする

操作画面を表示します。

2 **FolderList** にタップする



リストを表示します。

詳しくは、「リストについて」(P179) を参考にご覧ください。

3 **戻る** にタップする

動画ファイルの操作画面に戻ります。

表示内容について

再生中、画面にタップしたときに表示する操作画面について説明します。



① ソースプレート

現在の状態を表示します。詳しくは、「ソースプレートについて」(P185)をご覧ください。

② FolderList

フォルダーリストを表示します。
→「リストについて」(P179)

③ SD Music

再生情報画面をSDカードの音楽ファイルに切り換え、再生を開始します。
→「SDカードの曲を聴く」(P177)

④ Music Rack

Music Rackの再生情報画面(P190)を表示します。

⑤ シークバー

シークバーをタップまたはスライドすることで、再生位置を指定できます。

⑥ < Folder >

前後のフォルダーを選ぶときに使用します。選んだフォルダーの先頭ファイルの再生を開始します。

⑦ 再生

一時停止、スロー再生の状態を解除して通常の再生に戻ります。

⑧ 一時停止

映像が表示された状態で停止します。

⑨ スロー

タップするたびに
[1/2] → [1/8] → [1/32] → [1/2]・・・
と再生速度が変わります。(スロー再生)

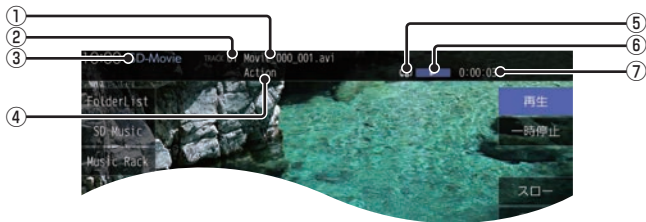
⑩ 再生モードボタン

各ボタンにタップして再生モードを変更します。
→「再生モードを変更する」(P186)

⑪ < TRACK >

前後のファイルを選ぶときに使用します。ロングタップ(P28)すると早送り、早戻しができます。

■ ソースプレートについて



① トラック名

再生している動画のトラック名を表示します。

② トラック番号

再生している動画のトラック番号を表示します。

③ ソース名

④ フォルダー名






再生している動画ファイルのフォルダー名を表示します。

⑤ 再生モード

現在の再生モードをアイコンで表示します。
→「再生モードを変更する」(P186)

⑥ 状態アイコン

再生の状態をアイコンで表示します。

-  : 再生中
-  : 一時停止中
-  : 早送り中
-  : 早戻し中
-  : スロー再生中

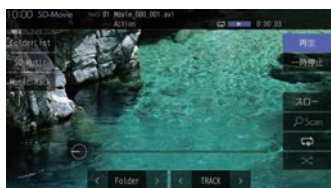
⑦ 再生時間

再生モードを変更する

1 再生中、画面にタップする

操作画面を表示します。

2 変更したい“モード”にタップする







選んだモードの再生を開始します。

アドバイス

- 同一の再生モードボタン(P184)をタップするたびに、モードが切り換わります。解除するときには、モード解除を示すアイコン(P186)になるまでタップしてください。

■ 再生モードについて

 (スキャン)	再生中の動画があるフォルダー内のすべての動画が対象で、始めの部分を約10秒間ずつ順番に再生します。
 (フォルダスキャン)	SDカード内の全フォルダーの1つ目を約10秒間ずつ順番に再生します。
 (スキャン解除)	スキャンを解除します。
 (リピート)	再生中の動画を繰り返して再生します。
 (フォルダリピート)	再生中の動画があるフォルダーを繰り返して再生します。
 (リピート解除)	リピートを解除します。
 (ランダム)	再生中の動画があるフォルダー内の動画を順不同に再生します。
 (オールランダム)	SDカード内の動画すべてを順不同に再生します。
 (ランダム解除)	ランダムを解除します。

アドバイス

- リピート再生中にランダム再生を行うと、リピート再生が解除されます。
- ランダム再生を行うと、リストも並び替わります。

Music Rack に録音する

Music Rack への録音について

本機は、挿入した音楽 CD の曲を約 4 倍速で専用 SD カードに録音できます。Music Rack に音楽 CD を録音するときは、専用 SD カードを使用してください。工場出荷時の設定であれば、本機に音楽 CD を挿入後、[録音する] にタップすることで音楽 CD 内の曲をすべて Music Rack に録音します。

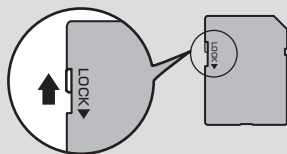


注意

- 録音したものを個人で楽しむ以外の目的で使用する場合は、著作権法上禁止されています。
- Music Rack に録音できるのは音楽 CD (CD-DA) からのみです。MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC などの音楽ファイルが記録されたディスクやその他のメディア (SD カードや USB メモリーなど) からの録音はできません。
- DTS-CD の曲が一緒に収録されている音楽 CD (CD-DA) を録音すると、DTS-CD の曲も録音されます。録音された DTS-CD の曲を再生するとノイズが再生されますので DTS-CD の曲は録音しないでください。
- 録音はエンジンがかかっている状態のときに行ってください。録音中にエンジンをかけると正しく録音できない場合があります。また、SD カードが破損する可能性があります。
- 新たな専用 SD カードを使用する場合、初めて使う際に正しく録音できないときは、「メモリ初期化」(P353) の [SD カードの初期化] で初期化を行ってください。
- 市販されている SD カードを使用するには、あらかじめ「メモリ初期化」(P353) の [SD カードの初期化] で初期化しておく必要があります。ただし、動作の保証はいたしかねます。

お知らせ

- 専用 SD カードを本機の SD カードスロットに挿入した状態で操作してください。(SD カードの Lock は解除しておいてください。)



- 録音中に追いかけ再生または Music Rack の曲を再生したとき、再生音が一瞬途切れることがあります。再生音が途切れても録音は正常にされています。
- 1 枚の SD カードに最大 999 曲まで録音できます。ただし、1 曲が 8 分 24 秒以上の場合には 8 分 24 秒ごとに曲が分割されるため 999 曲まで録音できない場合があります。
- SD カードの容量がいっぱいになった場合は、それ以上録音できません。(録音できるデータ容量の目安：1 分 1MB)
- 録音したものは原音とは音質が異なる場合やノイズが混入する可能性があります。
- Music Rack に録音した曲を別のメディア (CD-R/RW、ハードディスク、USB メモリー、SD カードなど) には複製/移動できません。
- すでに録音した曲は同じ音楽 CD から重複して録音できません。
- 録音中は本機の操作に時間がかかることがあります。

次のページにつづく

お知らせ

- 追いかけて再生準備のため、録音開始直後は再生に時間がかかることがあります。別のオーディオソースをお楽しみいただくことをおすすめいたします。
- 録音状況により再生を一時停止することがあります。(録音は継続します。)再生が一時停止すると、しばらく無音状態となりますので、別のオーディオソースをお楽しみいただくことをおすすめいたします。
- 読み込みエラーがあった場合は、次の曲に進み録音を開始します。
- 曲と曲の間にブランクがない場合は、曲間に無音が録音されます。
- SCMS (孫コピー防止技術) の働きにより、音楽CDをデジタル録音したディスクからMusic Rackへは録音できません。
- 録音中はSDカードの動画を見ることができません。

録音を開始 / 停止する

ここでは、音楽CDの再生情報画面からの操作方法を説明します。

→「音楽CDを聴く」(P156)

アドバイス

- 録音方法を変更できます。
→「音楽CDの録音方法を変更する」(P329)
- 録音設定が「シングル録音」だった場合、1曲目以外は録音できません。

1 録音したい曲を再生する

2 音楽CDの再生情報画面で

REC ● にタップする

3 **開始する** にタップする



選んだ曲の録音を開始し、追いかけて再生を行います。

4 録音を停止するときは、

REC ■ にタップする



録音を停止します。

Music Rack を聴く

Music Rack とは、SD カードに音楽 CD の曲を録音し、再生する機能です。

注意

- SD カードの破損、記録されたデータの消失または破損に対する一切の保証はいたしかねます。

お知らせ

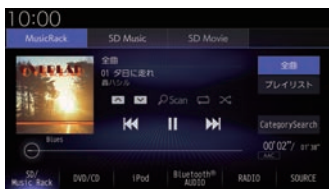
- 本製品を譲渡するときなどは著作権法上、音楽録音した SD カードを必ず抜き取り譲渡対象外としてください。
→「メモリ初期化」(P353)
- SD カードの種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。
- 本機で表示できない文字列は記号(細長い四角形)で表示されますが故障ではありません。(特殊文字など)

1 AUDIO メニューを表示する (→P136)

- 2 **SD/Music Rack** にタップする
前回の再生情報画面を表示します。
Music Rack のみ記録された SD カードを挿入していた場合は、手順 4 へ進みます。

- 3 **Music Rack** にタップする
Music Rack の再生情報画面を表示します。

- 4 **◀▶** または **▶▶** にタップして
曲を選ぶ



▼
選んだ曲を再生します。

アドバイス

- ◀▶** または **▶▶** にロングタップ (P28) すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。
- プレイリスト内の曲を再生している場合は、**◀** または **▶** にタップすると、前後のプレイリストへと切り換わり、最初の曲を再生します。

■ SD-Audio について

本機の Music Rack は SD-Audio 規格に対応しています。

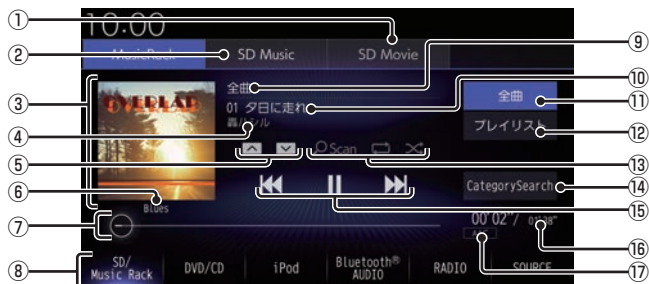
ご家庭のパソコンなどで SD-Audio 規格で録音した音楽ファイルの SD カードを本機の SD カードスロットに挿入することで、Music Rack として再生できます。

SD-Audio 規格は、著作権保護のため暗号化をしています。そのため暗号を解除できない音楽ファイルは再生できません。(音楽ファイルだけをそのまま SD カードにコピーした場合など)

他の機器で録音したプレイリストの情報について
他の機器で録音したプレイリストの情報を本機で編集すると、以下のようになります。

- プレイリスト名/トラック名/アルバム名/アーティスト名/ジャンル名以外の情報は消去されます。
- 各名称の 31 文字以降はカットされます。
- 規定外の文字コードで入力されている文字は“□”で表示されます。

再生情報画面について



- ① **SD Movie** (→P183)
SDカードの動画再生画面に切り換え、再生を開始します。^{*1}
- ② **SD Music** (→P177)
再生情報画面をSDカードの音楽ファイルに切り換え、再生を開始します。
- ③ **ジャケット**
タイトル情報にジャケット写真があれば表示します。^{*2}
- ④ **アーティスト名**
タイトル情報があればアーティスト名を表示します。タイトル情報がなければ「No Name」と表示します。
- ⑤ **▲, ▼**
プレイリストを選ぶときに使用します。(プレイリスト内の曲を再生しているときに選択できます。)
タップすると、前後のプレイリストへと切り換わり、最初の曲を再生します。
- ⑥ **ジャンル**
再生しているトラックのジャンル名を表示します。タイトル情報にジャンル情報があれば表示します。
- ⑦ **シークバー**
シークバーをタップまたはスライドすることで、再生位置を指定できます。
- ⑧ **AUDIO ソースボタン** (→P33)
各ボタンにタップすると、AUDIO ソースが切り換わります。[SOURCE]にタップするとAUDIO メニューを表示します。
- ⑨ **全曲/プレイリスト名**
全曲再生の場合は、「全曲」と表示します。プレイリスト内の曲を再生している場合は、再生中のプレイリスト名を表示します。
- ⑩ **トラック番号/曲名**
タイトル情報があれば曲名を表示します。タイトル情報がなければ「No Title」と表示します。
- ⑪ **全曲** (→P192)
全曲のトラックリストを表示します。
- ⑫ **プレイリスト** (→P191)
プレイリスト選択画面を表示します。
- ⑬ **再生モードボタン** (→P198)
各ボタンにタップして再生モードを変更します。
- ⑭ **CategorySearch** (→P199)
CategorySearch モードをON/OFFに切り換えます。
- ⑮ **⏮, ⏪, ⏩, ⏭**
トラックの選択や一時停止、再生が行えます。
⏮ または ⏭ にロングタップ (P28) すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。
- ⑯ **再生時間/曲の長さ**
- ⑰ **ファイル形式**
再生中の音楽ファイルのファイル形式を表示します。

※1 Apple CarPlay を利用中は、SDカードの動画を見ることができません。

※2 ジャケット写真を表示する場合は、あらかじめ音楽データのタイトル情報にジャケット写真を設定しておく必要があります。画像データのサイズが大きいと表示されない場合があります。

■ プレイリスト選択画面



① プレイリスト名

タップすると、そのプレイリスト内のトラックリストを表示します。

→「トラックリストについて」(P192)

② No Title リスト

取得できなかったアルバムのタイトル情報をさまざまな方法で取得できます。

→「タイトル情報を取得する」(P200)

③ 戻る

Music Rackの再生情報画面(P190)に戻ります。

④ ^ PLAYLIST ▼

プレイリストを選ぶときに使用します。タップすると、前後のプレイリストへと切り換わり、最初の曲を再生します。

⑤ 再生順変更

プレイリストの再生順序を変更できます。
→「プレイリストの再生順序を変更する」(P195)

⑥ 編集・消去

プレイリストの編集(P193)または消去(P194)が行えます。

■ トラックリストについて



① 全曲/プレイリスト名

全曲再生の場合は、「全曲」と表示します。
プレイリスト内の曲を再生している場合は、再生中のプレイリスト名を表示します。

② トラック番号/曲名

タイトル情報があれば曲名を表示します。
タイトル情報がなければ「No Title」と表示します。
タップすると、選択した曲の再生を開始します。

③ 戻る

全曲再生の場合は、再生情報画面 (P190) を表示し、プレイリスト内の曲を再生している場合は、プレイリスト選択画面 (P191) を表示します。

④ No Titleリスト

取得できなかったアルバムのタイトル情報をさまざまな方法で取得できます。
→「タイトル情報を取得する」(P200)

⑤ 再生順変更

トラックの再生順序を変更できます。
→「トラックの再生順序を変更する」
(P197)

⑥ 再生画面

Music Rackの再生情報画面 (P190) に戻ります。

⑦ 編集・消去

トラックの編集 (P196) または消去 (P197) が行えます。

⑧ ^ PLAYLIST v

プレイリストを選ぶときに使用します。
タップすると、前後のプレイリストへと切り換わり、最初の曲を再生します。

プレイリスト選択画面を表示する

Music Rackに音楽CDの曲を録音すると、自動的にアルバムごとのプレイリストが作成されます。このプレイリストをアルバムごとに選択できます。

ここでは、Music Rackの再生情報画面からの操作方法を説明します。

お知らせ

- Music Rackに1曲も録音されていない場合は、以下の操作ができません。

1 Music Rackの再生情報画面で、 プレイリスト にタップする



プレイリスト選択画面を表示します。各プレイリストにタップすると、そのプレイリストのトラックリストを表示します。

2 [戻る] にタップする

Music Rackの再生情報画面に戻ります。

アドバイス

- CategorySearchモードがONのとき、[プレイリスト]ボタンは非表示になります。[CategorySearch]にタップしてCategorySearchモードをOFFにしてください。このとき、再生モード(P198)を設定している場合は、再生モードは解除されます。

プレイリストを編集する

プレイリストのタイトルや再生順序の変更、消去が行えます。

■ プレイリストのタイトルを変更する

ここでは、プレイリスト選択画面からの操作方法を説明します。

→「プレイリスト選択画面を表示する」(P193)

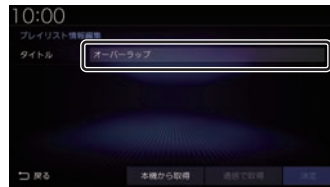
1 [編集・消去] にタップする

2 タイトルを変更したい“プレイリスト”にタップする



プレイリストの情報編集画面を表示します。

3 “タイトル”にタップする



アドバイス

- [本機から取得]または[通信で取得]にタップすると、選択しているプレイリストのタイトル情報を取得できます。→「タイトル情報を取得する」(P200)

4 変更したい“タイトル”を入力し、

入力完了 にタップする

→「文字入力のしかた」(P57)



▼
プレイリストの情報編集画面に戻ります。

5 **決定** にタップする

▼
選択したプレイリストのタイトル変更が完了します。

■ プレイリストを消去する

ここでは、プレイリスト選択画面からの操作方法を説明します。

→「プレイリスト選択画面を表示する」(P193)

アドバイス

- 録音中にこの操作は行えません。

1 **編集・消去** にタップする

2 消去したいプレイリストの“チェックボックス”にタップし、 選択する



アドバイス

- [全選択]にタップすると、すべてのプレイリストを選択できます。
- [全解除]にタップすると、選択状態をすべて解除できます。

3 **消去** にタップする

4 **消去する** にタップする

▼
選択したすべてのプレイリストの消去が完了します。

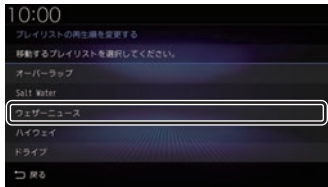
■ プレイリストの再生順序を変更する

Music Rack内のプレイリストは録音順に格納され、通常その順序で再生されます。本機能は、プレイリストの再生順序を変更できます。ここでは、プレイリスト選択画面からの操作方法を説明します。

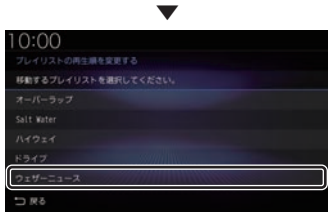
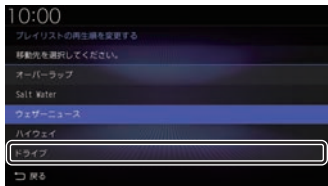
→「プレイリスト選択画面を表示する」
(P193)

1 **再生順変更** にタップする
再生順序を変更する画面を表示します。

2 再生順序を変更したい
“プレイリスト” にタップする



3 移動先の“プレイリスト” にタップする



再生順序の変更が完了します。

アドバイス

- 手順3でプレイリストを直接タップすることでタップしたトラックの位置に移動します。

トラックリストを表示する

お知らせ

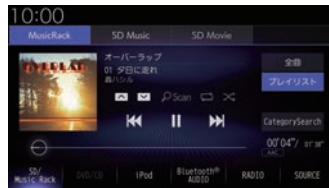
- Music Rackに1曲も録音されていない場合は、以下の操作ができません。

■ 全曲再生のトラックリストを表示する

Music Rack内に録音されたすべてのトラックリストを表示します。

ここでは、Music Rackの再生情報画面からの操作方法を説明します。

1 Music Rackの再生情報画面で、
全曲 にタップする



全曲のトラックリストを表示します。各トラックにタップすると、そのトラックの再生を開始します。

2 **戻る** にタップする

Music Rackの再生情報画面に戻ります。

アドバイス

- CategorySearchモードがONのとき、[全曲]ボタンは非表示になります。[CategorySearch]にタップしてCategorySearchモードをOFFにしてください。このとき、再生モード(P198)を設定している場合は、再生モードは解除されます。

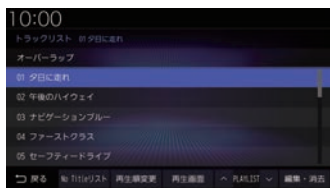
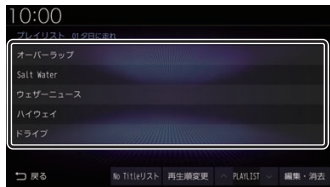
■ プレイリスト内のトラックリストを表示する

アルバムごとに管理されたプレイリストを選択し、そのトラックリストを表示します。

1 Music Rackの再生情報画面で、**プレイリスト**にタップする

プレイリスト選択画面を表示します。

2 再生したい「プレイリスト」にタップする



選択したプレイリストのトラックリストを表示します。
各トラックにタップすると、そのトラックの再生を開始します。

3 **戻る**にタップする

プレイリスト選択画面に戻ります。

トラックを編集する

トラックの情報や再生順序の変更、消去が行えます。

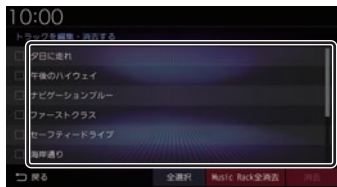
■ トラックの情報を編集する

トラックのタイトルやアルバム名などの情報を変更できます。ここでは、トラックリストからの操作方法を説明します。

→「トラックリストを表示する」(P195)

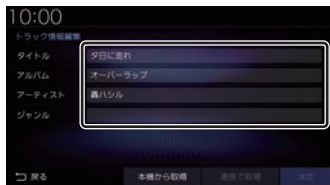
1 **編集・消去**にタップする

2 タイトルを変更したい「トラック」にタップする



トラックの情報編集画面を表示します。

3 変更したいいずれかの「入力ボックス」にタップし、入力する



4 **入力完了**にタップする



→「文字入力のしかた」(P57)

アドバイス

- ・ [本機から取得] または [通信で取得] にタップすると、選択しているトラックのタイトル情報を取得できます。

→「タイトル情報を取得する」(P200)

5 **決定**にタップする

選択したトラック情報の変更が完了します。

■ トラックを消去する

ここでは、トラックリストからの操作方法を説明します。

→「トラックリストを表示する」(P195)

1 [編集・消去] にタップする

2 消去したいトラックの“チェックボックス”にタップし、選択する



アドバイス

- [全選択]にタップすると、すべてのトラックを選択できます。
- [全解除]にタップすると、選択状態をすべて解除できます。

3 [消去] にタップする

4 [消去する] にタップする

▼
選択したすべてのトラックの消去が完了します。

■ トラックの再生順序を変更する

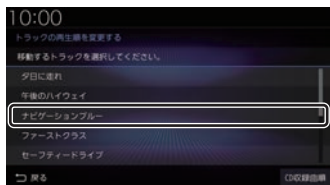
ここでは、トラックリストからの操作方法を説明します。

→「トラックリストを表示する」(P195)

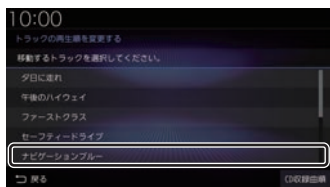
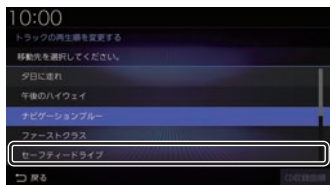
1 [再生順変更] にタップする

再生順序を変更する画面を表示します。

2 再生順序を変更したい“トラック”にタップする



3 移動先の“トラック”にタップする



再生順序の変更が完了します。

アドバイス

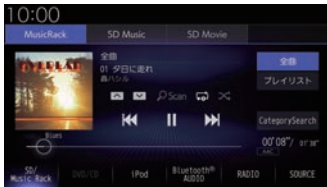
- 手順3でトラックを直接タップすることで、タップしたトラックの位置に移動します。
- プレイリスト内のトラックリスト (P196) を表示している場合は、[CD収録曲順]にタップすると、CDの収録した順番に並び替えます。

再生モードを変更する

リピート再生、スキャン再生、ランダム再生などが行えます。

この操作は、Music Rackの再生情報画面(P190)から行えます。











1 Music Rackの再生情報画面で変更したい“モード”にタップする



選んだモードの再生を開始します。

■ 再生モードについて








CategorySearchモードOFFのとき

 (スキャン)	再生中の曲があるプレイリスト内のすべての曲が対象で、始めの部分を約10秒間ずつ順番に再生します。
 (プレイリストスキャン)	Music Rack内の全プレイリストの1曲目を約10秒間ずつ順番に再生します。
 (スキャン解除)	スキャンを解除します。
 (リピート)	再生中の曲を繰り返して再生します。
 (プレイリストリピート)	再生中の曲があるプレイリストを繰り返して再生します。
 (リピート解除)	リピートを解除します。
 (ランダム)	再生中の曲があるプレイリスト内の曲を順不同に再生します。
 (プレイリストランダム)	Music Rack内の全プレイリストを順不同に選択し、プレイリスト内の曲を順番に再生します。
 (オールランダム)	Music Rack内の曲すべてを順不同に再生します。
 (ランダム解除)	ランダムを解除します。

アドバイス

- 全曲再生中(P195)の場合は、プレイリストスキャン、プレイリストリピート、プレイリストランダム、オールランダムの設定はできません。

CategorySearchモードONのとき

 Scan (アルバム内 スキャン)	Music Rack内の全アルバムの1 曲目を約10秒間ずつ再生します。
 Scan (スキャン解除)	スキャンを解除します。
 (リピート)	再生中の曲を繰り返して再生します。
 (リピート解除)	リピートを解除します。
 (ランダム)	再生中の曲があるカテゴリで 絞り込んだリスト内の曲を順不 同に再生します。
 (アルバムランダム)	再生中の曲があるカテゴリで 絞り込んだリスト内のすべての アルバムを順不同に再生します。 アルバム内の曲順は変わりません。
 (ランダム解除)	ランダムを解除します。

アドバイス

- CategorySearchモードONのときは、リピート再生中にランダムやアルバムランダム再生を行ってもリピート再生は継続します。
- ランダム、アルバムランダム再生を行うと、リストも並び替わります。
- アルバムスキャンは、1つのアルバムに絞り込んで再生しているときに使用できます。

カテゴリから探す

カテゴリ別に表示して曲を探すことができます。

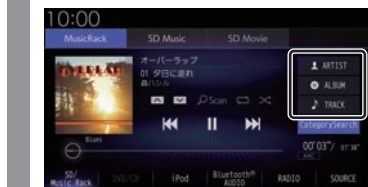
ここでは、Music Rackの再生情報画面 (CategorySearchモードOFF時)からの操作方法を説明します。

- 1 Music Rackの再生情報画面で **CategorySearch** にタップする
CategorySearchモードをONにします。

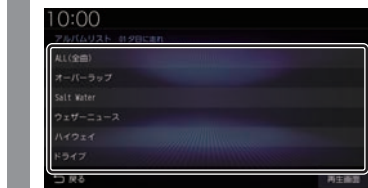
アドバイス

- CategorySearchモードをONにすると、カテゴリをトラックリストにしたときの先頭曲から再生を開始します。
- 再生モード(P198)を設定している場合は、再生モードは解除されます。

- 2 いずれかの“カテゴリ”にタップする



- 3 リストから再生したい“項目”にタップする



選んだ項目内のリストを表示します。手順3の操作を繰り返し、曲(トラック)を探します。リストから再生したい曲(トラック)にタップすると、再生を開始します。

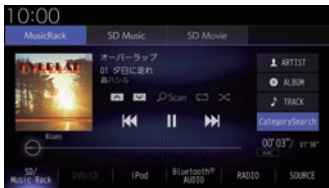
アドバイス

- 手順2で選んだカテゴリによって、手順3で操作する項目の階層が変わります。
- 表示するリストには、ファイルに記録されているタイトル情報を表示します。

■ 再生情報の画面を表示する

リスト表示しているとき、現在再生している再生情報画面を表示できます。

1 リスト表示画面で **再生画面** にタップする



■ タイトル情報を取得する

通常は、音楽CDを本機に挿入すると、自動的にタイトル情報を取得しますが、Music Rackに録音した後の再取得について説明します。

Music Rackからのタイトル情報の取得は、プレイリストの情報編集画面 (P193) またはトラックの情報編集画面 (P196) から行うことができます。

お知らせ

- ・タイトル情報について詳しくは「タイトル情報を取得する」(P159)をご覧ください。

■ 本機から取得する

本機に記録されているデータからタイトル情報を取得します。

1 各情報編集画面で **本機から取得** にタップする

タイトル情報の検索を開始します。タイトル情報が取得できた場合、タイトル候補の選択画面を表示します。

2 いずれかにタップする



→「タイトル候補の選択画面について」(P201)

■ 通信で取得する

インターナビ・データ通信USBを使ってタイトル情報を取得します。

お知らせ

- ・インターナビ・プレミアムクラブまたはHonda Total Careに会員登録および本機のセットアップが必要です。→「インターナビをご利用になる前に」(P299)

1 各情報編集画面で **通信で取得** にタップする

2 **取得する** にタップする

データ通信機能を使ったタイトル情報の検索を開始します。
タイトル情報が取得できた場合、タイトル候補の選択画面を表示します。

3 いずれかにタップする



→「タイトル候補の選択画面について」(P201)

■ タイトル候補の選択画面について

アルバム名 / アーティスト名	タイトル情報が取得できた場合に表示します。タップすることでそのタイトル情報を適用します。
該当なし	現在のタイトル情報から変更を行いません。NoTitleリスト(P201)への登録も行いません。
NoTitleリストに登録	Music RackのNoTitleリストにこの音楽CDの情報を登録します。別の方法を使い、後でまとめてタイトル情報を取得できます。→「NoTitleリストを管理する」(P201)
通信で取得	インターナビ・データ通信USBを使ってタイトル情報を取得します。ただし、あらかじめインターナビ・プレミアムクラブまたはHonda Total Careに会員登録および本機のセットアップが必要です。→「インターナビをご利用になる前に」(P299)
トラック情報	トラック情報を確認できます。複数のアルバム情報がある場合は、[トラック情報]にタップ後、確認したいアルバム情報にタップしてください。

NoTitleリストを管理する

タイトル情報が取得できなかったアルバムをあらかじめNoTitleリストに登録しておく、さまざまな方法でタイトル情報を取得できます。ここでは、プレイリスト選択画面からの操作方法を説明します。

→「プレイリスト選択画面を表示する」(P193)

1 プレイリスト選択画面で **NoTitleリスト** にタップする



NoTitleリストを表示します。

■ 本機からタイトル情報を取得する

本機の地図データ更新サービス (P314) を行ったときは、以下の方法でタイトル情報を取得できます。

ここでは、NoTitle リストからの操作方法を説明します。

1 NoTitle リストで、タイトル情報を取得したい“アルバム”にタップする



タイトル情報の検索を開始します。
タイトル情報が取得できた場合、タイトル候補の選択画面を表示します。

2 いずれかにタップする



→「タイトル候補の選択画面について」
(P201)

■ 通信でタイトル情報を取得する

インターナビ・データ通信 USB を使って登録されている NoTitle リストすべてのタイトル情報を取得します。ここでは、NoTitle リストからの操作方法を説明します。

お知らせ

- インターナビ・プレミアムクラブまたは Honda Total Care に会員登録および本機のセットアップが必要です。→「インターナビをご利用になる前に」(P299)

1 NoTitle リストで、 通信で一括取得 にタップする

2 取得する にタップする

データ通信機能を使ったタイトル情報の検索を開始します。



NoTitle リストの中でタイトル情報が取得できたアルバムを表示し、それぞれ適用します。

3 確認 にタップする

タイトル情報が取得できたタイトルは、NoTitle リストから消去されます。

1 件のみ通信で取得する場合

NoTitle リストから個別にタイトル情報を取得します。

1 NoTitle リストで、**通信で取得** にタップする

[通信で取得] ボタンが選択状態になります。

2 タイトル情報を取得したい“アルバム”にタップする



3 **取得する** にタップする

データ通信機能を使ったタイトル情報の検索を開始します。

タイトル情報が取得できた場合、タイトル候補の選択画面を表示します。

4 いずれかにタップする



→「タイトル候補の選択画面について」(P201)

■ **パソコンからタイトル情報を取得する**
ご自宅のパソコンからインターネットを利用して登録されている NoTitle リストすべてのタイトル情報を取得します。ここでは、NoTitle リストからの操作方法を説明します。

お知らせ

- あらかじめ専用ソフトをダウンロードし、ご自宅のパソコンにインストールしておく必要があります。詳しくは、弊社のホームページをご覧ください。

URL : <https://www.honda.co.jp/navi/support/>

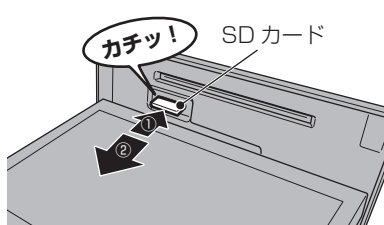
1 NoTitle リストで、**PCで一括取得** にタップする

2 **SDカードに書き込む** にタップする



SDカードに NoTitle リスト情報を書き込みます。

3 本機から SD カードを取り出す



→「SDカードを取り出す」(P25)

4 ご自宅のパソコンからタイトル情報を取得する

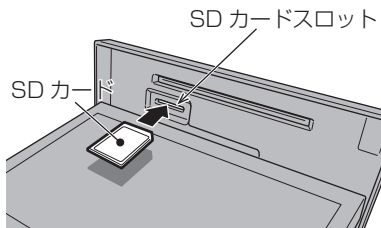
SDカードを本機から取り出し、ご自宅のパソコンにインストールした専用のソフトを使ってタイトル情報を取得します。



SDカードにタイトル情報が保存されます。

次のページにつづく

5 “タイトル情報”が保存されたSDカードを本機に挿入する



→「SDカードを挿入する」(P24)

6 NoTitleリストで、**PCで一括取得**にタップする

7 **SDカードから取り込む**にタップする



タイトル情報の取り込みを開始します。

NoTitleリストの中でタイトル情報が取得できたタイトルを表示し、各タイトルへ適用します。

8 **確認**にタップする

タイトル情報が取得できたタイトルは、NoTitleリストから消去されます。

■ NoTitleリストから消去する

NoTitleリストの登録を解除したいアルバムがあった場合、この機能を使ってNoTitleリストから消去できます。ここでは、NoTitleリストからの操作方法を説明します。

アドバイス

- この操作を行うことでMusic Rackから曲が消去されるわけではありません。

1 NoTitleリストで、**選択消去**にタップする

2 消去したいアルバムの“チェックボックス”にタップし、**選択する**



アドバイス

- [全選択]にタップすると、すべての項目を選択できます。
- [全解除]にタップすると、選択状態をすべて解除できます。

3 **消去**にタップする

4 **消去する**にタップする

選択したすべてのアルバムをNoTitleリストから消去します。

Music Rack 内の曲をすべて消す

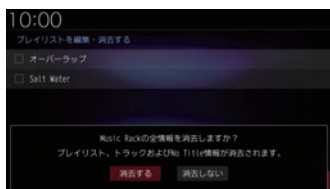
Music Rack (挿入中のSDカード) 内にあるすべての曲を消去します。

すべての曲を消去するには、プレイリスト選択画面 (P193) またはトラックリスト画面 (P195) から行うことができます。

ここでは、プレイリスト選択画面からの操作方法を説明します。

→「プレイリスト選択画面を表示する」
(P193)

- 1 プレイリスト選択画面で
編集・消去 にタップする
- 2 Music Rack 全消去
にタップする
- 3 消去する にタップする
- 4 再度、消去する にタップする

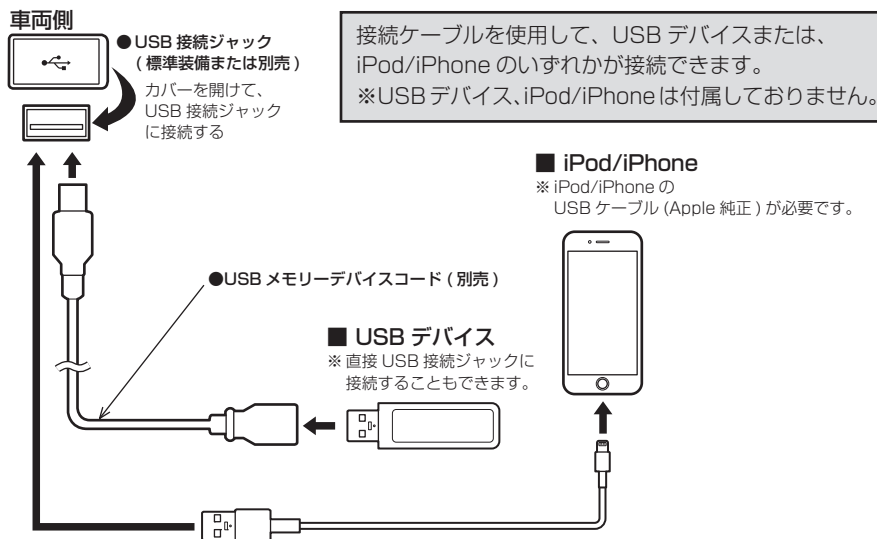


Music Rack内にあるすべての曲の消去が完了します。

iPod/USB メモリ

接続する

接続ケーブルと iPod/iPhone および USB デバイスの接続方法を説明します。



お知らせ

- USB 接続ジャックの形状や取り付け位置は、車両によって異なります。詳しくは、Honda 販売店にご確認ください。

注意

- USB 接続ジャックに何も接続していないときはカバーを閉じてください。内部に異物が入ったり、カバーが体に当たって破損したりするおそれがあります。
- Lightning コネクタタイプの iPod/iPhone に接続する場合は、Apple 純正の Lightning-USB ケーブル (0.5m 品) をご使用ください。
- iPod/iPhone の動画を再生する場合は HDMI (P244) へ接続してください。
- 各コネクタ方向に注意してください。コネクタ方向を間違えた状態で無理に接続すると、接続ケーブルのコネクタや iPod/iPhone 本体、USB デバイスの破損の原因となります。
- 車内高温時の故障や盗難を避けるため、iPod/iPhone 本体や Apple 純正の USB ケーブルを車内に放置しないでください。

■ iPod について

- iPod/iPhoneの世代や機種、ソフトウェアバージョンにより本機で再生できない場合があります。(→P9) また、本書で説明する操作方法どおりに再生できない場合があります。最新の接続確認結果については、弊社のホームページをご覧ください。
- iPod/iPhoneを本機に接続した状態で操作してください。
- 正しく動作しないときは、iPod/iPhoneを本機から外してリセットし、再度接続してください。
- 車内高温時の故障や盗難を避けるため、iPod/iPhone本体を車内に放置しないでください。
- 本機と接続して使用しているときにiPod/iPhoneのデータが消失しても、その補償はいたしかねます。
- 本機で表示できない文字列は記号(細長い四角形)で表示されますが故障ではありません。(特殊文字など)
- シークバーなどはiPod/iPhoneとの通信状況により正しく表示されない場合がありますが、故障ではありません。

■ USB デバイスについて

- USBデバイスの種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。
- USBメモリーの推奨ファイルシステムは、exFATです。
- USBメモリーの対応容量は128GBまでを推奨します。なお、すべてのUSBメモリーに対して動作を保証するものではありません。
- 音楽ファイルが記録されたUSBデバイスを本機に接続した状態で操作してください。
- 本機で表示できない文字列は記号(細長い四角形)で表示されますが故障ではありません。(特殊文字など)

注意

- 車内高温時の故障や盗難を避けるため、USBデバイスを車内に放置しないでください。
- ハードディスクやカードリーダー、メモリーリーダーは機器およびデータが破損することがあるため、使用しないでください。誤って接続した場合は車のエンジンスイッチを“OFF”にしてから取り外してください。
- データ破損のおそれがあるためファイルのバックアップをおすすめします。
- USBデバイスの破損、記録されたデータの消失または破損に対する一切の保証はいたしかねます。

iPodを再生する

市販されている iPod 接続ケーブル、iPod を本機に接続することで、iPod の音声を本機で再生できます。

お知らせ

- 本書では、以降の説明で「iPod/iPhone」をまとめて「iPod」と記載していますが「iPod」に iPhone も含んでいます。

1 AUDIOメニューを表示する (→P136)

2 **USB/iPod** にタップする 再生情報画面を表示します。

3 **⏮** または **⏭** にタップして 曲を選ぶ



選んだ曲を再生します。

アドバイス

- **⏮** または **⏭** にロングタップ (P28) すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。

■ 再生情報画面について



① アルバム名

タイトル情報にアルバム名があれば表示します。

② ジャケット

タイトル情報にジャケット写真があれば表示します。

③ アーティスト名

タイトル情報にアーティスト名があれば表示します。

④ ⏮, ⏪, ⏩, ⏭

トラックの選択や一時停止、再生が行えます。
⏮ または ⏭ にロングタップ (P28) すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。

⑤ ジャンル

再生しているトラックのジャンル名を表示します。タイトル情報にジャンル情報があれば表示します。

⑥ シークバー

シークバーをタップまたはスライドすることで、再生位置を指定できます。

⑦ AUDIO ソースボタン

各ボタンにタップすると、AUDIO ソースが切り換わります。[SOURCE] にタップすると AUDIO メニューを表示します。
→ [AUDIO メニュー] (P33)

⑧ トラック番号/曲名

タイトル情報に曲名があれば表示します。

⑨ ARTIST

アーティストリストを表示します。

⑩ ALBUM

アルバムリストを表示します。

⑪ TRACK

トラックリストを表示します。

⑫ 再生モードボタン

各ボタンにタップして再生モードを変更します。
→ [再生モードを変更する] (P210)

⑬ iPod MENU (→ P211)

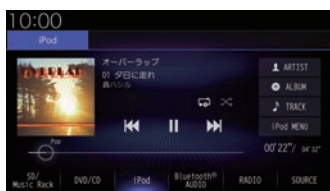
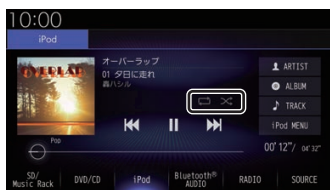
iPod メニューからさまざまなカテゴリーのリストを表示できます。

⑭ 再生時間/曲の長さ

再生モードを変更する

リピート再生やシャッフル再生などの設定が行えます。ここでは、再生情報画面からの操作を説明します。

1 再生情報画面で変更したい“モード”にタップする



選んだモードの再生を開始します。

アドバイス




- 同一の再生モードボタン(P209)をタップするたびに、モードが切り換わります。解除するときには、モード解除を示すアイコン(P210)になるまでタップしてください。
- 再生モードの内容について、詳しくは「再生モードについて」(P210)をご覧ください。

■ 再生モードについて




お知らせ

- iPodによって操作方法が異なります。

リピート

 (シングルリピート)	現在再生中の曲を繰り返して再生します。
 (オールリピート)	最終曲の再生が完了すると先頭曲から再生を開始します。
 (リピート解除) ※1	リピート再生を解除します。リストの最終曲の再生完了後、再生を停止します。

シャッフル

 (シャッフル)	再生中の階層内にある曲を順不同に再生します。
 (アルバムシャッフル) ※1	再生中の階層内にあるすべてのアルバムを順不同に再生します。アルバム内の曲順は変わりません。
 (シャッフル解除)	シャッフル再生を解除します。

※1 iPodによっては対応していない場合があります。

アドバイス

- シングルリピート再生中は、シャッフル再生やアルバムシャッフル再生を行ってもシングルリピート再生を継続します。

リストで探す

リストにタップしていくことで、アルバム名や曲名を確認しながら聴きたい曲を探ることができます。

ここでは、再生情報画面からの操作を説明します。

お知らせ

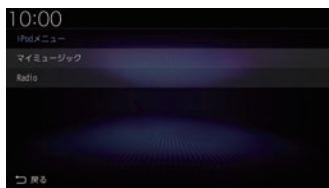
- iPodによって操作方法が異なります。

1 iPodの再生情報画面で

iPod MENU にタップする

手順2の画面が表示されない場合は、手順3へ進みます。

2 **マイミュージック** または **Radio** にタップする



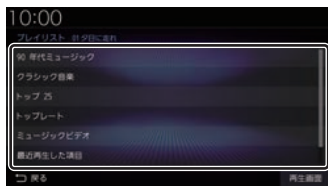
[Radio]にタップした場合は手順4へ進みます。

3 “カテゴリ” にタップする



選んだカテゴリのリストを表示します。

4 リストから再生したい“項目”にタップする



選んだ項目内のリストを表示します。

手順4の操作を繰り返し、曲(トラック)を探します。

リストから再生したい曲(トラック)にタップすると、再生を開始します。

アドバイス

- 手順3で選んだカテゴリによって、手順4で操作する項目の階層が変わります。
- 表示するリストには、iPodに記録されているタイトル情報を表示します。

■ 再生情報の画面を表示する

リスト表示しているとき、現在再生している再生情報画面を表示できます。

1 リスト表示画面で

再生画面 にタップする



USBデバイスの曲を聴く

市販されているUSBデバイスをお機に接続することで、USBメモリーなどのUSBデバイスに記録された音楽ファイルを本機で再生できます。

1 AUDIOメニューを表示する (→P136)

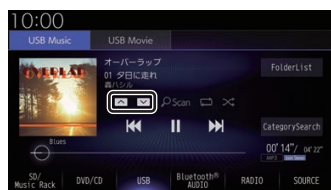
2 [USB/iPod] にタップする

前回の再生情報画面を表示します。
音楽ファイルのみ記録されたUSBデバイスを接続していた場合は手順4へ進みます。

3 [USB Music] にタップする

音楽ファイルの再生情報画面を表示します。

4 [↑] または [↓] にタップして フォルダーを選ぶ



5 [◀] または [▶] にタップして 曲を選ぶ

選んだ曲を再生します。

アドバイス

- [◀] または [▶] にロングタップ (P28) すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。

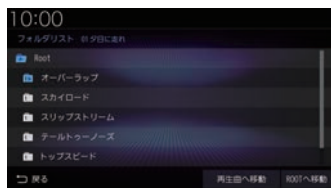
リストを表示する

CategorySearchモード (P213) がOFFのとき、フォルダーの階層を確認しながら曲を探すことができます。

ここでは、USBデバイスの再生情報画面からの操作方法を説明します。

1 USBデバイスの再生情報画面で

[FolderList] にタップする



リストを表示します。

2 [戻る] にタップする

USBデバイスの再生情報画面に戻ります。

アドバイス

- [ROOTへ移動] にタップすると、Rootフォルダーへ移動します。
 - CategorySearchモードがONのとき、[FolderList] ボタンは非表示になります。[CategorySearch] にタップしてCategorySearchモードをOFFにしてください。
- このとき、再生モード (P215) を設定している場合は、再生モードは解除されます。

■ 再生情報画面について



① アルバム名

タイトル情報にアルバム名があれば表示します。WAV形式の場合はフォルダー名を表示します。

② **USB Movie** (→P218)

USBデバイスの動画再生画面に切り換え、再生を開始します。

③ ジャケット

タイトル情報にジャケット写真があれば表示します。*1 *2

④ **▲**, **▼**

フォルダーを選ぶときに使用します。タップすると、前後のフォルダーへと切り換わり、最初の曲を再生します。

⑤ ジャンル

再生しているトラックのジャンル名を表示します。タイトル情報にジャンル情報があれば表示します。*2

⑥ シークバー

シークバーをタップまたはスライドすることで、再生位置を指定できます。

⑦ **AUDIO ソースボタン** (→P33)

各ボタンにタップすると、AUDIO ソースが切り換わります。[SOURCE]にタップするとAUDIOメニューを表示します。

⑧ **FolderList** (→P214)

フォルダーリストを表示します。

⑨ **トラック番号/曲名**

タイトル情報に曲名があれば表示します。WAV形式の場合はファイル名を表示します。

⑩ **アーティスト名**

タイトル情報にアーティスト名があれば表示します。*2

⑪ **再生モードボタン** (→P215)

各ボタンにタップして再生モードを変更します。

⑫ **CategorySearch** (→P216)

CategorySearchモードをON/OFFに切り換えます。

⑬ **◀**, **||**, **▶**, **▶▶**

ファイルの選択や一時停止、再生が行えます。**◀▶** または **▶▶** にロングタップ (P28) すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。

⑭ **再生時間/曲の長さ**⑮ **チャンネルモード**

タイトル情報にチャンネルモードの情報があれば以下のアイコンを表示します。

- Stereo** : ステレオ
- Joint Stereo** : ジョイントステレオ
- DualChannel** : デュアルチャンネル
- Monaural** : モノラル

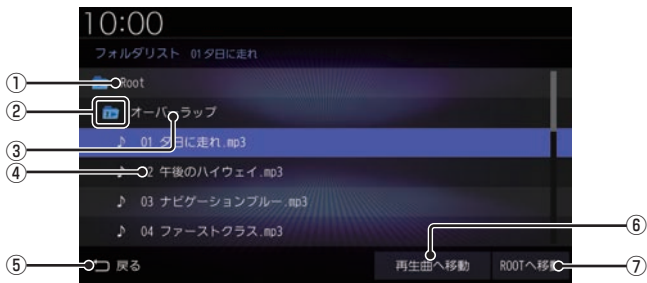
⑯ **ファイル形式**

再生中の音楽ファイルのファイル形式を表示します。

*1 ジャケット写真を表示する場合は、あらかじめ音楽データのタイトル情報にジャケット写真を設定しておく必要があります。画像データのサイズが大きいと表示されない場合があります。

*2 WAV形式は対応しておりません。

■ リストについて

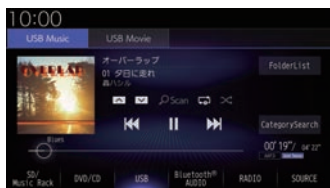
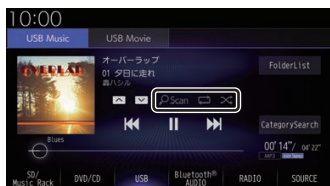


- ① **Root**
階層の最上位を示します。
- ② **階層番号**
フォルダーの階層位置を示します。
- ③ **フォルダー名**
タップすると、フォルダーを展開します。
- ④ **ファイル名**
タップすると、曲の再生を開始します。
- ⑤ **戻る**
USBデバイスの再生情報画面に戻ります。
- ⑥ **再生曲へ移動**
再生中の曲を先頭にしたリストを表示します。
- ⑦ **ROOTへ移動**
Root フォルダーへ移動します。

再生モードを変更する

リピート再生、スキャン再生、ランダム再生などが行えます。

1 USBデバイスの再生情報画面で 変更したい“モード”にタップする








選んだモードの再生を開始します。

アドバイス








- 同一の再生モードボタン(P213)をタップするたびに、モードが切り換わります。解除するときは、モード解除を示すアイコン(P215)になるまでタップしてください。

■ 再生モードについて

CategorySearch モードOFF のとき

 (スキャン)	再生中の曲があるフォルダー内のすべての曲が対象で、始めの部分を約10秒間ずつ順番に再生します。
 (フォルダスキャン)	USBデバイス内の全フォルダーの1曲目を約10秒間ずつ順番に再生します。
 (スキャン解除)	スキャンを解除します。
 (リピート)	再生中の曲を繰り返して再生します。
 (フォルダリピート)	再生中の曲があるフォルダーを繰り返して再生します。
 (リピート解除)	リピートを解除します。
 (ランダム)	再生中の曲があるフォルダー内の曲を順不同に再生します。
 (オールランダム)	USBデバイス内の曲すべてを順不同に再生します。
 (ランダム解除)	ランダムを解除します。

CategorySearch モードON のとき

 (アルバム内スキャン)	USBデバイス内の全アルバムの1曲目を約10秒間ずつ再生します。
 (スキャン解除)	スキャンを解除します。
 (リピート)	再生中の曲を繰り返して再生します。
 (リピート解除)	リピートを解除します。
 (ランダム)	再生中の曲があるカテゴリーで絞り込んだリスト内の曲を順不同に再生します。
 (アルバムランダム)	再生中の曲があるカテゴリーで絞り込んだリスト内のすべてのアルバムを順不同に再生します。アルバム内の曲順は変わりません。
 (ランダム解除)	ランダムを解除します。

次のページにつづく

アドバイス

- CategorySearchモードONのときは、リピート再生中にランダムやアルバムランダム再生を行ってもリピート再生は継続します。
- ランダム、アルバムランダム再生を行うと、リストも並び替わります。
- アルバムスキャンは、1つのアルバムに絞り込んで再生しているときに使用できます。

カテゴリーから探す

カテゴリー別にリストを表示して曲を探すことができます。

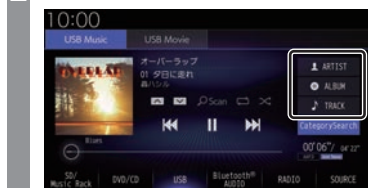
ここでは、USBデバイスの再生情報画面(CategorySearchモードOFF時)からの操作方法を説明します。

- 1 **USBデバイスの再生情報画面で**
CategorySearch にタップする
CategorySearchモードをONにします。

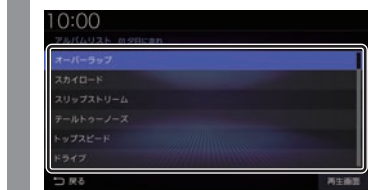
アドバイス

- CategorySearchモードをONにすると、カテゴリーをトラックリストにしたときの先頭曲から再生を開始します。
- 再生モード(P215)を設定している場合は、再生モードは解除されます。

- 2 いずれかの“カテゴリー”にタップする



- 3 リストから再生したい“項目”にタップする



選んだ項目内のリストを表示します。手順3の操作を繰り返し、曲(トラック)を探します。リストから再生したい曲(トラック)にタップすると、再生を開始します。

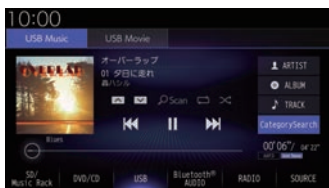
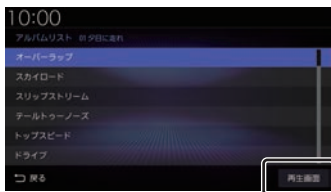
アドバイス

- 手順2で選んだカテゴリーによって、手順3で操作する項目の階層が変わります。
- 表示するリストには、ファイルに記録されているタイトル情報を表示します。

■ 再生情報の画面を表示する

リスト表示しているとき、現在再生している再生情報画面を表示できます。

1 リスト表示画面で **再生画面** に タップする



USBデバイスの動画を見る

市販されているUSBデバイスを本機に接続することで、USBメモリーなどのUSBデバイスに記録された動画ファイルを本機で再生できます。

お知らせ

- 走行中は操作が制限され、映像は表示されません。
- 映像表示中に走行すると自動で地図画面に切り換わります。その後、何も操作せず停車した場合、自動で映像表示に切り換わります。

1 AUDIOメニューを表示する (→P136)

2 **USB/iPod** にタップする

前回の再生情報画面を表示します。
動画ファイルのみ記録されたUSBデバイスを接続していた場合は、手順4へ進みます。

3 **USB Movie** にタップする

動画ファイルの再生画面を表示します。

4 **< TRACK >** にタップして再生する動画を選ぶ

選んだ動画の再生を開始します。

アドバイス

- **< TRACK >** にロングタップ (P28) すると早送り、早戻しができます。約5秒以上ロングタップすると、ボタンから指を離しても早送り、早戻しを継続します。解除するときは、再度 **< TRACK >** にタップします。

リストを表示する

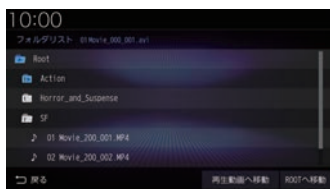
フォルダーの階層を確認しながら動画を探すことができます。

ここでは、動画ファイルの再生画面からの操作方法を説明します。

1 再生中、画面にタップする

操作画面を表示します。

2 **FolderList** にタップする



リストを表示します。

詳しくは、「リストについて」(P214)を参考にご覧ください。

3 **戻る** にタップする

動画ファイルの操作画面に戻ります。

表示内容について

再生中、画面にタップしたときに表示する操作画面について説明します。



① ソースプレート

現在の状態を表示します。
詳しくは、「ソースプレートについて」
(P185) を参考にご覧ください。

② FolderList

フォルダーリストを表示します。
詳しくは、「リストについて」(P214) を参
考にご覧ください。

③ USB Music

再生情報画面を USB デバイスの音楽ファ
イルに切り換え、再生を開始します。
詳しくは、「USB デバイスの曲を聴く」
(P212) を参考にご覧ください。

④ シークバー

シークバーをタップまたはスライドするこ
とで、再生位置を指定できます。

⑤ < Folder >

前後のフォルダーを選ぶときに使用しま
す。選んだフォルダーの先頭ファイルの再
生を開始します。

⑥ 再生

一時停止、スロー再生の状態を解除して通
常の再生に戻ります。

⑦ 一時停止

映像が表示された状態で停止します。

⑧ スロー

タップするたびに
[1/2] → [1/8] → [1/32] → [1/2] . . .
と再生速度が変わります。(スロー再生)

⑨ 再生モードボタン

各ボタンにタップして再生モードを変更しま
す。詳しくは、「再生モードを変更する」
(P186) を参考にご覧ください。

⑩ < TRACK >

前後のファイルを選ぶときに使用しま
す。ロングタップ (P28) すると早送り、早戻し
ができます。

テレビ機能について

本機では、地上デジタルTVチューナーを使った地上デジタルTV放送をご覧になることができます。

受信について

走行にともない、受信状態が変わる場合や障害物などの影響により最良な受信状態を維持できない場合があります。

注意

- テレビの映像は安全のため走行中は表示されません。(リア席モニターには表示されます)
- テレビをご覧になるときは、安全な場所に停車してください。
- 電車の架線や高圧線、信号機やネオンなどの近くでは、画像が乱れることや雑音が入ることがあります。
- 直進性の強い電波のため、建物や山などの障害物があると、受信状態が悪くなる場合があります。
- ラジオ放送やアマチュア無線用の送信アンテナ・鉄塔の近くでは画像が乱れることや雑音が入ることがあります。
- 放送局から遠いところでは、電波が弱くなり受信状態が悪くなります。
- データ放送は対応しておりません。
- PPV番組(有料番組)は対応しておりません。
- TV視聴中に表示される時計表示は、地上デジタルTVチューナーが放送波で受信した時刻を表示しています。ナビ画面で表示している時刻(P48)や車両装備の時刻と異なる場合があります。

テレビを見る

地上デジタルTVチューナーでは、フルセグ放送およびワンセグ放送をご覧になれます。

はじめてテレビを見るとき

(ホームCHスキャン)

はじめてテレビを見るときは、最初に地域設定とホームCHスキャンを行う必要があります。設定した地域で受信できる放送局を調べ、ホームCHの“リモコン番号”に登録する操作です。

1 AUDIOメニューを表示する (→P136)

2 TV にタップする

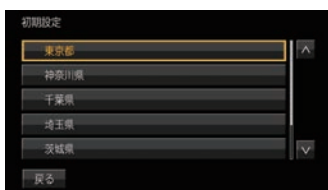
3 居住地域 にタップする



4 設定したい“地方”にタップする



5 設定したい“都道府県” にタップする



6 スキャン開始 にタップする



ホームCHスキャンを開始します。

お知らせ

- 受信状態によりしばらく時間がかかります。
- スキャン中に[中止]にタップすると、中止します。
- スキャン中に中止した場合は、ホームCHへ登録される放送局が少なくなる場合があります。

7 完了 にタップする

受信可能な放送局をリモコン番号に登録します。

お知らせ

- ホームCHには最大12局まで登録できます。
- [キャンセル]にタップした場合はホームCHに登録されません。

放送局を選ぶ

初期設定のスクリーンで登録した放送局を選びます。

お知らせ

- 初期設定をした後に、はじめて選んだ放送局は、映像表示するまでにしばらく時間がかかります。
2回目以降は表示に時間はかかりません。

1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

2 見たい放送局の“リモコン番号”にタップする



プリセットボタン

選んだ放送局の番組を表示します。

アドバイス

- “プリセットch”の **[<]** または **[>]** にタップすると、登録した放送局をリモコン番号の順、または逆順に選局できます。
- “プリセットch”の **[<]** または **[>]** にロングタップ (P28) すると、受信可能な放送局の自動選局を開始します。
→「受信状態の良い放送局を探す」(P229)

表示内容について

画面をタップして表示するテレビの操作画面について説明します。

■ 操作パネルについて



① ノーマルバーナー

受信中の3桁チャンネル番号、リモコン番号、物理チャンネル番号および番組名を表示します。

🏠 マーク

マークでCHモードおよび選局中のリモコン番号を示します。

- 🏠 : ホームCH
- 1 : ドライブCH
- 11 : エリアCH

(画面のリモコン番号は「1」)

② CHモード

ホーム にタップすると、ホームCHスキャン (P230) で登録した放送局を選べます。

ドライブ にタップすると、ドライブCHスキャン (P231) で登録した放送局を選べます。

エリア にタップすると、現在地で見ることができる放送局を選べます。

③ リモコン番号 (→P222,235)

タップすると、登録された放送局を表示します。ロングタップ (P28) することで“リモコン番号”の割り当てを変更できます。放送局のロゴマークは、各放送局を一定時間受信すると表示します。

④ 閉じる

操作パネルを消しテレビ映像のみにします。

⑤ **メニュー** (→P233,237,364,367)

各種設定を行います。

⑥ **EPG** (→P227)

電子番組表 (EPG) を表示します。

⑦ **番組内容** (→P226)

現在選局中の番組の内容を表示します。

⑧ **ワンセグ/フルセグ** (→P235)

フルセグとワンセグを切り換えます。ロングタップ (P28) することで、自動ワンセグ切り換え (P236) の設定ができます。

⑨ **系列局** (→P229)

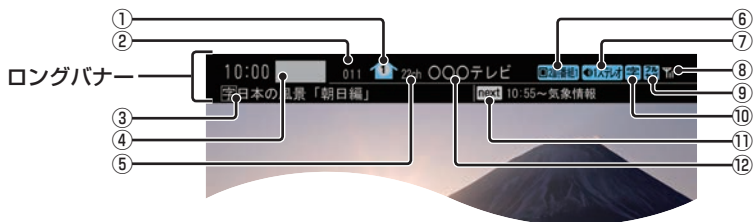
系列局の放送局を表示します。ロングタップ (P28) することで系列局サーチを開始します。

⑩ **<プリセットch>**

登録した放送局をリモコン番号順または逆順に選局できます。

■ ロングバナーについて

チャンネルリスト (P228) から選局した後などに表示するロングバナーについて説明します。ノーマルバナー (P223) よりも詳しい情報を表示します。



① マーク

マークでCHモードおよび選局中のリモコン番号を示します。

- : ホームCH
- : ドライブCH
- : エリアCH

(画面のリモコン番号は「1」)

② **3桁チャンネル番号**

複数の番組が放送されているとき、それぞれの番組を区別するためにリモコン番号と組み合わされた番号を表示します。フルセグでは011番から、ワンセグでは611番から始まります。

③ **番組名**

現在放送中の番組名を表示します。

④ **ロゴマーク**

放送局のロゴマークまたは放送局名(省略名)を表示します。ロゴマークは、フルセグで一定時間受信すると表示します。

⑤ **物理チャンネル番号**

リモコン番号とは異なり、実際に送信されているテレビのチャンネル番号(13ch～52chまで)です。

⑥ **映像情報** (→P237)

複数の映像があるときに表示します。

⑦ **音声モード**

放送中の音声モードを表示します。

- : ステレオ
- : モノラル
- : サラウンド

※ サラウンド音声は、本機ではステレオ2chで出力します。

⑧ **受信強度**

受信中の放送局の受信強度を表示します。

⑨ **放送モード** (→P235)

フルセグを見ているときは 、ワンセグを見ているときは を表示します。放送モードは切り換えることができます。

⑩ **字幕情報**

字幕放送中の番組で表示します。「視聴設定」の[字幕/音声]で切り換えることができます。
→「TVの設定」(P364)

⑪ **次の番組名**

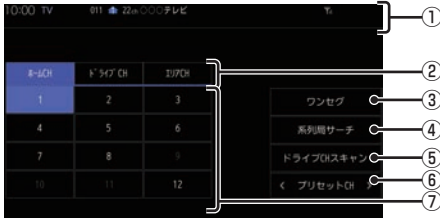
次に放送される番組名を表示します。

⑫ **放送局名**

放送局名を表示します。

■ 走行中の操作制限について

走行中は操作が制限され、映像は表示されません。



① ソースプレート

現在選ばれている受信中の3桁チャンネル番号、リモコン番号、物理チャンネル番号、放送局名および番組名を表示します。

② CHモード

ホームCH にタップすると、ホームCHスキャン(P230)で登録した放送局を選べます。

ドライブCH にタップすると、ドライブCHスキャン(P231)で登録した放送局を選べます。

エリアCH にタップすると、現在地で見ることができる放送局を選べます。

③ ワンセグ/フルセグ (→P235)

フルセグとワンセグを切り換えます。

④ 系列局サーチ (→P229)

系列局サーチを開始します。再度、タップすると中止します。

⑤ ドライブCHスキャン (→P231)

タップすると、ドライブCHスキャンを行うことができます。

⑥ <プリセットCH>

登録した放送局をリモコン番号順または逆順に選局できます。

⑦ リモコン番号 (→P222,235)

タップすると、登録された放送局を選局します。映像は表示されません。

お知らせ

- 映像表示中に走行すると自動で地図画面に切り換わります。その後、何も操作せず停車した場合、自動で映像表示に切り換わります。
- 走行中はホームCHスキャンを行うことができません。

■ CHモードを切り換える

ホームCH、ドライブCH、エリアCHを切り換えます。

1 画面にタップする

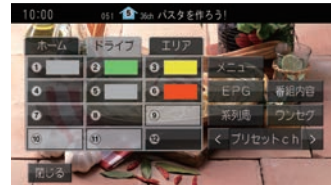
テレビの操作画面を表示します。

2 切り換えたい“CHモード”にタップする

ホームCH



ドライブCH



CHモードが切り換わります。

■ CHモードについて

ホーム	お住まいの地域(長期的に滞在する地域)の放送局を登録しています。あらかじめ「ホームCHスキャン」を行う必要があります。 →「はじめてテレビを見るとき」(P221)
ドライブ	旅行先など(一時的に滞在する地域)で放送局を登録しています。あらかじめ「ドライブCHスキャン」を行う必要があります。 →「ドライブCHスキャンを行う」(P231)
エリア	位置情報を取得し、そのエリア内で見ることができる放送局を自動的に登録しています。必ずしも受信状態が良い放送局とは限りません。

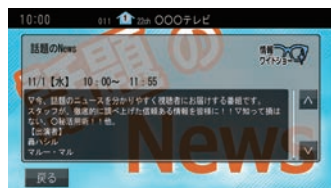
番組の内容を見る

現在選局中の番組の内容を表示します。

1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

2 番組内容 にタップする



選局中の番組の内容を表示します。

アドバイス

- 放送局の都合により、番組が変更になる場合があります。この場合実際の内容と番組内容が異なることがあります。
- [戻る]にタップすることで閉じることができます。

■ 記号について














番組内容の画面では記号で番組情報を示しています。

番組属性例

MV	マルチ番組
二	二重音声
サ	サラウンド ※ サラウンド音声は、本機ではステレオ2chで出力します。
字	字幕あり

ジャンル

以下のマークを表示します。

ニュース 報道 	スポーツ 
情報 ワイドショー 	ドラマ 
音楽 	バラエティ 
映画 	アニメ 特撮 
ドキュメンタリー 教養 	劇場 公演 
趣味 教育 	福祉 
その他 	

緊急警報放送について

「緊急放送自動切換」を[ON]に設定しておくと、緊急警報放送を受信した場合、自動で緊急警報放送へ切り換わります。

→「緊急放送」(P366)

お知らせ

- 視聴中の放送局以外で緊急警報放送を開始しても、自動的に切り換わりません。
- 「緊急放送自動切換」が[ON]の場合、AUDIOソースがTV以外のときに、緊急警報放送を受信すると自動的に緊急警報放送に切り換わります。

注意

- 緊急警報放送を受信しても、テレビの映像は安全のため走行中は表示されません。テレビをご覧になるときは、安全な場所に停車してください。

放送局を探す

いろいろな方法で放送局・番組を探します。

番組表で探す

電子番組表 (EPG) を表示し、見たい番組を探すことができます。

■ 現在放送中の番組から探す

現在放送中の番組をリストで確認できます。

1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

2 [EPG] にタップする

現在放送中の番組のリストを表示します。

3 見たい“番組”にタップする



選択した番組の放送局を選局します。

アドバイス

- 本機が番組データを取得できていないときには取得できたものから順に表示するため、すべて表示するまでしばらく時間がかかることがあります。
- [戻る]にタップすることで番組表を閉じることができます。

■ 番組表を取得するには番組表を手動で取得できます。

1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

2 [EPG] にタップする

3 [更新] にタップする

番組表の取得を開始します。

アドバイス

- 番組データをすべて取得するにはしばらく時間がかかります。
- 取得中に再度[更新中止]にタップすると更新を中止します。

■ 番組表の内容を確認する

ワンセグ放送は現在放送中の10番組分、フルセグ放送は8日分の番組内容を確認できます。

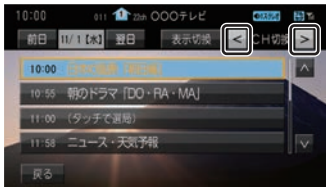
1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

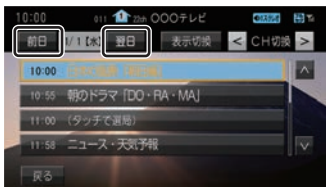
2 EPG にタップする

3 表示切換 にタップする

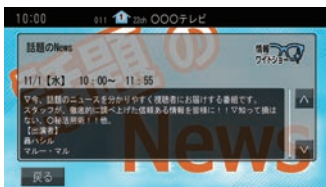
4 “CH切換”の<>、<>にタップし、見たい“放送局”を選ぶ



5 前日 または 翌日 にタップして見たい“日付”を選ぶ



6 見たい“番組”にタップする



番組の詳細な内容を表示します。

アドバイス

- データ取得中は空欄になります。
- 通常番組データは視聴中の放送局からしか取得できません。本機が番組データを取得できていないときには取得できたものから順に表示しますので、すべて表示するまでしばらくかかることがあります。

チャンネルリストから探す

ホームCHスキャン (P230) やドライブCHスキャン (P231)、エリアCH (P225) で登録した放送局のリストを表示してリモコン番号の確認や選局が行えます。

1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

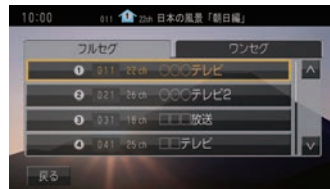
2 メニュー にタップする

設定メニューを表示します。

3 情報確認 → CH一覧 にタップする

現在見ているホームCHまたはドライブCHの一覧を表示します。

4 フルセグ または ワンセグ にタップする



5 見たい“放送局”にタップする

選択した放送局を選局します。

系列局を探す

移動中に受信ができなくなったとき、同じ系列局の放送局に切り換えて、引き続き見ることができます。

1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

2 [系列局] にタップする



系列局の放送局に切り換わります。

アドバイス

- [系列局]にロングタップ (P28) すると系列局サーチを開始します。系列局が見つかると切り換わります。中止する場合は[中止]にタップします。また、受信状態によりしばらく時間がかかる場合があります。
- 系列局がない場合や、サーチを行っても見つからない場合があります。また、系列局があった場合でも放送局の都合により同じ番組にならないことがあります。
- 現在見ている番組の放送局がチャンネルリストにない場合は切り換わりません。

受信状態の良い放送局を探す

現在受信可能な放送局を探します。

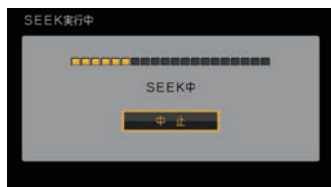
1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

2 [ホーム] にタップする

3 “プリセットch”の<> または

→「操作のしかた」(P28)



シークを開始し、受信できる放送局が見つかり则表示します。

アドバイス

- 放送局が見つかるまでシークを行います。中止する場合は[中止]にタップします。
- 電波状況によってはシークを行っても放送局が見つからない場合があります。

好みの放送局を登録する

受信可能な放送局を探し、ホームCHやドライブCHに放送局を登録します。

ホームCHスキャンを行う

お住まいの地域（長期的に滞在する地域）が変わったときや新しい放送局が開局されたときなどに行います。

■ 初期ホームCHスキャン

お住まいの地域（長期的に滞在する地域）が変わったときなどに行います。

1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

2 **メニュー** にタップする

3 **初期設定** → **CHスキャン** にタップする

4 **初期ホームCHスキャン** にタップする

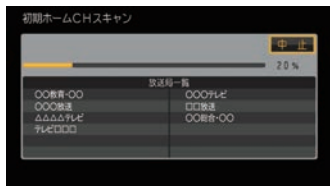
5 **居住地域** にタップする

6 “地方” にタップする



7 “都道府県” にタップする

8 **スキャン開始** にタップする



初期ホームCHスキャンを開始し、受信可能な放送局一覧を表示します。

9 **完了** にタップする



受信可能な放送局をリモコン番号に登録します。

アドバイス

- ・ ホームCHには最大12局まで登録できます。
- ・ [キャンセル]にタップした場合はホームCHに登録されません。

■ 再ホームCHスキャン

新しい放送局が開局されたときなどに行います。

1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

2 **メニュー** にタップする

3 **初期設定** → **CHスキャン** にタップする

4 **再ホームCHスキャン** にタップする

5 **スキャン開始** にタップする



再ホームCHスキャンを開始し、受信可能な放送局一覧を表示します。

6 **表示された内容を確認し、次へ** にタップする

以降の操作は、「初期ホームCHスキャン」(P230)の手順9以降と同じです。

ドライブCHスキャンを行う

旅行先など（一時的に滞在する地域）で受信可能な放送局を探し、ドライブCHのリモコン番号に登録します。

■ 初期ドライブCHスキャン

現在のドライブCHを消して、新たにドライブCHに登録しなおします。

1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

2 **ドライブ** にタップする

ドライブCHに切り換えます。

3 **メニュー** にタップする

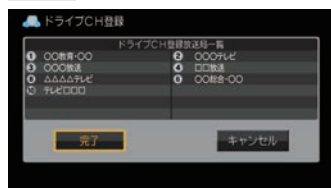
4 **初期設定** → **CHスキャン** にタップする

5 **初期ドライブCHスキャン** にタップする



初期ドライブCHスキャンを開始し、受信可能な放送局一覧を表示します。

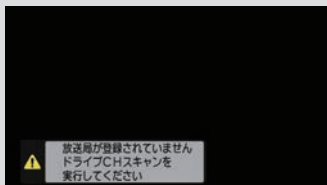
6 **完了** にタップする



受信可能な放送局をリモコン番号に登録します。

アドバイス

- はじめてドライブCHスキャンを行う場合は、以下の画面を表示します。この画面のときに、画面をタップして手順3から操作してください。



- ドライブCHは最大12局まで登録できます。
- [キャンセル]にタップした場合はドライブCHに登録されません。

■ 再ドライブCHスキャン

初期ドライブCHスキャンで登録したチャンネルを消さずに新たに受信できる放送局があったとき追加で登録をします。

アドバイス

- 再ドライブCHスキャンで登録する放送局の合計が13局以上になったときは、追加できない放送局があります。その場合は初期ドライブCHスキャンを行ってください。
→「初期ドライブCHスキャン」(P231)

1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

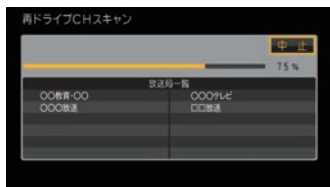
2 **ドライブ** にタップする

ドライブCHに切り換えます。

3 **メニュー** にタップする

4 **初期設定** → **CHスキャン** にタップする

5 **再ドライブCHスキャン** にタップする



再ドライブCHスキャンを開始し、受信可能な放送局一覧を表示します。

6 表示された内容を確認し、**次へ** にタップする

以降の操作は、「初期ドライブCHスキャン」(P231)の手順6以降と同じです。

情報を確認する

本機に関する各種情報を確認することができます。

メールを確認する

放送局から送られる放送メールや本機からお知らせする内部メールを確認できます。

1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

2 **メニュー** にタップする

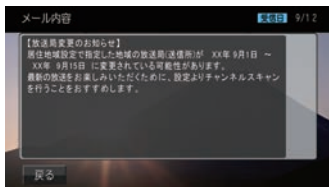
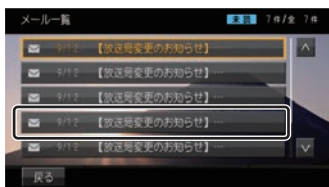
設定メニューを表示します。

3 **情報確認** → **メール** にタップする



メール一覧を表示します。

4 読みたい“メール”にタップする



選んだメールの内容を表示します。

アドバイス

- [戻る]にタップするとメール一覧に戻ります。
- メール の保存件数は放送メールと内部メールで、各7通ずつです。それぞれ7通を超えた場合、既読メールの受信日が古いものから削除されます。すべて未読だった場合でも受信日が古いものから削除されます。

デバイスIDを確認する

受信機のメーカーIDや放送局ごとに管理されているメーカーIDを確認できます。

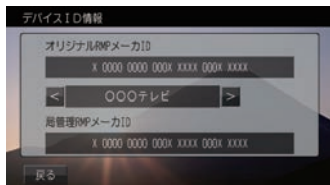
1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

2 **メニュー** にタップする

設定メニューを表示します。

3 **情報確認** → **デバイスID** にタップする



デバイスIDの情報を表示します。

アドバイス

- **<** または **>** にタップして、放送局を切り換えると、各放送局のメーカーIDを確認できます。

ソフトウェアバージョンを確認する

本機のソフトウェアバージョンを確認できます。

1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

2 **メニュー** にタップする

設定メニューを表示します。

3 **情報確認** → **S/Wバージョン** に タップする



本機のソフトウェアバージョンを表示します。

アドバイス

- 地図を更新するとソフトウェアバージョンも変更になる場合があります。

その他の操作

リモコン番号を変更する

登録しているリモコン番号 (P384) を変更できます。

- 1 画面にタップする
テレビの操作画面を表示します。
- 2 変更したい“リモコン番号”
にタップする
- 3 変更先の“リモコン番号”
にロングタップする



変更先のリモコン番号への登録が完了します。

お知らせ

- 同じ放送局を複数の“リモコン番号”には登録できません。変更前のリモコン番号は登録が解除されます。
- エリアCH表示時はリモコン番号の変更はできません。

フルセグとワンセグを切り換える

フルセグとワンセグの切り換えについて説明します。

- 1 画面にタップする
テレビの操作画面を表示します。
- 2 [ワンセグ/フルセグ] にタップする
フルセグ



ワンセグ



[ワンセグ/フルセグ]をタップするたびにフルセグ→ワンセグ→フルセグと切り換わります。

■ 自動ワンセグ切り換えについて

フルセグからワンセグへの自動切り換えの設定を変更します。

アドバイス

- 工場出荷時、フルセグを優先的に視聴する設定になっています。ワンセグ優先にしたい場合や、手動切り換えのみの設定にしたい場合にこの設定を行います。

1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

2 [ワンセグ/フルセグ]にロングタップする

→「操作のしかた」(P28)



[ワンセグ/フルセグ]にロングタップするたびに「ON (フルセグ視聴優先)」→「ON (ワンセグ視聴優先)」→「OFF」と切り換わります。

ON (フルセグ 視聴優先)	フルセグの受信状態が著しく悪くなったときに自動でワンセグに切り換えます。可能な限り高画質な状態で視聴したい方にお勧めします。
ON (ワンセグ 視聴優先)	フルセグの受信状態が少しでも悪くなると自動でワンセグに切り換えます。安定した受信状態で視聴したい方にお勧めします。
OFF	自動切り換えを行いません。 [ワンセグ/フルセグ]にタップする操作でのみ切り換えます。

アドバイス

- 「受信機設定」の[自動選局]でも設定を変更できます。
→「TVの設定」(P364)
- 地上デジタルTV放送では、1つの放送局が複数の番組を送信することが可能です。また一部の番組では、フルセグとは異なるワンセグ独自サービスを行っています。

このような場合、自動ワンセグ切換をON (フルセグ視聴優先/ワンセグ視聴優先) に設定していると、ワンセグに切り換わったとき、番組内容が異なることがあります。同じ番組を続けて見たい場合は、自動ワンセグ切換をOFFに設定してお使いください。

映像や音声を切り換える

現在見ている番組で、複数の映像や音声の情報があるときに切り換えることができます。

1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

2 **メニュー** にタップする

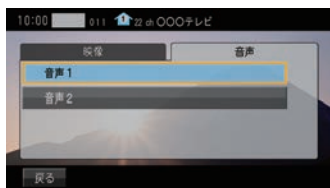
設定メニューを表示します。

3 **視聴設定** → **信号切換** に タップする

4 **映像** または **音声** にタップする



5 切り換えたい“情報”にタップする



▼
選択した情報の設定に切り換わります。

映像について

1つのチャンネルでアングルの違う映像などが複数あるときに切り換えることができます。

音声について

1つのチャンネルで同時に「主音声」、「副音声」に分けた2種類の言語を放送しているとき(二ヶ国語放送)に切り換えることができます。また、二重音声放送の場合は、[視聴設定]→[字幕/音声]の「二重音声設定」で切り換えることができます。

→「TVの設定」(P364)

外部入力機器

Bluetooth Audioを使う

本機では、市販されているBluetooth対応オーディオ機器の曲を再生できます。

お知らせ

- Bluetooth対応オーディオ機器の種類、携帯電話または音楽再生アプリによっては、ご利用いただけない場合やご利用いただける機能に制限がある場合、カタログスペックどおりに動作しない場合があります。
- 市販されているBluetooth対応オーディオ機器の取扱説明書と合わせて確認してください。
- Bluetooth対応オーディオ機器を本機に接続している状態で、別機器のBluetooth接続によるデータ通信機能を使用すると通信中に音飛びすることがありますが、故障ではありません。
- Bluetooth対応オーディオ機器の種類によっては、音量レベルが異なります。大音量になるおそれがありますので、ご使用前に音量を下げることをおすすめします。
→「音量を調節する」(P22)
- 本機で表示できない文字列は記号(細長い四角形)で表示されますが故障ではありません。(特殊文字など)
- 走行中、Bluetooth機器の変更はできません。

■ 対応プロファイルと対応機能について
各プロファイルの対応機能について説明します。

機能	A2DP
再生中の音声出力	○

※ サンプリングレート：16kHz、32kHz、44.1kHz、48kHz

機能	AVRCP		
	v1.0	v1.3	v1.4以上
再生/一時停止の操作	○	○	○
停止	×	×	×
早送り/早戻しの操作	○	○	○
トラックの選択操作	○	○	○
アルバムの選択操作	×	○	○
リピート/ランダム/ スキャン再生の操作	×	○	○
再生状態の表示	×	○	○
アルバムリストの表示	×	×	○
アルバムリストからの選曲	×	×	○

Bluetooth対応オーディオ機器を接続する

本機とBluetooth対応オーディオ機器は、Bluetooth機能を使用して接続します。接続のしかたについては「Bluetoothの設定」(P338)をご覧ください。以降の操作方法については、接続が完了している状態を説明しています。

Bluetooth対応オーディオ機器の曲を聴く

- 1 AUDIOメニューを表示する
(→P136)
- 2 **BTA** にタップする
Bluetooth Audioの再生情報画面を表示します。
- 3 **⏮** または **⏭** にタップして曲を選ぶ



アドバイス

- **⏮** または **⏭** にロングタップ (P28) すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。
- **⏮** または **⏭** にタップしてアルバムを選ぶことができます。
(AVRCPがv1.3、v1.4以上のとき)

■ 再生情報画面について



① Bluetooth 接続アイコン

② アルバム名*

アルバム情報がなければ「No Title」と表示します。

③ アーティスト名*

アーティスト情報がなければ「No Name」と表示します。

④ ▲, ▼*

アルバムを選ぶときに使用します。タップすると、前後のアルバムへと切り換わり、最初の曲を再生します。

⑤ ジャンル名*

⑥ AUDIO ソースボタン

各ボタンにタップすると、AUDIO ソースが切り換わります。[SOURCE] にタップすると AUDIO メニューを表示します。
→「AUDIO メニュー」(P33)

⑦ デバイス名*

接続中の機器のデバイス名を表示します。情報がなければ「No Name」と表示します。

⑧ MusicSearch

さまざまなカテゴリーから曲を選ぶことができます。

⑨ トラック名*

トラック情報がなければ「No Title」と表示します。

⑩ 再生モードボタン*

各ボタンにタップして再生モードを変更します。
→「再生モードを変更する」(P241)

⑪ ◀▶, ▶/||, ▶▶

トラックの選択や再生/一時停止が行えます。◀▶ または ▶▶ にロングタップ (P28) すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。

⑫ 接続設定

Bluetooth 接続設定画面を表示します。
→「Bluetooth の設定」(P338)

⑬ 再生時間*

* お使いの Bluetooth 機器が対応していない場合や、情報取得できないときは表示しません。

再生モードを変更する

リピート再生、スキャン再生、ランダム再生などが行えます。

※ AVRCP が v1.0 のときはこの機能をご利用になれません。この操作は、Bluetooth Audio の再生情報画面 (P240) から行えます。

1 Bluetooth Audio の再生情報画面で変更したい“モード”にタップする













選んだモードの再生を開始します。

アドバイス

- 同一の再生モードボタン (P240) をタップするたびに、モードが切り換わります。解除するときには、モード解除を示すアイコン (P241) になるまでタップしてください。

■ 再生モードについて

 (スキャン)	再生中の曲があるアルバム内のすべての曲が対象で、始めの部分を約 10 秒間ずつ順番に再生します。
 (グループスキャン)	Bluetooth 対応オーディオ機器内の全グループの 1 曲目を約 10 秒間ずつ順番に再生します。
 (スキャン解除)	各スキャン再生を解除します。
 (リピート)	再生中の曲を繰り返して再生します。
 (グループリピート) ※ 1	再生中の曲があるグループを繰り返して再生します。
 (オールリピート)	Bluetooth 対応オーディオ機器内にあるすべての曲を繰り返して再生します。
 (リピート解除)	各リピート再生を解除します。
 (ランダム)	再生中の曲があるアルバム内の曲を順不同に再生します。
 (グループランダム)	Bluetooth 対応オーディオ機器内にある全グループを順不同に選択し、グループ内の曲を順番に再生します。
 (ランダム解除)	各ランダム再生を解除します。

※ AVRCP が v1.3 以上の場合のみこの機能をご利用できます。

アドバイス

- お使いの Bluetooth 機器が対応していない場合や、情報が取得できない再生モードは表示しません。
- リピート、グループリピート、オールリピート再生中は、ランダムやグループランダム再生を行ってもリピート再生は継続されます。

リストで探す

リストにタップしていくことで、フォルダー名やファイル名を確認しながら聴きたい曲を探すことができます。

ここでは、再生情報画面からの操作を説明します。

※ AVRCPがv1.0、v1.3またはリスト表示非対応の機器では、この機能をご利用になれません。

1 Bluetooth Audioの再生情報画面で **MusicSearch** にタップする

リストを表示します。

2 リストから再生したい“項目”にタップする



選んだ項目内のリストを表示します。

手順2の操作を繰り返し、曲(トラック)を探します。

リストから再生したい曲(トラック)にタップすると、再生を開始します。

AUX を使う

別売のAUX 接続コードおよびAUX 機器を本機に接続することで、音声を本機に入力し、再生できます。

注意

- 映像入力には対応していません。
- エンジンが停止している状態で使用していると、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動ができなくなることがあります。
- AUX 機器に接続されている充電用ケーブル (USB ケーブルなど) や外部入出力ケーブルを抜き挿しするときはAudio OFF にしてから行ってください。AUX 機器再生中の場合、異音が発生することがあります。

アドバイス

- AUX 機器の接続方法については、Honda 販売店にご確認ください。

音声を再生するには

1 AUDIO メニューを表示する
(→P136)

2 **AUX** にタップする



AUX 機器の音声が流れます。

HDMIの映像を見る

HDMI 接続ジャック (標準装備 / 別売) または別売の HDMI 接続コードに HDMI 出力機器を本機に接続することで、映像や音声を本機に入力し、再生できます。

HDMI (E タイプ) とは

本機側



ケーブル側



HDMI の車載用タイプコネクター。

本機は、HDMI の E タイプコネクターのため、家庭用で販売されている HDMI ケーブルと接続できません。別売の HDMI 接続コードをお買い求めください。

車両によっては、HDMI 接続コードの代わりに標準装備または別売の HDMI 接続ジャックに接続する場合があります。HDMI 接続ジャックの取付位置は、車両によって異なります。詳しくは、Honda 販売店にご確認ください。

お知らせ

- 対応する画像方式は 480p または 720p のみです。
- HDMI 出力機器の映像を外部出力には出力できません。
- 映像表示中に走行すると自動で地図画面に切り換わります。その後、何も操作せず停車した場合、自動で映像表示に切り換わります。

注意

- HDMI 出力機器の映像をご覧になるときは、安全な場所に停車してください。

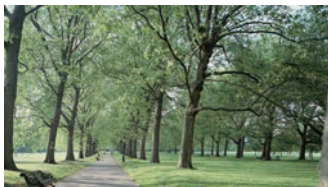
アドバイス

- お手持ちの iPod/iPhone を HDMI 変換ケーブルに接続することで映像をご覧になることができます。別途 Apple 純正の変換ケーブルが必要です。
- HDMI 出力機器の接続方法については、Honda 販売店にご確認ください。

表示するには

1 AUDIO メニューを表示する
(→P136)

2 **HDMI** にタップする



HDMI 出力機器の映像を表示します。

お知らせ

- 接続した HDMI 出力機器の操作方法については、各機器付属の取扱説明書をご覧ください。

INFO

主に情報確認や各種設定が行えます。

各種情報を確認する 249

情報の確認や設定をする249

確認、設定できる種別について249

ETC 情報を確認する.....250

ETC とは250

案内表示について250

エンジンスイッチを ON にしたとき250

現在地画面の表示について250

料金所を通過したとき250

予告アンテナを通過したとき250

ETC の履歴を確認する251

ETC 車載器の情報を表示する251

ETC カードの有効期限を表示する251

ETC2.0 サービス252

ETC2.0 サービスの概要252

ETC2.0 サービスについて252

音声情報252

ITS スポット252

アップリンク機能252

安全運転支援情報253

渋滞回避支援253

記念距離メモリーを確認する254

表示内容について254

記念距離メモリーを表示する255

記念距離メモリーの記録を消去する255

記念距離メモリーを設定する255

緊急サポートを表示する256

本機の情報を確認する257

その他の機能を使う 258

電話を使う258

電話画面を表示する258

携帯電話を接続する258

電話帳や履歴を同期する259

よくかける電話番号を登録する260

番号入力で登録する260

電話帳から登録する261

履歴から登録する261

よくかける電話番号を編集する261

名称や電話番号を編集する261

消去する262

電話をかける262

電話帳からかける263

よくかける電話番号からかける263

履歴からかける264

施設に登録された電話番号にかける264

電話がかかってくると265

かかってきた電話にでは265

音量を調整する265

ダイヤルトーンを入力する266

通話画面を閉じる266

電話を終了する266

フロントカメラを使う267

表示内容について267

カメラアイコンについて267

カメラ映像を表示する268

フロントカメラのビューを切り換える268

ガイドラインの表示を切り換える269

シースルービューのカメラ映像を切り換える269

リアカメラを使う270

表示内容について270

リアカメラの映像を表示する271

リアカメラのビューを切り換える271

ガイドラインの表示を切り換える271

マルチビューカメラを使う272

表示するには272

フロントカメラ映像を表示する272

リアカメラ映像を表示する272

Honda スマートパーキング

アシストシステム272

リアカメラ de あんしんプラスを使う273

表示内容について273

後退出庫サポート274

後退駐車サポート275

かんたん駐車ガイド275

まっすぐ駐車表示275

設定変更について276

手動で情報を取得する.....	306
internavi ウェザーを確認する.....	307
画面表示について.....	307
手動で情報を取得する.....	308
マルチインフォメーション	
ディスプレイの天気表示.....	308
インターネットナビ情報を確認する.....	309
internavi 情報サービスを表示する.....	309
登録した情報をパーソナル・	
ホームページと同期する.....	309
パーソナル・ホームページと	
スマートフォンアプリについて.....	309
インターネットナビ・プレミアムクラブの方.....	309
Honda Total Care 会員の方.....	310
My コースのルートを設定する.....	310
目的地クリップを利用する.....	311
カーカルテを確認する.....	311
駐車場セレクトを使う.....	312
駐車場セレクトを設定する.....	312
緊急時の連絡先を表示する.....	313
販売店の連絡先を表示する.....	313
緊急サポートを表示する.....	313
地図データ更新サービスについて.....	314
無償地図更新サービス.....	314
有償地図更新サービス.....	314
地図更新サービスに関するご注意.....	314

本機の設定 315

設定を変更する.....	315
設定できる種別について.....	315
NAVI 設定.....	316
設定できる項目について.....	316
表示の設定.....	317
音声の設定.....	319
探索の設定.....	320
VICS の設定.....	322
自転車位置の補正.....	323
センサー学習情報を消去する.....	323
現在地を補正する.....	324

AV 設定.....	325
設定できる項目について.....	325
音質の設定を変更する (Sound Settings) ...	326
イコライザー設定.....	328
ジャンルを選ぶ.....	328
イコライザーを調整する.....	328
音楽 CD の録音方法を変更する.....	329
自動録音について.....	329
手動録音について.....	329
シングル録音について.....	329
DVD ビデオの初期設定.....	330
視聴制限のレベルを設定する.....	331
優先させる言語を変更する.....	332
情報設定.....	334
設定できる項目について.....	334
電話の設定.....	335
ETC の設定.....	336
ETC2.0 の設定.....	337
Bluetooth/internavi 設定.....	338
Bluetooth の設定.....	338
設定画面の表示.....	339
接続可能な Bluetooth 機器を	
検索して登録する.....	339
Bluetooth 機器から	
検索して登録する.....	340
Bluetooth 機器を選択する.....	341
Bluetooth 機器を消去する.....	341
パスキーを設定する.....	342
本機のアドレスを	
表示する / 編集する.....	342
internavi の設定.....	342
設定画面の表示.....	342
internavi ウェザーを設定する.....	344
internavi ダイレクトをカスタマイズする.....	344
internavi の設定を初期化する.....	345
情報取得の設定をする.....	345
フレーム No を確認する.....	345
総走行距離を設定する.....	346
システム設定.....	347
設定できる項目について.....	347
案内音・操作音の設定.....	348
音声認識の設定.....	348
学習データをリセットする.....	349
セキュリティの設定.....	350

ハードキー動作の設定	351
ステアリングリモコン動作の設定	351
メモリ初期化	353
時計の設定	354
リアカメラの設定	355
リアカメラの次回表示ビューを設定する	357
ガイドラインを表示する	357
フロントカメラの設定	358
ガイドラインを表示する	358
マルチビューカメラの設定	359
パーキングセンサーの設定	360
Apple CarPlay 連携機能設定	360
ドライブレコーダーの設定	361
設定できる項目について	362
ナビ連動タイプ (DRH-189N) の場合	362
ナビ連動タイプ (DRH-204VD) の場合	363
TV の設定	364
設定項目について	364
視聴設定	365
字幕 / 音声	365
受信機設定	365
自動選局	365
緊急放送	366
表示設定	366
番組表 CH	366
初期設定を行う	367
CH スキャンを行う	367
アンテナモードを変更する	367
設定情報を初期化する	367
その他の設定	368
画質を調整する	368
RGB 画面の調整	368
映像画面の調整	369
画面の表示を消す	369

各種情報を確認する

情報の確認や設定をする

VICS や ETC など各種情報の確認や設定ができます。

- 1 **MENU** キーを押す
目的地メニューを表示します。
- 2 **設定/情報** → **情報** にタップする
- 3 確認、設定したい“情報”に
タップする



情報の確認、設定画面を表示します。

■ 確認、設定できる種別について

VICS 情報	VICS 情報の確認ができます。 →「VICS 機能」(P122)
本体情報	本機の各バージョンを確認できます。 →「本機の情報を確認する」 (P257)
ETC 情報	ETC の履歴や ETC 車載器の情報を確認 できます。 →「ETC 情報を確認する」 (P250)
ドライブレコーダー	ドライブレコーダーの録画データの 確認や消去などができます。 →「ドライブレコーダーを使う (DRH-189N)」(P281) →「ドライブレコーダーを使う (DRH-204VD)」(P288)
NaviCon 友達マップ	友達マップの ON/OFF や友達 マップの全体表示ができます。 →「友達マップを表示する」 (P94)
緊急サポート	緊急サポートの連絡先や現在の 地のマップコードを確認できます。 →「緊急サポートを表示する」 (P256)

ETC 情報を確認する

ETCの使いかたについて説明します。

ETCとは

ETCとは、有料道路などにおけるノンストップ自動料金収受システム (Electronic Toll Collection System) のことです。

本機に別売のETC車載器またはETC2.0車載器を取り付けることで本機能をご利用になります。

- 有料道路などの料金所を通過する際に、一旦停止することなく自動的に通行料金の支払い手続きが可能になります。
- 料金所の出入り口で通行料金を音声で案内します。
- ETCの通行履歴を表示できます。

お知らせ

- 本機能をご利用いただくには、別売のETC車載器またはETC2.0車載器とETCカードが必要です。
- ETCカード未挿入やETC車載器またはETC2.0車載器の故障によるエラーが表示される場合がありますが、本機の故障ではありません。エラー内容を確認し車載器の取扱説明書に従って処置してください。
- ETCゲート、ETCカード未挿入お知らせアンテナもしくは予告アンテナを通過した場合に、料金案内図やお知らせなどを表示する場合があります。
- 料金所は名称で表示される場合と番号で表示される場合があります。
- 本機側でETC利用料金や利用履歴を表示できますが、必ずクレジットカード会社から発行される利用明細、またはETCマイレージサービスのユーザー登録時に受けることのできる照会サービスで確認してください。
- ETC車載器またはETC2.0車載器本体の詳細については、車載器の取扱説明書をご覧ください。

案内表示について

ETCカードの挿入案内や料金所を通過したときなどの案内表示について説明します。




■ **エンジンスイッチをONにしたとき**
エンジンスイッチをONにすると、ETCカードの使用可否を表示と音声でお知らせします。

アドバイス

- カード使用可否の案内は、[ETCの設定]の「カード入れ忘れ警告」で案内する/しないを選ぶことができます。
- 「音声案内」を[しない]に設定した場合でも、「カード入れ忘れ警告」を[する]に設定したときは案内を行います。
→「情報設定」(P334)

■ 現在地画面の表示について

「カード挿入アイコン表示」を[する]に設定すると、現在地画面 (P48) にETCカードの状態を表示します。→「情報設定」(P334)

	カード挿入
	カード未挿入
	カードの有効期限切れ、 カードエラー、車載器エラー

■ 料金所を通過したとき

料金所案内図が表示され、音声で料金案内を行います。



■ 予告アンテナを通過したとき

予告アンテナを通過したことを告げるテロップが表示されます。

予告アンテナ受信内容が表示され、音声でも案内が行われます。

ETCの履歴を確認する

全履歴情報画面を表示して確認できます。

注意

- 履歴読み込み中にETCカードを抜かないでください。通信エラーなどが発生します。

お知らせ

- ETCに関するエラー表示があった場合、ETCカードを正しくETC車載器に挿入するまでETC履歴の画面を表示できません。

アドバイス

- 履歴は最大100件まで新しいものから順に表示します。
- 料金は、-99,999円～999,999円まで表示できます。

1 **MENU** キーを押し、
設定/情報 にタップする

2 **情報** → **ETC情報** にタップする

3 **利用履歴** にタップする



全履歴情報画面を表示します。

ETC車載器の情報を表示する

本機に接続されているETC車載器またはETC2.0車載器の型名、型式登録番号、車載器管理番号を確認できます。

1 **MENU** キーを押し、
設定/情報 にタップする

2 **情報** → **ETC情報** にタップする

3 **車載器情報** にタップする



登録情報を表示します。

ETCカードの有効期限を表示する

ETCカードの有効期限を確認できます。

1 **MENU** キーを押し、
設定/情報 にタップする

2 **情報** → **ETC情報** にタップする

3 **カード情報** にタップする



ETCカードの有効期限を表示します。

ETC2.0 サービス

別売のETC2.0車載器を本機に接続すると、さまざまな機能をご利用いただけます。

ETC2.0 サービスの概要

専用狭域(きょういき)通信方式を用いて情報提供や料金決済などができるサービスのことです。

今後幅広いサービスが提供される予定です。本機に別売のETC2.0車載器を接続すると、交通情報などの表示や音声情報の案内が行われます。

お知らせ

- 本機能をご利用いただくには、別売のETC2.0車載器とETCカードが必要です。詳しくは、販売店にお問い合わせください。
- ETCカード未挿入やETC2.0車載器の故障によるエラーが表示される場合がありますが、本機の故障ではありません。エラー内容を確認し、ETC2.0車載器の取扱説明書に従って処置してください。
- 料金所は名称で表示する場合と番号で表示場合があります。
- 本機側でETC利用料金や利用履歴を表示できますが、必ずクレジットカード会社から発行される利用明細、またはETCマイレージサービスのユーザー登録時に受けることのできる照会サービスで確認してください。
- ETC2.0車載器本体の詳細については、ETC2.0車載器の取扱説明書をご覧ください。

ETC2.0 サービスについて

今後、さまざまなサービスが始まる予定です。

お知らせ

- ETC2.0サービスは、一部開始されていない場合があります。
- 本機は情報接続サービス(道の駅における情報接続、SA・PAにおける情報接続など)には対応しておりません。

■ 音声情報

音声情報を受信すると音声で読み上げを行います。→「[音声情報](#)」(P123)

音声情報の配信状況によっては、音声情報の内容が変化する場合があります。

受信した音声情報を自動で読み上げないようにする場合は、[ETC2.0の設定]で「ETC2.0音声自動再生」を[しない]に設定します。

→「[情報設定](#)」(P334)

■ ITS スポット

全国の高速道路(走行路面上やサービスエリア)などに設置されているITSスポットと無線通信をして道路サービス情報などを利用できます。主なサービスとして、安全運転支援情報、渋滞回避支援情報、災害時支援情報が利用できます。

■ アップリンク機能

走行情報などをサービス事業者に提供し、より充実した道路交通情報や、安全運転支援情報の提供に役立ちます。

走行情報を提供しない場合は、[ETC2.0の設定]で「ETC2.0アップリンク」を[送信しない]に設定します。

→「[情報設定](#)」(P334)

■ 安全運転支援情報

以下のような情報がリアルタイムに提供されます。
表示方法は「安全運転支援情報を見る」
(P129)をご覧ください。

注意

- 安全運転支援情報は参考情報で、実際の交通状況とは異なる場合があります。必ず実際の交通状況を確認し、安全運転を心がけて走行してください。

お知らせ

- 状況によってはその他の情報が表示される場合があります。

前方の障害物情報



合流支援情報



事故多発地点情報



■ 渋滞回避支援

広域な道路交通情報をリアルタイムに提供します。また、前方の渋滞状況の確認もできます。

記念距離メモリーを確認する

車の走行距離が所定の距離（例：7777km、10000kmなど）に達した場合に、そのときの日時/場所を自動記録します。

さらに、別売のドライブレコーダー（ナビ連動タイプ）を接続している場合は、ドライブレコーダーの映像を静止画で自動記録します。

お知らせ

- 車両の装備やグレードが記念距離メモリーに対応している必要があります。
- 10km、5km、1km 手前および記念距離メモリーに設定された距離に到達したときには、「およそ 10km で記念距離目盛 1000km です」などの音声とテロップ表示でお知らせします。

表示内容について

記念距離メモリー画面



記念距離メモリー画面

(別売のドライブレコーダーに映像記録がある場合)



① 記録場所^{*1}

記録時の場所を地図で示します。

② 記録情報^{*1}

記録時の総走行距離/日時/位置情報/走行速度を表示します。

③ 画面保存^{*2}

画面を画像ファイルにして本機のSDカードに保存します。

④ 記録映像

ドライブレコーダー映像の静止画を表示します。画面をタップすると全画面表示になります。

⑤ <、>^{*3}

前後の静止画に切り換えます。

お知らせ

- 保存した画像ファイルは個人で楽しむ目的以外（商用利用や事故時の証拠資料など）に使用しないでください。
- 本機の起動中に所定の総走行距離に達しても、日時/位置/速度が正常に記録されない場合があります。
- 別売のドライブレコーダーが録画停止中（本機でドライブレコーダーの設定や再生、記念距離メモリーを表示中など）に所定の総走行距離に達した場合、映像の記録はできません。また、映像記録の途中で車のエンジンスイッチを変更した場合など、映像の記録ができない場合があります。
- 別売のドライブレコーダー（ナビ連動タイプ:DRH-189N）に入っている静止画の容量がいっぱいになると、撮影できなくなります。不要な静止画は削除してください。詳細については、別売のドライブレコーダー（ナビ連動タイプ:DRH-189N）の取扱説明書をご覧ください。

^{*1} 位置情報や走行速度は記録できない場合があります。その場合は表示されません。ドライブレコーダーの映像記録があり位置情報の記録が無い場合は、映像の全画面表示になります。

^{*2} SDカードを本機に挿入しておく必要があります。画像ファイルはSDカードのRootフォルダーにビットマップ形式で保存されます。

^{*3} ドライブレコーダー映像の記録は、所定の総走行距離に達したときに約10秒おきに6枚記録します。

記念距離メモリーを表示する

記念距離メモリーがある場合、記録時の地図や情報を表示できます。

- 1 **MENU** キーを押す
目的地メニューを表示します。
- 2 **設定/情報** →
記念距離メモリー表示 に
タップする
- 3 表示したい記録を選択し、
詳細 にタップする

記念距離メモリー画面を表示します。

お知らせ

- [記念距離メモリー表示]にタップするとドライブレコーダーの録画が一時停止します。[現在地] キーなどを押して記念距離メモリー画面を終了すると、録画を再開します。

記録する記念距離一覧

1000km	5555km	11111km	60000km
1111km	6000km	12345km	66666km
1234km	6666km	20000km	70000km
2000km	7000km	22222km	77777km
2222km	7777km	30000km	80000km
3000km	8000km	33333km	88888km
3333km	8888km	40000km	90000km
4000km	9000km	44444km	99999km
4444km	9999km	50000km	100000km
5000km	10000km	55555km	123456km

記念距離メモリーの記録を消去する

- 1 **MENU** キーを押す
目的地メニューを表示します。
- 2 **設定/情報** →
記念距離メモリー表示 に
タップする
- 3 消去したい記録を選択し、
消去 にタップする

記念距離メモリーを削除します。

アドバイス

- [全消去]にタップするとリストにあるすべての記念距離メモリーを消去します。

記念距離メモリーを設定する

記念距離メモリーの利用やお知らせの設定ができます。

- 1 **MENU** キーを押す
目的地メニューを表示します。
- 2 **設定/情報** →
記念距離メモリー表示 に
タップする
- 3 **設定** にタップする
- 4 各項目の **する** または **しない**
にタップする

記念距離メモリー	記念距離メモリーによる自動記録をするかしないかの設定ができます。
間もなくお知らせ	車の総走行距離が自動記録を行う所定の距離に近づいたときに、お知らせをするかしないかを設定できます。

記念距離メモリーの設定が完了します。

緊急サポートを表示する

不意のトラブルにあったときなど緊急サポートに電話をかけて必要な処置や手配を頼むことができます。

お知らせ

- インターナビ利用中は、現在地画面の [internavi] から緊急サポートをご利用ください。
→「緊急サポートを表示する」(P313)

1 MENU キーを押す

目的地メニューを表示します。

2 設定/情報 → 情報 にタップする

3 緊急サポート にタップする

▼
緊急サポートの連絡先やマップコードが表示されます。あらかじめ緊急サポートの電話番号を控えておくことをおすすめします。

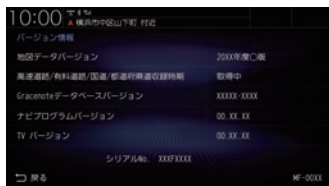
アドバイス

- 表示されている現在地のマップコードを伝えてから用件をお伝えください。
- 緊急サポートへ連絡できるのは、お使いの携帯電話の通話可能区域内です。

本機の情報を確認する

本機各バージョンを確認できます。

- 1 **MENU** キーを押す
目的地メニューを表示します。
- 2 **設定/情報** → **情報** に
タップする
- 3 **本体情報** にタップする



本機のバージョン情報画面を表示します。

その他の機能を使う

電話を使う

ハンズフリー電話の使いかたについて説明します。

警告



禁止

- 運転者は運転中に携帯電話を手にもって使用しない。
走行中に携帯電話を手にもって使用することは法律で禁止されています。また、事故の原因になります。
- 携帯電話を放置しない。
停車したときやカーブを曲がるときに携帯電話が足下に転がりブレーキペダルなどの下に入り込むと運転の妨げとなり交通事故の原因となります。



必ず行う

- ご使用になる前に、安全な場所に車を止めた状態で、着信音量、受話音量、送話音量の確認を行ってください。
事故の原因となることがあります。
[電話の設定]の「○○音量」で適度な音量に設定し、ご使用ください。
→「情報設定」(P334)
音量が大きすぎたり、小さすぎたりすると運転中の意識がそれ、事故の原因となり危険です。

お知らせ

- ハンズフリー電話を使用するときの通話料はお客様のご負担となります。
- 本機で表示できない文字列は記号(細長い四角形)で表示されますが故障ではありません。(絵文字や特殊文字など)

電話画面を表示する

電話帳や発信履歴を利用して電話をかけることができる電話画面を表示します。

1 **MENU** キーを押す
目的地メニューを表示します。

2 **電話** にタップする



電話画面を表示します。

携帯電話を接続する

本機と携帯電話は、Bluetooth機能を使用して接続します。

1 **電話画面を表示する** (→P258)
携帯電話を接続していないときは、電話番号入力画面を表示します。

2 **接続設定** にタップする

以降、接続のしかたについては「Bluetooth機器を選択する」(P341)をご覧ください。
以降の操作方法については、接続が完了している状態を説明しています。

お知らせ

- Bluetooth接続ができる携帯電話が必要です。
- ご利用の携帯電話の取扱説明書に従って操作してください。
- 最新の接続確認結果については、弊社ホームページをご覧ください。

電話帳や履歴を同期する

Bluetoothで接続している携帯電話の電話帳や履歴を本機で表示し、利用できます。ここでは、携帯電話の電話帳や履歴の同期設定を行います。

お知らせ

- 携帯電話の機種によって同期が正常に行われない場合があります。PBAPに対応していない携帯電話は、電話帳との同期できません。
- 同期する際に、携帯電話側で同期の確認画面が表示される場合や設定が必要な場合があります。携帯電話側の操作については、携帯電話の取扱説明書をご確認ください。
- 電話帳や履歴の同期が完了するまで2分程度かかることがあります。
- 電話帳は最大2000件、発信/着信/不在着信はそれぞれ最大20件まで同期することが可能です。ただし、携帯電話の登録件数および性能によって変化します。

1 電話画面を表示する (→P258)

2 **電話帳** または **発着信履歴** に タップする

PBAP非対応の携帯電話は、[発着信履歴]にタップしてください。
電話帳画面または発着信履歴画面を表示します。

3 タイプ別の操作を行う

PBAP対応の場合



[同期する]にタップしてください。

PBAP非対応の場合



[表示する]にタップしてください。
この画面で[同期しない]または[表示しない]になっている場合は、すでに同期(表示)されているので本操作は必要ありません。
[同期しない]または[表示しない]にタップすると、同期(表示)しない設定に変更されます。

同期が開始され、Bluetoothで接続されている携帯電話の電話帳または履歴を本機に表示します。

アドバイス

- 同期後、携帯電話の電話帳を編集しても、リアルタイムに本機側へ反映されません。携帯電話の情報を最新にするには、[同期しない]→[同期する]にタップして、再度読み込んでください。
- PBAP非対応の携帯電話を本機へ接続したとき、履歴は本機と接続中に発着信したものをだけを表示します。

よくかける電話番号を登録する

リストによくかける電話番号をまとめておくことができます。

1 電話画面を表示する (→P258)

2 「登録番号」にタップする

登録番号画面を表示します。

3 いずれかの「未登録」にタップする



「未登録」以外の名称にタップすると、電話をかける操作となります。



登録方法の選択画面を表示します。

アドバイス

- 登録番号（よくかける電話番号）は接続した携帯電話に紐づいて登録します。別の携帯電話を接続した場合は、その携帯電話で登録した登録番号が表示されます。
- 登録番号（よくかける電話番号）は最大20件まで登録できます。

■ 番号入力で登録する

名称や電話番号を直接入力して登録します。

1 登録方法の選択画面 (P260) で、

「直接情報を入力」にタップする

登録番号の登録画面を表示します。

2 「名称」のボタンにタップする



3 登録したい「名称」を入力/編集し、

「入力完了」にタップする

4 「電話番号」のボタンにタップする

5 登録したい「電話番号」を入力/編集し、

「決定」にタップする



6 「決定」にタップする

登録が完了し、元の画面に戻ります。

■ 電話帳から登録する

Bluetoothで接続している携帯電話の電話帳を利用して登録します。

1 登録方法の選択画面 (P260) で、

電話帳から登録 にタップする

電話帳画面を表示します。

2 登録したい“リスト”にタップする



登録番号の登録画面を表示します。
以降の操作は、「番号入力で登録する」(P260)の手順2以降と同様に操作し、登録を完了させてください。

■ 履歴から登録する

Bluetoothで接続している携帯電話の発着信履歴を利用して登録します。

1 登録方法の選択画面 (P260) で、

発着信履歴から登録 にタップする

発着信履歴画面を表示します。

2 登録したい“リスト”にタップする



登録番号の登録画面を表示します。
以降の操作は、「番号入力で登録する」(P260)の手順2以降と同様に操作し、登録を完了させてください。

よくかける電話番号を編集する

登録済みの登録番号を編集、消去することができます。

アドバイス

- [MENU] キー→[設定/情報]→[情報設定]→[登録番号の編集]にタップしても編集、消去ができます。

1 電話画面を表示する (→P258)

2 **登録番号** にタップする

登録番号画面を表示します。

3 **編集・消去** にタップする



登録情報を編集する画面を表示します。

■ 名称や電話番号を編集する

登録済みの名称や電話番号を編集します。

1 登録情報を編集する画面

(P261)を表示する

2 編集したい“リスト”にタップする

すでに情報が登録されているリストにタップすると、登録番号の登録画面が表示されます。「番号入力で登録する」(P260)の手順2以降と同様に操作し、編集してください。「未登録」のリストにタップすると、新しく登録する操作となり、登録方法の選択画面を表示します。「よくかける電話番号を登録する」(P260)と同様に操作してください。

■ 消去する

登録済みの情報を消去します。

1 登録情報を編集する画面 (P261) を表示する

2 消去したいリストの“チェックボックス”をタップし、選択する

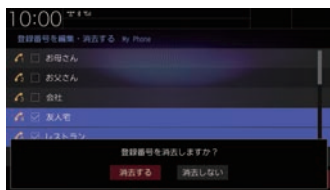


アドバイス

- [全選択]にタップすると、すべての登録情報を選択できます。
- [全解除]にタップすると、選択状態をすべて解除できます。

3 [消去] にタップする

4 再度、[消去する] にタップする



▼
選択したリストの消去が完了します。

電話をかける

電話番号を入力して電話をかけます。

注意

- なるべく走行中の通話は控え、安全な場所に停車してから使用してください。

1 電話画面を表示する (→P258)

2 [番号入力] にタップする

3 “電話番号”を入力する



オフフックアイコン

アドバイス

- [*+] または [#P] にロングタップ (P28) すると、「+」または「P」を入力できます。
- 誤入力した場合は、◀ または ▶ で位置を選び、<X> にタップして消去します。
- 電話 (Android スマートフォン) に複数の通話アプリが存在する場合、電話側に確認画面が表示されますので、使用するアプリを選択してください。一定時間選択されない場合、Bluetooth 接続が解除されます。
- [リダイヤル] にタップすると、前回かけた電話番号に電話をかけることができます。

4 “オフフックアイコン”にタップする

▼
電話がかかります。

■ 電話帳からかける

電話帳を使用して電話をかけることができます。

1 電話画面を表示する (→P258)

2 電話帳 にタップする

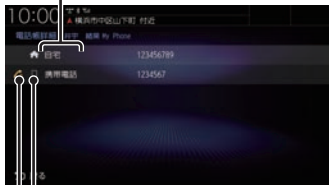
3 かけたい“相手” にタップする



電話帳詳細画面を表示します。

4 かけたい“番号” にタップする

カテゴリ名



カテゴリアイコン

登録電話番号アイコン

電話がかかります。

■ よくかける電話番号からかける

登録番号を使用して電話をかけることができます。

1 電話画面を表示する (→P258)

2 登録番号 にタップする

3 かけたい“相手” にタップする



電話がかかります。

アドバイス

- 登録番号（よくかける電話番号）に登録した電話番号が、電話帳にある場合、発信確認画面に表示される名称は、電話帳に登録されている名称が表示されます。



■ 履歴からかける

発信・着信履歴および不在着信を使用して電話をかけることができます。

お知らせ

- ・非通知設定の場合は着信履歴から電話をかけられません。
- ・本機で記憶している発信・着信履歴を使用します。




アドバイス

- ・発信・着信・不在着信の履歴は、各項目最大20件ずつです。

1 「発信履歴」にタップする

2 かけたい「履歴」にタップする



すべて	すべての履歴をリスト表示します。
発信履歴	発信した履歴で絞り込まれたリストを表示します。 ( で表示されたリスト)
着信履歴	着信した履歴で絞り込まれたリストを表示します。 ( で表示されたリスト)
不在着信	不在着信の履歴で絞り込まれたリストを表示します。 ( で表示されたリスト)

電話がかかります。

■ 施設に登録された電話番号にかける

検索した施設に電話番号の情報がある場合は、その電話番号に電話をかけることができます。

お知らせ

- ・検索した施設などに電話番号の情報がなければ電話をかけることはできません。

1 電話をかけたい「場所」を探す

→「場所を探す」(P80)

2 「詳細情報」にタップする



3 「電話をかける」にタップする

電話がかかります。

電話がかかってくると

着信音がなり、着信中の画面が表示されます。

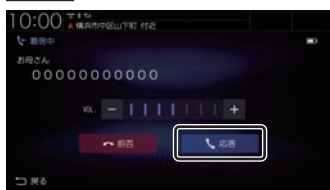


お知らせ

- 着信時、携帯電話の着信音が取得できた場合は、携帯電話の着信音が鳴ります。取得できなかった場合は、本機が用意した着信音が鳴ります。(いずれも車両のスピーカーから鳴ります。)

かかってきた電話にでは

1 応答 にタップする



通話できます。

アドバイス

- 運転中など、通話できない状況では [拒否] にタップすることで通話を拒否できます。

■ 音量を調整する

通話時などに、車両スピーカーから聞こえる受話音量を調整できます。

1 - または + にタップし調整する



受話音量を調整します。

アドバイス

- 着信時にこの操作を行うと着信音量の変更が行えます。
- 着信音量、受話音量、送話音量は [電話の設定] の「〇〇音量」であらかじめ設定できます。→「情報設定」(P334)
- 本機に接続している携帯電話および通話相手の電話機によって、受話音量、送話音量に差が生じる場合があります。
- [ミュート] にタップすると、通話相手に車両側の音声が届かないようにし、遮断することができます。
- [電話転送] にタップすると、Bluetooth接続されている携帯電話で直接通話することができます。本機のハンズフリー機能に戻す場合は、[ハンズフリー転送] にタップします。

■ ダイヤルトーンを入力する

通話中にダイヤルトーンを入力できます。音声ガイダンスなどの番号入力時に使用します。

1 [トーン] にタップする

2 入力したい“番号”、“記号”を入力する

[0]～[9]、[*]、[#]が入力できます。

ダイヤルトーンの入力(送信)が完了します。

アドバイス

- ・ 走行中はダイヤルトーンの入力はできません。

■ 通話画面を閉じる


通話画面を閉じて元の画面に戻ります。

1 [戻る] にタップする



元の画面に戻ります。

アドバイス

- ・ 再度通話画面を表示したい場合は、 にタップします。または、目的地メニュー (P31) から[電話]にタップしてください。

■ 電話を終了する

通話を終了します。

1 [通話終了] にタップする



通話が終了します。

フロントカメラを使う

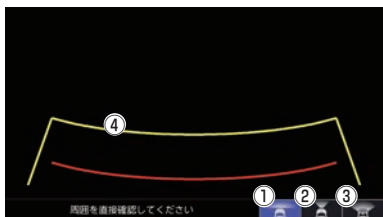
別売のフロントカメラが接続されている場合、ディスプレイにフロントカメラ映像を表示できます。

お知らせ

- 詳しくは、別売のフロントカメラの取扱説明書をご覧ください。
- ビュー切換やガイドライン表示は、対応しているフロントカメラを接続している場合に可能です。
- カメラ映像は低速走行時に切り換えることができます。
→「フロントカメラの設定」(P358)
- シースルービューでは、表示するカメラ映像を「ノーマル」または「ワイド」に設定できます。
→「フロントカメラの設定」(P358)




表示内容について

ワイドビューの場合



ノーマルビューの場合





-  ワイドビューに切り換えます。
-  ノーマルビューに切り換えます。
-  シースルービューに切り換えます。
ステアリングとインパネの透過映像をカメラ映像上に表示します。
- ④ ガイドライン(目安線)**
車両の幅や距離の目安となる線です。

お知らせ


- ガイドラインは表示する / 表示しないを設定できます。
→「ガイドラインの表示を切り換える」(P269)
- シースルービューではガイドラインを表示できません。

■ カメラアイコンについて


現在地画面(P48)にアイコンを表示できます。
→「フロントカメラの設定」(P358)
「自動表示モード」の設定によって、表示色が異なります。

 (緑色)	自動表示する(車速連動または登録地点連動)
 (灰色)	自動表示しない



カメラ映像を表示する

フロントカメラを接続すると  キー（オプションボタン）にカメラ切換機能が設定されます。


1 キーを押す

▼
カメラ映像に切り換わります。再度、 キーを押すと、元の画面に戻ります。

お知らせ

- 高速走行時に  キーを押した場合、カメラ映像に切り換わりません。低速走行または停止状態で  キーを押した場合、カメラ映像に切り換わります。

アドバイス

-  キーを押してもカメラ映像に切り換わらない場合は、「オプションボタンを設定する」(P36) で設定できます。

フロントカメラのビューを切り換える

3ビュー対応のフロントカメラを接続している場合に、ノーマルビュー、ワイドビュー、シースルービューを切り換えます。

1 切り換えたい“ビュー”にタップする



▼
選んだビューに切り換わります。

ガイドラインの表示を切り換える

ガイドライン表示に対応したフロントカメラを接続している場合に、ガイドラインの表示する/しないを設定できます。

ただし、シースルービューを表示中は、ガイドラインの表示設定ができません。

1 画面にタップする



2 「ガイドライン表示」の **する** / **しない** にタップする

タップするたびに[する]/[しない]が切り換わります。

3 **OK** にタップする

アドバイス

- 「フロントカメラの設定」からでも設定できます。
→「ガイドラインを表示する」(P358)

シースルービューのカメラ映像を切り換える

シースルービューを表示中にカメラ映像を「ノーマル」または「ワイド」に設定できます。

1 画面にタップする



2 「シースルービュー切替」の **ノーマル** / **ワイド** にタップする

タップするたびに[ノーマル]/[ワイド]が切り換わります。

3 **OK** にタップする

アドバイス

- 「フロントカメラの設定」からでも設定できます。
→「ガイドラインを表示する」(P358)

リアカメラを使う

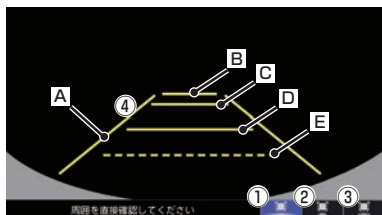
標準装備または別売のリアカメラが接続されている場合、ディスプレイにリアカメラ映像を表示できます。

お知らせ

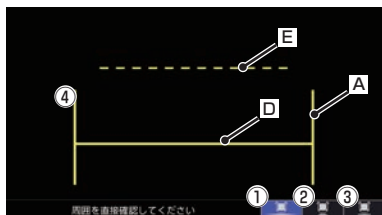
- ビュー切り換えは、リアワイドカメラを接続している場合に可能です。
- ダイナミックガイドライン表示は、車両の装備やグレードが対応している必要があります。
- リアカメラについて詳しくは、標準装備または別売のリアカメラの取扱説明書をご覧ください。

表示内容について

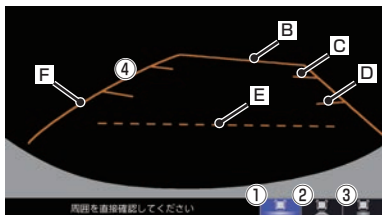
ノーマルビューおよびワイドビューの場合






トップダウンビューの場合



ノーマルビュー+ ダイナミックガイドラインの場合



※ トップダウンビュー表示中はダイナミックガイドラインを表示できません。

- ①  ワイドビューに切り換えます。
- ②  ノーマルビューに切り換えます。
- ③  トップダウンビューに切り換えます。

- ④ **ガイドライン(目安線)** ※1
車両の幅や距離の目安となる線です。
[A]: 車両側面から約25cmの目安
[B]: リアバンパーから約3mの目安
[C]: リアバンパーから約2mの目安
[D]: リアバンパーから約0.5mまたは1mの目安(車種により異なります)
[E]: テールゲート開閉可能な目安

[E]: ダイナミックガイドライン
ハンドルを大きく切ったときに、ガイドライン表示がダイナミックガイドラインに切り換わります。ダイナミックガイドラインは、今のハンドル位置のまま後退した場合の予測進路を示します。ハンドルの角度に連動してガイドラインが変形します。

お知らせ

- ガイドラインは表示する/表示しないを設定できます。
→「ガイドラインの表示を切り換える」(P271)

※1 ガイドラインは説明のイメージです。車種によって異なります。

リアカメラの映像を表示する

1 車のセレクトレバーを リバースに入れる

カメラ映像に切り換わります。
リバース以外に入れると、元の画面に戻ります。

アドバイス

- リアワイドカメラを接続している場合、カメラ映像に切り換えたとき、どのビューで表示するかを設定できます。
→「リアカメラの次回表示ビューを設定する」(P357)
- 前回のリアカメラ映像(ラスト画面)がトップダウンビューの場合、設定したビューで表示します。
ただし、車両の切り返しなど本機の電源を切らずに、かつ10km/hを超えた走行をしていない場合は、設定したビューに切り換わりません。

リアカメラのビューを切り換える

リアワイドカメラを接続している場合に、ワイドビュー、ノーマルビュー、トップダウンビューを切り換えることができます。

1 切り換えたい“ビュー”に タップする



選んだビューに切り換わります。

ガイドラインの表示を切り換える

リアカメラにガイドライン表示する/しないを設定できます。

1 画面にタップする



2 「ガイドライン表示」または「ダイナミックガイドライン表示」の [する] / [しない] にタップする

タップするたびに[する]/[しない]が切り換わります。

3 [OK] にタップする

アドバイス

- 「リアカメラの設定」からでも設定できます。
→「ガイドラインを表示する」(P357)

Aタイプ Bタイプ Cタイプ

マルチビューカメラを使う


マルチビューカメラシステムが接続されている場合、ディスプレイにマルチビューカメラ映像を表示できます。

お知らせ


- マルチビューカメラシステム、Honda スマートパーキングアシストシステムの操作方法などについては、車両の取扱説明書をご覧ください。

表示するには


■ フロントカメラ映像を表示する

マルチビューカメラを接続すると  キー（オプションボタン）にカメラ切換機能が設定されます。

1 キーを押す

▼
フロントカメラ映像に切り換わります。再度、 キーを押すと、元の画面に戻ります。

アドバイス

-  キーを押してもカメラ映像に切り換わらない場合は、「オプションボタンを設定する」(P36) で設定できます。

■ リアカメラ映像を表示する

1 車のセレクトレバーを リバースに入れる

▼
リアカメラ映像に切り換わります。
リバース以外に入れると、元の画面に戻ります。

Honda スマートパーキングアシストシステム

バック駐車や縦列駐車の手動操作を自動でアシストする機能です。

カメラで駐車枠を自動認識します。

このシステムは自動駐車システムではありません。バック駐車、縦列駐車時に運転者のハンドル操作の負担を軽減するための運転支援システムです。駐車時は、必ず目視やミラーなどで後方および周囲の安全を直接確認してください。

アドバイス

- アシスト音声が流れているときに [VOL -] または [VOL +] キーを押すと、音量を調節できます。

リアカメラ de あんしんプラスを使う

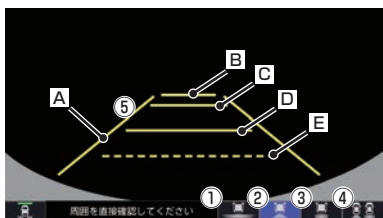
リアカメラ de あんしんプラスに対応したリアカメラと専用ユニットが接続されている場合、下記の機能を利用できます。詳しくは、別売のリアカメラ de あんしんプラスの取扱説明書をご覧ください。

注意

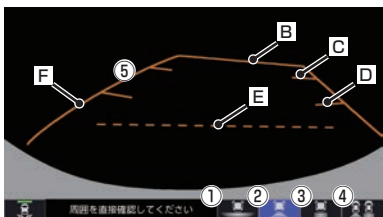
- このシステムは、後退時や走行中の後方確認などをサポートするためのものであり、衝突を防止するためのシステムではありません。
- 後退時や走行時は、必ず目視やミラーなどで後方および周囲の安全を直接確認してください。状況によっては、検知できない可能性があるため、ブザーや画面のみを頼って走行すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

表示内容について

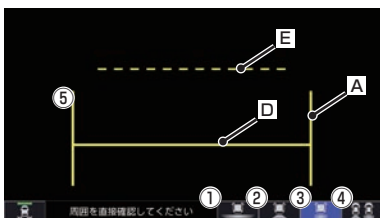
ノーマルビューおよびワイドビューの場合



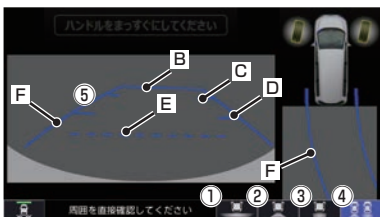
ノーマルビュー+ ダイナミックガイドラインの場合



トップダウンビューの場合



ダブルビューの場合



※ トップダウンビュー表示中はダイナミックガイドラインを表示できません。

- ワイドビューに切り換えます。
- ノーマルビューに切り換えます。
- トップダウンビューに切り換えます。
- ダブルビューに切り換えます。
- ガイドライン(目安線)**※¹
車両の幅や距離の目安となる線です。
[A]: 車両側面から約 25cm の目安
[B]: リアバンパーから約 3m の目安

- [C]: リアバンパーから約 2m の目安
- [D]: リアバンパーから約 0.5m または 1m の目安 (車種により異なります)
- [E]: テールゲート開閉可能な目安
- [F]: ダイナミックガイドライン

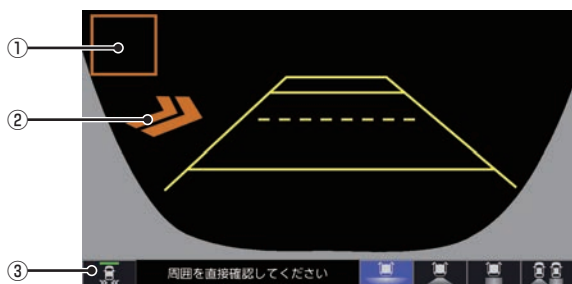
ハンドルを大きく切ったときに、ガイドライン表示がダイナミックガイドラインに切り換わります。ダイナミックガイドラインは、今のハンドル位置のまま後退した場合の予測進路を示します。ハンドルの角度に連動してガイドラインが変形します。

※¹ ガイドラインは説明のイメージです。車種によって異なります。

後退出庫サポート

駐車場などから後退で出庫するときのサポート機能です。

リアカメラの映像をもとに車両後方の左右から接近する他の車両や人などを検知し、運転者にお知らせします。



① 接近物

接近物に枠を表示します。(ワイドビューの場合のみ)

② 接近矢印表示


後方に接近物を検知すると「>>」を表示します。

③

タップするたびに後退出庫サポートのON/OFFが切り換わります。

後退出庫サポートがONになるとアイコンの表示点灯が緑色に点灯します。

故障している場合やカメラが汚れている場合は、表示点灯が橙色に点灯します。

 : 故障アイコン

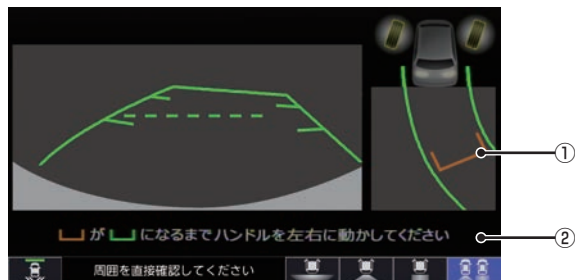
 : 汚れアイコン

後退駐車サポート

車を後退で駐車するときに、リアカメラの画面をもとに車両後方の駐車枠を検知し、自車と駐車枠のスレ(角度差)の目安をお知らせします。

■ かんたん駐車ガイド

駐車枠を検知すると、駐車をサポートするガイダンスと後退位置予測線を表示します。後退完了位置予測線は、ハンドルの角度に応じて位置が変わります。また、予測線の位置により色が変わります。



① 後退位置予測線

緑色のときに、ハンドル角度を維持してバックすることで駐車枠のほぼ中央に車両を駐車することができます。

橙色：予測線の位置が駐車枠の中央から左右にずれている

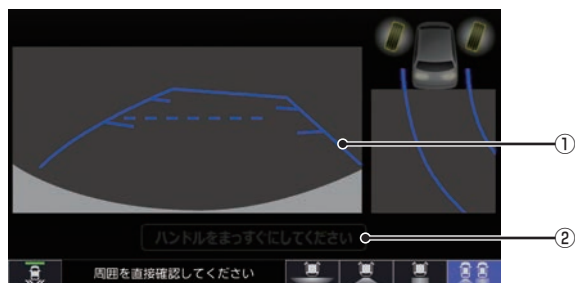
緑色：予測線の位置が駐車枠のほぼ中央

② メッセージ

メッセージに従いハンドルを操作してください。

■ まっすぐ駐車表示

駐車枠を検知すると、自車の進路と駐車枠との角度のスレに応じてガイドラインの色が変わります。



① ガイドライン

(ズレ小) 緑色⇄水色⇄青色(ズレ大)

赤色：駐車枠が検出できない状態です。

② メッセージ

駐車枠のほぼ中心に駐車できるハンドル角度になると点灯します。

■ 設定変更について

後退駐車サポートの使用する/使用しないや、かんたん駐車ガイド、まっすぐ駐車表示の切り替えは「リアカメラの設定」(P355)を参照してください。

後方死角サポート

隣接する車線後方の検知エリアに他の車両がいることを検知すると、運転者にお知らせします。走行速度が一定値以下、またはセレクトレバーがリバースの場合は警告しません。

警告レベル低



警告レベル低ではマーク表示で警告します。

- : 左隣の車線で他車が走行中
- : 右隣の車線で他車が走行中
- : 両隣の車線で他車が走行中

警告レベル高



警告レベル高では警告レベル低時にウィンカーを作動させた場合に警報音と画面表示で警告します。

警告レベル高では両隣の車線で他車が走行していても片方のみ警告表示します。

後方車両お知らせ機能

車両後方の検知エリアに他の車両がいると、運転者にお知らせします。

走行速度が一定値以下、またはセレクトレバーがリバースの場合はお知らせしません。



音声と マーク表示で警告します。

後方死角サポート/後方車両お知らせ機能のアイコンについて

リアカメラの設定 (P355) で、各サポートの設定を[する]にしている場合、各アイコンが表示されます。

各アイコンにタップすると、サポート機能のON/OFFを切り換えることができます。

	後方死角サポート
	後方車両お知らせ機能

ON時：アイコンが緑色、OFF時：アイコンが灰色

※ 緑色のアイコンに斜め線が表示されているときは、ONになっていますが走行速度が一定値以下のため、警告またはお知らせをしない状態であることを示します。

※ アイコンが 、 (橙色) の場合は、故障しています。Honda 販売店にご相談ください。

お知らせ

- リアカメラが汚れている場合、汚れアイコンが表示されます。汚れているとサポート機能が動作しません。エンジンスイッチをOFFにしてから、水を含ませた柔らかい布などでリアカメラの汚れを拭き取ってください。

: 汚れアイコン

パーキングセンサーを使う

車両周囲の障害物をセンサーで検知すると、本機の画面で注意を促す表示を行います。詳しくは、パーキングセンサーの取扱説明書をご覧ください。*1

*1 標準装備のパーキングセンサー装着車は、車両の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- 標準装備または別売のパーキングセンサーの接続が必要です。
- 車両の装備やグレードがパーキングセンサー連動に対応している必要があります。

表示内容について

■ カメラ映像以外のとき



① 車両前方の注意表示

- : 左前方
- : 真ん中左前方
- : 真ん中右前方
- : 右前方

② 消去

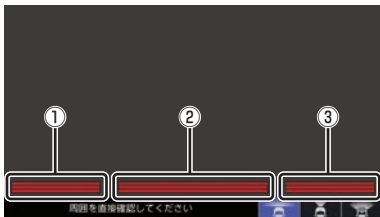
パーキングセンサー画面を消去します。

アドバイス

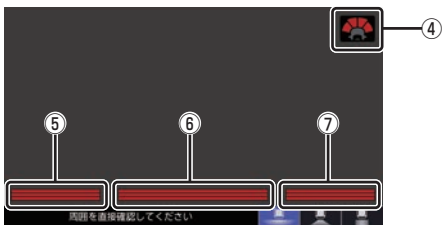
- 「パーキングセンサーの設定」の「パーキングセンサー表示割り込み」で[しない]に設定すると、カメラ映像以外のときに表示されるイラストとメッセージを表示しないようにすることができます。
→「パーキングセンサーの設定」(P360)

■ カメラ映像(リアカメラなど)のとき
障害物を検知すると、カメラ映像に注意表示をします。

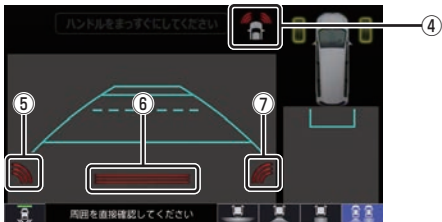
フロントカメラ映像画面



リアカメラ映像画面



リアカメラ de あんしんプラスに対応したリアカメラと専用ユニットが接続されている場合



① 左前方の注意表示

② 真ん中前方の注意表示

③ 右前方の注意表示

④ 車両前方の注意表示

- : 左前方
- : 真ん中左前方*1
- : 真ん中右前方*1
- : 右前方

⑤ 左後方の注意表示

⑥ 真ん中後方の注意表示

⑦ 右後方の注意表示

*1 リアカメラ de あんしんプラスに対応したリアカメラと専用ユニットが接続されている場合は表示しません。

■ 障害物を検知したときの表示について

カメラ映像以外のとき

ブザー音の間隔	インジケータ			
	左前方	真ん中左前方	真ん中右前方	右前方
長い	—	 :黄色 1本	 :黄色 1本	—
短い	 :橙色 1本	 :橙色 2本	 :橙色 2本	 :橙色 1本
非常に短い	 :橙色 2本	 :橙色 3本	 :橙色 3本	 :橙色 2本
連続	 :赤色 3本	 :赤色 4本	 :赤色 4本	 :赤色 3本

カメラ映像のとき

ブザー音の間隔	インジケータ	
	左前方、右前方 左後方、右後方	真ん中左前方、真ん中右前方 真ん中左後方、真ん中右後方
長い	—	黄色
短い	橙色	橙色
非常に短い		
連続	赤色	赤色

※ パーキングセンサーの装着個数は機種によって異なります。

カメラについて



- **カメラの映像は、注意義務を免除または軽減するものではありません。**
カメラが装着されていない場合と同様に周囲の安全を自分の目で確認しながら運転してください。
- カメラが映し出す範囲には限界があります。ガイドラインは車幅や距離間隔を補うための目安です。実際の周りの状態を直接目で確認してご使用ください。
- カメラの映像は広角レンズを使用しているため、実際の距離と間隔が異なります。
- リアカメラの映像は鏡像です。(車両のバックミラーやサイドミラーで見たときと同じ左右を反転した映像です。)
- 夜間または暗所などの状態により、カメラの映像が見えない(見えにくい)ことや画質が低下する場合があります。
- 雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなる場合があります。
- カメラは、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。カメラ本体のネジを緩めたり、分解したりすることは絶対にしないでください。防滴性能の劣化をまねき、故障などの原因となります。
- レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な映像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは、水を含ませた柔らかい布などで拭き取ってください。ゴミなど付いた状態で乾いた布などで強くこするとレンズカバーに傷が付くことがあります。
- 高圧洗車をする場合は、カメラの周囲部に直接水をかけないでください。水が入り、カメラレンズに結露が発生、故障、火災、感電の原因となります。
- カメラ部は精密機械のため、強い衝撃を与えないでください。故障、破損して火災、感電の原因となります。

カメラのガイドライン表示について

- 必要なガイドラインはHonda販売店で設定されます。設定の変更などについては、Honda販売店にご相談ください。
- ガイドライン(P267,P270)の距離は、車種によって異なります。
- ガイドラインは、実際の車幅、距離間隔と異なる場合があります。
- 次のようなときは、ガイドラインと実際の路面上の距離、障害物との距離に誤差が生じます。
 - 勾配の急な坂道などが後方にあり、路面に対して車両が傾いているとき
 - 搭乗人数や積載量などにより、車両が傾いているとき
- ガイドラインは路面上の距離を示す目安となりますので、画面に立体物が映し出された場合は実際の距離感とは異なります。

後席会話サポート機能を使う

本機のマイクに向かって発話した声を後席スピーカーから出力させることができます。後席の人の声を前席スピーカーから出力させることはできません。後席会話サポート機能を使用中は、オーディオの音量がしぼられます。

後席会話サポートを開始する

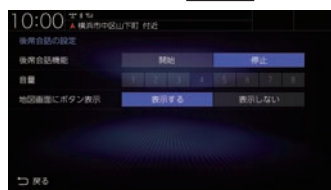
1 MENU キーを押す

目的地メニューを表示します。

2 後席会話 にタップする



3 後席会話機能の 開始 にタップする



本機のマイクに向かって発話してください。後席の方がマイクの声聞き取りにくい場合は、音量の[1]～[8]の数字をタップして調整してください。

お知らせ

- 「地図画面にボタン表示」を[表示する]に設定すると、地図画面に[会話]ボタンを表示します。2画面表示をしている地図画面では、[会話]ボタンは表示されません。
- 地図画面の[会話]にタップすると、後席会話サポート機能の開始/停止が切り替わります。開始/停止に合わせて表示が点灯/消灯します。



- 車内の環境によっては声にエコーがかかったような状態で聞こえる場合があります。

後席会話サポートを停止する

1 後席会話機能の 停止 にタップする

後席会話サポートが停止します。

ドライブレコーダーを使う (DRH-189N)

別売のドライブレコーダー（ナビ連動タイプ：DRH-189N）の接続が必要です。ドライブレコーダー本体の動作について詳しくは、別売のドライブレコーダー（ナビ連動タイプ：DRH-189N）の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- 録画データの確認や編集（P283～P286）はドライブレコーダーの録画が一時停止し、オーディオがOFFになります。[現在地]キーなどを押してドライブレコーダー画面を終了すると、録画を再開しオーディオがONになります。

録画の種類について

ドライブレコーダーの録画には、「常時録画」、「手動録画」、「駐車時録画」および「駐車時録画プラス」の4種類があります。また、静止画を撮影することができます。録画された動画/静止画はドライブレコーダーに挿入されたmicroSDカードに記録されます。

お知らせ

- 録画された動画は、高画質モードで約39秒、標準モードで約52秒ずつを1ファイルにして保存します。
- 録画を継続するため、ドライブレコーダーに挿入しているmicroSDカードの空き容量が少なくなると、動画ファイルを録画日の古い順に上書きします。（急加速/急減速を検知した記録がある場合は上書きされません。ただし、空き容量が少ない状態で急加速/急減速を新たに検知した場合は、古い順に上書きをすることがあります。）
- 「駐車時録画」および「駐車時録画プラス」は、車両のバッテリー状態および検知頻度に応じて、エンジン始動に支障がないように安全機能が働き、録画を停止する場合があります。

■ 常時録画

車のエンジンスイッチをアクセサリまたはONにしている間、ドライブレコーダーは常時録画を行います。

アドバイス

- ドライブレコーダーの動画および静止画再生中や、ドライブレコーダーの設定などをしているときは録画が停止します。録画中/録画停止中はステータスバーに表示されるアイコンで確認してください。

■ 手動録画

ナビゲーションを操作して録画を行います。手動録画した動画は上書きされません。ただし、空き容量が少ない状態で手動録画をした場合は、古い順に上書きをすることがあります。

■ 駐車時録画

エンジンスイッチをOFF後、約30分間録画を継続します。

お知らせ

- 設定モードなど常時録画を停止している状態で、エンジンスイッチをOFFにした場合「駐車時録画」の設定を[する]にしても、駐車時録画が開始されません。設定モード終了後、エンジンスイッチをOFFにしてください。

■ 駐車時録画プラス

「駐車時録画」の設定が[する]の場合は駐車時録画終了後、設定が[しない]の場合はエンジンスイッチをOFF後に衝撃を検知すると、約1分間、録画を自動で開始します。

お知らせ

- 衝撃を検知すると、約1分間（検知後の約4秒後から約1分間）の録画を行います。

ドライブレコーダーアイコンの種類

ステータスバーに以下のアイコンが表示されます。



	常時録画中
	手動録画中
	録画停止中

お知らせ


- ドライブレコーダーとの通信に時間がかかるため、アイコンの表示は実際のドライブレコーダーの状態とずれる場合があります。

手動録画を開始 / 停止する

■ オプションボタンからの操作

1 キーを長押しする

手動録画を開始します。

再度、 キーを長押しすると手動録画を停止します。

■ QUICKメニューからの操作

あらかじめ、QUICKメニューに [ドライブレコーダー動画録画開始 / 停止] を設定しておく必要があります。→「QUICKメニューをカスタマイズする」(P37)

1 現在地画面で → を タップする

手動録画を開始します。

再度、[ドライブレコーダー動画録画開始 / 停止] をタップすると手動録画を停止します。

アドバイス

- 自動停止する時間は設定できます。
→「ドライブレコーダーの設定」(P361)

静止画を撮影する

■ オプションボタンからの操作

あらかじめ、オプションボタンに[ドライブレコーダー静止画撮影]を設定しておく必要があります。→「オプションボタンを設定する」(P36)

1 キーを押す

▼
静止画を撮影します。

■ QUICKメニューからの操作

あらかじめ、QUICKメニューに[ドライブレコーダー静止画撮影]を設定しておく必要があります。→「QUICKメニューをカスタマイズする」(P37)

1 現在地画面で **QUICK** →

ドライブレコーダー静止画撮影
をタップする

▼
静止画を撮影します。

録画した動画/静止画を確認する

ドライブレコーダーが録画したデータを確認します。

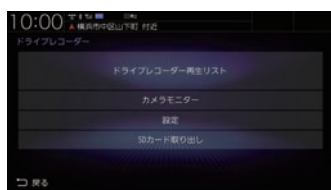
1 **MENU** キーを押す

目的地メニューを表示します。

2 **設定/情報** → **情報** にタップする



3 **ドライブレコーダー** → **ドライブレコーダー再生リスト** に タップする



4 確認したい“ファイルの種類”に タップする



5 リストから確認したい“録画ファイル”に タップする

6 **再生** にタップする



録画データの再生画面を表示します。

■ 録画ファイルリストについて



① ファイルの種類

動画リスト/静止画リストを切り換えます。

② 保存フォルダ

保存フォルダに移動した動画リストを表示します。

③ 録画ファイルの年月日、時刻

録画した年月日、時刻を表示します。

④ 戻る

1つ前の画面に戻ります。

⑤ 録画件数

録画件数を表示します。

⑥ 録画種別アイコン

録画の種類を表示します。

↓ : 手動録画したファイル

⚡ : 急加速/急減速情報のあるファイル

⚡ : 高速道路での合流地点情報のあるファイル

P : 駐車時録画プラスのファイル

⑦ 全表示

すべての動画をリスト表示します。

⑧ 手動録画

表示中のリストを手動録画の動画のみにします。

⑨ 再生

選択している録画ファイルを再生します。

⑩ 保存

選択している動画ファイルを保存フォルダに移動します。

⑪ 全消去

リストに表示の録画ファイルをすべて消去します。

■ 録画データの再生画面について

動画再生画面



静止画再生画面



① 録画場所の地図

② 戻る

録画ファイルのリスト画面に戻ります。

③ 録画情報

録画時の日時、位置情報を表示します。

④ 録画時点の車の走行速度

⑤ 録画映像

タップすると全画面表示になります。

⑥ 消去

再生中の録画ファイルを消去します。

⑦ <<, >>, ||, >>>

動画ファイルの早送り/早戻し、一時停止/再生をします。

⑧ 録画時点の車の加速/減速レベル

録画時の加速/減速レベルを表示します。表示更新は約1秒間に1回のため実際の車の加速/減速レベルとは異なる場合があります。

⑨ <, >

前後の録画ファイルを再生します。

⑩ 地点登録

撮影場所を地点登録します。

⑪ 目的地にする

撮影場所を目的地に設定します。

お知らせ

- 表示される走行速度や加速/減速レベルは目安です。
- 情報が記録できなかった場合、映像が全画面で表示されたり、各情報(加速/減速レベルなど)や[地点登録]、[目的地にする]が非表示になったりすることがあります。

録画データを消去する

各リストの全消去、再生中ファイルの1件消去ができます。

■ 各リストのファイルをすべて消去する

1 消去したい“リスト”を表示する

[動画]、[静止画]、[保存フォルダ]のいずれかにタップします。

→「録画した動画/静止画を確認する」
(P283)

2 [全消去] にタップする



3 [消去する] にタップする

リストのファイルをすべて消去します。

アドバイス

- ファイルを全消去しているときに他の画面に変更した場合は消去を中断します。

■ ファイルを1件消去する

1 消去したい“ファイル”を再生する

→「録画した動画/静止画を確認する」
(P283)

2 [消去] にタップする



3 [消去する] にタップする

再生中のファイルを消去します。

保存フォルダへ移動する

録画した動画ファイルを「保存フォルダ」に移動します。

アドバイス

- 保存フォルダへ移動できるのは動画のみです。
- 保存フォルダへ移動した動画ファイルは自動削除されなくなります。
- 保存フォルダには最大20ファイルまで移動できます。
- 保存フォルダへの移動は本機で行ってください。

1 動画リストを表示する

→「録画した動画/静止画を確認する」
(P283)

2 移動したい動画ファイルを選択し、[保存] にタップする



選択したファイルが保存フォルダに移動します。

現在の映像を確認する

ドライブレコーダーが録画する映像を確認できます。

走行中は映像を表示しません。

1 [MENU] キーを押す

目的地メニューを表示します。

2 [設定/情報] → [情報] にタップする

3 [ドライブレコーダー] →

[カメラモニター] にタップする

ドライブレコーダーのカメラ映像を表示します。

お知らせ

- 現在の映像を表示しているときは、カメラ映像の音声は出力されません。

ドライブレコーダーを設定する

ドライブレコーダーの設定はドライブレコーダーにmicroSDカードを挿入している状態で行ってください。

設定内容については「**ドライブレコーダーの設定**」(P361)を参照してください。

microSDカードをフォーマットする

ドライブレコーダーに挿入しているmicroSDカードをフォーマットします。

- 1 **MENU** キーを押す
目的地メニューを表示します。
- 2 **設定/情報** → **情報** にタップする
- 3 **ドライブレコーダー** → **設定** にタップする
- 4 **「SDカードのフォーマット」のフォーマットする** にタップする
- 5 **フォーマットする** にタップする

▼
microSDカードのフォーマットを開始します。フォーマット中は車のエンジンスイッチをOFFにしないでください。

microSDカードを取り出す

ドライブレコーダーに挿入しているmicroSDカードを取り出すために、以下の操作をしてください。

以下の操作を行わず、microSDカードを取り出すとファイルが壊れる場合があります。

- 1 **MENU** キーを押す
目的地メニューを表示します。
- 2 **設定/情報** → **情報** にタップする
- 3 **ドライブレコーダー** にタップする
- 4 **SDカードの取り出し** にタップする
- 5 **取り出す** にタップする

▼
ドライブレコーダーからmicroSDカードを取り出すことができます。

ドライブレコーダーを使う (DRH-204VD)

別売のドライブレコーダー (ナビ連動タイプ: DRH-204VD) の接続が必要です。ドライブレコーダー本体の動作について詳しくは、別売のドライブレコーダー (ナビ連動タイプ: DRH-204VD) の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- 録画データの確認や編集 (P290 ~ P293) はドライブレコーダーの録画が一時停止し、オーディオがOFFになります。[現在地] キーなどを押してドライブレコーダー画面を終了すると、録画を再開しオーディオがONになります。

録画の種類について

ドライブレコーダーの録画には、「常時録画」、「手動録画」、「駐車時録画」および「駐車時録画プラス」の4種類があります。また、静止画を撮影することができます。録画された動画/静止画はドライブレコーダーに挿入されたmicroSDカードに記録されます。

お知らせ

- 録画された動画は、標準/長時間モードともに約2分ずつを1ファイルに保存します。
- 録画を継続するため、ドライブレコーダーに挿入しているmicroSDカードの空き容量が少なくなると、動画ファイルを録画日の古い順に上書きします。(急加速/急減速を検知した記録がある場合は上書きされません。ただし、空き容量が少ない状態で急加速/急減速を新たに検知した場合は、古い順に上書きをする場合があります。)
- 「駐車時録画」および「駐車時録画プラス」は、車両のバッテリー状態および検知頻度に応じて、エンジン始動に支障がないように安全機能が働き、録画を停止する場合があります。

■ 常時録画

車のエンジンスイッチをアクセサリまたはONにしている間、ドライブレコーダーは常時録画を行います。

アドバイス

- ドライブレコーダーの動画および静止画再生中や、ドライブレコーダーの設定などをしているときは録画が停止します。録画中/録画停止中はステータスバーに表示されるアイコンで確認してください。

■ 手動録画

ナビゲーションを操作して録画を行います。手動録画した動画は上書きされません。

お知らせ

- 手動録画の録画時間は、手動録画を開始した約12秒前から20秒間です。手動録画が終了すると常時録画に戻ります。
- 上書き保存設定が「ON」のときは各録画で設定している録画可能件数になると古いファイルから上書きします。上書きしないように「OFF」にすることもできます。別売のドライブレコーダー (ナビ連動タイプ: DRH-204VD) の取扱説明書をご覧ください。

■ 駐車時録画

エンジンスイッチOFF後、降車時開始時間設定の設定時間後に最大約30分間録画します。

お知らせ


- 降車時開始時間設定については、別売のドライブレコーダー (ナビ連動タイプ: DRH-204VD) の取扱説明書をご覧ください。

手動録画を開始/延長する

■ オプションボタンからの操作

1 キーを長押しする

手動録画を開始します。

再度、 キーを長押しすると手動録画の録画時間が20秒延長されます。

■ QUICKメニューからの操作

あらかじめ、QUICKメニューに [ドライブレコーダー動画録画開始/延長] を設定しておく必要があります。→「QUICKメニューをカスタマイズする」(P37)

1 現在地画面で → を タップする

手動録画を開始します。

再度、[ドライブレコーダー動画録画開始/延長] をタップすると手動録画の録画時間が20秒延長されます。

■ 駐車時録画プラス

エンジンスイッチOFF後、降車時開始時間設定の設定時間後に衝撃を検知すると、約1分間(検知して約4秒後から約1分間)録画します。

お知らせ

- 上書き保存設定が「ON」のときは各録画で設定している録画可能件数になると古いファイルから上書きします。上書きしないように「OFF」にすることもできます。別売のドライブレコーダー(ナビ連動タイプ:DRH-204VD)の取扱説明書をご覧ください。
- 降車時開始時間設定については、別売のドライブレコーダー(ナビ連動タイプ:DRH-204VD)の取扱説明書をご覧ください。

ドライブレコーダーアイコンの種類

ステータスバーに以下のアイコンが表示されます。



フロントカメラのみの場合

 常時	常時録画中
 手動	手動録画中
 停止	録画停止中

別売の後方録画カメラ装着車の場合

 常時  常時	常時録画中
 手動  手動	手動録画中
 停止  停止	録画停止中

お知らせ

- ドライブレコーダーとの通信に時間がかかるため、アイコンの表示は実際のドライブレコーダーの状態とずれる場合があります。

静止画を撮影する

■ オプションボタンからの操作

あらかじめ、オプションボタンに[ドライブレコーダー静止画撮影]を設定しておく必要があります。→「オプションボタンを設定する」(P36)

1 キーを押す

▼
静止画を撮影します。

■ QUICKメニューからの操作

あらかじめ、QUICKメニューに[ドライブレコーダー静止画撮影]を設定しておく必要があります。→「QUICKメニューをカスタマイズする」(P37)

1 現在地画面で **QUICK** → **ドライブレコーダー静止画撮影** をタップする

▼
静止画を撮影します。

録画した動画/静止画を確認する

ドライブレコーダーが録画したデータを確認します。

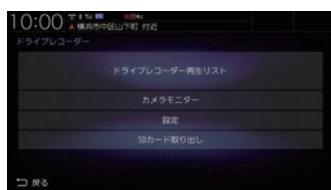
1 **MENU** キーを押す

目的地メニューを表示します。

2 **設定/情報** → **情報** にタップする



3 **ドライブレコーダー** → **ドライブレコーダー再生リスト** に タップする



4 確認したい“ファイルの種類”に タップする



5 リストから確認したい“録画ファイル”に タップする

6 **再生** にタップする



録画データの再生画面を表示します。

■ 録画ファイルリストについて



① ファイルの種類

動画リスト/静止画リストを切り換えます。

② 保存フォルダ

保存フォルダに移動した動画リストを表示します。

③ 録画ファイルの年月日、時刻

録画した年月日、時刻を表示します。

④ 戻る

1つ前の画面に戻ります。

⑤ 録画件数

録画件数を表示します。

⑥ 録画種別アイコン

録画の種類を表示します。

↓ : 手動録画したファイル

⚡ : 急加速/急減速情報のあるファイル

⚡ : 高速道路での合流地点情報のあるファイル

P : 駐車時録画プラスのファイル

⑦ 全表示

すべての動画をリスト表示します。

⑧ 手動録画

表示中のリストを手動録画の動画のみにします。

⑨ 再生

選択している録画ファイルを再生します。

⑩ 保存

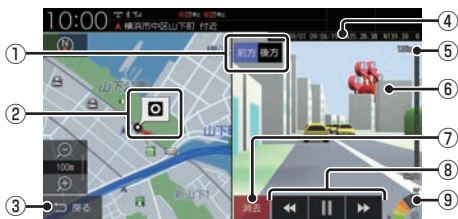
選択している動画ファイルを保存フォルダに移動します。

⑪ 全消去

リストに表示の録画ファイルをすべて消去します。

■ 録画データの再生画面について

動画再生画面



静止画再生画面



① **前方**、**後方**

別売の後方録画カメラ装着車の場合に表示します。

タップした方向の録画映像を表示します。

② **録画場所の地図**

③ **戻る**

録画ファイルのリスト画面に戻ります。

④ **録画情報**

録画時の日時、位置情報を表示します。

⑤ **録画時点の車の走行速度**

⑥ **録画映像**

タップすると全画面表示になります。

⑦ **消去**

再生中の録画ファイルを消去します。

⑧ **◀, ▶, ⏸, ▶▶**

動画ファイルの早送り/早戻し、一時停止/再生をします。

⑨ **録画時点の車の加速/減速レベル**

録画時の加速/減速レベルを表示します。表示更新は約1秒間に1回のため実際の車の加速/減速レベルとは異なる場合があります。

⑩ **◀, ▶**

前後の録画ファイルを再生します。

⑪ **地点登録**

撮影場所を地点登録します。

⑫ **目的地にする**

撮影場所を目的地に設定します。

お知らせ

- 表示される走行速度や加速/減速レベルは目安です。
- 情報が記録できなかった場合、映像が全画面で表示されたり、各情報(加速/減速レベルなど)や[地点登録]、[目的地にする]が非表示になったりすることがあります。

録画データを消去する

各リストの全消去、再生中ファイルの1件消去ができます。

■ 各リストのファイルをすべて消去する

1 消去したい“リスト”を表示する

[動画]、[静止画]、[保存フォルダ]のいずれかにタップします。

→「録画した動画/静止画を確認する」
(P290)

2 [全消去] にタップする



3 [消去する] にタップする

リストのファイルをすべて消去します。

アドバイス

- ファイルを全消去しているときに他の画面に変更した場合は消去を中断します。

■ ファイルを1件消去する

1 消去したい“ファイル”を再生する

→「録画した動画/静止画を確認する」
(P290)

2 [消去] にタップする



3 [消去する] にタップする

再生中のファイルを消去します。

保存フォルダへ移動する

録画した動画ファイルを「保存フォルダ」に移動します。

アドバイス

- 保存フォルダへ移動できるのは動画のみです。
- 保存フォルダへ移動した動画ファイルは自動削除されなくなります。
- 保存フォルダには最大20ファイルまで移動できます。
- 保存フォルダへの移動は本機で行ってください。

1 動画リストを表示する

→「録画した動画/静止画を確認する」
(P290)

2 移動したい動画ファイルを選択し、[保存] にタップする



選択したファイルが保存フォルダに移動します。

現在の映像を確認する

ドライブレコーダーが録画する映像を確認できます。

走行中は映像を表示しません。

1 [MENU] キーを押す

目的地メニューを表示します。

2 [設定/情報] → [情報] にタップする

3 [ドライブレコーダー] →

[カメラモニター] にタップする

ドライブレコーダーのカメラ映像を表示します。

お知らせ

- 現在の映像を表示しているときは、カメラ映像の音声は出力されません。

ドライブレコーダーを設定する

ドライブレコーダーの設定はドライブレコーダーに microSD カードを挿入している状態で行ってください。

設定内容については「ドライブレコーダーの設定」(P361)を参照してください。

microSD カードをフォーマットする

ドライブレコーダーに挿入している microSD カードをフォーマットします。

- 1 **MENU** キーを押す
目的地メニューを表示します。
- 2 **設定/情報** → **情報** にタップする
- 3 **ドライブレコーダー** → **設定** にタップする
- 4 「SD カードのフォーマット」の **フォーマットする** にタップする
- 5 **フォーマットする** にタップする

▼
microSD カードのフォーマットを開始します。フォーマット中は車のエンジンスイッチを OFF にしないでください。

microSD カードを取り出す

ドライブレコーダーに挿入している microSD カードを取り出すために、以下の操作をしてください。

以下の操作を行わず、microSD カードを取り出すとファイルが壊れる場合があります。

- 1 **MENU** キーを押す
目的地メニューを表示します。
- 2 **設定/情報** → **情報** にタップする
- 3 **ドライブレコーダー** にタップする
- 4 **SD カードの取り出し** にタップする
- 5 **取り出す** にタップする

▼
ドライブレコーダーから microSD カードを取り出すことができます。

リア席モニターを使う (デジタル接続モデル)

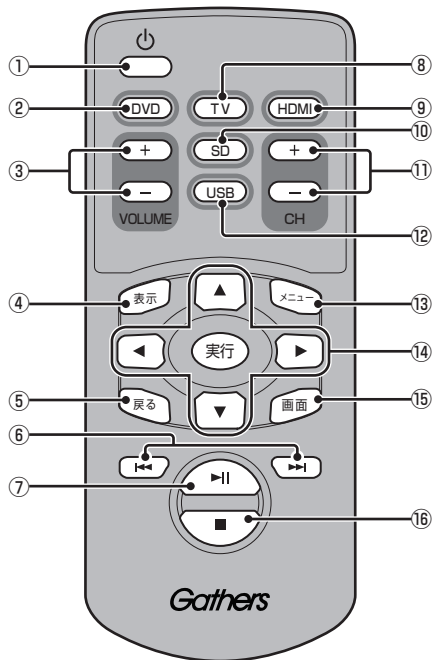
リア席モニターでは、HDMI接続をした場合に限り専用の赤外線リモコンで本機のオーディオ操作をすることができます。

専用赤外線リモコンについて

リア席モニターを経由して操作を行いますので、リア席モニターの受光部に向けて操作をしてください。再生可能なオーディオソースが本機に挿入または接続されていない場合は、操作が無効となります。

お知らせ

- ・リモコン操作の反応に時間がかかる場合があります。



- ① **電源** キー
リア席モニターの電源をON/OFFします。
- ② **DVD** キー
DVD-Video/VRを再生します。
- ③ **VOLUMEの +、-** キー
オーディオ機能の音量を調節します。
ただし、オーディオ音声のミュート中は、音量の調節ができません。
- ④ **表示** キー
TVのCH情報を表示します。
- ⑤ **戻る** キー
リア席モニターの設定画面で1つ前の画面に戻ります。
- ⑥ **⏮、⏭** キー
チャプターやプリセットCH、ファイル、トラックの選択ができます。長押しすると、早送り/早戻しやシークができます。
- ⑦ **⏸** キー
一時停止/再生ができます。
- ⑧ **TV** キー
TVを表示します。
- ⑨ **HDMI** キー
HDMI再生画面を表示します。
- ⑩ **SD** キー
SDカードの動画を再生します。
- ⑪ **CHの +、-** キー
チャプターやプリセットCH、ファイル、トラックの選択ができます。長押しすると、早送り/早戻しやシークができます。
- ⑫ **USB** キー
USBデバイスの動画を再生します。
- ⑬ **メニュー** キー
DVDのメニュー画面を表示します。
- ⑭ **▲、▼、◀、▶、実行** キー
DVDのメニュー画面を操作します。
- ⑮ **画面** キー
リア席モニターの画面設定が行えます。詳細は、リア席モニターの取扱説明書をご確認ください。
- ⑯ **■** キー
DVDの停止ができます。

リア席モニターに表示できる映像

各種AVソースのうち動画再生ソースの映像を表示できます。

- DVD
- TV
- 動画ファイル (SD/USB)
- HDMI

アドバイス

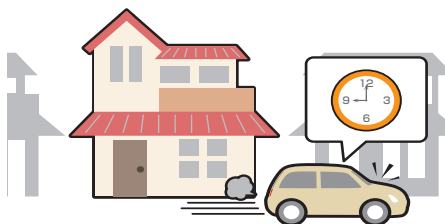
- ドライブレコーダーの映像、Apple CarPlayの映像は表示できません。
- リア席モニターは映像出力のみです。ソース選択や画面の操作を行うことはできません。

インターナビ機能

インターナビとは

安心で快適なカーライフを実現するための
Honda車オーナー専用のサービスです。

出発時刻アドバイザー



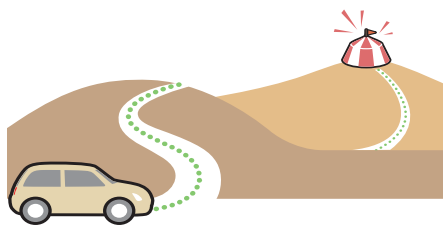
あらかじめルートと到着時間を設定しておく
と、推奨出発時間を案内します。

インターナビ・フローティングカーシステム



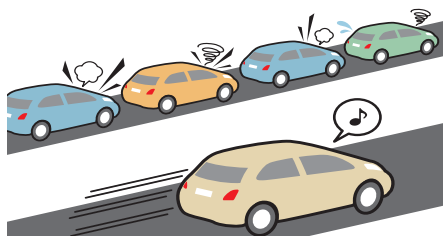
会員全員で共有できる交通情報で最適なルー
トを提供します。

My スポット



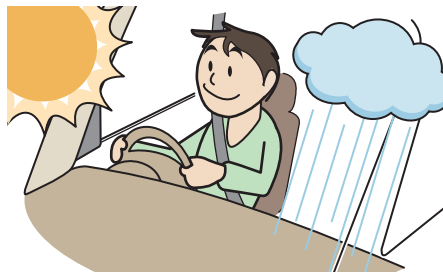
パーソナル・ホームページで登録した My ス
ポットを目的地に設定できます。

internavi 交通情報 / internavi ルート



目的地までの交通情報を取得し最短時間の
ルート案内したり、走りやすいルートなど
様々なニーズに合わせて案内したりします。

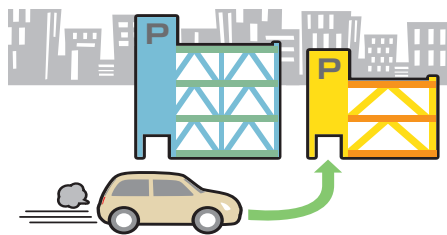
internavi ウェザー



現在地や目的地周辺の天気情報を確認できます。

次のページにつづく

駐車場セレクト



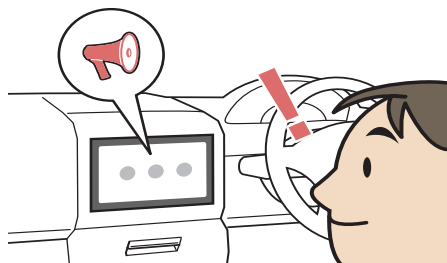
料金など希望の条件に合う駐車場を案内します。

無償地図更新サービス



無償で最大3回地図更新できます。

Hondaからのお知らせ



Hondaからの重要なお知らせを受信することができます。

インターナビをご利用になる前に

インターナビの各種サービスをご利用になるには、会員登録（無料）と本機のセットアップが必要です。

操作の流れ

お客さま

Honda Total Care の会員申込

（申し込み専用のタブレット端末申し込み
または登録申込書）



Honda 販売店

申し込みの内容をもとに
インターナビ情報センターへ登録



インターナビ情報センター

「登録完了のご案内」を発行



Honda 販売店

本機のセットアップ

- ・リンクアップフリーの接続設定
- ・本機のパスワード（暗証番号）の入力



サービスをご利用いただけます。

会員登録（無料）の手続きについて

会員登録はHonda販売店（Honda Cars 店、ホンダカーズ・ユーセレクト（U-Select）店）で承ります。

Honda Total Careの会員登録時に必要事項を記入してください。

登録後、インターナビ情報センターから「登録完了のご案内」を発行します。必ず、「登録完了のご案内」をHonda販売店からお受け取りください。

本機のセットアップについて

Honda販売店にて、インターナビをご利用できるように本機のセットアップをさせていただきます。

お知らせ

- ・中古などで本製品を入手された方も、最寄りのHonda販売店（Honda Cars 店、ホンダカーズ・ユーセレクト（U-Select）店）で会員登録手続きを承ります。Honda Total Careの基本会員の入会金、会費などは不要です。
- ・インターナビ・プレミアムクラブまたはHonda Total Careのサービスを受けるには、お客さまの個人情報の登録が必要となります。そのため、本製品を譲渡する場合は、個人情報を消去する必要があります。個人情報の消去は、Honda販売店へご依頼ください。
- ・カーナビ用パスワード（暗証番号）は、Honda販売店でお渡しする「登録完了のご案内」に記載されています。
- ・カーナビ用パスワード（暗証番号）は大変重要なものですので、「登録完了のご案内」を紛失したり、第三者に渡したりしないよう、管理には十分ご注意ください。

データ通信について

本機でインターネットナビのサービスを利用するには、インターネットナビ情報センターへデータ通信を行う必要があります。

■ リンクアップフリー

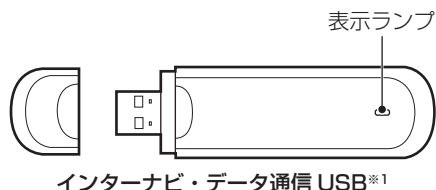
リンクアップフリーとは、本機とインターネットナビ情報センターとの間で行うデータ通信を無料で提供するサービスです。

- ・リンクアップフリーを接続してお使いいただくには、車検時にHonda販売店で更新手続きをしていただく必要があります。Honda販売店以外で車検を受けられた場合は、別途更新手数料がかかります。詳しくは、Honda販売店にお問い合わせください。
- ・リンクアップフリーは、Hondaが指定する通信事業者のデータ通信サービスを利用し、Hondaがお客さまにインターネットナビシステムのデータ通信を所定の条件下で無料提供するものです。本サービスの提供期間や通信品質については、Hondaはその責任を負うものではありません。

■ インターナビ・データ通信USB

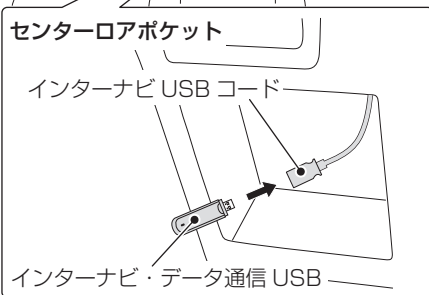
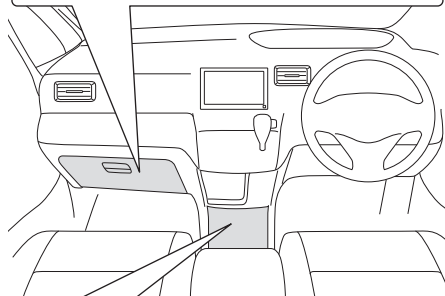
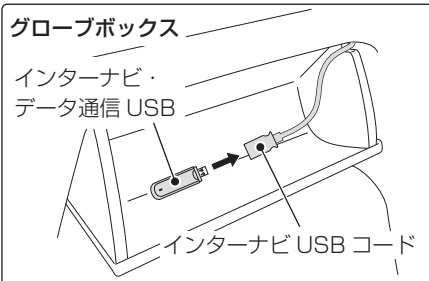
リンクアップフリーを利用するには「インターネットナビ・データ通信USB (リンクアップフリーの専用通信機器)」を本機のインターネットナビUSBコードと接続し、正しく設定されている必要があります。

接続先のインターネットナビUSBコードは、車種により接続箇所が異なります。グローブボックスまたはセンターロアポケットなどにあります。



インターネットナビ・データ通信USB※1

※1 インターナビ・データ通信USBの形状は車種により異なります。



表示ランプについて

ランプの状態	電波の状態
青点灯	電波強、通信中
緑点灯	電波弱、通信中
赤点灯	USIMエラー
黄点灯	電波サーチ
青点滅	電波強、待ち受け
緑点滅	電波弱、待ち受け
赤点滅	圏外
消灯	非装着、非供給

お知らせ

- 通信の特性上、高速での移動中や基地局からの距離、電波をさえぎるものなどにより通信ができない場合があります。
- 接続する際は、必ずインターナビUSBコードに接続してください。オーディオのUSB接続ケーブルに接続しても、リンクアップフリーの機能をご利用いただけません。

注意

- インターナビ・データ通信USBを他の車両、ナビゲーションシステム、その他の電子機器に接続してもデータ通信を行うことができません。接続した結果、インターナビ・データ通信USBや接続した機器に不具合が生じても、補償の対象となりません。
- インターナビUSBコードに他のUSB機器を接続しないでください。故障の原因となります。
- 車内高温時の故障や盗難を避けるため、インターナビ・データ通信USBを車内に放置しないでください。

本機をセットアップする

セットアップはHonda販売店にて行います。

1 エンジンスイッチを“ON”にする

2 現在地画面で **internavi** にタップする



車種によっては手順3～5の操作は行いません。フレームNoを取得できていない場合は、internaviのシステム設定画面が表示されますので、手順3以降を操作してください。

→「フレームNoを設定する」(P345)

3 **フレームNo設定** にタップし、フレームNoを入力する

→「フレームNoを設定する」(P345)



4 再度、現在地画面で **internavi** にタップする

5 カーナビ用パスワード(暗証番号)を入力する

6 **決定** にタップする

7 **接続する** にタップする



初回認証が開始されます。

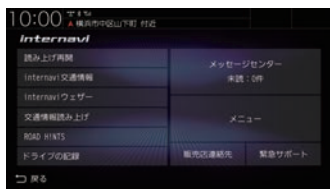
お知らせ

- カーナビ用パスワード(暗証番号)は、インターナビ情報センターから発行される「登録完了のご案内」に記載されています。紛失しないようにご注意ください。
- カーナビ用パスワード(暗証番号)を規定回数間違っていると、一定時間認証ができなくなります。
- 初回認証ができない場合は、フレームNoが本機に正しく登録できていない可能性があります。フレームNoの確認方法については、「フレームNoを確認する」(P345)をご覧ください。

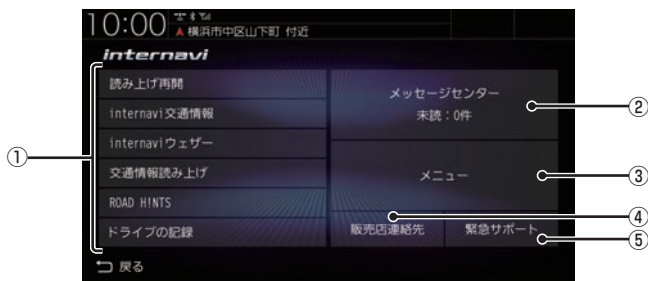
internavi 画面を表示する

交通情報や天気情報など、各サービスを確認することができます。

- 1 現在地画面で **internavi** に
タップする



internavi 画面を表示します。



① internavi ダイレクトメニュー

よく使う機能を設定できます。
→「[internavi ダイレクトをカスタマイズする](#)」(P344)

② メッセージセンター

Hondaからのお知らせなどを確認することができます。
→「[Hondaからのお知らせを確認する](#)」(P304)

③ メニュー

インターナビの各メニューを表示できます。
→「[インターナビ情報を確認する](#)」(P309)

④ 販売店連絡先

ディーラーの連絡先や、任意保険の連絡先を表示できます。
→「[販売店の連絡先を表示する](#)」(P313)

⑤ 緊急サポート

緊急サポート画面を表示できます。
→「[緊急サポートを表示する](#)」(P313)

Hondaからのお知らせを確認する

地図データの更新や製品に関する重要な情報などをHondaからお知らせします。

Hondaからのお知らせがあると・・・

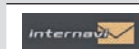


1 **今すぐ確認** にタップする

お知らせの内容を表示します。

アドバイス

- [internavi] ボタンに未読マークを表示します。



未読メッセージがある場合に
表示します。




重要度の高い未読メッセ
ージがある場合に表示します。

履歴を確認する

- 1 現在地画面で **internavi** に
タップする
- 2 **メッセージセンター** にタップする
- 3 確認したい“リスト”にタップする

お知らせの内容を表示します。

アドバイス

- [未読順]にタップすると未読メッセージをリストの先頭に並べます。
[日付順]にタップすると日付順に並べます。
- メッセージセンター画面で、 マークが表示されているメッセージは、重要度が高いメッセージです。
- メッセージは最大255件表示されます。
- メッセージは削除する事はできません。有効期限が過ぎると自動的に削除されます。

インターナビ交通情報を確認する

インターナビ交通情報センターが提供する交通情報を確認することができます。

フローティングカー情報について

全国の会員から取得した走行経路、所要時間などの走行データをフローティングカー情報といいます。インターナビ情報センターは、これらの走行データ（フローティングカー情報）およびVICS情報を統合してインターナビ交通情報として提供しています。

- フローティングカー情報は、30分以内に同じ道路を走行したデータがある場合はその情報を提供します。無い場合は、過去の同時間帯のデータを統計処理した情報を提供します。
- フローティングカー情報は、すべての道路を対象とするものではありません。
- 提供いただいたフローティングカー情報は、提供いただいたお客さまを特定できない形式で処理/保存します。

表示内容について



① 渋滞情報

渋滞・混雑の状況を点線で表示確認できます。

② 急減速多発地点表示（安全運転コーチング）

ルート案内中、「急減速多発地点」に近づくと案内します。^{※1}

※1 ルート案内ではinternaviルートに設定してください。
→「internaviルートを探索する」(P112)

■ 渋滞情報の表示

赤色（点線）	渋滞
橙色（点線）	混雑
青色（点線）	順調

アドバイス

- 縮尺が10m～1kmのときに表示します。
- 渋滞情報は表示する/しないを設定できます。→「VICSの設定」(P322)

■ 防災情報の表示

防災情報

取得した交通情報に防災情報が含まれている場合、以下の画面を表示します。



アドバイス

- 再度、表示させたい場合は現在地画面で [internavi] → [メニュー] → [internavi 図形情報] にタップしてください。
- 防災情報の配信は、パーソナル・ホームページから停止することができます。パーソナル・ホームページにログインし、[防災情報配信] → [配信を停止する] をクリックしてください。

通行実績情報マップ

大規模な地震などが発生した場合、インターナビ情報センターから通行実績情報を配信します。

表示するには、現在地画面で [internavi] → [メニュー] → [通行実績情報マップ] → [通行実績情報マップ表示設定] → [表示する] にタップしておく必要があります。

表示を削除したいときは [表示しない] をタップ後、約60分後に表示なくなります。



緑色（点線）

アドバイス

- 縮尺が10m～1kmのときに表示します。

手動で情報を取得する

現在地周辺または任意の地点のインターナビ交通情報を取得することができます。

アドバイス

- ここでは現在地画面からの操作を説明しますが、スクロール画面 (P50) から同じ操作となります。

1 現在地画面で **internavi** に タップする

2 internavi ダイレクトメニュー (P303) から **internavi 交通情報** にタップする

internavi ダイレクトメニューにない場合は、[メニュー] → [internavi 交通情報] にタップしてください。



インターナビ情報センターに接続し、選んだ地点周辺の情報を受信します。

アドバイス

- インターナビ交通情報はあらかじめ設定しておくことで自動取得できます。
→「情報取得の設定をする」(P345)
- ルートを設定している場合は、現在地およびルート沿い、目的地周辺の交通情報も取得します。

internavi ウェザーを確認する

気象情報を取得して確認することができます。

画面表示について

アドバイス

- あらかじめ「internavi ウェザー設定」で「気象予報アイコンの表示」を[する]に設定しておく必要があります。→「internavi ウェザーを設定する」(P344)



- ① **受信時の天気**
受信した時間の天気を表示します。
- ② **予報の天気**
予報時刻の天気を表示します。
- ③ **気温 (予報)**
予報時刻の気温を表示します。
- ④ **予報時刻**
受信した3時間後の時刻です。
- ⑤ **降水確率 (予報)**
予報時刻の降水確率を示します。

アドバイス

- 取得できない場合や、取得場所に気象情報がない場合は表示されません。
- 3Dビューマップ (P63) 表示中は、気象情報に応じて空が変化します。
- 週間天気予報は表示されません。

地図上の天気表示

地図内に降雨、降雪、津波などの情報があればエリア内で各マークを表示します。また、気象警戒エリアに入ると、音声とテロップで案内します。



アドバイス

- あらかじめ「internavi ウェザー設定」で「地図上の天気表示」および「音声お知らせ」を[する]に設定しておく必要があります。→「internavi ウェザーを設定する」(P344)
- 地図上に表示される降雨、降雪、津波は、20km以下スケールのときに表示します。

降雨

降水量によって表示が変わります。

降水量	地図スケール	
	1km以下	2km～20km
1～4mm	■	■
5～29mm	■	■
30mm～	■	■

降雪

降雪量によって表示が変わります。

降雪量	地図スケール	
	1km以下	2km～20km
1～2mm	■	■
3～4mm	■	■
5mm～	■	■

津波

規模によって表示が変わります。

津波注意報	津波警報	大津波警報
■	■	■

手動で情報を取得する

お知らせ

- ここでは現在地画面からの操作を説明しますが、スクロール画面 (P50) から同じ操作となります。

1 現在地画面で **internavi** に
タップする

2 **internavi** ダイレクトメニュー
(P303) から **internavi ウェザー**
にタップする

internavi ダイレクトメニューにない場合は、[メニュー]→[internavi ウェザー]にタップしてください。

▼
インターネットナビ情報センターに接続し、選んだ地点周辺の情報を受信します。

天気情報の割込み表示について

取得した気象情報に台風情報や警報・注意報があると詳細情報を表示します。



アドバイス

- あらかじめ「internavi ウェザー設定」で「天気情報割込みの表示」を[する]に設定しておく必要があります。
→「internavi ウェザーを設定する」(P344)
- インターネットナビ交通情報の簡易図形を受信した場合は、気象情報の前に表示します。

マルチインフォメーションディスプレイの天気表示

今日および明日の天気情報をメーター内マルチインフォメーションディスプレイに表示します。
※ 車両の装備やグレードが気象情報表示に対応している必要があります。



アドバイス

- 気象情報を取得する必要があります。
→「手動で情報を取得する」(P308)
- 仕様およびデザインは、車両のグレードによって異なります。また、改良のため予告なく変更することがあります。

インターネットナビ情報を確認する

インターネットナビの各種サービスを確認することができます。

internavi 情報サービスを表示する

1 現在地画面で **internavi** に
タップする

2 **メニュー** にタップする



インターネットナビ情報サービス画面を表示します。

3 確認したい“サービス”にタップする

選択したサービスの確認ができます。

アドバイス

- 各種サービス情報は、インターネットナビの提供サービスに伴い、変更される場合があります。

登録した情報をパーソナル・ホームページと同期する

パソコンで登録した情報と本機で登録した情報をお互いに最新状態にすることができます。

1 現在地画面で **internavi** に
タップする

2 **メニュー** →

すべての情報をパーソナルHPと同期する に
タップする

同期が完了します。

アドバイス

- 登録地点は最大300件まで登録できます。
- 自宅は同期対象となりません。

パーソナル・ホームページとスマートフォンアプリについて

会員専用のパーソナル・ホームページ以外にも、スマートフォン向けアプリもあります。燃費履歴やメンテナンス時期などの情報サービスを無料で利用できます。

お知らせ

- インターネットに接続できる環境が必要です。
- 利用時の通信費はお客様の負担となります。
- ホームページの内容は予告なく変更されることがあります。

■ インターナビ・プレミアムクラブの方

パーソナル・ホームページ

インターネットナビ・プレミアムクラブのホームページからログインすることで利用できます。
<https://www.honda.co.jp/internavi/>

スマートフォンアプリ

2つのアプリから利用できます。

インターネットナビ・リンクアプリ



給油記録や燃費履歴、車の消耗品の交換時期などを確認することができます。

internavi POCKET (一部有料)



出発推奨時刻や到着予想時刻などドライブ前のルートを確認できるナビアプリケーションです。

詳しくは、インターネットナビ・プレミアムクラブホームページをご覧ください。

<https://www.honda.co.jp/internavi/>

お知らせ

- はじめてログインする場合は、ログインID/パスワードに、マスターID/マスターパスワードを入力してログインしてください。マスターID/マスターパスワードは、プレミアムクラブ会員登録のときにお渡しする「登録完了のご案内」に記載されています。

■ Honda Total Care会員の方

Honda Total Care会員サイト(PC)

Honda Total Careのホームページからログインすることで利用できます。

<https://www.honda.co.jp/hondatotalcare/>

スマートフォンアプリ

2つのアプリから利用できます。

Honda Total Care会員サイト(アプリ)



給油記録や燃費履歴、車の消耗品の交換時期などを確認することができます。

internavi POCKET (一部有料)



出発推奨時刻や到着予想時刻などドライブ前のルートを確認できるナビアプリケーションです。

詳しくは、Honda Total Careのホームページをご覧ください。

<https://www.honda.co.jp/hondatotalcare/>

お知らせ

- はじめてログインする場合は、ログインID/パスワードに、仮IDと仮パスワードを入力してログインしてください。「仮ID」は「車台番号」を入力、「仮パスワード」は「Honda Total Care会員番号の下6桁」となっております。Honda Total Care会員番号は会員申込時にお渡りする会員申込書に記載されています。

Myコースのルートを設定する

パーソナル・ホームページで作成したMyコースを本機に取り込んでルート案内することができます。

1 現在地画面で **internavi** に
タップする

2 **メニュー** → **Myコース** に
タップする

3 リストから設定したい“コース”
にタップする



4 **ルート計算** にタップする

目的地や経由地にタップすると、選んだ施設を中心とした地図と情報を表示します。

▼
ルート設定が完了します。

お知らせ

- Myコースのルートは、本機でルート計算しなおすため、パーソナル・ホームページで探索したルートと本機で案内するルートが異なる場合があります。

目的地クリップを利用する

パーソナル・ホームページで目的地クリップを登録しておく、簡単に本機へ目的地を設定できます。

目的地クリップの情報を取得すると・・・



- 1 **目的地に設定** または **経由地に設定** にタップする

ルート設定が完了します。

お知らせ

- パーソナル・ホームページで指定した日時にエンジンスイッチをアクセサリまたはONにすると、情報を取得してポップを表示します。指定した日時を過ぎた場合は、情報の取得ができません。

カーカルテを確認する

車の消耗品の交換時期や車検の時期を管理するカーカルテの情報を本機で確認することができます。

- 1 現在地画面で **internavi** にタップする
- 2 **メニュー** → **カーカルテ** にタップする
- 3 確認したいリストにタップする

各種情報の確認ができます。

アドバイス

- 本機では、交換サイクルや期間などは編集できません。パーソナル・ホームページで設定、変更ができます。
- 車の利用状況により消耗品の交換サイクルの推奨距離や期間は短くなる場合があります。

駐車場セレクトを使う

条件を設定して駐車場を探すことができます。

お知らせ

- ここでは現在地画面からの操作を説明しますが、スクロール画面 (P50) から同じ操作となります。目的地を設定している場合は、目的地周辺の駐車場を探します。

1 現在地画面で **internavi** にタップする

2 **メニュー** → **駐車場セレクト** にタップする

internaviダイレクトメニュー (P303) から[駐車場セレクト]にタップした場合は、手順5に進みます。

3 いずれかの“検索方法”にタップする



4 いずれかの“条件”にタップする



5 リストから“駐車場”にタップし、**地点表示** にタップする

選んだ駐車場を中心とした地図と情報を表示します。

アドバイス

- 地点メニュー (P50) のいずれかにタップすると、目的地や経由地、登録地の設定ができます。
→「地点メニューからの操作」(P71)
- 一部の駐車場で表示が実際の情報と異なるものもあります。

駐車場セレクトを設定する

推奨する駐車場の条件やリストの並び順を設定します。

1 現在地画面で **internavi** にタップする

2 **メニュー** → **駐車場セレクト** にタップする

3 **駐車場セレクト設定** にタップする

4 **並び替え条件設定** または **詳細条件設定** にタップする

5 優先したい“項目”にタップする



条件の設定が完了します。

アドバイス

- 駐車場セレクトアイコンの表示時間を設定していない場合、アイコンは約60分間表示されます。

緊急時の連絡先を表示する

Honda 販売店や緊急サポートの連絡先を表示できます。

販売店の連絡先を表示する

Honda 販売店などの連絡先を表示できます。

- 1 現在地画面で **internavi** にタップする
- 2 **販売店連絡先** にタップする
- 3 **Myディーラー** または **任意保険** にタップする

▼
連絡先を表示します。

アドバイス

- [発信] にタップすると電話情報がある場合、携帯電話を本機と接続していると電話をかけることができます。

緊急サポートを表示する

不意のトラブルにあったときなど緊急サポートに電話をかけて必要な処置や手配を頼むことができます。

お知らせ

- Honda 販売店で緊急サポートの申し込みと、本機のセットアップを完了しておく必要があります。
- 緊急サポートへの連絡には通話料がかかります。

- 1 現在地画面で **internavi** にタップする

- 2 **緊急サポート** にタップする

緊急サポートの連絡先やマップコードが表示されます。あらかじめ緊急サポートの電話番号を控えておくことをおすすめします。

- 3 **発信** にタップする

▼
緊急サポートに電話がかかります。

アドバイス

- 表示されている現在のマップコードを伝えてから用件をお伝えください。
- 緊急サポートへ連絡できるのは、お使いの携帯電話の通話可能区域内です。

地図データ更新サービスについて

■ 無償地図更新サービス

インターナビ・プレミアムクラブまたはHonda Total Careでは、本ナビゲーションをご購入の上、会員登録していただいた場合、本製品内の地図データを無償で3回「2021年度版」「2022年度版」「2023年度版」に更新するサービスを提供いたします。

- ・無償地図更新サービスはHonda販売店（Honda Cars店、ホンダカーズ・ユースレクト（U-Select）店）を通じて提供いたします。
- ・無償地図更新サービスは、2021年・2022年・2023年の各年1回ずつ提供いたします。
- ・無償地図更新サービスは、各年秋頃の提供を予定しております。なお、提供時期につきましては、インターナビ・プレミアムクラブ会員専用パーソナル・ホームページまたはHonda Total Care会員サイトでご確認ください。

※ 地図更新データの提供時期は予告なく変更となる場合があります。

お知らせ

- ・無償地図更新サービスは提供時期を過ぎますとサービスをお受けになれません。
 - ・無償地図更新サービスはお受けにならなかった年があっても、サービスの権利を翌年以降に持ち越すことはできません。
 - ・地図更新サービスをお受けになるには、
 - ≫ インターナビ・プレミアムクラブまたはHonda Total Careの会員登録が有効であること
 - ≫ 更新の権利を確認するため、通信接続ができることが前提となります。
- ただし、ナビゲーションシステムからの通信接続ができない場合は、パーソナル・ホームページまたはMyディーラーに登録されているHonda販売店で更新用のパスワードを発行することが可能です。

■ 有償地図更新サービス

有償の地図更新サービスをホンダアクセスから販売予定です。販売時期は2024年年末、および2025年年末を予定しております。

※ 地図更新データの提供時期は予告なく変更となる場合があります。

アドバイス

- ・有償のSDカードを本体に差し込むと、プログラム更新画面が表示されます。[更新する]にタップすると、再起動しバージョンアップが完了します。詳しくは、Honda販売店までお問い合わせください。
- ・バージョンアップ完了後、バージョンの確認を行ってください。
→「本機の情報を確認する」(P257)

■ 地図更新サービスに関するご注意

本サービスをご利用いただくには、インターナビ・プレミアムクラブまたはHonda Total Careに会員登録していただいていることが原則となります。未登録の方や、中古車で本製品を装着した車両を購入された方は必ずHonda販売店にて会員登録の手続きを行ってください。本機をホンダアクセスの指定する車種以外に取り付けた場合は、プレミアムクラブのサービスをお受けいただけなくなりますので、ご注意ください。

本機の設定

設定を変更する

本機の設定を変更します。

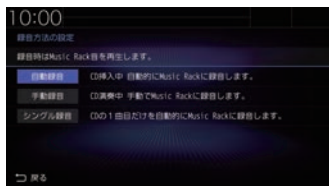
- 1 **MENU** キーを押す
目的地メニューを表示します。
- 2 **設定/情報** にタップする
- 3 変更したい“種別”にタップする



- 4 変更したい“項目”にタップする



- 5 設定を変更する



設定の変更が完了します。

設定できる種別について

NAVI設定	ナビゲーション機能に関する各設定が行えます。 →「NAVI設定」(P316)
AV設定	AV機能に関する各設定が行えます。 →「AV設定」(P325)
情報設定	電話やETCに関する設定が行えます。 →「情報設定」(P334)
Bluetooth/internavi設定	Bluetoothやinternaviに関する設定が行えます。 →「Bluetooth/internavi設定」(P338)
システム設定	操作音やセキュリティ、時計などの設定が行えます。 →「システム設定」(P347)
Apple CarPlay連携機能設定	Apple CarPlayの設定が行えます。 →「Apple CarPlay連携機能設定」(P360)
記念距離メモリー表示	記念距離メモリー画面の「設定」にタップすると、記念距離メモリーに関する設定が行えます。 →「記念距離メモリーを設定する」(P255)

NAVI 設定

ナビゲーション機能に関する各設定を変更します。

1 MENU キーを押す

目的地メニューを表示します。

2 設定/情報 にタップする

3 NAVI 設定 にタップする

4 変更したい“項目”にタップする



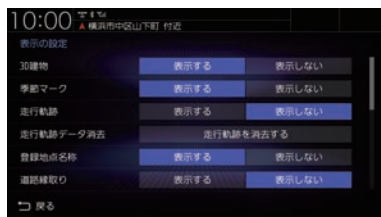
▼
選んだ項目の設定画面を表示します。

■ 設定できる項目について

登録地点の編集	登録地の新規登録や情報の変更、消去、並べ替えが行えます。このボタンをタップした後の操作は、「登録地点情報を変更する」(P118)の手順5以降と同様に行います。
検索履歴の消去	登録されている検索履歴を消去できます。このボタンをタップした後の操作は、「検索履歴を消去する」(P91)の手順3以降と同様に行います。
自宅の編集	自宅の新規登録や情報の変更、消去が行えます。このボタンをタップした後の操作は、「登録地点情報を変更する」(P118)の手順5以降と同様に行います。
表示の設定	表示に関する設定の変更が行えます。 →「表示の設定」(P317)
音声の設定	音声案内に関する設定の変更が行えます。 →「音声の設定」(P319) (操作音などの設定については、「案内音・操作音の設定」(P348)をご覧ください。)
探索の設定	ルート探索に関する設定の変更が行えます。 →「探索の設定」(P320)
VICSの設定	VICSに関する設定の変更が行えます。 →「VICSの設定」(P322)
自転車位置の補正	センサー学習情報の消去や現在地の補正が行えます。 →「自転車位置の補正」(P323)

表示の設定

表示に関する設定の変更が行えます。



設定名	設定値	設定内容
3D建物	表示する	3Dビューマップ (P63) 表示中の建物について、表示する/しないを設定できます。
	表示しない	
季節マーク	表示する	地図に表示する季節マークについて、表示する/しないを設定できます。
	表示しない	
走行軌跡	表示する	地図に表示する走行軌跡について、表示する/しないを設定できます。現在地より過去100kmの軌跡が保存され、100kmを超えると古い軌跡から消去されます。(表示しないに設定している場合でも蓄積は行われています。)
	表示しない	
走行軌跡データ消去	走行軌跡を消去する	蓄積されている自車の走行軌跡情報をクリアします。
登録地点名称	表示する	地図に表示する登録地点名称について、表示する/しないを設定できます。
	表示しない	
道路縁取り	表示する	地図の道路線について、縁取り表示を変更できます。
	表示しない	
レーン情報	表示する	地図画面で表示するレーン情報について、表示する/しないを設定できます。
	表示しない	
一般道方面看板	表示する	一般道での交差点の手前で方面看板を表示する/しないを設定できます。
	表示しない	
スクロール方面名称	表示する	スクロール中に表示する方面名称について、表示する/しないを設定できます。→「スクロール方面名称表示について」(P70)
	表示しない	
3Dスクロール	する	3Dビューマップ (P63) 表示中、3Dの状態を維持したままスクロールさせることができます。
	しない	
昼夜色	自動切換	地図画面の色を車両のILL (ヘッドランプおよびポジションランプ) 点灯に連動して変更します。 ILL ON時：暗い色になります。 ILL OFF時：明るい色になります。
	昼固定	常に明るい色になります。
	夜固定	常に暗い色になります。
高速略図自動表示	表示する	高速道路走行時、高速略図を自動で表示する/しないを設定できます。
	表示しない	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

次のページにつづく

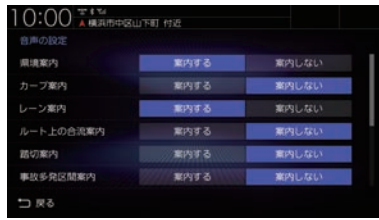
「表示の設定」のつづき

設定名	設定値	設定内容
目的地目安線	目的地	地図画面で目的地または経由地の方向を示す直線を表示します。
	次の経由地	
	表示しない	
ETCレーン表示	表示する	地図画面で表示するETCレーン案内の表示する/しないを設定できます。
	表示しない	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

音声の設定

音声案内に関する設定の変更が行えます。
一部の項目は目的地を設定時のみ有効になります。



設定名	設定値	設定内容
県境案内	案内する	県境通過時の音声案内する/しないを設定できます。
	案内しない	
カーブ案内	案内する	カーブ案内の音声案内する/しないを設定できます。
	案内しない	
レーン案内	案内する	レーン案内の音声案内する/しないを設定できます。
	案内しない	
ルート上の合流案内	案内する	合流案内(ルート上)の音声案内する/しないを設定できます。
	案内しない	
踏切案内	案内する	踏切案内の音声案内する/しないを設定できます。
	案内しない	
事故多発区間案内	案内する	事故多発区間での音声案内する/しないを設定できます。
	案内しない	
高速道路逆走防止案内	案内する	逆走を検知したときの音声案内する/しないを設定できます。
	案内しない	
交差点名称読み上げ	読み上げる	交差点名称の読み上げる/しないを設定できます。
	読み上げない	
方面名称読み上げ	読み上げる	方面名称の読み上げる/しないを設定できます。
	読み上げない	
パーキングブレーキアラーム	使用する	パーキングブレーキが引かれた状態で走行したときの案内する/しないを設定できます。
	使用しない	
速度超過アラーム	使用する	走行速度が約95km/hを超えたときの音声案内する/しないを設定できます。
	使用しない	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

探索の設定

ルート探索に関する設定の変更が行えます。



設定名	設定値	設定内容
車種	軽	本機を装着している車種を選択してください。道路料金の計算や省エネルートの選択に必要な情報となります。 高速道路などでの料金計算時、「小型」は「普通」として計算されます。
	小型	
	普通	
ルート探索条件	推奨	ルート探索時の初期値を“推奨ルート”に変更します。 目的地(経由地)まで一般的と思われるルートを探索します。
	省エネ	ルート探索時の初期値を“省エネ”に変更します。 目的地(経由地)までできるだけ燃費を節約したルートを探索します。
	有料	ルート探索時の初期値を“有料優先”に変更します。 目的地(経由地)の近くまでなるべく有料道路を使用するルートを探索します。
	一般	ルート探索時の初期値を“一般優先”に変更します。 目的地(経由地)までなるべく有料道路を使用しないルートを探索します。
	距離	ルート探索時の初期値を“距離優先”に変更します。 目的地(経由地)までできるだけ距離が短くなるルートを探索します。
	internaviルート	ルート探索時の初期値を“インターナビから受信したルート”に変更します。ルートは「スマートルート」、「最速ルート」、「最速無料優先ルート」、「らくらく運転ルート」、「省燃費ルート」、「ETC割引ルート」から選べます。 各ルートをタップするとルートの内容を確認できます。
	ルート自動更新	使用する
	使用しない	
スマートIC	使用する	スマートIC (P381) の使用する/しないを設定できます。
	使用しない	
時間曜日規制考慮	使用する	ルート探索時に「長期通行規制」、「スマートIC利用可能時間規制」、「時間規制」を考慮するかしないかを設定できます。
	使用しない	
フェリー使用	使用する	フェリーの使用する/しないを設定できます。
	使用しない	
センシングリルート	使用する	センシングリルート(P381)の使用する/しないを設定できます。
	使用しない	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

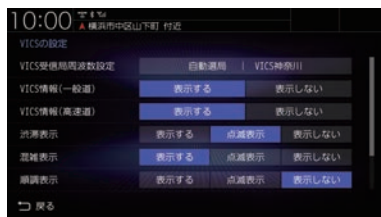
「探索の設定」のつづき

設定名	設定値	設定内容
渋滞予測	使用する	渋滞予測の使用する / しないを設定できます。
	使用しない	
ルート学習	使用する	ルート学習とは、元のルートから外れて同じルートを数回走行するとそのルートを学習する機能です。ただし、SA/PAは学習対象外です。学習したルートの使用する / しないを設定できます。internaviルートを設定している場合は、ルート学習しません。
	使用しない	
ルート学習リセット	学習データをリセットする	ルート学習のデータを消去します。
到着予想時刻学習リセット	学習データをリセットする	到着予想時刻の計算で使用する学習データを消去します。

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

VICSの設定

VICSに関する設定の変更が行えます。



設定名	設定値	設定内容
VICS受信局 周波数設定	自動選局	VICS局の指定方法を選択できます。 →「VICS局を選ぶ」(P132)
	県指定	
	周波数指定	
VICS情報 (一般道)	表示する	地図にVICS情報(一般道)の表示する/しないを設定できます。
	表示しない	
VICS情報 (高速道)	表示する	地図にVICS情報(高速道)の表示する/しないを設定できます。
	表示しない	
渋滞表示	表示する	地図に渋滞情報の表示する/しないを設定できます。
	点滅表示	
	表示しない	
混雑表示	表示する	地図に混雑情報の表示する/しないを設定できます。
	点滅表示	
	表示しない	
順調表示	表示する	地図に順調情報の表示する/しないを設定できます。
	点滅表示	
	表示しない	
VICS駐車場情報	表示する	地図にVICS駐車場情報の表示する/しないを設定できます。
	表示しない	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

自車位置の補正

自車位置の確認やセンサー学習情報の消去、現在地の補正が行えます。

■ センサー学習情報を消去する

車速センサー・ジャイロセンサーは自動学習によりレベルが上がります。タイヤを交換したときなどは車速の学習データを消去し、学習をやり直す必要があります。

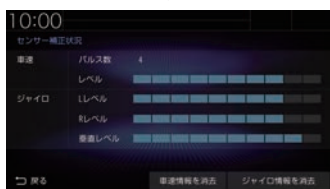
1 MENU キーを押す

目的地メニューを表示します。

2 設定/情報 → NAVI設定 にタップする

3 自車位置の補正 にタップする

4 センサー補正状況 にタップする



センサー補正状況の画面を表示します。

5 車速情報を消去 または ジャイロ情報を消去 にタップする

6 消去する にタップする

センサー学習データの消去が完了します。
この後、「自車位置精度と自動補正について」
(P323)を確認して、補正を行ってください。

注意

- 消去したデータの復旧はできません。

自車位置精度と自動補正について

- センサー学習情報を消去した場合は、見晴らしの良い場所をしばらく一定速度で走行し、交差点で右左折を行うことで車速やジャイロの自動学習を早めることができます。
- 人工衛星の受信状態の良いときに直線道を一定速度で走行すると車速自動補正が働き、交差点の右左折を繰り返すことでジャイロの自動補正が働きます。車速とジャイロの自動補正が働くことで、自車位置精度は徐々に向上していきます。

アドバイス

- 自車位置精度が安定するまで、場合によっては数時間の走行が必要な場合があります。見晴らしの良い高速道路のような場所を走行しますと自動補正が働きやすくなります。

■ 現在地を補正する

実際の車の位置と地図に表示されている自車の位置がずれていた場合などに、この操作を行い補正できます。

アドバイス

- 通常は人工衛星からの情報を元に自動補正しています。

1 MENU キーを押す

目的地メニューを表示します。

2 設定/情報 → NAVI設定 にタップする

3 自車位置の補正 にタップする

4 現在地補正 にタップする

5 地図スクロールして“実際の車の 位置”に + マークを合わせる



6 決定 にタップする

7 または にタップして 自車の向きを合わせる



8 決定 にタップする



現在地の補正が完了します。

アドバイス

- 高速道路付近に合わせた場合、以下の画面を表示しますので、いずれかにタップしてください。



AV 設定

AV 機能に関する各設定を変更します。

- 1 **MENU** キーを押す
目的のメニューを表示します。
- 2 **設定/情報** にタップする
- 3 **AV 設定** にタップする
- 4 変更したい“項目”にタップする



選んだ項目の設定画面を表示します。

■ 設定できる項目について

Sound Settings	音質に関する設定の変更ができません。→「音質の設定を変更する (Sound Settings)」(P326)
録音方法の設定	CDの録音に関する設定の変更ができません。 →「音楽CDの録音方法を変更する」(P329)
DVD 初期設定	DVDの初期設定の変更ができません。→「DVDビデオの初期設定」(P330)

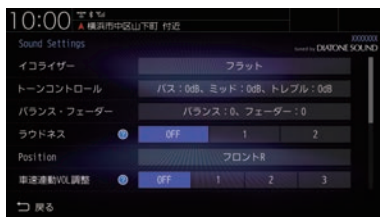
お知らせ

- VXU-217SWi, VXU-217DYi, VXU-217NBIの車種専用機種では、運転者に最適なサウンドセッティングを行っております。^{※1}
- 音量の前後バランスは、バランス・フェーダーで調整可能です。
調整方法は「音質の設定を変更する (Sound Settings)」(P326)を参照してください。
- ハイグレードスピーカーとの組み合わせで車種専用音響チューニング「tuned by DIATONE SOUND」を利用できます。tuned by DIATONE SOUNDでは、広大で奥行きのある立体的なサウンドステージを車両前方に創出し情報量豊かで臨場感・開放感を感じるサウンドをお楽しみ頂けます。
- アイドリングストップ中は消費電流を抑えるため Sound Settings の一部機能が無効になります。また、Sound Settings の変更もできません。走行を開始し、しばらくすると元の Sound Settings の設定に戻ります。
<無効になる機能>
 - イコライザー
 - トーンコントロール
 - ラウドネス
 - PremiDIA HD
 - PremiDIA WIDE
 - サラウンド

※1 走行状況、再生音源、車両のスピーカー位置によっては後席の音量が小さく感じる場合があります。N-BOXでは、後席の前後位置、乗車人数やチャイルドシート設置有無によって、後席の音量が小さく感じる場合があります。

音質の設定を変更する (Sound Settings)

音質に関する設定の変更が行えます。

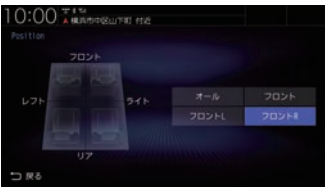


アドバイス

- にタップすると、設定内容を確認できます。

設定名	設定値	設定内容
イコライザー	ポップス	「ポップス」や「ジャズ」など各ジャンルの曲調に合わせた周波数の設定を選ぶことができます。また、20バンドの周波数に対しての調整が行えます。(→P328)
	ロック	
	ジャズ	
	R & B	
	フラット	
	カスタム1	イコライザー調整画面で登録したイコライザー設定を呼び出します。
	カスタム2	
調整		イコライザー調整画面に切り換わります。調整後、[カスタム1]または[カスタム2]に登録できます。
トーンコントロール	バス： -12 ~ 0 ~ +12dB	低音域 (100Hz を中心に) や高音域 (10kHz を中心に) の音量を強調 / 減衰させることができます。
	ミッド： -9 ~ 0 ~ +9dB	
	トレブル： -12 ~ 0 ~ +12dB	
バランス・フェーダー	バランス： 1 ~ 9 (左) 0 1 ~ 9 (右)	各スピーカーから出力する左右・前後のレベルをカーソルボタンまたは直接タップして調節できます。
	フェーダー： 1 ~ 9 (フロント) 0 1 ~ 9 (リア)	

※ 「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

設定名	設定値	設定内容
ラウドネス	OFF	小音量時に不足しがちな低音・高音を増幅できます。
	1	
	2	
Position	オール	最適な音を聴くシートを変更します。 
	フロント	
	フロントL	
	フロントR	
車速連動 VOL 調整	OFF	車の速度に応じて音量が自動的に調節されます。 数字が大きくなるほど調節幅が大きくなります。
	1	
	2	
	3	
PremiDIA HD	OFF	音楽データの圧縮時に欠落した音声の高域情報を予測補完しオリジナル音声を持つ立体感、奥行き感を再現するための補正量を調節できます。
	1	
	2	
音質効果 ON/OFF 設定	ON	音質調整を行う前と後を比較したいときに使用します。[OFF]にすると音質調整内容を一時的に無効にします。(調整した内容が消えることはありません) このとき、一部の音質設定項目は選択できないようになります。「バランス・フェーダー」、「リア席モニターサウンド自動切替」は選択できます。
	OFF	
音質設定の初期化	音質設定を初期化する	Sound Settingsの設定内容をすべて工場出荷時の状態に戻します。オーディオ機能がOFFの状態(P137)で行ってください。
PremiDIA WIDE	OFF	すべての音源について、左右の広がりとお行きを付加します。
	1	
	2	
サラウンド	NORMAL	広いホールやステージ、ライブハウスにいるような音響効果を加えます。 NORMALはOFFの状態です。
	HALL	
	STAGE	
	LIVE	
音響パラメータ ON/OFF 設定 ^{※1}	ON	車種別専用パラメータを設定している場合にON/OFFの設定ができます。ONにした場合、Sound Settings画面やAV画面の上部に「tuned by DIATONE SOUND」のロゴが表示されます。
	OFF	
リア席モニター サウンド自動切替	ON	ハイグレードスピーカーシステムの車種専用チューニングを設定しており、かつリア席モニターがデジタル接続されている場合、リア席モニター用の音質に自動で切り替えます。
	OFF	

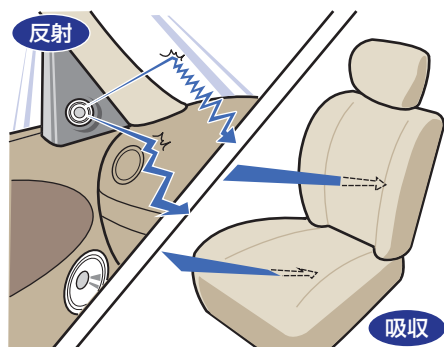
※ 「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

※ 1 車種別専用パラメータを設定していない場合は表示しません。

イコライザー設定

「ポップス」や「ジャズ」など各ジャンルの曲調に合わせた周波数の設定を選ぶことができます。また、音響特性の乱れやくせを調整します。

イコライザー調整について



ガラスやダッシュボード、シートなどの影響で車の中は、音の反射や吸収が複雑に入り交じり音響特性が乱れがちです。

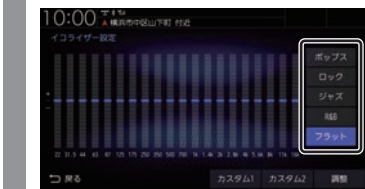


そんな乱れた音響特性をイコライザー調整することで補正できます。その結果、本機やスピーカーが本来持っているクオリティーをさらに引き出すことができます。

■ ジャンルを選ぶ

1 Sound Settingsの画面で「イコライザー」の項目にタップする

2 好みの“ジャンル”にタップする



イコライザーの選択が完了します。

■ イコライザーを調整する

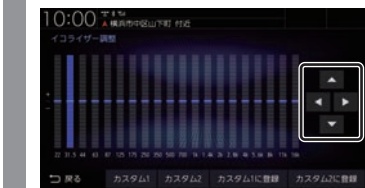
本調整はフロントスピーカーとリアスピーカーを同時に調整します。

1 Sound Settingsの画面で「イコライザー」の項目にタップする

2 調整のためのベースにしたい“ジャンル”にタップする

3 **調整** にタップする

4 カーソルボタンで各周波数のレベルを調整する



5 **カスタム1に登録** または、**カスタム2に登録** にタップする

[カスタム1]または、[カスタム2]に調整したイコライザー情報を登録します。

アドバイス

- 手順4で画面にタップすることでも直接変更できます。
- 手順5で[カスタム〇に登録]を行わず[戻る]にタップした場合、変更内容は破棄されます。

音楽CDの録音方法を変更する

自動録音や手動録音などの録音方法を変更できます。

お知らせ

- 録音中にこの操作を行うと、現在の録音を停止します。

1 MENU キーを押す

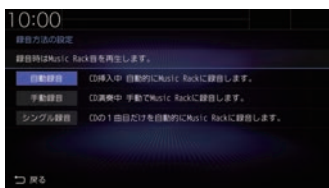
目的地メニューを表示します。

2 設定/情報 にタップする

3 AV設定 にタップする

4 録音方法の設定 にタップする

5 変更したい“録音方法” にタップする



録音方法の変更が完了します。

アドバイス

- 音楽CDの再生情報画面で[録音設定]にタップしても、録音方法の変更が行えます。

■ 自動録音について

工場出荷時の設定で、音楽CDを本機に挿入し、[録音する]にタップすることで録音する設定です。

お知らせ

- 録音中に録音済みの曲を選ぶと、現在の録音は継続したまま選んだ曲の再生を開始します。
- 録音中に録音していない曲を選ぶと、現在の録音を停止し選んだ曲の録音と再生(追いかけて再生)を開始します。
- [録音しない]にタップした場合は、[REC●]→[開始する](P188)にタップすることで録音できます。

■ 手動録音について

再生中の音楽CDの曲を[REC●](P188)にタップすることで録音する設定です。

お知らせ

- 録音中に別の曲を選ぶと現在の録音を中止し、選んだ曲の再生を開始します。

■ シングル録音について

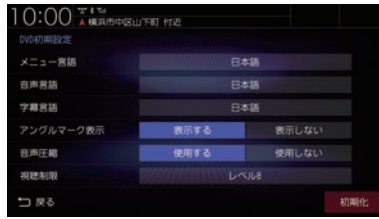
音楽CDを本機に挿入し、[録音する]にタップすることで1曲目だけを録音する設定です。

お知らせ

- [録音しない]にタップした場合、1曲目再生中に[REC●]→[開始する](P188)にタップすることで録音できます。
- 録音中に別の曲を選ぶと1曲目の録音を中止し、選んだ曲の再生を開始します。再度1曲目の録音を開始するには、1曲目再生中に[REC●]→[開始する](P188)にタップします。
- この設定のとき、1曲目以外の曲を再生中に[REC●](P188)にタップしても録音はできません。

DVD ビデオの初期設定

字幕や音声言語、視聴制限などの変更が行えます。



設定名	設定値	設定内容
メニュー言語		ディスクに記録されているメニュー画面の言語について、優先して表示させたい言語が設定できます。(工場出荷時は、 【日本語】)
音声言語		ディスクに記録されている音声について、優先してきたい言語の設定ができます。(工場出荷時は、 【日本語】)
字幕言語		ディスクに記録されている字幕について、優先して表示させたい言語の設定ができます。(工場出荷時は、 【日本語】)
アングルマーク表示	表示する	複数のアングルが収録されている場面を再生しているときにアングルマークを表示する/しないの設定ができます。
	表示しない	
音声圧縮	使用する	ダイナミックレンジ圧縮を使用する/しないを設定できます。 ダイナミックレンジ圧縮とは DVDビデオ再生時に小音量と大音量の音の幅を一定に制御(ダイナミックレンジコントロール)し、小さな音でも聴きやすくする機能です。音声圧縮の効果が得られるのは、ドルビーデジタル音声です。
	使用しない	
視聴制限		視聴制限のパスワードとレベルの設定ができます。→「 視聴制限のレベルを設定する 」(P331) (工場出荷時は、 【レベル8】)
初期化		DVDビデオの初期設定内容を工場出荷時の状態に戻します。ただし、視聴制限の設定内容は、工場出荷時の状態には戻りません。

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

■ 視聴制限のレベルを設定する

成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場合に視聴制限をかけることができます。(パレンタルロック)

お知らせ

- 最初にご使用になるときはパスワードを設定してください。視聴制限はパスワードが設定されないと操作できません。
- ディスクのパッケージに視聴制限レベルが記載されていないディスクは、レベル設定しても視聴制限はかけられません。
- 視聴レベルはディスクに記憶されています。ディスクのパッケージなどをご確認ください。
- ディスクによっては、視聴制限されたシーンのみ飛ばして再生するものがあります。詳しくはディスクの説明書をご覧ください。
- ディスクによっては、視聴制限のレベルを変更すると再生できないものがあります。視聴制限のレベルを変更後、このようなディスクを再生した場合は、一旦ディスクを取り出して視聴制限のないディスクを挿入し、再生可能なレベルに変更してください。

1 DVDの初期設定画面を表示する (→P330)

2 「視聴制限」の [レベル〇] に タップする

3 任意の“4桁のパスワード”を入力し、 [決定] にタップする



4 確認のため再度、“4桁のパスワード” を入力し、[決定] にタップする

5 “レベル”の [1] ~ [8] に タップし、[決定] にタップする



レベル1	子供向けディスクのみ再生します。
レベル2～7	成人向けディスクの再生を禁止します。(子供向けや一般向けディスクを再生する)
レベル8	ディスクをすべて再生します。

視聴制限レベルの設定が完了します。

レベルを変更する

1 DVDの初期設定画面を表示する (→P330)

2 「視聴制限」の [レベル〇] に タップする

3 設定した“パスワード”を入力し、 [決定] にタップする

4 “レベル”の [1] ~ [8] に タップし、[決定] にタップする



視聴制限レベルの変更が完了します。

パスワードを変更する

- 1 DVDの初期設定画面を表示する
(→P330)
- 2 「視聴制限」の **レベル○** に
タップする
- 3 設定した“パスワード”を入力し、
決定 にタップする
- 4 **視聴制限パスワードを変更する** に
タップする
- 5 “現在のパスワード”を入力し、
決定 にタップする
- 6 “新しいパスワード”を入力し、
決定 にタップする
- 7 確認のため再度、“パスワード”を
入力し、**決定** にタップする

パスワードの変更が完了します。

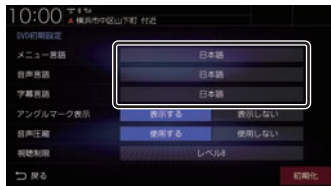
お知らせ

- パスワードを忘れたときは、いったんパスワードをクリアし、必要に応じて設定し直してください。
- クリアするには、パスワード入力画面(文字未入力の状態)で **<X>** に5回連続でタップします。

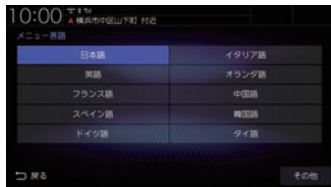
優先させる言語を変更する

ディスクに記録されている言語(メニュー言語、音声言語、字幕言語)について、優先させたい言語の設定を行います。

- 1 **MENU** キーを押す
目的地メニューを表示します。
- 2 **設定/情報** → **AV設定** に
タップする
- 3 **DVD初期設定** にタップする
- 4 変更したい **○○語** にタップする



- 5 変更したい“言語”にタップする



優先させる言語の変更が完了します。

アドバイス

- [その他]にタップすると手順5の画面にない言語を設定できます。



「言語コード一覧表」(P333)のコードを入力し、**決定**にタップします。

言語コード一覧表

下記のコードは本機でのみ有効です。

コード	言語	コード	言語	コード	言語
6565	アフアル語	7375	イヌビア語	8372	セルボクロアチア語
6566	アブバジア語	7383	アイスランド語	8373	シンハラ語
6570	アフリカーンス語	7384	イタリア語	8375	スロバキア語
6577	アムハラ語	7465	日本語	8376	スロベニア語
6582	アラビア語	7487	ジャワ語	8377	サモア語
6583	アッサム語	7565	グルジア語	8378	ショナ語
6589	アイマラ語	7575	カザフ語	8379	ソマリア語
6590	アゼルバイジャン語	7576	グリーンランド語	8381	アルバニア語
6665	バキシル語	7577	カンボジア語	8382	セルビア語
6669	白ロシア語	7578	カナダ語	8383	シスワティ語
6671	ブルガリア語	7579	韓国語	8384	セストゥ語
6672	ビハリー語	7583	カシミール語	8385	スンダ語
6673	ビスラマ語	7585	クルド語	8386	スウェーデン語
6678	ベンガル語	7589	キルギス語	8387	スワヒリ語
6679	チベット語	7665	ラテン語	8465	タミル語
6682	ブルトン語	7678	リンガラ語	8469	テルグ語
6765	カタロニア語	7679	ラオス語	8471	タジク語
6779	コルシカ語	7684	リトアニア語	8472	タイ語
6783	チェコ語	7686	ラトビア語	8473	ティグリニャ語
6789	ウエルシュ語	7771	マダガスカル語	8475	トゥルクメン語
6865	デンマーク語	7773	マオリ語	8476	タガログ語
6869	ドイツ語	7775	マケドニア語	8478	セツワナ語
6890	ブータン語	7776	マラヤーラム語	8479	トンガ語
6976	ギリシア語	7778	モンゴル語	8482	トルコ語
6978	英語	7779	モルダビア語	8483	ツォンガ語
6979	エスペラント語	7782	マラータ語	8484	タタール語
6983	スペイン語	7783	マレー語	8487	トウィ語
6984	エストニア語	7784	マルタ語	8575	ウクライナ語
6985	バスク語	7789	ビルマ語	8582	ウルドゥー語
7065	ベルシャ語	7865	ナウル語	8590	ウズベク語
7073	フィンランド語	7869	ネパール語	8673	ベトナム語
7074	フィジー語	7876	オランダ語	8679	ヴォラピュック語
7079	フェロー語	7879	ノルウェー語	8779	ウオロフ語
7082	フランス語	7967	オキタン語	8872	コーサ語
7089	フリジア語	7977	オロモ語	8973	イディッシュ語
7165	アイルランド語	7982	オリヤー語	8979	ヨルバ語
7168	スコットランドゲール語	8065	パンジャブ語	9072	中国語
7176	ガルシア語	8076	ポーランド語	9085	ズルー語
7178	グアラニー語	8083	パシュトー語		
7185	グジャラード語	8084	ポルトガル語		
7265	ハウサ語	8185	ケチュア語		
7269	ヘブライ語	8277	レトロアンス語		
7273	ヒンディー語	8278	キルンディ語		
7282	クロアチア語	8279	ルーマニア語		
7285	ハンガリー語	8285	ロシア語		
7289	アルメニア語	8287	キヤーワンダ語		
7365	国際語	8365	サンスクリット語		
7368	インドネシア語	8368	シンド語		
7369	インターリング	8371	サンゴ語		

情報設定

電話やETC、カメラなどに関する設定が行えます。

- 1 **MENU** キーを押す
目的地メニューを表示します。
- 2 **設定/情報** にタップする
- 3 **情報設定** にタップする
- 4 変更したい“項目”にタップする



選んだ項目の設定画面を表示します。

■ 設定できる項目について

登録番号の編集	登録電話番号の編集、消去が行えます。このボタンをタップした後の操作は、「よくかける電話番号を編集する」(P261)の手順3以降と同様に行います。
電話の設定	着信や受話/送話音量の設定や自動着信の設定が行えます。 →「電話の設定」(P335)
ETCの設定	別売のETC車載器またはETC2.0車載器を接続すると、ETCに関する設定が行えます。 →「ETCの設定」(P336)
ETC2.0の設定	別売のETC2.0車載器を接続すると、ETC2.0に関する設定が行えます。 →「ETC2.0の設定」(P337)

電話の設定

着信や受話 / 送話音量の設定や自動着信の設定が行えます。



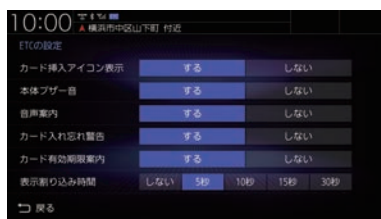
設定名	設定値	設定内容
着信音量	1 ~ 4 ~ 7	電話の着信音量を設定できます。
受話音量	1 ~ 4 ~ 7	電話の受話音量を設定できます。
送話音量	1 ~ 4 ~ 7	電話の送話音量を設定できます。
自動着信設定 ^{※1}	自動着信する	[自動着信する]に設定すると、かかってきた電話を自動的に受けることができるようになります。 [自動着信する]にタップした後、自動着信するまでの応答時間(1 ~ 30秒)を設定する必要があります。 (工場出荷時は[5]秒)
	自動着信しない	
電話同期設定 ^{※2}	同期する	Bluetoothで接続されたとき、携帯電話の電話帳や履歴を同期する / しないを設定できます。
	同期しない	
履歴表示設定 ^{※2}	表示する	Bluetoothで接続されたとき、本機と接続中に発着信した履歴を表示する / しないを設定できます。
	表示しない	
車速連動音量設定	ON	車の速度に応じて、受話音量を変化させるかしないかを設定できます。[ON]にすると、速度が上がれば、音量が大きくなり速度が戻れば、音量も戻ります。
	OFF	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

- ※1 自動着信するまでの応答時間は、本機で設定している時間より携帯電話側で設定している時間の方が短い場合は、携帯電話側の設定が優先されます。
- ※2 PBAP 対応の携帯電話を接続した場合は「電話同期設定」、PBAP 非対応の携帯電話を接続した場合は「履歴表示設定」を表示します。

ETCの設定

別売のETC車載器またはETC2.0車載器を接続すると、ETCに関する設定が行えます。

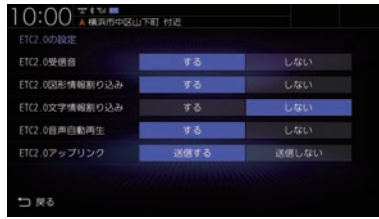


設定名	設定値	設定内容
カード挿入アイコン表示	する	ETCカード挿入アイコンの表示する/しないを設定できます。
	しない	
本体ブザー音	する	ETCカードを挿入したときや、ETCゲート通過時などにETC車載器のブザーを鳴らす/鳴らさないを設定できます。
	しない	
音声案内	する	支払料金などETC車載器からの情報を案内する/しないを設定できます。
	しない	
カード入れ忘れ警告	する	ETCカードが挿入されていない場合、音声とメッセージ画面でお知らせする/しないを設定できます。
	しない	
カード有効期限案内	する	ETCカードの有効期限が2ヶ月以下の場合、音声とメッセージ画面でお知らせする/しないを設定できます。
	しない	
表示割り込み時間	しない	ETC関連のお知らせ表示時間を設定できます。 [しない]に設定すると、割り込み表示しません。
	5～30秒	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

ETC2.0の設定

別売のETC2.0車載器を接続すると、ETC2.0に関する設定が行えます。



設定名	設定値	設定内容
ETC2.0受信音	する	情報受信時に音を鳴らす / 鳴らさないを設定できます。
	しない	
ETC2.0図形情報割り込み	する	図形情報の受信時に割り込み表示する / しないを設定できます。
	しない	
ETC2.0文字情報割り込み	する	文字情報の受信時に割り込み表示する / しないを設定できます。
	しない	
ETC2.0音声自動再生	する	受信した音声情報を自動再生する / しないを設定できます。
	しない	
ETC2.0アップリンク	送信する	走行情報 ^{*1} と路側機 ^{*2} へ自動的に送信する / しないを設定できます。
	送信しない	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

※ 1 走行開始地点など、個人情報に関わる情報は送信されません。送信された情報は、道路交通情報の提供などに活用されます。

※ 2 路側機とは、情報を配信するため道路に設置された無線基地局のことです。

Bluetooth/internavi 設定

internavi や Bluetooth に関する設定が行えます。

Bluetooth の設定

市販されている Bluetooth 機器を Bluetooth 機能を使って本機に接続できます。

Bluetooth (ブルートゥース) とは

Bluetooth は近距離 (数メートル以内) での機器接続に特化した無線通信規格です。電波を使用しているため指向性を持ちません。その特性により遮蔽物があっても通信可能となり、たとえば胸ポケットやカバンの中に携帯電話を入れたままで接続するような使い方が可能になります。

お知らせ

- 本機は Ver.3.0+ EDR に対応しています。

対応プロファイル

Bluetooth Audio	A2DP (v1.2以下) AVRCP (v1.5以下)
ハンズフリー	HFP (v1.6以下)
電話帳転送	PBAP (v1.2以下)
シリアル通信	SPP (v1.1以下)

お知らせ

- 本機は Bluetooth レシーバーを内蔵しています。
- ご利用の Bluetooth 機器の取扱説明書に従って操作してください。
- 接続中に Bluetooth 機器での操作 (受話操作など) を行うと正しく動作しない場合があります。
- Bluetooth 機器におけるパスキーの入力方法については Bluetooth 機器の取扱説明書をご確認ください。
- 登録に失敗することがあります。再度、登録してください。

お知らせ

- 本機と Bluetooth 機器の距離、車内の状況、遮蔽物の種類によっては通信速度が落ちる場合や登録できない場合があります。この場合本機にできるだけ近い位置に Bluetooth 機器を置いてください。
- Bluetooth 対応機器であっても特性や仕様により正常に動作しない場合があります。
- 最新の接続確認結果については、弊社ホームページをご覧ください。
- Bluetooth 機器は、最大 6 台まで登録できます。
- Bluetooth Audio で使用するプロファイルは、オーディオソースが Bluetooth Audio のときのみ接続されます。
- Apple CarPlay を利用中は、下記の Bluetooth 機能が制限されます。
 - Bluetooth 機器の登録ができません。
 - すべての登録済み Bluetooth 機器とハンズフリー (HFP) 接続ができません。ハンズフリー接続中に Apple CarPlay を利用すると、ハンズフリー接続は解除されます。
 - Bluetooth Audio (AVP) 接続は、Apple CarPlay で使用している iPhone 以外であれば接続できます。Bluetooth で接続をした iPhone で Apple CarPlay を利用すると、Bluetooth Audio は解除されます。

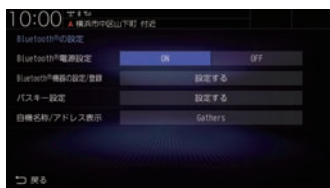
アドバイス

- Bluetooth 機器を登録する方法は 2 通りあります。[カーナビから検索] にタップした場合は、「接続可能な Bluetooth 機器を検索して登録する」(P339) をご覧ください。[Bluetooth 機器から検索] にタップした場合は、「Bluetooth 機器から検索して登録する」(P340) をご覧ください。

■ 設定画面の表示

Bluetoothの設定画面を表示します。

- 1 **MENU** キーを押す
目的地メニューを表示します。
- 2 **設定/情報** にタップする
- 3 **Bluetooth®/internavi設定** に
タップする
- 4 **Bluetooth® の設定** にタップする



Bluetoothの設定画面を表示します。

■ 接続可能なBluetooth機器を検索して登録する

本機側から接続可能なBluetooth機器を検索して、Bluetooth機器を本機に登録します。

アドバイス

- Bluetooth機器によっては、あらかじめBluetooth機器を検索可能な状態に設定しておく必要があります。設定方法については、Bluetooth機器の取扱説明書をご確認ください。

- 1 接続したいBluetooth機器のBluetooth機能をONにする
- 2 Bluetoothの設定画面 (P339) を表示中、**ON** にタップする
本機のBluetooth機能が使用可能な状態になります。
- 3 「Bluetooth機器の設定/登録」のボタンにタップする
- 4 **カーナビから検索** にタップする



本機に接続可能なBluetooth機器が表示されます。

- 5 接続したい“機器名”にタップする
- 6 **はい** にタップする



以降の操作は、お使いのBluetooth機器によって異なります。

次のページにつづく

7 タイプ別の操作を行う

表示されている画面のタイプ別の操作を行ってください。

タイプA



自動的に接続が完了します。

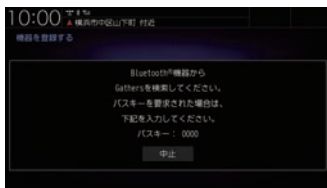
タイプB



Bluetooth機器に表示されているパスキーと本機の画面に表示されているパスキーが同じであれば[はい]にタップします。

※ パスキーがもし違う場合は、Bluetooth機器側の操作をやり直してください。

タイプC



本機側が準備状態ですので、Bluetooth機器側でパスキーを入力してください。

接続が完了すると、現在地画面にBluetoothと電波強度のアイコンが表示されます。

アドバイス

- 登録が完了すると次回以降自動で接続します。自動接続したくない場合は、Bluetoothの設定画面 (P339) の「Bluetooth電源設定」を[OFF]にしてください。

■ Bluetooth機器から検索して登録する
Bluetooth機器側から本機を検索して、Bluetooth機器を本機に登録します。

1 接続したいBluetooth機器のBluetooth機能をONにする

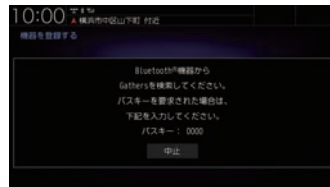
2 Bluetoothの設定画面 (P339)を表示中、**ON**にタップする

本機のBluetooth機能が使用可能な状態になります。

3 「Bluetooth機器の設定/登録」のボタンにタップする

4 **Bluetooth®機器から検索**にタップする

5 Bluetooth機器から本機を選択する



以降の操作は、「接続可能なBluetooth機器を検索して登録する」(P339)の手順7以降と同様に行います。

状態アイコンについて

登録済	本機に登録されているBluetooth機器を示します。
接続済	本機に登録されているBluetooth機器が接続されている状態を示します。

アドバイス

- 登録が完了すると次回以降自動で接続します。自動接続したくない場合は、Bluetoothの設定画面 (P339) の「Bluetooth電源設定」を[OFF]にしてください。

Bluetooth機器を選択する

複数台のBluetooth機器を登録した場合、接続するBluetooth機器を選択する必要があります。(以降は本機能で設定したBluetooth機器を車内に持ち込むだけで接続できるようになります。)

1 Bluetoothの設定画面(P339)を表示中、**ON** にタップする

2 「Bluetooth機器の設定/登録」のボタンにタップする

3 接続したい“機器名”にタップする



4 **電話機接続** または **オーディオ接続** にタップする

接続したいBluetooth機器を電話用を使用する場合は[電話機接続]に、Bluetooth Audio用を使用する場合はAUDIOメニューから[BTA]を選択し、AudioをONの状態にしてから[オーディオ接続]を選択します。

5 **決定** にタップする

Bluetooth機器の選択が完了します。

アドバイス

- 本機の起動時に、前回接続していたBluetooth機器がない場合は他の登録済み機器に対する自動接続を行います。この接続処理中は画面上でのBluetooth機器選択ができないことがあります。
- 電話、Bluetooth Audio両方に対応したBluetooth機器の場合は、選択を1台にできます。
- Bluetooth Audio機能が使用できる機器名の横に以下のアイコンを表示します。

	接続中を示します。
	非接続中を示します。

アドバイス

- 電話機能が使用できる機器名の横に以下のアイコンを表示します。

	接続中を示します。
	非接続中を示します。

- シリアル通信機能が使用できる機器名の横に以下のアイコンを表示します。

	接続中を示します。
	非接続中を示します。

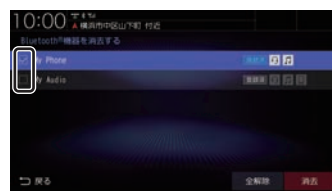
Bluetooth機器を消去する

登録されているBluetooth機器を消去します。

1 「Bluetooth機器の設定/登録」のボタンにタップする

2 **消去** にタップする

3 消去したい機器名の“チェックボックス”にタップし、選択する



アドバイス

- [全選択]にタップすると、すべての機器名を選択できます。
- [全解除]にタップすると、選択状態をすべて解除できます。
- チェックボックス以外のリスト部分にタップすると、1件だけ消去することができます。

4 **消去** にタップする

5 **はい** にタップする

選択した機器の消去が完了します。

■ パスキーを設定する

Bluetooth 機器を登録するときに使用するキーを設定します。(工場出荷時「0000」)

1 Bluetooth の設定画面 (P339) 表示中、「パスキー設定」のボタンにタップする

2 任意の“4桁のパスキー”を入力し、「決定」にタップする

▼
パスキーの設定が完了します。

アドバイス

- すでにパスキーを設定している場合は、**<X>** にタップしてパスキーを消去してから入力してください。

■ 本機のアドレスを表示する / 編集する
本機の機器名および機器アドレスを確認します。また、機器名称のみ変更できます。

1 Bluetooth の設定画面 (P339) を表示中、「自機名称 / アドレス表示」のボタンにタップする

▼
機器名称および機器アドレスが確認できます。

2 “機器名称”のボタンにタップする

3 任意の“機器名称”を入力し、「入力完了」にタップする



→「文字入力のしかた」(P57)

アドバイス

- 機器名称は最大半角 40 文字 (全角 20 文字) まで入力できます。

4 **編集完了** にタップする

▼
機器名称の変更が完了します。

internavi の設定

internavi 機能に関する各設定を変更します。

■ 設定画面の表示

internavi の設定画面を表示します。

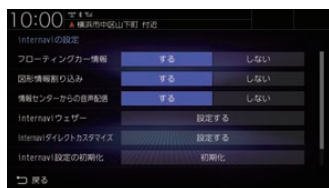
1 **MENU** キーを押す

目的地メニューを表示します。

2 **設定 / 情報** にタップする

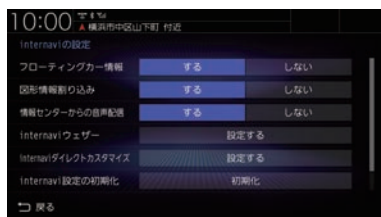
3 **Bluetooth® / internavi 設定** にタップする

4 **internavi の設定** にタップする



▼
internavi の設定画面を表示します。

設定できる項目について



設定名	設定値	設定内容
フローティングカー情報	する	フローティングカー情報の送信および取得のする/しないを設定できます。
	しない	
図形情報割り込み	する	情報受信時の割り込み表示する/しないを設定できます。
	しない	
情報センターからの音声配信	する	インターナビ交通情報に音声データがある場合、読み上げる/しないを設定できます。
	しない	
internavi ウェザー	設定する	internavi ウェザーに関する設定が行えます。 →「 <i>internavi ウェザーを設定する</i> 」(P344)
internavi ダイレクトカスタマイズ	設定する	よく使う internavi メニューの項目を internavi ダイレクトに設定できます。 →「 <i>internavi ダイレクトをカスタマイズする</i> 」(P344)
internavi 設定の初期化	初期化	internavi の設定を工場出荷時の状態に戻します。 →「 <i>internavi の設定を初期化する</i> 」(P345)
システム設定	設定する	情報取得設定 (P345)、internavi 通信設定 (P301)、フレーム No 設定 (P345)、総走行距離設定 (P346) の各種設定が行えます。

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

■ internavi ウェザーを設定する

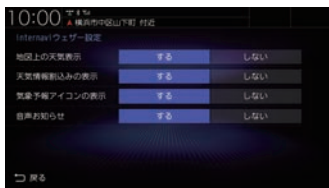
internavi ウェザーの表示やお知らせなどの設定が行えます。

1 internavi の設定画面 (P342) を表示する

2 「internavi ウェザー」の

設定する にタップする

3 各項目の **する** または **しない** にタップする



internavi ウェザーの設定が完了します。

設定できる項目について

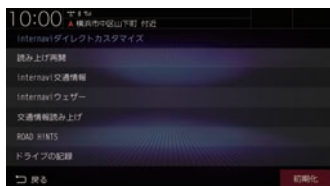
設定名	設定内容
地図上の天気表示	気象情報取得時、地図画面に天気を表示する/しないを設定できます。
天気情報割込みの表示	気象情報取得時、割り込み表示する/しないを設定できます。
気象予報アイコンの表示	現在地画面の [internavi] ボタンに天気予報のアイコンを表示する/しないを設定できます。
音声お知らせ	気象情報に音声データがある場合、読み上げる/しないを設定できます。

■ internavi ダイレクトをカスタマイズする

1 internavi の設定画面 (P342) を表示する

2 「internavi ダイレクトカスタマイズ」の **設定する** にタップする

3 変更したい“メニュー”にタップする



4 新たに入れたい“メニュー”にタップする



メニューの変更が完了します。

アドバイス

- メニュー項目を初期状態に戻す場合は、[初期化]にタップします。

■ internavi の設定を初期化する

1 internavi の設定画面 (P342) を表示する

2 「internavi 設定の初期化」の「初期化」にタップする

3 いずれかにタップする



4 「初期化する」にタップする

▼
選んだ項目の初期化が完了します。

■ 情報取得の設定をする

配信されたインターナビ情報を自動取得する / しないを設定できます。

1 internavi の設定画面 (P342) を表示する

2 「システム設定」の「設定する」にタップする

3 「情報取得設定」にタップする

4 いずれかにタップする



▼
設定が完了します。

■ フレーム No を確認する

1 internavi の設定画面 (P342) を表示する

2 「システム設定」の「設定する」にタップする

▼
エンジンスイッチを“ON”にしている場合は、「フレーム No 設定」の右側にフレーム No が表示されます。エンジンスイッチ“ON”の状態でもフレーム No が表示されていない場合は、「フレーム No を設定する」(P345)で設定します。

フレーム No を設定する

1 「フレーム No を確認する」(P345) の手順 2 まで操作する

2 「フレーム No 設定」にタップする

3 フレーム No を入力する



4 「入力完了」にタップする

▼
フレーム No の設定が完了します。

アドバイス

- フレーム No は、会員登録時に Honda 販売店が登録した取り付け車両の車台番号です。車検証でご確認ください。
- 車種によっては、フレーム No は自動で取得します。

■ 総走行距離を設定する

総走行距離を設定できます。

お知らせ

- 車種によっては総走行距離を自動で取得、または車速から計算して表示しています。車速から計算して総走行距離を表示している場合、メーター表示の総走行距離とずれる場合がありますのでメーター表示の距離に合わせて設定してください。
- 総走行距離はインターナビの各種サービスで利用します。

1 internavi の設定画面 (P342) を表示する

2 「システム設定」の **設定する** にタップする

3 **総走行距離設定** にタップする

4 総走行距離を入力する



5 **決定** にタップする



総走行距離の設定が完了します。

システム設定

本機の操作音や音声認識の設定、別売カメラの設定などが行えます。

- MENU** キーを押す
目的地メニューを表示します。
- 設定/情報** にタップする
- システム設定** にタップする
- 変更したい“項目”にタップする



選んだ項目の設定画面を表示します。

■ 設定できる項目について

案内音・操作音の設定	操作音量の設定が行えます。 →「案内音・操作音の設定」(P348)
音声認識の設定	音声操作に関する設定が行えます。 →「音声認識の設定」(P348)
セキュリティの設定	盗難時などに第三者が使用できないようパスワードロックの設定が行えます。 →「セキュリティの設定」(P350) また、セキュリティインジケータを点滅させることができます。
ハードキー動作の設定	オプションボタンとステアリングリモコンの動作設定が行えます。 →「ハードキー動作の設定」(P351)
メモリ初期化	本機の各設定を工場出荷時の状態に戻します。 →「メモリ初期化」(P353)
時計の設定	時計表示の設定が行えます。 →「時計の設定」(P354)
起動画面設定	本システム起動時のオープニング画面の設定が行えます。 →「オープニング画面を変更する」(P20)
リアカメラの設定	リアカメラに関する設定が行えます。 →「リアカメラの設定」(P355)
フロントカメラの設定	フロントカメラに関する設定が行えます。 →「フロントカメラの設定」(P358)
マルチビューカメラの設定	マルチビューカメラに関する設定が行えます。 →「マルチビューカメラの設定」(P359)
販売店ダイアグ	販売店専用のダイアグメニューです。 販売店以外での設定変更は行わないでください。
ユーザーセットアップ	最初に設定しておきたい下記の設定メニューを順番に表示します。 「自宅を設定する」、「Bluetoothの設定」、「ビュー切換」、「案内音・操作音の設定」、「オプションボタン動作の設定」
パーキングセンサーの設定	パーキングセンサーに関する設定が行えます。 →「パーキングセンサーの設定」(P360)

案内音・操作音の設定

案内音量や操作音量の設定が行えます。

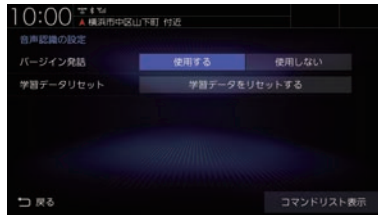


設定名	設定値	設定内容
操作音量	消	操作音量の設定が行えます。
	1 ~ 2 ~ 3	数字が大きくなるほど音量が大きくなり、[消]で無音になります。
案内音量	消	音声案内の音量について設定が行えます。
	1 ~ 4 ~ 7	数字が大きくなるほど音量が大きくなり、[消]で無音になります。
時報	鳴らす	時報を鳴らす/鳴らさないを設定できます。
	鳴らさない	
車速連動音量設定	ON	車の速度に応じて音量を自動的に調節する/しないを設定できます。
	OFF	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

音声認識の設定

音声認識 (P53) に関する設定が行えます。



設定名	設定値	設定内容
バージン発話	使用する	音声認識後の音声ガイダンス中でも発話を受け付けて、次の操作状態に移行するかしないかの設定ができます。 →「 バージン発話 」(P53)
	使用しない	
学習データリセット	学習データをリセットする	タップすることで、音声認識向上のために蓄積された学習データを消去できるメニューを表示します。 →「 学習データをリセットする 」(P349)
コマンドリスト表示		音声認識で操作できるコマンドリストを表示します。 →「 音声認識コマンドリストを確認する 」(P54)

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

■ 学習データをリセットする

本機では、音声認識向上のため音声操作を行うごとに学習データが蓄積されています。この蓄積された学習データを消去し、工場出荷状態に戻すことができます。

お知らせ

- ・ 認識性能が悪い状態がしばらく続く場合、本機能を実施することで改善されることがあります。

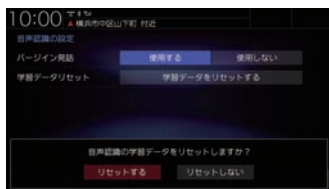
1 MENU キーを押す

目的地メニューを表示します。

2 設定/情報 → システム設定 にタップする

3 音声認識の設定 にタップする

4 「学習データリセット」の 学習データをリセットする に タップする

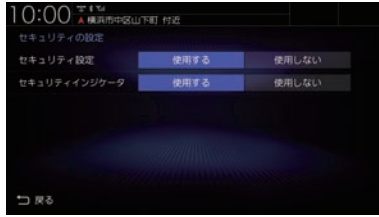



5 リセットする にタップする

蓄積された学習データを消去し、工場出荷状態になります。

セキュリティの設定

盗難時などに第三者が使用できないようパスワードロックの設定が行えます。

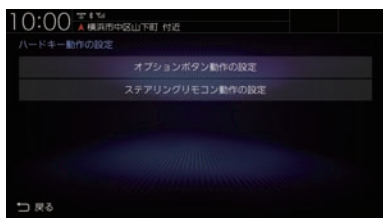


設定名	設定値	設定内容
セキュリティ設定	使用する	セキュリティコードの入力を使用する/しないを設定できます。車両点検などバッテリーを外した後に起動すると表示されます。→「セキュリティコード入力画面」(P19)
	使用しない	
セキュリティインジケータ	使用する	本機の電源をOFFにしたときに、  (Cタイプ 、 Dタイプ のみ)またはセキュリティインジケータ (Aタイプ 、 Bタイプ 、 Eタイプ のみ)を点滅させるかさせないかの設定ができます。→「モニターパネルについて」(P14)
	使用しない	本機能を有効にするには、「セキュリティ設定」を[使用する]にしておく必要があります。

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

ハードキー動作の設定

オプションボタンとステアリングリモコンの動作設定が行えます。



設定名	設定内容
オプションボタン動作の設定	キーによく使う機能を1つ選んで設定できます。 →「オプションボタンを設定する」(P36)
ステアリングリモコン動作の設定	車両のステアリングリモコンについて、各ボタンの機能をそれぞれを設定できます。 →「ステアリングリモコン動作の設定」(P351)

■ ステアリングリモコン動作の設定

1 **MENU** キーを押し、**設定/情報** にタップする

2 **システム設定** →
ハードキー動作の設定 にタップする

3 **ステアリングリモコン動作の設定** に
タップする

ステアリングリモコン設定画面を表示します。

4 **確認** にタップする

5 設定するステアリングリモコン
キーを長押しする



6 候補一覧から“設定したい機能”
にタップする



7 **完了** にタップする

ステアリングリモコンの設定が完了します。

アドバイス

- ステアリングリモコンキーを押すと、押したキーに該当する項目が青く表示されます。押しても青く表示されない項目は設定できません。
- 本機の画面表示は、実際のステアリングリモコンキーの数やイラストなどが異なる場合があります。

各ボタンに設定できる機能

ボタンによって設定できる機能が限られる場合があります。また、ボタンに設定した機能が動作するために、Bluetooth 接続などの準備が必要な場合があります。

POWER ON/OFF	オーディオ機能のON/OFFをします。長押しすると画面を消します。
VOL +	オーディオ機能の音量を調節できます。
VOL -	
CH UP	次の曲/ファイルにスキップします。長押しすると次のフォルダーの曲を再生します。
CH DOWN	前の曲/ファイルにスキップします。長押しすると前のフォルダーの曲を再生します。
SOURCE 送り	再生中のオーディオソースを別のソースに切り換えます。
SOURCE 戻し	[SOURCE 戻し]は[SOURCE 送り]と逆の順序でソースを切り換えます。
ミュート	オーディオ音量を消音/消音解除します。
現在地	現在地の地図を表示します。長押しすると Apple CarPlay のマップを起動します。
拡大	地図を拡大します。
縮小	地図を縮小します。
現在地点登録	現在地を地点登録します。
案内開始/中止	現在地の地図画面のとき、ルート案内の開始/中止をします。
自宅へ帰る	現在地の地図画面のとき、自宅を目的地にしてルート探索をします。
リダイヤル	前回ハンズフリーで電話をかけた番号に発信します。
音声認識	音声認識または Apple CarPlay の Siri を起動します。
オンフック	ハンズフリーまたは Apple CarPlay で通話中の電話を切ります。音声認識起動中は、1 つ前の音声操作を取り消します。 上記以外で [戻る] の操作が可能な画面では、1 つ前の画面に戻ります。
オフフック	ハンズフリー電話の場合： “よくかける電話番号” (P263) から電話発信します。長押しするとリダイヤルをします。 Apple CarPlay の電話の場合： 着信中のとき電話に出ます。
昼夜切換	画面の明るさを昼用/夜用に切り換えます。
画面消し	画面を消し黒画面にします。

N/A 画面切換	地図画面/Apple CarPlay 画面/オーディオ画面を切り換えます。 ※場合によっては切り換わらない場合があります。
オプションボタンと同機能	オプションボタンの設定 (P36) で設定した機能を動作させます。
フロントカメラ切換	フロントカメラを接続している場合、接続しているカメラの映像に切り換えます。
マルチビューカメラ切換	マルチビューカメラを接続している場合、マルチビューカメラの映像に切り換えます。
ドライブレコーダー録画 ON/OFF	ドライブレコーダーの手动録画を開始/停止します。 (ナビ連動タイプ: DRH-189N の場合)
ドライブレコーダー録画	ドライブレコーダーの手动録画を開始/延長します。 (ナビ連動タイプ: DRH-204VD の場合)
ドライブレコーダー静止画撮影	ドライブレコーダーで静止画撮影をします。
後席会話開始/停止	後席会話サポート機能の開始/停止をします。
割り当てなし	どの機能も設定しない場合は [割り当てなし] を選んでください。

メモリ初期化

本機の各設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。

また、登録した自宅や登録地などを一括で消すことができます。

注意

- 故障の原因となりますので初期化中は、エンジンスイッチをOFFにしないでください。
- 初期化中はメモリーカードを抜き差ししないでください。
- メモリ初期化に失敗した場合は、エンジンスイッチを“OFF” → “ON”してシステムを再起動してください。

お知らせ

- メモリ初期化は、CDやDVDの再生中およびMusic Rackへの録音中に操作できません。

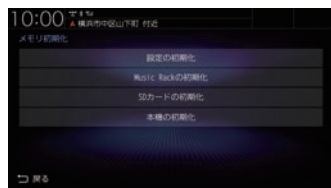
1 MENU キーを押す

目的地メニューを表示します。

2 設定/情報 → システム設定 にタップする

3 メモリ初期化 にタップする

4 いずれかにタップする



5 初期化する にタップする

6 再度、初期化する にタップする

▼
選んだ項目の初期化が完了します。

初期化の種類

設定の初期化	本機の各設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。この操作では、登録した自宅や登録地は消えません。
Music Rackの初期化	Music Rackに関するデータをすべて消去します。Music Rackで録音した曲や、取得したタイトル情報を消去します。
SDカードの初期化	SDカードの音楽ファイルやMusic Rackを本機で再生するために必要なフォーマットを行います。また、SDカードの音楽ファイルやMusic Rackで録音した曲を含むSDカード内にあるすべてのデータを消去します。
本機の初期化	すべての設定、記録データを消去して工場出荷時の状態に戻すことができます。また、登録した自宅や登録地などを一括で消すことができます。

時計の設定

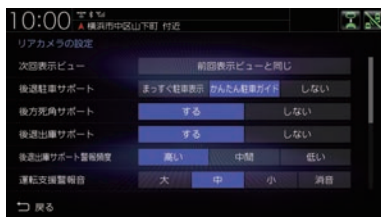


設定名	設定値	設定内容
時計表示	する	時計の表示する / しないを設定できます。
	しない	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

リアカメラの設定

リアカメラの種類によって、設定項目が変わります。



設定名	設定値	設定内容
次回表示ビュー		次回表示したときに表示されるビューを設定できます。 →「リアカメラの次回表示ビューを設定する」(P357)
後退駐車サポート	まっすぐ駐車表示	後退駐車サポート機能を使う/使わないを設定できます。使うときは、最初に表示するダブルビューの種類を設定します。 →「後退駐車サポート」(P275)
	かんたん駐車ガイド	
後方死角サポート	する	後方死角サポート機能を使う/使わないを設定できます。 →「後方死角サポート」(P276)
	しない	
後退出庫サポート	する	後退出庫サポート機能を使う/使わないを設定できます。 →「後退出庫サポート」(P274)
	しない	
後退出庫サポート警報頻度	高い	後退駐車サポート機能の警報頻度を設定できます。
	中間	
	低い	
運転支援警報音	大	後方死角サポート、後退出庫サポートの警告音の音量を設定できます。 設定後の音量は各サポートで同じになります。個別に音量を設定することはできません。
	中	
	小	
	消音	
後方車両お知らせ	する	後方車両お知らせ機能を使う/使わないを設定できます。設定すると車両後方から別の車両が近づいてきたときに音声でお知らせします。
	しない	
後方車両お知らせ開始速度	120km	後方車両お知らせ機能のお知らせ開始速度を設定できます。
	100km	
	80km	
	60km	
後方車両お知らせ検知範囲	広い	後方車両お知らせ機能の検知範囲を設定できます。
	標準	
	狭い	
運転支援お知らせ音声	7～5	後方車両お知らせ機能の音量を設定できます。
	4	
	3～1、消	

次のページにつづく

設定名	設定値	設定内容
ガイドライン表示	する	リアカメラに表示するガイドラインの表示する/しないを設定できます。
	しない	
ダイナミックガイドライン表示	する	リアカメラに表示するダイナミックガイドラインの表示する/しないを設定できます。 車両の装備やグレードがダイナミックガイドライン機能に対応している必要があります。
	しない	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

■ リアカメラの次回表示ビューを設定する

お知らせ

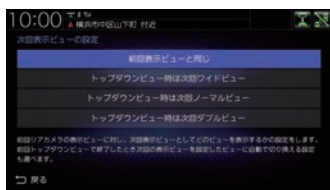
- 前回のリアカメラ映像（ラスト画面）がトップダウンビューの場合に設定したビューで表示します。ただし、車両の切り返しなど本機の電源を切らずに、かつ10km/hを超えた走行をしていない場合は、設定したビューに切り換わりません。

1 **MENU** キーを押し、**設定/情報** にタップする

2 **システム設定** →
リアカメラの設定 にタップする

3 **次回表示ビュー** にタップする

4 次回表示したい“ビュー”にタップする



次回表示ビューの設定が完了します。

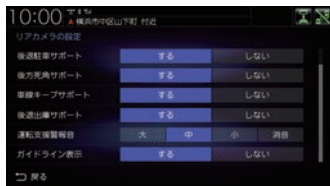
■ ガイドラインを表示する

リアカメラに表示するガイドラインを表示します。

1 **MENU** キーを押し、**設定/情報** にタップする

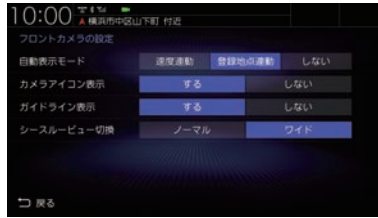
2 **システム設定** →
リアカメラの設定 にタップする

3 「ガイドライン表示」または「ダイナミックガイドライン表示」の**する** にタップする



リアカメラ映像にガイドラインを表示します。

フロントカメラの設定



設定名	設定値	設定内容
自動表示モード	低速連動	車が低速走行になったとき、自動的にカメラ映像を表示します。
	登録地点連動	カメラ地点（カメラ映像の自動切換設定がされている登録地点）付近で車が低速走行になったときに、自動的にカメラ映像を表示します。→「登録地点の種別」(P120)
	しない	自動表示しません。
カメラアイコン表示	する	カメラアイコンの表示する/しないを設定できます。アイコンが緑色：一定値以下の速度でカメラを自動表示します。アイコンが灰色：カメラを自動表示しません。
	しない	
ガイドライン表示	する	フロントカメラに表示するガイドラインの表示する/しないを設定できます。
	しない	
シースルービュー切換 ^{*1}	ノーマル	シースルービューに切り換えたときに表示するカメラ映像を「ノーマルビュー」または「ワイドビュー」に設定できます。
	ワイド	

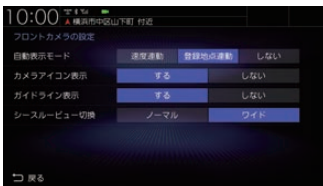
※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

※1 シースルービューに対応していないフロントカメラを接続している場合は表示されません。

■ ガイドラインを表示する

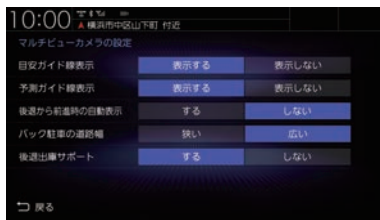
フロントカメラにガイドラインを表示します。

- 1 **MENU** キーを押し、**設定/情報** にタップする
- 2 **システム設定** → **フロントカメラの設定** にタップする
- 3 「ガイドライン表示」の **する** にタップする



フロントカメラ映像にガイドラインを表示します。

マルチビューカメラの設定



設定名	設定値	設定内容
目安ガイド線表示	表示する	目安ガイド線の表示する/しないを設定できます。
	表示しない	
予測ガイド線表示	表示する	予測ガイド線の表示する/しないを設定できます。
	表示しない	
後退から前進時の自動表示	する	セレクトレバーをリバースからリバース以外に入れたときに、マルチビューカメラの映像を継続して表示する/しないを設定できます。
	しない	
バック駐車道路幅	狭い	バック駐車モードの道路幅を設定できます。(Honda スマートパーキングアシストシステム)
	広い	
後退出庫サポート	する	後退出庫サポート機能を使用する/しないを設定できます。
	しない	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

お知らせ

- マルチビューカメラシステム、Honda スマートパーキングアシストシステムの操作方法などについては、車両の取扱説明書をご覧ください。

パーキングセンサーの設定



設定名	設定値	設定内容
パーキングセンサー 表示割り込み	する	カメラ映像以外の画面で、障害物を検知した場合、パーキングセンサー画面の割り込み表示をする / しないを設定できます。
	しない	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

Apple CarPlay 連携機能設定



設定名	設定値	設定内容
Apple CarPlay 利用設定	有効	Apple CarPlay 対応の iPhone を USB 接続したときに、Apple CarPlay として利用する / 利用しないを設定できます。 [無効] に設定すると、iPod 再生機能が利用できる状態になります。
	無効	

ドライブレコーダーの設定

ドライブレコーダーに関する設定が行えます。

- 1 **MENU** キーを押す
- 2 **設定/情報** → **情報** にタップする
- 3 **ドライブレコーダー** → **設定** に
タップする。

▼
ドライブレコーダーの設定画面を表示します。

設定できる項目について

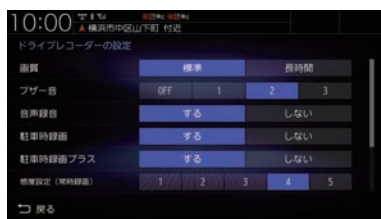
■ ナビ連動タイプ (DRH-189N) の場合



設定名	設定値	設定内容
画質	高画質	録画画質を設定できます。
	標準	
ブザー音	OFF	ドライブレコーダーのブザー音の音量を設定できます。
	1	
	2	
	3	
手動録画の自動停止	1分	手動録画を開始後、自動停止する時間を設定できます。また、自動停止しないように設定することもできます。[自動停止しない]に設定した場合、手動録画の最大保存ファイル数になった時点で録画終了します。
	3分	
	自動停止しない	
駐車時録画	する	エンジンスイッチをOFF後、一定時間録画し続けるかを設定できます。
	しない	
駐車時録画プラス	する	[駐車時録画]の設定が[する]の場合は駐車時録画終了後、設定が[しない]の場合はエンジンスイッチをOFF後に衝撃検知で録画を開始する/しないを設定できます。
	しない	
感度設定 (常時録画/ 駐車時録画)	0.7G	ドライブレコーダーの衝撃検知(Gセンサー)の感度を設定できます。 感度を高く(数値を低く)設定するほど敏感になり小さな加速でも、急加速だと判断されやすくなります。
	0.6G	
	0.5G	
	0.4G	
	0.3G	
感度設定 (駐車時録画プラス)	0.6G	ドライブレコーダーの衝撃検知(Gセンサー)の感度を設定できます。 感度を高く(数値を低く)設定するほど敏感になり小さな衝撃でも、録画を開始します。
	0.5G	
	0.4G	
	0.3G	
	0.2G	
SDカードのフォーマット	フォーマットする	ドライブレコーダーに挿入しているSDカードをフォーマットします。
設定初期化	初期化する	ドライブレコーダーの設定内容を工場出荷時の状態に戻します。

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

■ ナビ連動タイプ (DRH-204VD) の場合



設定名	設定値	設定内容
画質	標準	録画画質を設定できます。
	長時間	
ブザー音	OFF	ドライブレコーダーのブザー音の音量を設定できます。
	1	
	2	
	3	
音声録音	する	ドライブレコーダー本体での音声録音をする/しないを設定できます。
	しない	
駐車時録画	する	エンジンスイッチをOFF後、一定時間録画し続けるかを設定できます。
	しない	
駐車時録画プラス	する	「駐車時録画」の設定が[する]の場合は駐車時録画終了後、設定が[しない]の場合はエンジンスイッチをOFF後に衝撃検知で録画を開始する/しないを設定できます。
	しない	
感度設定 (常時録画)	1	ドライブレコーダーの衝撃検知(Gセンサー)の感度を設定できます。感度を高く(数値を高く)設定するほど敏感になり小さな加速でも、急加速だと判断されやすくなります。
	2	
	3	
	4	
	5	
感度設定 (駐車時録画プラス)	1	ドライブレコーダーの衝撃検知(Gセンサー)の感度を設定できます。感度を高く(数値を高く)設定するほど敏感になり小さな加速でも、急加速だと判断されやすくなります。
	2	
	3	
	4	
	5	
SDカードのフォーマット	フォーマットする	ドライブレコーダーに挿入しているSDカードをフォーマットします。
設定初期化	初期化する	ドライブレコーダーの設定内容を工場出荷時の状態に戻します。

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

TVの設定

テレビ機能に関する各種設定が行えます。

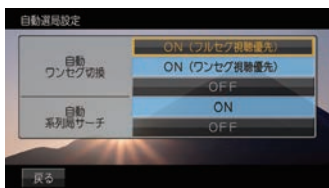
- 1 AUDIOメニューを表示する
(→P136)
- 2 **TV** にタップする
- 3 画面にタップする
テレビの操作画面を表示します。
- 4 **メニュー** にタップする
- 5 設定したい“項目”にタップする



- 6 設定したい“内容”にタップする



- 7 “設定”にタップする



設定内容を変更します。

■ 設定項目について

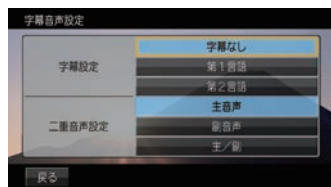
視聴設定	字幕や音声の設定が行えます。 →「視聴設定」(P365)
情報確認	チャンネル一覧や各種情報を確認できます。 →「情報を確認する」(P233)
受信機設定	自動ワンセグ切り換えの設定の他、表示に関する設定が行えます。 →「受信機設定」(P365)
初期設定	CHスキャンのやり直しや、地上デジタルTVチューナーの各設定を工場出荷時の状態に戻す場合に行います。 →「初期設定を行う」(P367)

視聴設定

字幕や音声に関する設定が行えます。

■ 字幕 / 音声

字幕放送や複数の音声放送がある場合に設定が行えます。



設定名	設定値	設定内容
字幕設定	字幕なし	字幕の非表示や言語の選択が行えます。
	第1言語	
	第2言語	
二重音声設定	主音声	出力される音声の選択が行えます。
	副音声	
	主/副	

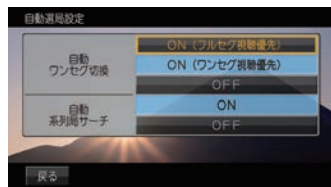
※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

受信機設定

受信に関する各種設定が行えます。

■ 自動選局

電波が弱くなったとき、自動でワンセグに切り換えることや自動で系列局を探す設定が行えます。



設定名	設定値	設定内容
自動ワンセグ切換	ON (フルセグ視聴優先)	フルセグからワンセグへの自動切り換えの設定が行えます。 →「フルセグとワンセグを切り換える」(P235)
	ON (ワンセグ視聴優先)	
	OFF	
自動系列局サーチ	ON	受信ができなくなったとき、自動で系列局を探すことができます。
	OFF	自動で系列局を探しません。手動で行います。 →「系列局を探す」(P229)

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

■ 緊急放送

緊急放送の設定が行えます。



設定名	設定値	設定内容
緊急放送自動切換	ON	緊急放送を受信すると自動で緊急放送の画面に切り換わります。
	OFF	緊急放送を受信しても、画面の切り換えは行いません。

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

■ 表示設定

ショートバナーの設定ができます。時刻を表示させたい場合は、ショートバナーを[表示する]に設定してください。



設定名	設定値	設定内容
ショートバナー常時表示	表示する	常時画面の上部にショートバナー（チャンネル番号や放送局名、時刻などの情報）を表示します。
	表示しない	ショートバナーを表示しません。

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

■ 番組表 CH

番組表をマルチ編成に対応した表示に切り換えます。



設定名	設定値	設定内容
番組表CH切換	メインサービス	[全サービス]に設定するとマルチ編成に対応したすべての番組を表示した番組表に切り換わります。
	全サービス	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

初期設定を行う

CHスキャンのやり直しやアンテナモードの変更、地上デジタルTVチューナーの各設定を工場出荷時の状態に戻す場合に行います。

■ CHスキャンを行う

CHスキャンのやり直しや更新を行います。詳しくは「好みの放送局を登録する」(P152)をご覧ください。

■ アンテナモードを変更する

アンテナを4本装着時のアンテナ動作を設定します。

1 AUDIOメニューを表示する
(→P136)

2 TV にタップする

3 画面にタップする
テレビの操作画面を表示します。

4 メニュー にタップする

5 初期設定 にタップする

6 アンテナモード にタップする

7 機能重視モード または
性能重視モード にタップする

機能重視モード	アンテナ3本でテレビ放送を受信し、1本は常にサーチを行います。
性能重視モード	アンテナ4本すべてでテレビ放送を受信します。

▼
アンテナモードの設定が完了します。

■ 設定情報を初期化する

地上デジタルTVチューナーの設定情報を工場出荷時の状態に戻します。

1 AUDIOメニューを表示する
(→P136)

2 TV にタップする

3 画面にタップする
テレビの操作画面を表示します。

4 メニュー にタップする

5 初期設定 にタップする

6 設定情報初期化 にタップする

7 初期化開始 にタップする

8 はい にタップする

▼
初期化が完了すると初期設定画面を表示します。

注意

- 初期化が完了するまでエンジンスイッチを“OFF”にしないでください。

その他の設定

モニターの画質や画面表示に関する設定が行えます。

画質を調整する

各画面の画質を調整できます。
また、画面の明るさを昼用/夜用に切り換えることができます。

お知らせ

- リアカメラの映像を調整する場合は、セレクトレバーをリパースに入れるため、パーキングブレーキを引くなど車の停止を確認してから調整を行ってください。

1 調整したい画面を表示させて、

MENU キーを長押しする

画質調整のメニューを表示します。
調整する画面によっては、調整項目が異なります。

お知らせ

- 各カメラ映像とオーディオソースの各映像画面については、画面ごとに個別で調整できます。一部、調整結果が互いに連動する画面があります。
- 明るさ調整は車のライトがONのときとOFFのときで別々に設定できます。
- 走行中は調整できません。

■ RGB 画面の調整

メニュー画面やナビ画面などの明るさ、コントラストなどを調整します。

設定名	設定内容
明るさ	明るさの調整を行います。 [+]にタップすると明るくなり、[-]にタップすると、暗くなります。ロングタップ (P28) すると、連続で調整できます。
コントラスト	コントラスト (メリハリ) の調整を行います。[+]にタップするとコントラストが強くなり、[-]にタップすると、弱くなります。ロングタップ (P28) すると、連続で調整できます。
黒の濃さ	黒の濃さの調整を行います。 [灰]にタップすると黒の濃さが弱くなり、[黒]にタップすると濃くなります。ロングタップ (P28) すると、連続で調整できます。
初期化	調整した画質を工場出荷時の状態に戻します。
OK	調整を完了し、1つ前の画面に戻ります。
DAY	画面の明るさを昼用に切り換えます。
NIGHT	画面の明るさを夜用に切り換えます。

■ 映像画面の調整

テレビ画面やDVD画面、動画再生画面などの明るさや色合いなどを調整します。

設定名	設定内容
明るさ	明るさの調整を行います。 [+]にタップすると明るくなり、 [-]にタップすると、暗くなります。 ロングタップ (P28) すると、 連続で調整できます。
コントラスト	コントラスト(メリハリ)の調整 を行います。 [+]にタップすると コントラストが強くなり、 [-]に タップすると、弱くなります。ロ ングタップ (P28) すると、連続 で調整できます。
黒の濃さ	黒の濃さの調整を行います。 [灰]にタップすると黒の濃さが 弱くなり、[黒]にタップすると濃 くなります。ロングタップ (P28) すると、連続で調整できます。
色合い	色合いの調整を行います。 [緑]にタップすると緑っぽくな り、[赤]にタップすると赤っぽく なります。ロングタップ (P28) すると、連続で調整できます。
色の濃さ	色の濃さの調整を行います。 [+]にタップすると色が濃くな り、 [-]にタップすると薄くな ります。ロングタップ (P28) する と、連続で調整できます。
初期化	調整した画質を工場出荷時の状 態に戻します。
OK	調整を完了し、1つ前の画面に戻 ります。
DAY	画面の明るさを昼用に切り換えます。
NIGHT	画面の明るさを夜用に切り換えます。

画面の表示を消す

画面の表示を消します。音声はそのまま聞くことができます。

1 **⏻** キー、または **⏻/VOL** キー
を長押しする



画面の表示を消します。
再度表示するときは、画面にタップするか
[MENU]または[現在地]、[AUDIO]のいずれ
かのキーを押します。

お知らせ

- リアカメラやマルチビューカメラが接続されている場合、車のセレクトレバーをリバースに入れると、画面消し(黒画面)中でも、カメラ映像に自動で切り換わりま
す。セレクトレバーをリバース以外に入
れると、画面消し状態(黒画面)に戻ります。
- リアカメラやマルチビューカメラ映像を
表示している場合は、**⏻** キー、または
⏻/VOL キーを長押ししても画面表示を
消すことはできません。

Other

困ったときは、用語解説、用語索引などの参考情報を記載しています。

困ったときは

画面にメッセージが表示されたときや「故障かな?」と思ったときに確認してください。

こんなメッセージがでたら

本機では、状況に合わせて画面にメッセージを表示します。

■ ナビゲーション機能

メッセージ	原因	処置
走行中は操作できません。	走行中、操作してはいけないボタンを操作した。	安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけて操作してください。
地図データがありません。	地図データがないエリアに地図スクロールした。	地図スクロール先を変更してください。
縮尺を変更します。	自車またはカーソルの中心が、設定している縮尺の地図情報がない場所に移動した。または、再びある場所に移動した。	—
該当する施設の情報がありません。	施設ジャンル検索で都道府県を指定したが当該都道府県の施設情報が本機に登録されていない。	別の都道府県を選択するか、ジャンルを変更してください。
周辺に情報がありません。	周辺施設の情報が本機に登録されていない。	位置を移動して検索してください。
入力された局番はデータがありません。	電話番号検索をしたが該当番号が本機に登録されていない。	住所、施設など別の検索手段で検索してください。
入力された番号はデータがありません。 代表地点を表示します。		
該当するデータがありません。 周辺の地図を表示します。	住所検索をしたが該当番号が本機に登録されていない。	電話番号、施設など別の検索手段で検索してください。
キーワードに該当する施設がありません。	キーワード絞り込みで入力したキーワードに該当する施設が本機に登録されていない。	キーワードを変更し、再度絞り込みを実施してください。

「ナビゲーション機能」のつづき

メッセージ	原因	処置
現在の検索結果に、この絞り込み方法は選択できません。	何らかの原因で絞り込みが実行できない。	絞り込み方法を変更するか、設定済みの絞り込み条件を解除してから再度絞り込みを実行してください。
上限に達したため、これ以上指定できません。	地域またはジャンルで絞り込む際に上限の数を超える絞り込み候補を指定しようとした。	絞り込み候補の件数は5件以内で指定してください。
絞り込み条件はこれ以上設定できません。	キーワード絞り込みを3回実行した後で、さらにキーワード絞り込みを実行しようとした。	キーワード絞り込みは3回以内となるように実行してください。
ルートを探索できませんでした。	何らかの原因で、探索に失敗した。	探索条件などを再度確認し探索してください。
経由地を設定できません。	目的地に到着している状態で、経由地を設定した。	目的地を再度設定してから、経由地を再度設定してください。
経由地を消去できません。	通過済みの経由地を消去しようとした。	通過した経由地は再度案内することはありませんので、そのままご使用いただいても問題ありません。 それでも経由地を消去したい場合は、目的地を再度設定してから、立ち寄らない経由地を除いた経由地を再度設定してください。 (経由地の消去は、当該経由地を通過する前に行ってください。)
入力されたマップコードはデータがありません。	入力したMAPCODEの該当地点がなかった。	MAPCODEを再度確認してください。
通信中のため回線接続できません。	通信に使用している機器が他の機能で通信中となっている。	通信に使用している機器が他の機能で通信中となっている場合は、情報を取得できません。通信が終わってから再度取得してください。
交通規制のため設定した通過道路を通らないルート案内します。	交通規制のある道路を通過道路に設定した。	表示ルートに問題なければ、そのままご利用ください。
通過道路の編集点付近に候補道路がありません。	通過道路アイコンの近くに表示道路がない。	通過道路を設定したい道路の近くに移動してください。

■ オーディオ機能

メッセージ	原因	処置
メカエラーのため再生できません。	何らかの原因でドライブに異常が発生した。	ディスクに異常がないことを確認して再度挿入してください。それでも問題が解決しない場合は販売店にご相談ください。
	ディスクに傷やそりがある。	傷やそりがあるディスクを挿入しないでください。
再生できません。 ディスクを確認してください。	再生できないディスクを挿入している。	再生できるディスクを挿入してください。 →「再生できるディスクの種類について」(P139)
	ディスクを裏面にして挿入している。	レーベル面を上にして挿入してください。
	ディスクの表面が結露している。	しばらくしてから再度、挿入してください。
	ディスクが汚れている。	ディスクをクリーニングしてください。
高温のため再生できません。 しばらくお待ちください。	本機の内部温度が高い。	ディスクを取り出し、内部温度が正常に戻るまでお待ちください。
低温のため再生できません。	本機の内部温度が低い。	
この iPod は再生できません。	認証に失敗した。	iPod を接続しなおしてください。
	認識できない未対応フォーマットの iPod が接続されている。	本機に対応している iPod (P9) を使用してください。
	iPod のソフトウェアバージョンが正しくない。	対応するソフトウェアバージョンを使用してください。
この USB メモリは再生できません。	認証に失敗した。	USB デバイスを接続しなおしてください。
再生できませんでした。	再生可能な音楽ファイルが入っていない。	再生できる音楽ファイルを入れてください。 →「音楽ファイルについて」(P142)
	曲が入っていない iPod/USB デバイスを接続した。	曲が入った iPod/USB デバイスを接続してください。
	対応していない音楽ファイルを再生した。	再生できる音楽ファイルを確認してください。
	著作権保護のファイルを再生した。	著作権保護付きのファイルは再生できません。 著作権保護が付いていないものにしてください。
	音楽ファイルが破損している。	正しい音楽ファイルを入れてください。
リージョンコードが違います。 ディスクを確認してください。	本機のリージョン番号と異なる DVD ビデオを挿入した。	リージョンコード [2] を含む DVD ビデオに交換してください。
このディスクの映像方式 (PAL) には対応していません。	PAL 方式で記録された DVD ビデオを使用している。	NTSC 方式で記録された DVD ビデオを使用してください。
このディスクは再生できません。	DVD-VR の読み込みに失敗した。	ディスクを取り出し、再度挿入してください。 数回試して正常に動作しない場合は、ディスクに何らかの異常がある可能性があります。
この SD カードは使用できません。	SD カードの読み込みに失敗した。	SD カードを挿入しなおしてください。
	本機に対応していない SD カードを挿入した。	本機に対応している SD カードを挿入してください。 →「SD カードの曲を聴く」(P177)

「オーディオ機能」のつづき

メッセージ	原因	処置
SDカードに書き込みできません。SDカードを確認してください。	SDカードが「Lock」状態になっており、書き込みできない。	SDカードを取り出し、「Lock」を解除してください。
SDカードの空き容量が不足しています。これ以上録音できません。	SDカードの容量がいっぱいになったため、Music Rackに録音できなくなった。	不要な曲またはプレイリストを消去して、再度録音してください。 →「プレイリストを消去する」(P194)
録音できませんでした。	何らかの原因で録音できない。	別の音楽CDに交換してください。 別のSDカードに交換してください。
CD録音中のため、SD内のビデオは再生できません。	Music Rackに録音中。	録音が終わってからSDカードの動画をご覧ください。

■ テレビ機能

メッセージ	原因	処置
放送局が登録されていません。ホームCHスキャンを実行してください	ホームCHに放送局が登録されていない。	ホームCHスキャンを実行して放送局を登録してください。 →「ホームCHスキャンを行う」(P230)
放送局が登録されていません ドライブCHスキャンを実行してください	ドライブCHに放送局が登録されていない。	ドライブCHスキャンを実行して放送局を登録してください。 →「ドライブCHスキャンを行う」(P231)
受信制御データが設定されていません。 しばらくお待ちください(最大で30秒かかる場合があります) コードEC21	放送局から受信するための情報が取得できていない。	初期設定をした後に、はじめて選んだ放送局は映像表示するまでにしばらく時間がかかります。 受信するための情報が取得できるまでしばらくお待ちください。

■ ETC機能

別売のETC車載器またはETC2.0車載器を本機に接続したときに表示するメッセージについて説明します。

メッセージ	原因	処置
ETC車載器が未接続のため表示できません。	ETC車載器が接続されていない。 ETC車載器が故障している。	販売店にご相談ください。
ETCカードが挿入されていません。	ETCカードが正しく挿入されていない。 (裏表が逆、前後が逆)	ETCカードをETC車載器に正しく挿入してください。
ETCカードの有効期限が近づいています。 有効期限は○月末です。	ETCカードの有効期限が近づいている。	ETCカードの有効期限が切れる2か月前から案内します。 有効期限が過ぎる前に新しいETCカードを挿入してください。

■ カメラ機能

メッセージ	原因	処置
チェックシステム	エンジンスイッチを“アクセサリ”のままにしている。アクセサリ状態では後退出庫サポート機能が起動しないためメッセージが表示されます。	エンジンスイッチを“ON”にしてください。 メッセージが消えます。

■ ドライブレコーダー機能

別売のドライブレコーダー（ナビ連動タイプ）を本機に接続したとき、ドライブレコーダーの状態によって表示するメッセージについて説明します。

メッセージ	原因	処置
ドライブレコーダーにSDカードが挿入されていません。SDカードを挿入してください。	ドライブレコーダー本体にmicroSDカードが正しく挿入されていない、または未挿入。	microSDカードを正しく挿入してください。
保存フォルダへ移動できませんでした。 ドライブレコーダーのSDカード内の不要な動画を削除してください。	ドライブレコーダーに挿入されているmicroSDカードの容量がいっぱいになっている。	保存フォルダ内の不要な動画を削除してください。保存フォルダ内には20ファイルまで移動できます。 →「録画データを消去する」(P286)(P293)
SDカードのフォーマットができませんでした。 ドライブレコーダーのSDカードを確認してください。	何らかの異常があった。	再度、フォーマットしてください。それでもフォーマットができない場合は、販売店にご相談ください。
ドライブレコーダーが動作できません。	何らかの異常があった。	販売店にご相談ください。
ドライブレコーダーのSDカードの交換時期になりました。 新しいSDカードへの交換をお勧めします。	microSDカードの書き換え寿命が近づいている。	microSDカードには寿命があります。新しい付属のmicroSDカードに交換してください。

「ドライブレコーダー機能」のつづき

メッセージ	原因	処置
このファイルは対応していないファイルのため、再生できません。	再生するファイルが、本ドライブレコーダーで撮影したファイルではない。	本ドライブレコーダーで対応していないファイルがあるため、非対応のファイルを削除してください。またはフォーマットしてからお使いください。
ドライブレコーダーのSDカードが取り出されました。ファイルが壊れる可能性があります。必ず付属のSDカードを抜く場合は取出しボタンを押してから取出してください。	[SDカードの取り出し] ボタンを押さずに、microSDカードを取り出した。	ファイルが壊れる可能性があるため、 <i>[microSDカードを取り出す] (P287)(P294)</i> の操作を行ってから取り出してください。
ドライブレコーダーに非対応のSDカードが挿入されています。必ず付属のSDカードをご使用ください。	ドライブレコーダー付属以外のmicroSDカードを挿入した。	必ずドライブレコーダー付属のmicroSDカードをご使用ください。または、Honda販売店で本ドライブレコーダー専用のmicroSDカードをお買い求めください。
SDカードの容量が不足しています。これ以上静止画の撮影ができませんのでSDカード内の不要な静止画を削除してください。*	microSDカードの静止画容量がいっぱいになっている。	不要な静止画を削除してください。 →「録画データを消去する」(P286)

※ DRH-189N 接続時のみ

■ インターナビ機能

メッセージ	原因	処置
接続に失敗しました。	通信に何らかの異常があった。	再度、接続してください。
	通信中に通信圏外へ移動した。	通信圏内へ移動してください。
接続できませんでした。暗証番号を再度お確かめください。	会員ID(フレームNo)が正しく設定されていない。	会員IDと同じかどうかフレームNoを確認してください。 →「フレームNoを確認する」(P345)
	カーナビ用パスワード(暗証番号)を間違えている。	「登録完了のご案内」に記載されているカーナビ用パスワード(暗証番号)を確認して再度入力してください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、以下の内容をチェックしてください。

問題が解決しないときは、「保証とアフターサービス」(P399)をお読みになり修理を依頼してください。

■ 共通

症状	原因	処置
操作できない。	走行中は、安全のため一部の操作が制限されます。	走行中は運転者の操作はなるべく控え、安全な場所に車を停めて操作してください。なお、道路交通法により運転者が走行中に画面を注視することは禁止されています。
操作音が鳴らない。	操作音が[消]になっている。	[案内音・操作音の設定]の「操作音量」を[1～3]に設定してください。 →「システム設定」(P347)
画面が表示されない。	画面消し状態になっている。	安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけて画面消し解除(P369)の操作をしてください。
	車のバッテリー電圧が低下している。	バッテリーを充電または交換してください。
	本機内部が高温になっている。	温度が下がるまでしばらくお待ちください。
モニターの画面が暗い。	モニターの明るさ調整が適切でない。	モニターの明るさの調整をしてください。 →「画質を調整する」(P368)
	車のライトがONになっている。	工場出荷時は車のライトをONに設定すると画面が暗くなる仕様です。[表示の設定]で「昼夜色」を[昼固定]に設定すると、常時明るい設定になります。 →「NAVI設定」(P316)
	昼夜切換により画面の明るさが「夜用」になっている。	昼夜切換を「昼用」に切り換えるか、ILL操作により昼夜切換モードを解除してください。 →「オプションボタンを設定する」(P36) →「QUICKメニュー」(P36) →「ステアリングリモコン動作の設定」(P351) →「画質を調整する」(P368)
画面に残像が残る。	DVDメニュー画面や点滅の激しい映像を表示し続けると、画面に残像が残る場合がありますが時間の経過によって残像は消えます。故障ではありません。	
通話相手に自分の声が聞こえない。	ミュート設定になっている。	ミュート設定をOFFにしてください。 (通話画面の右下にミュート設定ボタンがあります)→「音量を調整する」(P265)
電話帳の表示が携帯電話と異なる。	携帯電話から送られてくる情報によっては情報が正しく表示されない場合があります。 電話帳画面の[同期しない]→[同期する]と切り換えると正しく表示される場合があります。→「電話帳や履歴を同期する」(P259)	
Bluetooth機器の登録ができない。	機器によっては登録できない場合があります。 動作確認済みの機種は弊社のホームページに掲載しています。	

「共通」のつづき

症状	原因	処置
HDMIでスマートフォンとの接続のしかたが分からない。	別売のHDMI接続コードが必要です。車両によっては標準装備または別売のHDMI接続ジャックに接続します。なお、HDMI端子はスマートフォンの外部モニターとして使用できるものであり、ナビ画面でのタッチパネル操作はできません。接続可能機種については弊社のホームページをご覧ください。	
本機の近くにある車両スイッチなどの操作音がリアスピーカーから出力される。	後席会話サポート機能により、操作音がリアスピーカーから出力されている。	音量を下げる、または機能を停止してください。

■ ナビゲーション機能

症状	原因	処置
自車マークの表示位置が正しく表示されない。	人工衛星からでている電波信号に問題がある。	GPS受信状態でしばらく走行してください。
	フェリーなどで移動した。	
	駐車場などの方向転換用ターンテーブルにて方向転換した。	
	車速の学習のレベルが低い。	高速道路のような場所で加減速せずに一定速度でしばらく走行してください。
GPSが受信できない。	取り付け直後で自車位置計算に時間がかかる。	見晴らしのいい場所で最大20分位待ってください。
	GPSアンテナ付近のウィンドガラスに鏡面タイプのフィルムやカーボン含有の遮光フィルムを貼っている。	GPSアンテナを移設、またはフィルムをはがしてください。
	他のアンテナが近くにある。	GPSアンテナまたは他のアンテナを移設してください。
	GPSアンテナ上にものをのせている。	GPSアンテナ上にあるものを取り除いてください。
	GPSアンテナを上下逆に設置している。	取付要領書を確認し、正しく設置してください。
	GPSアンテナを周囲が板金で覆われた場所に設置している。	周囲が板金で覆われていない場所にGPSアンテナを設置してください。
	GPSアンテナのコネクターを本機に接続していない。または、正しく接続されていない。	取付要領書を確認し、正しく接続してください。
走行中、一部の地図が表示されない。	詳細な地図を表示しているときに速い速度で移動すると、一部の地図が表示できない場合があります。地図の縮尺を広域に変更することで、改善する場合があります。	
渋滞線/アイコン類が表示されない。	自車移動や縮尺変更、地図向き変更などで改善する場合があります。	
探索完了画面でルートが表示が点滅する。	ルート探索完了ごとに再表示するため点滅することがありますが、故障ではありません。	
道路の表示が途切れる。	地図の縮尺を広域にしていくと国道や高速道路など主要道路以外の道路データを間引くため、道路の表示が途切れることがあります。必要に応じて地図の縮尺を詳細にさせていただくことで改善します。	

「ナビゲーション機能」のつづき

症状	原因	処置
メニューの操作ができない。	安全のため、走行中はメニュー操作ができない場合がある。	安全なところに停車しパーキングブレーキを引いて操作してください。
	エンジンスイッチをアクセサリまたはONにした直後は、データ読み込みのため、地図画面表示後すぐに使えない機能がある。	読み込み完了までしばらくお待ちください。
音声による案内がない。	ナビ音量が[消]になっている。	[案内音・操作音の設定]の「案内音量」を[1～7]に設定してください。 →「システム設定」(P347) インターナビ案内は音声案内中に本機の[VOL]キーまたはステアリングリモコンの音量調節ボタン(P30)で設定してください。
ルート探索を繰り返す。	Music Rackに録音中は探索が遅くなるため、ルート探索完了時にはすでに案内点を過ぎている場合があります。 録音を停止することで改善する場合があります。	
突然ルートが変わる。	「ルート自動更新」を[使用する]にしていると、最適なルートが見つかった段階で案内を開始するため、直前でルートが変わる場合があります。 →「探索の設定」(P320)	
VICS情報が受信できない。	VICS情報がまだ受信できていない。	見晴らしのいい場所で、しばらくお待ちください。
	本機にラジオアンテナ(車両側のAM/FM用アンテナプラグ)が正しく接続されていない。	取付要領書を確認し、正しく接続してください。
ETC2.0の機能で、受信していない情報が表示される。	一定の条件を満たした情報のみ自動的に表示します。 手動で表示するとすべての情報を表示できますので、自動表示されていない情報が表示される場合があります。	
料金表示が実際と異なる。	各種割り引き表示には対応しておりません。 また、ルートによっては料金が異なる場合があります。	

■ オーディオ機能

症状	原因	処置
オーディオの音がでない/ 音が小さい。	音量が最小になっている。	音量を調節してください。
	バランス/フェーダーが 片寄っている。	バランス/フェーダーを調整してください。 →「音質の設定を変更する (Sound Settings)」(P326)
	「Audio OFF」になっている。	「Audio ON」にしてください。 →「オーディオ機能がOFFのとき」(P137)
ラジオの受信感が悪い。	アンテナが格納されている。	アンテナを立ててください。
ディスク再生ができない。	ディスクが裏向きに挿入され ている。	レーベル面を上にして挿入してください。
	ディスクが結露している。	しばらくたってから挿入してください。
	ディスクが汚れている。	ディスクをクリーニングしてください。
作成したディスクが再生できない。	ディスク作成時の設定がディスクアットワンスになっているかご確認ください。ディスクアットワンス以外の場合は再生できないまたは音飛びする場合があります。	
USB デバイスを認識しない。	USB デバイスによっては再生できない場合があります。USB デバイスを一度取り外し、再度接続してください。それでも認識しない場合は本機でご使用にできない USB デバイスです。	
再生できないファイルがある。	ファイルによっては再生できないものがあります。対応ファイルフォーマットを確認してください。	
音楽再生が途中で途切れる。	CDの挿入後 [録音する] をタップするとSDカードに録音しながらの再生 (追いかけて再生) が始まります。このように同時に録音と再生を行っている場合、音楽再生が途中で数秒間途切れることがあります。録音をしていなければ音楽再生が途切れることはありません。	
録音できない。	何らかの原因でSDカードにアクセスできない可能性がありますので、SDカードを取り出し、再度挿入してください。	
Music Rackの再生ができない。	または、SDカードに記録されているデータが破損している可能性があります。データが破損していると、録音や再生、編集ができません。	
Music Rackの編集ができない。	この場合、データの復旧ができないためSDカードを本機で初期化してください。	
AVRCPのバージョンに対応しているがデバイス側の操作ができない。	機器によっては操作できない機能があります。	
Bluetooth Audio 再生時、正しい情報が表示されない。	機器によっては表示するための情報を取得できないものがあります。	
iPod が正しく動作しない。	バッテリーの残量が少ない状態で接続すると、iPod 起動時に正しく動作しない場合があります。	
曲が送り続けられる。	SDカードが読めなくなった。	SDカードを一度抜き取り、再度挿入してください。

■ テレビ機能

症状	原因	処置
受信できない。	アンテナケーブルの接続不良。	取付要領書に従い正しく配線してください。
TV放送が映らない。 映像が乱れる。	TV放送の放送エリア内ではない。 専用アンテナを使用していない。	TV放送は、ある程度受信エリアが限られます。また受信障害のある環境では、放送エリア内でも受信できない場合もあります。 専用アンテナをご使用ください。
番組表が表示されない。	番組表が取得できていない。	本機を起動後、最初に番組表を表示するときには、番組データ受信に時間がかかることがあります。 地上デジタルTV放送の場合、視聴していない放送局は番組表に情報が表示されません。番組データ取得 (P227) をすると、番組情報を取得します。
放送局のロゴマークが表示されない。	ロゴマークが取得できていない。	TV放送の各放送局を一定時間受信していると、放送局のロゴマークが表示されます。
字幕や文字スーパーがでない。	「字幕設定」が「字幕なし」に設定されている。 見ている番組が字幕や文字スーパーがない番組である。	[視聴設定]の「字幕設定」で[第1言語]または[第2言語]に設定してください。 →「TVの設定」(P364) 字幕や文字スーパーのある番組を見てください。字幕や文字スーパーのある番組はロングバナーにアイコンが表示されます。 →「記号について」(P226)
番組内容が変更される。	ワンセグとフルセグで番組内容が異なる放送を受信している。	「自動ワンセグ切換」をOFFに設定してください。 →「フルセグとワンセグを切り換える」(P235)

車両のバッテリー交換を行ったら

車両のバッテリーを交換すると一部メモリーが消去されます。

例：設定したルート

(設定した目的地や経由地は保持されます。)

お知らせ

- セキュリティの設定を[使用する]にしている場合、起動後パスワードを入力するまで使用できません。→「セキュリティコード入力画面」(P19)

用語解説

ナビ関連用語

ナビに関する用語を説明します。

細街路

道幅の狭い一部の道路。縮尺100m以下の地図で表示できます。

走行すると表示されなくなりますが故障ではありません。

市街地地図 (→P69)

縮尺10/25/50mで表示されるビルや家の形まではっきりと見える地図です。

自転車

本機を装着しているお客さまのお車のことです。

ジャイロセンサー

車の進行方向を調べる部品です。

車速センサー

車の走行距離を調べる部品です。

スマートIC

スマートIC(スマートインターチェンジ)は、ETC車載器またはETC2.0車載器装着車に限定したインターチェンジで、高速道路の本線・サービスエリア・パーキングエリアなどに設置されたインターチェンジです。

センシングリルート

ルート案内時、故意にルートを外れたとナビが判断した場合に元のルートに戻るリルートではなく、その時点での最適と思われるルートを案内する機能です。

走行軌跡

地図には、自転車が走ってきた道に印(点線)がつかます。この印(点線)を走行軌跡と言います。現在地より過去100kmの軌跡が保存され、100kmを超えると古い軌跡から消去されます。

測位

人工衛星からの電波を受信して、その情報を元に自転車の位置を割り出すことを言います。

マップマッチング

実際に走行している道路から外れた位置に自転車位置マークが表示されるなど、地図上で誤差が生じることがあります。マップマッチングは、走行軌跡と地図をコンピューターで照合してずれを補正し、自動的に自転車位置マークを道路上に表示させる機能です。

ランドマーク (→P50)

お店や施設を、地図上で見やすくするために絵で表した目印です。

Apple CarPlay (→P39)

本機とApple CarPlay対応のiPhoneを接続することで、本機のディスプレイから直接iPhone操作できるようになります。行き方を調べる。電話をかける。メッセージを送受信する。音楽を聴く。などの操作ができます。

ETC2.0 (→P252)

ETC2.0は従来のETCの機能であるノンストップ自動料金収受システムに加え、渋滞回避や安全運転支援サービスなどの総称です。

GNSS

GNSSは、Global Navigation Satellite System(全地球測位システム)の略称です。米国が開発運用している衛星「GPS」の他に、ロシアの「GLONASS(グロナス)」やヨーロッパの「GALILEO(ガリレオ)」など複数の衛星を用いて、全地球を測位することができる衛星システムのことです。

GPS (→P44)

GPSは、Global Positioning System(グローバル・ポジショニング・システム)の略称です。GPSは、米国が開発運用しているシステムで、高度約21,000kmの宇宙空間で、周回しているGPS衛星から地上に放射される電波を受信し、現在位置を知ることができるシステムです。

次のページにつづく

VICS (ボックス)

VICSは、Vehicle Information and Communication System (道路交通情報通信システム)の略称です。VICSレシーバーセットを装着すると、事故や工事の情報、渋滞状況や主要路線の区間旅行時間、駐車場の空き情報を得ることができます。

3Dリアルジャンクション (→P67)

高速道路の分岐点が近づくと、3Dの静止画面で実際の分岐のしかたや行き先、ジャンクション名などをリアルに表示します。

オーディオ関連用語

オーディオに関する用語を説明します。

追いかけて再生

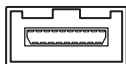
音楽CDを録音中にすでに録音済みの曲を頭から再生します。その間も録音はつづけられます。

プレイリスト

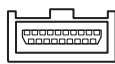
Music Rackに音楽CDの曲を録音すると、アルバムごとに格納される場所が自動的に作成されます。その場所のことをプレイリストと言います。

HDMI (Eタイプ) (→P244)

本機側



ケーブル側



HDMIの車載用タイプコネクタ。

本機は、HDMIのEタイプコネクタのため、家庭用で販売されているHDMIケーブルと接続できません。別売のHDMI接続コードをお買い求めください。

車両によっては、HDMI接続コードの代わりに標準装備または別売のHDMI接続ジャックに接続する場合があります。

ID3タグ (→P144)

MP3ファイルの終わりに、曲名/アーティスト名/アルバム名/製作年度/コメント/音楽ジャンルを128バイトの固定の長さにし、ファイルとして格納しています。

Music Rack (→P189)

挿入した音楽CDの曲を、SDカードに録音する機能です。

DVDビデオ関連用語

DVDビデオに関する用語を説明します。

言語コード(→P333)

DVDビデオを再生するときに設定する各言語のコード。

タイトル

DVDビデオにはいくつかの大きな区切りが設定されており、その1つの区切りをタイトルと呼びます。また、各タイトルに設定された番号をタイトル番号と呼びます。

チャプター

各タイトルにはさらにいくつかの区切りが設定されており、その1つの区切りをチャプターと呼びます。また、各チャプターに設定された番号をチャプター番号と呼びます。

続き再生

ビデオ再生中に停止などで再生を中断後、再度再生したときに同じ場面から再生を開始する機能です。レジューム再生とも呼びます。


※ 続き再生ができるときは  が点滅し、できないときは  が表示されます。

ドルビーデジタル


ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮技術。

マルチアングル

1つの場面のアングルを変えて見ることができる機能です。

※ マルチアングル対応のDVDビデオのパッケージには  が記載されています。

レターボックス画面

ワイドソフトを4:3の画面で再生したときに、上下に黒い帯を入れた状態で再生する画面。ビデオのパッケージに  と表示されているワイドソフトを4:3の画面で再生するとレターボックス画面で表示されます。

ワイドソフト

ワイドテレビ(横16:縦9)で再生するように画像を16:9で収録したソフト。

CPRM

記録型DVDディスクなどに使われている著作権保護技術のこと。

DTS Digital Surround

デジタルシアターシステムズ社の開発したデジタル音声圧縮の技術。DVD-VIDEOではオプション規格のため必ず収録されているとは限りません。

MPEG

画像(動画)圧縮の国際標準フォーマット。

NTSC

カラーテレビの方式。

日本ではNTSC方式が採用されており、本機もNTSC方式専用となっています。他のテレビ方式(PAL方式、SECAM方式)で記録されたビデオは再生できません。

(リニア)PCM

音楽CDなどに使用されている音楽記録方式。

テレビ関連用語

本書で説明するテレビ機能の用語について説明します。

エリアCH

位置情報を取得し、そのエリア内で見ることが出来る放送局を自動的に登録しています。必ずしも受信状態が良い放送局とは限りません。

ドライブCH

旅行先など（一時的に滞在する地域）で放送局を登録するためにあります。

フルセグ

家庭用の地上デジタルTV放送のことで、ハイビジョン放送（HDTV）をご覧いただけます。1つのチャンネルを13個のセグメントに分割し、そのうち12個のセグメントを使用しています。本書では「フルセグ」と表現しています。

放送モード

本書では、「フルセグ」と「ワンセグ」の総称を「放送モード」と表記しています。

ホームCH

お住まいの地域（長期的に滞在する地域）の放送局を登録するためにあります。

マルチ編成

1つのチャンネルで複数のテレビ番組を放送できるサービスです。

リモコン番号

放送局ごとに決められているリモコンのボタン用の番号です。本機では、画面に表示します。

ワンセグ

携帯電話やカーナビなどの移動端末向け地上デジタルTV放送のことです。1つのチャンネルを13個のセグメントに分割し、そのうち1つのセグメントを使用していることから、「1セグ＝ワンセグ」と呼ばれています。

CHモード

各用途に応じて、放送局を登録する「ホームCH」、「ドライブCH」、「エリアCH」の総称を本書では「CHモード」と表記しています。

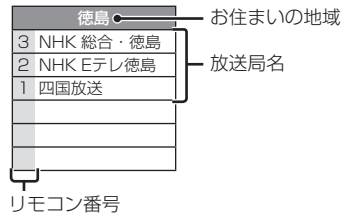
EPG

Electronic Program Guideの略で、テレビに番組表を表示させるシステムのことです。

TV放送のチャンネル一覧表

- ホームCHスキャン (P221, P230) で登録された地域の放送局とリモコン番号の組み合わせは、以下になります。(2020年5月現在) 他地域の放送を受信されたときは、以下のようにならない場合があります。
- この表の放送局名と画面に表示される放送局名は、一致しない場合があります。

表の見かた



お住まいの地域	北海道(札幌)		北海道(函館)		北海道(旭川)		北海道(帯広)	
チャンネル名	3	NHK総合・札幌	3	NHK総合・函館	3	NHK総合・旭川	3	NHK総合・帯広
	2	NHK Eテレ札幌	2	NHK Eテレ函館	2	NHK Eテレ旭川	2	NHK Eテレ帯広
	1	HBC札幌	1	HBC函館	1	HBC旭川	1	HBC帯広
	5	STV札幌	5	STV函館	5	STV旭川	5	STV帯広
	6	HTB札幌	6	HTB函館	6	HTB旭川	6	HTB帯広
	8	UHB札幌	8	UHB函館	8	UHB旭川	8	UHB帯広
	7	TVH札幌	7	TVH函館	7	TVH旭川	7	TVH帯広

お住まいの地域	北海道(釧路)		北海道(北見)		北海道(室蘭)		青森	
チャンネル名	3	NHK総合・釧路	3	NHK総合・北見	3	NHK総合・室蘭	3	NHK総合・青森
	2	NHK Eテレ釧路	2	NHK Eテレ北見	2	NHK Eテレ室蘭	2	NHK Eテレ青森
	1	HBC釧路	1	HBC北見	1	HBC室蘭	1	RAB青森放送
	5	STV釧路	5	STV北見	5	STV室蘭	6	ATV青森テレビ
	6	HTB釧路	6	HTB北見	6	HTB室蘭	5	青森朝日放送
	8	UHB釧路	8	UHB北見	8	UHB室蘭		
	7	TVH釧路	7	TVH北見	7	TVH室蘭		

お住まいの地域	岩手		秋田		宮城		山形	
チャンネル名	1	NHK総合・盛岡	1	NHK総合・秋田	3	NHK総合・仙台	1	NHK総合・山形
	2	NHK Eテレ盛岡	2	NHK Eテレ秋田	2	NHK Eテレ仙台	2	NHK Eテレ山形
	6	IBCテレビ	4	ABS秋田放送	1	TBCテレビ	4	YBC山形放送
	4	テレビ岩手	8	AKT秋田テレビ	8	仙台放送	5	YTS山形テレビ
	8	めんこいテレビ	5	AAB秋田朝日放送	4	ミヤギテレビ	6	テレビユー山形
	5	岩手朝日テレビ			5	KHB東日本放送	8	さくらんぼテレビ

お住まいの地域	福島		茨城		東京		千葉	
チャンネル名	1	NHK総合・福島	1	NHK総合・水戸	1	NHK総合・東京	1	NHK総合・東京
	2	NHK Eテレ福島	2	NHK Eテレ東京	2	NHK Eテレ東京	2	NHK Eテレ東京
	8	福島テレビ	4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	日本テレビ
	4	福島中央テレビ	6	TBS	6	TBS	6	TBS
	5	KFB福島放送	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン
	6	テレビユー福島	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日
			7	テレビ東京	7	テレビ東京	7	テレビ東京
					9	TOKYO MX	3	チバテレビ

次のページにつづく

お住まいの地域	埼玉		群馬		栃木		神奈川	
チャンネル名	1	NHK総合・東京	1	NHK総合・前橋	1	NHK総合・宇都宮	1	NHK総合・東京
	2	NHK Eテレ東京	2	NHK Eテレ東京	2	NHK Eテレ東京	2	NHK Eテレ東京
	4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	日本テレビ
	6	TBS	6	TBS	6	TBS	6	TBS
	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京	7	テレビ東京	7	テレビ東京	7	テレビ東京
	3	テレ玉	3	群馬テレビ	3	とちぎテレビ	3	tvk

お住まいの地域	山梨		新潟		富山		石川	
チャンネル名	1	NHK総合・甲府	1	NHK総合・新潟	3	NHK総合・富山	1	NHK総合・金沢
	2	NHK Eテレ甲府	2	NHK Eテレ新潟	2	NHK Eテレ富山	2	NHK Eテレ金沢
	4	YBS山梨放送	6	BSN	1	KNB北日本放送	4	テレビ金沢
	6	UTY	8	NST	8	BBT富山テレビ	5	北陸朝日放送
			4	TeNY	6	チューリップテレビ	6	MRO
			5	新潟テレビ21			8	石川テレビ

お住まいの地域	福井		長野		静岡		愛知	
チャンネル名	1	NHK総合・福井	1	NHK総合・長野	1	NHK総合・静岡	3	NHK総合・名古屋
	2	NHK Eテレ福井	2	NHK Eテレ長野	2	NHK Eテレ静岡	2	NHK Eテレ名古屋
	7	FBC	4	テレビ信州	6	SBS	1	東海テレビ
	8	福井テレビ	5	abn長野朝日放送	8	テレビ静岡	5	CBCテレビ
			6	SBC信越放送	4	Daiichi-TV	6	メ〜テレ
			8	NBS長野放送	5	静岡朝日テレビ	4	中京テレビ
							10	テレビ愛知

お住まいの地域	岐阜		三重		大阪		滋賀	
チャンネル名	3	NHK総合・岐阜	3	NHK総合・津	1	NHK総合・大阪	1	NHK総合・大津
	2	NHK Eテレ名古屋	2	NHK Eテレ名古屋	2	NHK Eテレ大阪	2	NHK Eテレ大阪
	1	東海テレビ	1	東海テレビ	4	MBS毎日放送	4	MBS毎日放送
	5	CBCテレビ	5	CBCテレビ	6	ABCテレビ	6	ABCテレビ
	6	メ〜テレ	6	メ〜テレ	8	関西テレビ	8	関西テレビ
	4	中京テレビ	4	中京テレビ	10	読売テレビ	10	読売テレビ
	8	ぎふチャン	7	三重テレビ	7	テレビ大阪	3	BBCびわ湖放送

お住まいの地域	京都		和歌山		奈良		兵庫	
チャンネル名	1	NHK総合・京都	1	NHK総合・和歌山	1	NHK総合・奈良	1	NHK総合・神戸
	2	NHK Eテレ大阪	2	NHK Eテレ大阪	2	NHK Eテレ大阪	2	NHK Eテレ大阪
	4	MBS毎日放送	4	MBS毎日放送	4	MBS毎日放送	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ	6	ABCテレビ	6	ABCテレビ	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ	8	関西テレビ	8	関西テレビ	8	関西テレビ
	10	読売テレビ	10	読売テレビ	10	読売テレビ	10	読売テレビ
	5	KBS京都	5	テレビ和歌山	9	奈良テレビ	3	サンテレビ

お住まいの地域	広島		鳥取		島根		山口	
チャンネル名	1	NHK総合・広島	3	NHK総合・鳥取	3	NHK総合・松江	1	NHK総合・山口
	2	NHK Eテレ広島	2	NHK Eテレ鳥取	2	NHK Eテレ松江	2	NHK Eテレ山口
	3	RCCテレビ	8	さんいん中央テレビ	8	さんいん中央テレビ	4	KRY山口放送
	4	広島テレビ	6	BSSテレビ	6	BSSテレビ	3	tysテレビ山口
	5	広島ホームテレビ	1	日本海テレビ	1	日本海テレビ	5	yab山口朝日
	8	TSS						

お住まいの地域	岡山		香川		徳島		高知	
チャンネル名	1	NHK 総合・岡山	1	NHK 総合・高松	3	NHK 総合・徳島	1	NHK 総合・高知
	2	NHK Eテレ岡山	2	NHK Eテレ高松	2	NHK Eテレ徳島	2	NHK Eテレ高知
	4	RNC 西日本テレビ	4	RNC 西日本テレビ	1	四国放送	4	高知放送
	5	KSB 瀬戸内海放送	5	KSB 瀬戸内海放送			6	テレビ高知
	6	RSK テレビ	6	RSK テレビ			8	さんさんテレビ
	7	TSC テレビせとうち	7	TSC テレビせとうち				
	8	OHK テレビ	8	OHK テレビ				

お住まいの地域	愛媛		福岡		佐賀		長崎	
チャンネル名	1	NHK 総合・松山	3	NHK 総合・福岡	1	NHK 総合・佐賀	1	NHK 総合・長崎
	2	NHK Eテレ松山	3	NHK 総合・北九州	2	NHK Eテレ佐賀	2	NHK Eテレ長崎
	4	南海放送	2	NHK Eテレ福岡	3	STS サガテレビ	3	NBC 長崎放送
	5	愛媛朝日	2	NHK Eテレ北九州			8	KTN テレビ長崎
	6	あいテレビ	1	KBC 九州朝日放送			5	NCC 長崎文化放送
	8	テレビ愛媛	4	RKB 毎日放送			4	NIB 長崎国際テレビ
			5	FBS 福岡放送				
			7	TVQ 九州放送				
		8	TNC テレビ西日本					

お住まいの地域	熊本		大分		宮崎		鹿児島	
チャンネル名	1	NHK 総合・熊本	1	NHK 総合・大分	1	NHK 総合・宮崎	3	NHK 総合・鹿児島
	2	NHK Eテレ熊本	2	NHK Eテレ大分	2	NHK Eテレ宮崎	2	NHK Eテレ鹿児島
	3	RKK 熊本放送	3	OBS 大分放送	6	MRT 宮崎放送	1	MBC 南日本放送
	8	TKU テレビ熊本	4	TOS テレビ大分	3	UMK テレビ宮崎	8	KTS 鹿児島テレビ
	4	KKT くまもと県民	5	OAB 大分朝日放送			5	KKB 鹿児島放送
	5	KAB 熊本朝日放送					4	KYT 鹿児島読売TV

お住まいの地域	沖縄	
チャンネル名	1	NHK 総合・沖縄
	2	NHKE テレビ沖縄
	3	RBC テレビ
	5	QAB 琉球朝日放送
	8	沖縄テレビ (OTV)

別売品（システムアップ）について

お知らせ

- ・ 各別売品は車両標準装備の場合があります。車両によって詳細仕様が異なる場合があります。
- ・ 本機で使用できる別売品については、お買い上げのHonda販売店におたずねください。

ETC車載器（ナビ連動タイプ）	—
リアカメラ/リアワイドカメラ	—
フロントカメラ	—
マルチビューカメラ	—
USB接続ジャック	iPod/USBメモリーを再生する場合に必要です。
地上デジタルテレビ放送用フィルムアンテナ	地上デジタルテレビ放送を受信する場合に必要です。
リア席モニター	—
USBメモリーデバイスコード	—
HDMI接続コード	市販のビデオカメラなどを接続する場合に必要です。
AUX接続コード	市販のポータブルオーディオ機器などを接続する場合に必要です。
オーディオリモコンスイッチ	—
ETC2.0車載器	—
ドライブレコーダー（ナビ連動タイプ）	—
リアカメラ de あんしんプラス	—
リアカメラ de あんしんプラス2	—
リアカメラ de あんしんプラス3	—
パーキングセンサー	—
ハイグレードスピーカーシステム	—

FreeType

Portions of this software are copyright 1996-2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006, 2007, 2008, 2009 The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved.

LibJPEG

this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group

EGL

Copyright © 1991-2000 Silicon Graphics, Inc. All Rights Reserved. <http://oss.sgi.com/projects/FreeB/>

ZLib

OpenGL ES 2.0

Copyright © 1991-2000 Silicon Graphics, Inc. All Rights Reserved. <http://oss.sgi.com/projects/FreeB/>

unicode

Copyright © 1991-2013 Unicode, Inc. All rights reserved.

PowerVR

Copyright © Imagination Technologies Limited.

OpenVG

Copyright © 2008 The Khronos Group Inc.

Bitmap Font Generator

BASIC BMFont example implementation with Kerning, for C++ and OpenGL 2.0

This is free and unencumbered software released into the public domain.

Anyone is free to copy, modify, publish, use, compile, sell, or distribute this software, either in source code form or as a compiled binary, for any purpose, commercial or non-commercial, and by any means.

In jurisdictions that recognize copyright laws, the author or authors of this software dedicate any and all copyright interest in the software to the public domain.

We make this dedication for the benefit of the public at large and to the detriment of our heirs and successors. We intend this dedication to be an overt act of relinquishment in perpetuity of all present and future rights to this software under copyright law.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

For more information, please refer to <http://unlicense.org/>

These editors can be used to generate BMFonts:

- <http://www.angelcode.com/products/bmfont/> (free, windows)
- <http://glyphdesigner.71squared.com/> (commercial, mac os x)
- <http://www.n4te.com/hiero/hiero.jnlp> (free, java, multiplatform)
- <http://slick.cokeandcode.com/demos/hiero.jnlp> (free, java, multiplatform)

Some code below based on code snippets from this gamedev posting:

<http://www.gamedev.net/topic/330742-quick-tutorial-variable-width-bitmap-fonts/>

Although I'm giving this away, I'd appreciate an email with fixes or better code!

aaedeve@gmail.com 2012

LZ4

LZ4 - Fast LZ compression algorithm
Copyright © 2011-2014, Yann Collet.
BSD 2-Clause License (<http://www.opensource.org/licenses/bsd-license.php>)

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

libSVM

Copyright © 2000-2014 Chih-Chung Chang and Chih-Jen Lin All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither name of copyright holders nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.

IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT

LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

OpenBLAS

Copyright © 2011-2014, The OpenBLAS Project All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of the OpenBLAS project nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.


IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES


(INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

地図記号について


※ 以下に説明する地図記号は本書作成時の情報にもとづいて記載しております。
 本書に記載していない地図記号や表示されなくなった地図記号がある場合があります。


● 道路・その他


 [青色] 高速道路 / 都市高速 / 有料道路


 [灰色] 一般国道


 [灰色] 主要地方道


 [灰色] 一般都道府県道

 [白色] その他の道路

 [水色] 水域

 都道府県界

 JR (市街地地図以外)

 JR (市街地地図のみ)・私鉄

※ 地図色は、ライト、ダーク、ユニバーサルデザインの3種類の設定があります。本記載の道路色は、ユニバーサルデザイン設定時の一例となります。

● 一般記号

- | | | |
|--|---|--|
|  一般国道 |  美術館 |  店舗 |
|  主要地方道 |  博物館 |  ショッピングセンター |
|  インターチェンジ |  ホール・劇場・文化会館 |  飲食店 |
|  サービスエリア |  イベントホール |  ファーストフード |
|  パーキング |  城跡 |  ガソリンスタンド |
|  ジャンクション |  史跡・名勝 |  駐車場 |
|  料金所 |  神社 |  学校 |
|  ランプ |  寺院 |  幼稚園 |
|  スマートインターチェンジ |  教会 |  保育園 |
|  都道府県庁 |  タワー・展望台 |  自動車学校 |
|  市役所 |  灯台 |  病院 |
|  区役所 |  港湾 |  警察署 |
|  役場・支所・出張所 |  山岳 |  消防署 |
|  その他施設 |  野球場 |  郵便局 |
|  空港 |  陸上競技場等のスポーツ施設 |  その他の公共施設 |
|  フェリーターミナル |  ゴルフ場 |  銀行 |
|  道の駅 |  スキー場 |  NTT |
|  公園 |  キャンプ場 |  自衛隊 |
|  遊園地 |  海水浴場 |  米軍 |
|  その他娯楽施設他 |  プール |  墓地 |
|  動物園 |  テニスコート |  工場 |
|  水族館 |  ボウリング場 |  発電所 |
|  植物園 |  ヨットハーバー・マリナー |  都道府県営・市営団地 |
|  温泉 |  牧場 |  ビル |
|  サーキット場 |  宿泊施設 |  トンネル |
|  競輪・競馬・競艇場 |  百貨店 |  信号機 |

● 主な施設



● 季節情報



● サービスエリア・パーキングエリア情報



Other

地図データについて

地図データベースについて

この地図は、一般財団法人日本デジタル道路地図協会の「全国デジタル道路地図データベース」、インクリメントP(株)の地図情報をもとに、三菱電機(株)が2020年3月現在までの情報を網羅し作成したものです。なお、元図の作成時期などの関係から、収録されていない新設道路があったり、地名や道路などに変更や誤りがある場合がありますので、あらかじめご了承ください。

- いかなる形式においても著作者に無断で、この地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5千分1国土基本図を使用した。(承認番号 平30情使、第256号-12号)
- この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料H・1・No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を利用し作成したものである。(承認番号 国地企調第180号 平成22年9月28日)
- このデータは、国土地理院の技術資料C1-No.445「小笠原諸島西之島周辺の正射画像(平成26年12月10日撮影)」を利用して作成したものである。
- この地図の作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会の発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。(測量法第44条に基づく成果使用承認 04-0080) [2019年3月発行データ使用]
- この地図に使用している交通規制データは、2019年9月現在のものです。本データが現場の交通規制と違うときは、現場の交通規制標識・表示等に従って下さい。
- 渋滞予測情報の元となる道路交通情報データは、公益財団法人日本道路交通情報センター(JARTIC)から提供されています。また、道路交通情報データ作成には、一般財団法人道路交通情報通信システムセンター(VICSセンター)の技術が用いられています。
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図250mメッシュ(標高)を使用したものです。(承認番号 平7総使、第178号)
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)、数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)及び基盤地図情報を使用した。(承認番号 令元情使、第320号-12号)
- この地図に使用している電話番号データは、2019年9月現在のものです。本データはNTTタウンページ(株)から提供されたタウンページデータを使用しています。
- この地図に使用している個人宅の電話番号は、日本ソフト販売(株)のハローページデータを使用しています。
- VICSリンクデータベースは、一般財団法人道路交通情報通信システムセンター(VICSセンター)から提供される技術情報です。
- その他情報提供元
監修：夜景愛好家 縄手真人(夜景コメント)
- 上記以外の本地図データの権利関係については、下記ページをご確認ください。
URL：https://www.incrementp.co.jp/aboutmap/2020_1.pdf
© 2017-2020 一般財団法人日本デジタル道路地図協会
© 2020 INCREMENT P CORPORATION
© 2020 三菱電機株式会社

VICS 情報有料放送サービス契約約款

第 1 章 総則

(約款の適用)

第 1 条 一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和 25 年法律第 132 号）第 147 条の規定に基づき、この VICS 情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これにより VICS 情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第 2 条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後の VICS 情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第 3 条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

- (1) VICS サービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM 多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
- (2) VICS サービス契約
当センターから VICS サービスの提供を受けるための契約
- (3) 加入者
当センターと VICS サービス契約を締結した者
- (4) VICS デスクランプラー
FM 多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第 2 章 サービスの種類等

(VICS サービスの種類)

第 4 条 VICS サービスには、次の種類があります。

- (1) 文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (2) 簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (3) 地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICS サービスの提供時間)

第 5 条 当センターは、原則として一週間に概ね 120 時間以上の VICS サービスを提供します。

第 3 章 契約

(契約の単位)

第 6 条 当センターは、VICS デスクランプラー 1 台毎に 1 の VICS サービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第 7 条 VICS サービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ね NHK-FM 放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況により VICS サービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第 8 条 VICS サービスは、VICS 対応 FM 受信機（VICS デスクランプラーが組み込まれた FM 受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができます。

(VICS サービスの種類の変更)

第 9 条 加入者は、VICS サービスの種類に対応した VICS 対応 FM 受信機を購入することにより、第 4 条に示す VICS サービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第 10 条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第 11 条 当センターは、次の場合には加入者が VICS サービス契約を解除したものとみなします。

- (1) 加入者が VICS デスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
- (2) 加入者の所有する VICS デスクランブラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第 12 条

- (1) 当センターは、加入者が第 16 条の規定に反する行為を行った場合には、VICS サービス契約を解除することがあります。また、第 17 条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICS サービス契約は、解除されたものと見なされます。
- (2) 第 11 条又は第 12 条の規定により、VICS サービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICS サービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第 4 章 料金

(料金の支払い義務)

第 13 条 加入者は、当センターが提供する VICS サービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。

なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第 5 章 保守

(当センターの保守管理責任)

第 14 条 当センターは、当センターが提供する VICS サービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第 15 条

- (1) 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICS サービスの利用を中止することがあります。
- (2) 当センターは、前項の規定により VICS サービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第 6 章 雑則

(利用に係る加入者の義務)

第 16 条 加入者は、当センターが提供する VICS サービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

第 17 条

- (1) 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由により VICS サービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICS サービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。但し、当センターは、当該変更においても、変更後 3 年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICS サービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。
- (2) VICS サービスは、FM 放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機による VICS サービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3 年以上の期間を持って、VICS サービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

別表視聴料金

視聴料金：300 円（税抜き）

ただし、車載機購入価格に含まれております。

仕様

ナビゲーションユニット		
受信周波数		1575.42MHz(GPS) 1598.0625 ~ 1605.375MHz(GLONASS)
受信方式		パラレル 18チャンネル
受信感度		-130dBm以下
測位更新時間		約 1 秒
メディア容量		16GB (フラッシュメモリー)
オーディオ		
アンプ部	最大出力	45W × 4
	適合スピーカーインピーダンス	4 Ω
イコライザー部	20バンドイコライザー	22/31.5/44/63/87/125/175/250/350/500/700/1k/1.4k/2k/2.8k/4k/5.6k/8k/11k/16k Hz 調整幅レベル：± 12dB (1dB/1step)
DVD プレーヤー部	対応ディスク	DVD-VIDEO、DVD-R/RW ^{*1} 、CD-DA、 CD-R/RW (MP3、WMA、AAC、WAV フォーマット) ※ 1) VR/CPRM フォーマット対応
	周波数特性	20Hz ~ 20,000Hz (CD-DA)
	S/N比	86dB
	全高調波ひずみ率	0.1%以下
FM/AM部	受信周波数範囲	FM：76.0 ~ 99.0MHz AM：522 ~ 1629kHz
	実用感度	FM：10dB μV、AM：33dB μV
	S/N比	FM：55dB(20kHz L.P.F. 使用)、AM：50dB(20kHz L.P.F. 使用)
	ステレオセパレーション	FM：30dB (20kHz L.P.F. 使用)
TV部	放送方式	地上デジタル放送方式 (日本) ワンセグ/フルセグ
	受信チャンネル	13 ~ 52ch
	アンテナ	専用アンテナ
Music Rack部	形式	SD-Audio規格
	S/N比	86dB
	全高調波ひずみ率	0.1%以下
SDカード部	対応容量	最大2TB (推奨 128GB まで) (SDXC規格対応/CPRM対応)
	対応圧縮音声フォーマット	MP3、WMA、AAC、WAV、FLAC
	S/N比	86dB
	全高調波ひずみ率	0.1%以下

GPS アンテナ		
防水	防噴流仕様	
方式	マイクロストリップ平面アンテナ	
モニター		
画面サイズ	Aタイプ	: 223.68 × 125.82mm
	Bタイプ	: 223.68 × 125.82mm
	Cタイプ	: 198.72 × 111.78mm
	Dタイプ	: 176.64 × 99.36mm
	Eタイプ	: 176.64 × 99.36mm
タッチパネル	静電容量式 (Mutual方式) タッチパネル	
外部接続		
外部入力	Audio 機器など (2ch)	音声 : 2.0Vrms MAX (1kHz)
	HDMI 機器など (1 系統)	HDMI 規格による
リア席モニター出力	アナログ 1 系統	映像 : NTSC 1.0Vp-p
	デジタル出力 1 系統	映像 : 専用インターフェースによる
カメラ入力 2 系統	映像 : NTSC 1.0Vp-p	
ドライブレコーダー入力	音声 : 2.0Vrms MAX (1kHz)	
	映像 : NTSC 1.0Vp-p	
専用SDカード		
容量	8GB	
スピードクラス	Class10	
電源・寸法・質量		
使用電源	DC13.2V (マイナスアース)	
最大消費電流	MAX15A	
動作温度	-30℃ ~ +70℃	
外形寸法	Aタイプ	: 約 幅 409.3 × 高さ 211.6 × 奥行き 187.7mm
	Bタイプ	: 約 幅 328.1 × 高さ 182.5 × 奥行き 199.3mm
	Cタイプ	: 約 幅 228 × 高さ 144.3 × 奥行き 185.3mm
	Dタイプ	: 約 幅 206 × 高さ 130.8 × 奥行き 187mm
	Eタイプ	: 約 幅 231.5 × 高さ 180.5 × 奥行き 197.9mm
質量 (本体のみ)	Aタイプ	: 約 3.2kg
	Bタイプ	: 約 3.35kg
	Cタイプ	: 約 2.7kg
	Dタイプ	: 約 2.6kg
	Eタイプ	: 約 2.71kg

- 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
- 使用電源が異常に低い場合や高い場合は内部回路保護のため、動作を停止または中断する場合があります。

保証とアフターサービス

■ 保証書について

- この製品には保証書が添付されています。
- 所定事項の記入<販売店印><お買い上げ日>および記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。
- 万一故障した場合の無償修理期間は、保証書に記載している期間に基づきます。

■ アフターサービスについて

- 調子が悪いときは、まずこの取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

保証期間中の修理は	▶	保証書の記載内容に基づいて修理いたします。 詳しくは保証書をご覧ください。
保証期間経過後の修理は	▶	修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有償修理いたします。

- 各機器の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後6年間保有しています。
- 保証書やアフターサービスの詳細、その他ご不明な点は、お買い求めのHonda販売店へご相談ください。

用語索引

本用語索引では、使用したい機能をすばやく見つけるために、各機能のキーワードのみを記載しています。他のページにも下記の言葉が記載されている場合があります。

ア行

明るさ	368,369
アフターサービス	399
アングル	172
案内音・操作音の設定	348
案内開始	79,96
イコライザー	328
緯度・経度	90
色合い	369
色の濃さ	369
インターナビ機能	297
インターナビ交通情報	122,305
迂回ルート	112
映像	237
映像情報	224
エリア	223,225
エリアCH	384
追いかけて再生	382
オーディオ機能	136
オプションボタン	36
音楽CD	156
音楽ファイル	142,161
音質の設定 (Sound Setting)	326
音声	168,171,237,365
音声認識	53
音声認識の設定	348
音声の設定	319
音声モード	224
音量を調節する	16,22,348

カ行

カーカルテ	311
カーブ案内	67,319
ガイドライン	357,358
各アイコン	51
画質調整	368

カスタマイズ	35,37,344
カメラ	267,270,279
カメラ設定	347,355,358,359,362
画面の表示を消す	369
キーワード変更	81
規制情報	126
季節マーク	317
北基準	62
記念距離メモリー	254
機能制限	21
緊急サポート	256,313
緊急情報	130
緊急放送自動切替	366
黒の濃さ	368,369
経由地	96,104
経由地消去	106
系列局	223,229
系列局サーチ	225
県境案内	67,319
言語コード	333,383
現在地	48,52
現在地登録	116
現在地補正	324
検索履歴	91
交差点案内図	65
交差点名称読み上げ	319
後席会話サポート	280
高速道路逆走案内	68
高速道路情報	74
高速略図	62
高速略図自動表示	317
後退出庫サポート	274
後退駐車サポート	275
交通情報	155
後方死角サポート	276
後方車両お知らせ機能	276
合流案内	67
小文字/大文字	57
コントラスト	368,369

サ行

細街路	381
再生できるディスクの種類	139
シーク	154
市街地地図	69,381
自転車	381
自転車位置の補正	316,323
自転車基準	62
システム設定	315,347
施設名称	80
施設名称入力用キーボード	60
自宅	32,78,115
視聴制限 (DVD)	176,331
視聴設定	364,365
自動系列局サーチ	365
自動録音	329
自動ワンセグ切換	236,365
絞り込み設定	80,84
字幕	171,365
字幕情報	224
字幕設定	365
ジャイロセンサー	381
車種	320
車速センサー	381
ジャンル	32,82
住所	32,88
渋滞予測	321
渋滞予測経路	97
周辺施設	32,86
縮尺	69
縮尺アイコン	48
受信機設定	364,365
受信強度	224
手動録音	329
準天頂衛星	44,51
仕様	397
省エネ度	96
商標	7
情報確認	233,364
情報設定	334
ショートバナー常時表示	366
初期化	37,287,327,330,345,353

初期設定	364,367
シングル録音	329
数字入力	174
スクロール	50,70
スクロール方面名称	70,317
スタンダード	61
スタンダード2画面	61
ステアリングリモコン	30
ステアリングリモコンの設定	351
スマートIC	74,320,381
スマートIC回避	113
スマートフォンから探す	92
スライド	29
セキュリティコード	19
セキュリティの設定	350
センシングリルート	320,381
全地球測位システム	44,381
全ルート	98
走行軌跡	317,381
走行軌跡データ消去	317
走行中の操作制限	170,225
測位	45,381
速度超過アラーム	68,319
ソフトウェアバージョン	234

タ行

タイトル	383
タイトル情報	157,159,200
タップ	28
建物情報	73
タブボタン	29
ダブルタップ	28
探索条件	96,102,103
探索条件設定	96
探索の設定	316,320
探索方法	46
地図色	64
地図データ更新サービス	314
地図文字	64
地点メニュー	50,71
チャプター	383
駐車場情報	124,126

駐車場セレクト	312
昼夜色	317
通信設定	338
通過道路	50,96,108
続き再生	383
ディスクスロット	17
ディスクを取り出す	26
ディスプレイ	15
デモ走行	101
電話	32
電話の設定	335
電話番号	88
電話をかける	262
電話を使う	258
到着予想時刻学習リセット	321
登録地点	32,92,116
登録地点情報	118
登録地点の設定	115
登録地点名称	317
道路縁取り	317
都市高速入口イラストマップ	66
友達マップ	94
ドライブ	223,225
ドライブレコーダー	281,361
ドライブCH	384
ドライブCHスキャン	225,231,232
ドルビーデジタル	383

ナ行

ナビ画面	48
二重音声設定	365
ノーマルバナー	223

ハ行

パーキングセンサー	277
パーキングセンサーの設定	360
パーキングブレーキアラーム	68,319
パーソナル・ホームページ	309
パスワード	19,350
パソコンからタイトル情報を取得する	203
半角/全角	57
番組内容	223,226

番組表CH切換	366
ビーコン情報	129
非測位	45
微調整	70
表示の設定	316,317
ビュー切換	61
ピンチアウト	29
ピンチイン	29
フォルダーの構成	143,150
フォルダー選択	161,177,212
物理チャンネル番号	224
踏切案内	67,319
プリセットボタン	153
フリック	28
フルセグ	235,384
プレイリスト	190,382
フロントカメラ	267,279
フロントカメラの設定	358
別ルート	112
変換	57
変換候補のリスト	58
放送モード	224,384
方面名称	70
方面名称読み上げ	319
保証	399
ホーム	223,225
ホームCH	384
ホームCHスキャン	221,230
本機	14
本機の設定	315

マ行

マップコード	90
マップマッチング	44,381
マルチアングル	383
マルチインフォメーションディスプレイ	47,308
マルチタップ	28
マルチビューカメラ	272
マルチビューカメラの設定	359
マルチ編成	384
無変換	57

メール.....	233
名称.....	32
メッセージ.....	370
メニュー.....	223
メモリ初期化.....	353
免責事項.....	5
目的地クリップ.....	311
目的地の設定.....	78
目的地メニュー.....	31,51
文字入力.....	57
文字の種類.....	58
モニター Open.....	24

ヤ行

郵便番号.....	89
用語解説.....	381
予測渋滞情報表示.....	128

ラ行

ラジオ.....	152
ランドマーク.....	63,381
リアカメラ.....	270,273,279
リアカメラの設定.....	355
リア席モニター.....	295
リスト表示.....	161,177,183,212,218
(リニア)PCM.....	383
リモコン番号.....	223,225,235,384
料金所案内図.....	66
履歴.....	32,91
ルート自動更新.....	130,320
ルート消去.....	114
ルート上の合流案内.....	319
ルート探索条件.....	320
ルートの確認.....	98,99
ルートの変更.....	102
ルートメニュー.....	52
レーン案内.....	67,319
レーン情報.....	317
レーンボックス画面.....	383
録音する.....	187
録音方法を変更する.....	329
ロングタップ.....	28

ロングバナー.....	224
-------------	-----

ワ行

ワイド.....	172
ワイドソフト.....	383
ワンセグ.....	235,384
ワンセグ/フルセグ.....	223,235

A

AAC.....	146
AM.....	153
Apple CarPlay.....	39
AUDIO.....	16,136
AUDIO再生情報.....	48,138
AUDIOメニュー.....	33,136
Audio ON/OFF.....	137
AUX.....	34,243
AV設定.....	315,325

B

Bluetooth Audio.....	34,238
Bluetoothの設定.....	338
BTA.....	34,239

C

CarPlay.....	39
CHモード.....	223,225,384
CPRM.....	383

D

DTS Digital Surround.....	383
DVD/CD.....	34,156,161,165
DVDビデオ.....	165
DVDビデオの初期設定.....	330

E

EPG.....	223,227,384
ETC.....	249,250
ETC車載器の情報.....	251
ETCの設定.....	336

ETCの履歴	251
ETC2.0	252,381
ETC2.0 アップリンク	337
ETC2.0 音声自動再生	337
ETC2.0 受信音	337
ETC2.0 図形情報割り込み	337
ETC2.0 の設定	337
ETC2.0 文字情報割り込み	337

F

FLAC	148
FM	153
FM 多重情報	128
FM 多重放送	122

G

GNSS	44,381
GPS	44,381
Gracenote	8

H

HDMI 出力機器	244
HDMI(Eタイプ)	244,382
Hondaからのお知らせ	304
Honda スマートパーキングアシストシステム	272

I

ID3 タグ	382
internavi ウェザー	307
internavi の設定	342
internavi ルート	112
iPod	34,208
iPod MENU	211

M

MAPCODE	32,90
MENU	16
MP3	144
MPEG	383
Music Rack	382

Music Rack を聴く	189
My コース	310

N

NaviCon	92
NAVI 設定	315,316
NoTitle リスト	201
NTSC	383

P

PLAYLIST	191,192,193
PsideP	62

Q

QUICK メニュー	36,87
QZS	44

R

RADIO	34,152
-------------	--------

S

SD/Music Rack	34,177
SD カード	23
SD カードスロット	17,24
SD カードの曲を聴く	177
SD カードの動画を見る	183
Sound Settings	326
S/Wバージョン(TV)	234

T

TITLE	167,168
TV	34,220,221
TV の設定	364
TV 放送のチャンネル一覧表	385

U

USB	34
USB デバイスの曲を聴く	212
USB デバイスの動画を見る	218

V

VICS.....	122,382
VICS アイコン.....	124
VICS 記号.....	126
VICS 局.....	132
VICS 考慮.....	113
VICS 受信局周波数設定.....	322
VICS 情報.....	127
VICS 情報 (一般道).....	322
VICS 情報 (高速道).....	322
VICS センター.....	127
VICS 駐車場情報.....	322
VICS の設定.....	316,322
VICS メニュー.....	127
VOL.....	16,22

W

WMA.....	145
WAV.....	147

数字

2次元測位.....	45
2D マップ.....	63
3D 建物.....	317
3D ビューマップ.....	63
3D リアルジャンクション.....	67,382
3桁チャンネル番号.....	224
3次元測位.....	45
5ルート.....	96,111

- 商品についてのお問い合わせは、お買い求めの販売店または株式会社ホンダアクセスお客様相談室までお願いします。

株式会社ホンダアクセス「お客様相談室」

全国共通フリーダイヤル ☎0120-663521

(受付時間：9時～12時、13時～17時/

但し、土日・祝日・弊社指定休日は除く)

- インターナビおよびリンクアップフリー、緊急サポートについてのお問い合わせは、Honda Total Care コールセンターまでお願いします。

本田技研工業株式会社

「Honda Total Care コールセンター(会員専用)」

全国共通フリーダイヤル ☎0120-21-5656

(受付時間：9時～12時、13時～17時/

ゴールデンウィーク・夏期・年末年始休業を除く)

販売元 株式会社 **ホンダ** アクセス

〒352-8589 埼玉県新座市野火止 8 丁目 18 番地 4 号

製造元 **三菱電機株式会社**

〒100-8310 東京都千代田区丸の内 2 丁目 7 番地 3 号 (東京ビル)

08A40-PH5-A100-8A

N871L71741

